

平成27年

県の施策に関する県民意識調査結果報告書

【目次】

調査の概要・調査結果の概要	1
居住地(広域振興圏)別・男女別・年代別集計結果	17
調査項目一覧	18
統計表	137
調査票	151

平成27年5月

岩手県政策地域部

はじめに～本書をお読み頂くにあたって～

1 県民意識調査について

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取り組みを進めるとともに、これと軌を一にしながら、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を描いた「いわて県民計画」に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

県では、「いわて県民計画」の政策に関連する項目について、県民の皆様がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を定期的に把握するため、平成12年度から「県民意識調査」を実施しており、今回(平成27年調査)が13回目の調査となります。

2 今回の調査の特徴

今回の調査では、「いわて県民計画」の7つの政策に関連する項目の満足度、重要度等の把握を目的とし、その調査項目数は、56項目となっています。

3 調査対象数の配分方法

本調査の調査対象者の抽出については、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、次のような方法によって行いました。

- ・ 広域振興圏における調査結果に一定の精度を確保するため、東日本大震災津波の影響や管内人口の多寡を考慮し、全県の調査数5,000について、県央及び県南に300、沿岸に800、県北に600の計2,000を定数配分として割り振り、残り3,000を4広域振興圏の管内人口比で比例配分しています。
- ・ 市町村別の調査対象数については、各広域振興圏に割り振られた調査対象数を、管内の市町村人口によって比例配分しています。

このように、調査対象(サンプル)は実際の地域別の人口構成比のとおり割り振られていないことから、集計については、実際の市町村別の人口構成比を反映した結果となる集計方法を取っています。詳しくは、「4 集計方法」を参照してください。

4 集計方法

前述の「3 調査対象数の配分方法」のとおり、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、調査対象数を地域別の人口構成比で割り振っていないことから、単純に集計された県全体等の調査結果は、本県の広域振興圏の人口構成比を反映していないものになります。

したがって、集計については、実際の回答数に広域振興圏(市町村)別の人口構成比を考慮することによって、県全体の調査結果を実勢に近づける集計(母集団拡大集計)を行っています。

これを具体的に説明すると、市町村別の回答数(選択肢ごと)に、「平成26年岩手県人口移動報告年報」による市町村別20歳以上人口÷市町村別の標本数(有効回答数)で求められるウェイトを乗じて集計するものです。(したがって、集計結果の分母は20歳以上人口に一致します。)

5 その他

- ・ 各設問集計結果のグラフには、「わからない」「不明」の比率数値は表示していません。
- ・ 四捨五入の関係で合計と内訳の計とが一致しない場合があります。

**調査の概要
調査結果の概要**

平成27年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

■調査の概要■

1 調査の目的

「いわて県民計画」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- ① 調査対象 県内に居住する20歳以上の男女
- ② 調査対象者数 5,000人
- ③ 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- ④ 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- ⑤ 調査時期 平成27年1～2月
- ⑥ 調査項目
 ア 生活全般の満足度
 イ 「いわて県民計画」の7つの政策に関連する46項目に係る重要度、満足度について
 ウ 県民の普段の行動について（災害への備え等）
 エ 「いわて県民計画」の進め方等についての意見（「人口減少で重要な政策」と「今後の居住地」）
- ⑦ 有効回収率 71.1%（3,556人／5,000人）
- ⑧ 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,449	(40.7)
女性	2,040	(57.4)
不明	67	(1.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	1,010	(28.4)
県南広域振興圏	1,092	(30.7)
沿岸広域振興圏	834	(23.5)
県北広域振興圏	620	(17.4)

【年齢別】	回答者数	割合
20～29歳	243	(6.8)
30～39歳	365	(10.3)
40～49歳	512	(14.4)
50～59歳	665	(18.7)
60～69歳	824	(23.2)
70歳以上	884	(24.8)
不明	63	(1.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	297	(8.3)
家族従業者	171	(4.8)
会社役員・団体役員	198	(5.6)
常用雇用者	907	(25.5)
臨時雇用者	461	(13.0)
学生	27	(0.7)
専業主婦(主夫)	427	(12.0)
無職	810	(22.8)
その他	159	(4.5)
不明	99	(2.8)

()内は%

3 用語の解説

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明(無回答)」を除く。）で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明(無回答)」を除く。）で除し、数値化したもの。

ニーズ度： 重要度(平均)－満足度(平均)

4 その他

本調査結果は、下記の調査統計課ホームページからダウンロードできます。

<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>

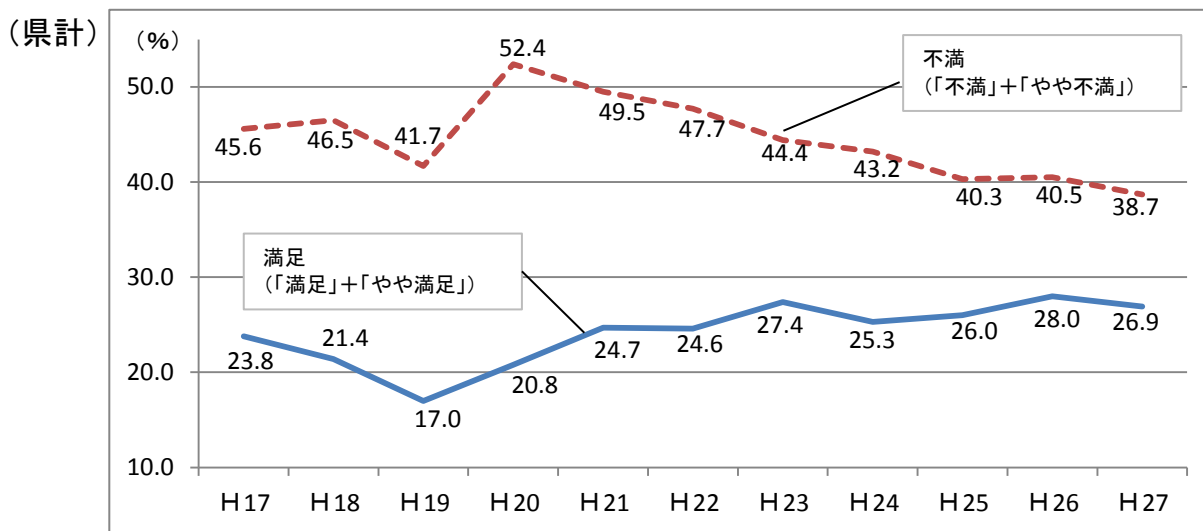


■調査結果の概要■

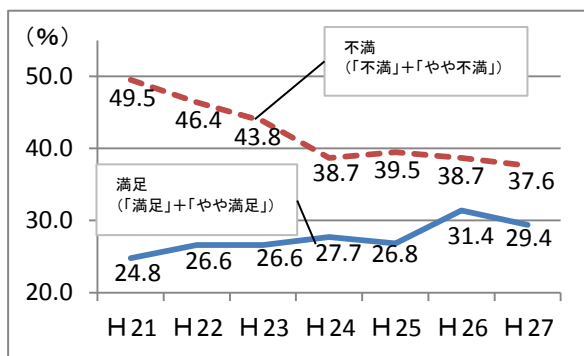
問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

沿岸広域振興圏で満足率が上昇

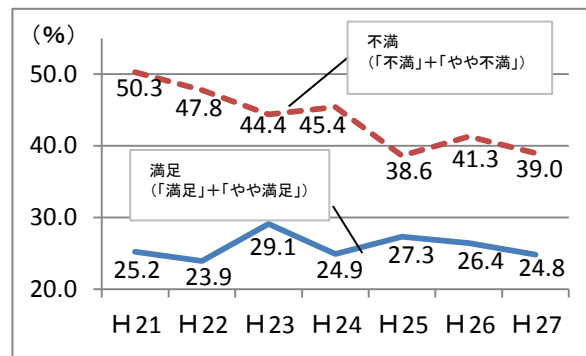
- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が26.9%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合は38.7%となっている。
また、平成26年調査と比べると、満足（「満足」+「やや満足」）の割合は28.0%から1.1ポイント低下しているものの、不満（「不満」+「やや不満」）の割合も40.5%から1.8ポイント低下している。
- 広域振興圏別にみると、沿岸では2年連続で満足率が上昇し、不満率が低下している。



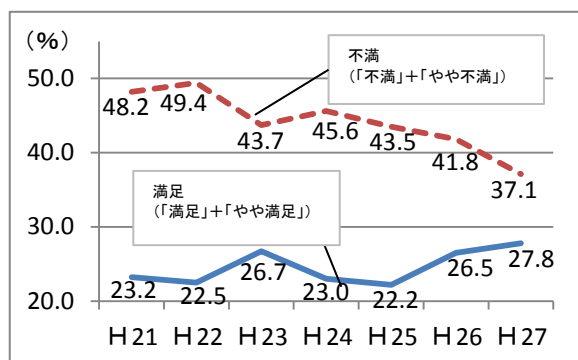
(県央広域振興圏)



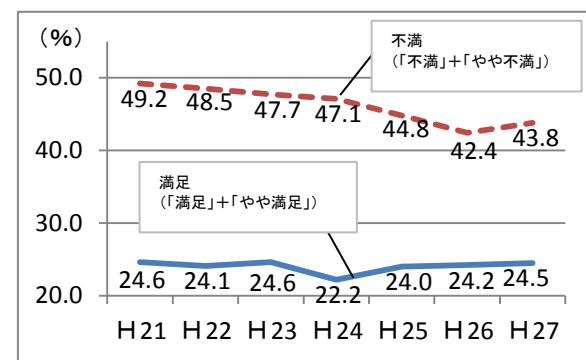
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「適切な医療体制」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「交通事故の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「海外での県産品の販路拡大」、「外国人も暮らしやすい地域社会」、「地域や学校での文化芸術活動」などの項目の重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
1	1	③	14	適切な医療体制
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	3	④	20	交通事故の少ない社会づくり
4	4	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	6	③	16	安心な子育て環境整備

重要度が低い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
46	46	①	7	海外での県産品の販路拡大
45	45	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
44	44	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
43	39	⑤	34	郷土愛の向上に向けた取組
42	41	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍

※項目は設問文を要約して記載している。(以下、同様)

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「地域や学校での文化芸術活動」、「県出身スポーツ選手の活躍」となっている。
- 一方、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」に関する項目の満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
1	1	⑥	39	ごみ減量やリサイクルの定着
2	2	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
3	3	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
4	4	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	9	⑦	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備

満足度が低い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
46	46	①	8	安定した就職環境
45	45	②	9	農林水産業の担い手確保
44	44	①	5	商店街のにぎわい
43	43	①	2	次世代を担う産業人材育成
42	41	①	6	中小企業の経営力の向上

【ニーズ度】

- ニーズ度(重要度－満足度)が高い項目は、「安定した就職環境」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「安心な子育て環境整備」となっている。
- 一方、「地域や学校での文化芸術活動」、「県出身スポーツ選手の活躍」、「外国人も暮らしやすい地域社会」などのニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
1	1	①	8	安定した就職環境
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	5	③	16	安心な子育て環境整備
4	4	②	9	農林水産業の担い手確保
5	6	①	5	商店街のにぎわい

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
46	46	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
45	45	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
44	42	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
43	44	⑦	46	通信ネットワークの活用
42	40	⑤	34	郷土愛の向上に向けた取組

7つの政策

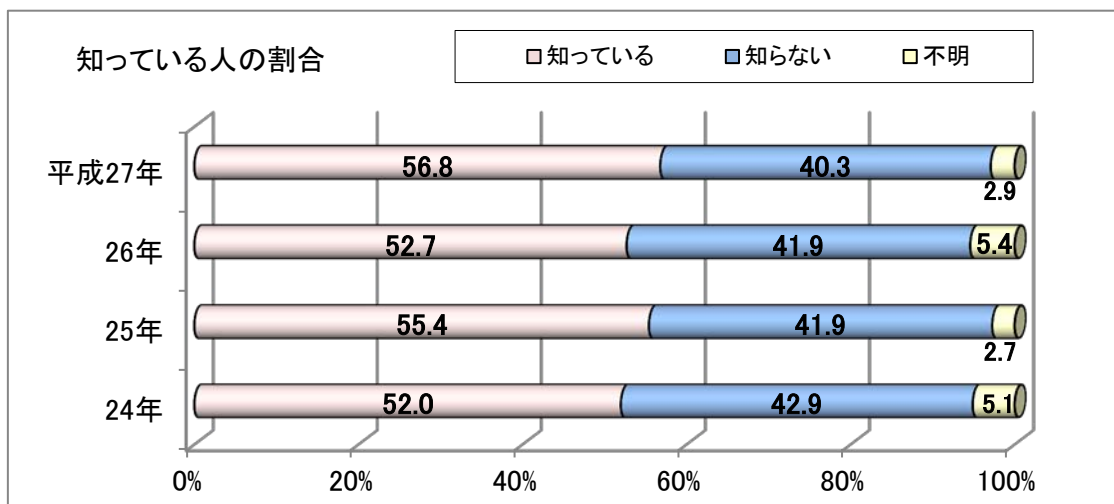
- ①: 産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～
- ②: 農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- ③: 医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～
- ④: 安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- ⑤: 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- ⑥: 環境～「環境王国いわて」の実現～
- ⑦: 社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について

大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか

役割分担について知っている人は6割弱

○ 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っている人の割合は56.8%となっている。



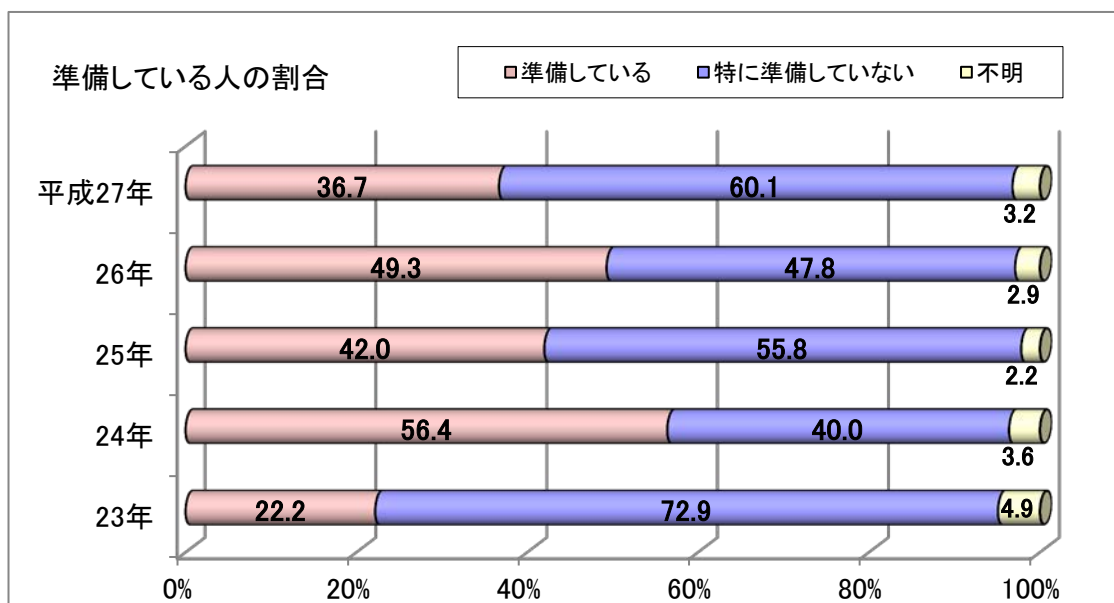
注:平成23年は調査なし。

問3-2 災害への対応について

普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか

4割弱の人が災害に備えた何らかの準備を行っている

○ 普段から災害に備え、何らかの準備をしている人の割合は36.7%となっている。

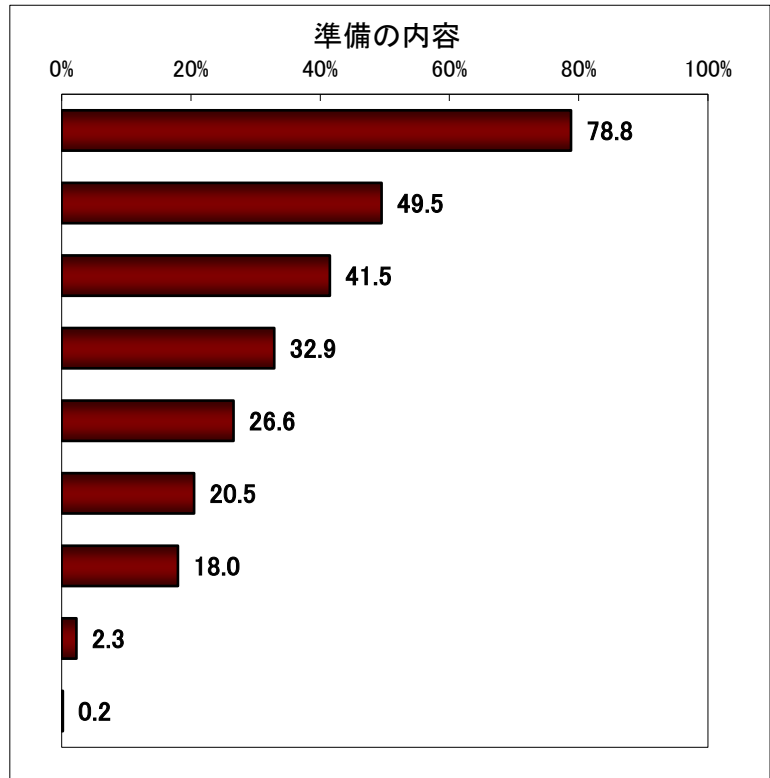


注:平成23年は東日本大震災津波発生前に調査を実施。

準備している場合

○ 準備している内容は、「家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している」が78.8%で最も多く、「家具などの転倒防止措置を行っている」が49.5%、「家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している」が41.5%などとなっている。

- 1 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
- 2 家具などの転倒防止措置を行っている
- 3 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
- 4 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている
- 5 地域で実施される防災訓練に年1回以上参加している
- 6 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
- 7 地域の自主防災組織に加入している
- 8 その他
- 9 不明



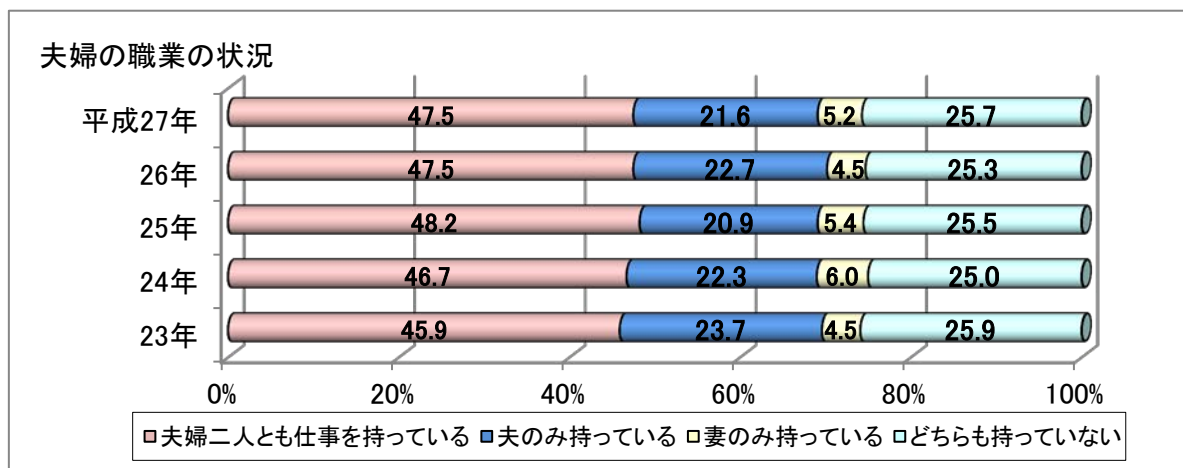
問3-3 家事関連時間について

夫婦世帯の方のみ

お二人とも職業をお持ちですか

夫婦二人とも仕事を持っている世帯は5割弱

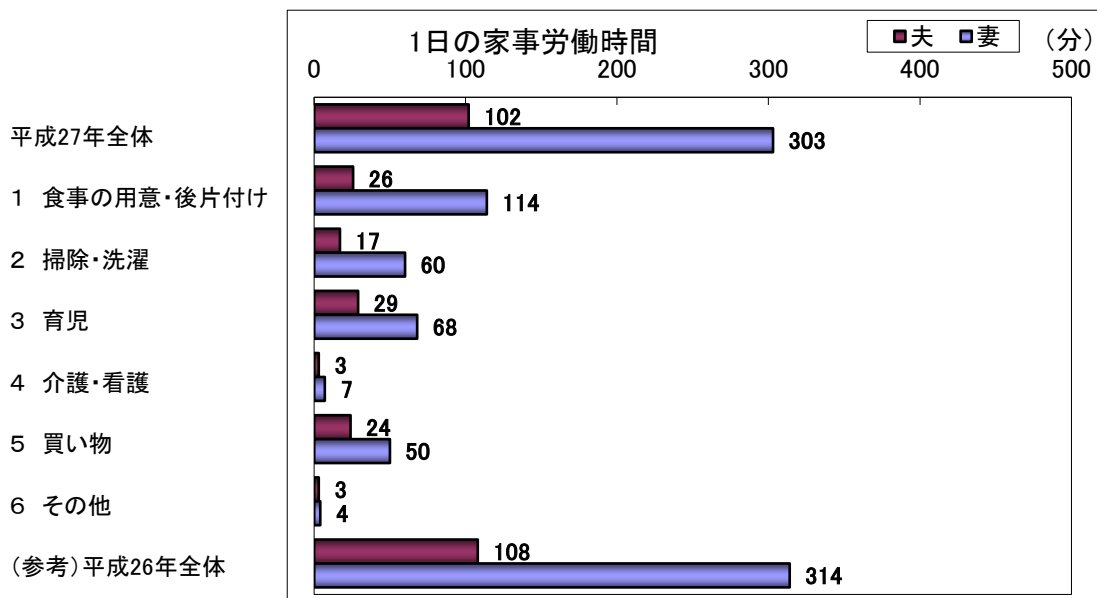
○ 夫婦世帯で二人とも仕事を持っている人の割合は47.5%となっている。



あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれくらい家事を行っていますか

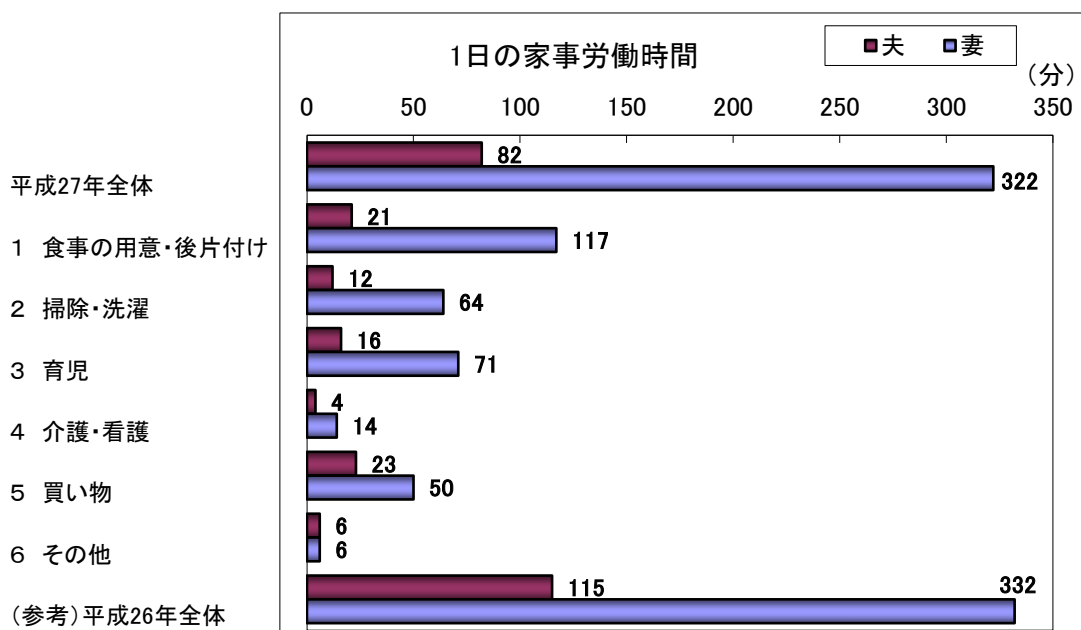
①夫婦二人とも仕事を持っている世帯

- 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は102分、「妻」の家事労働時間は303分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の33.7%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「育児」、「掃除・洗濯」の順となっている。



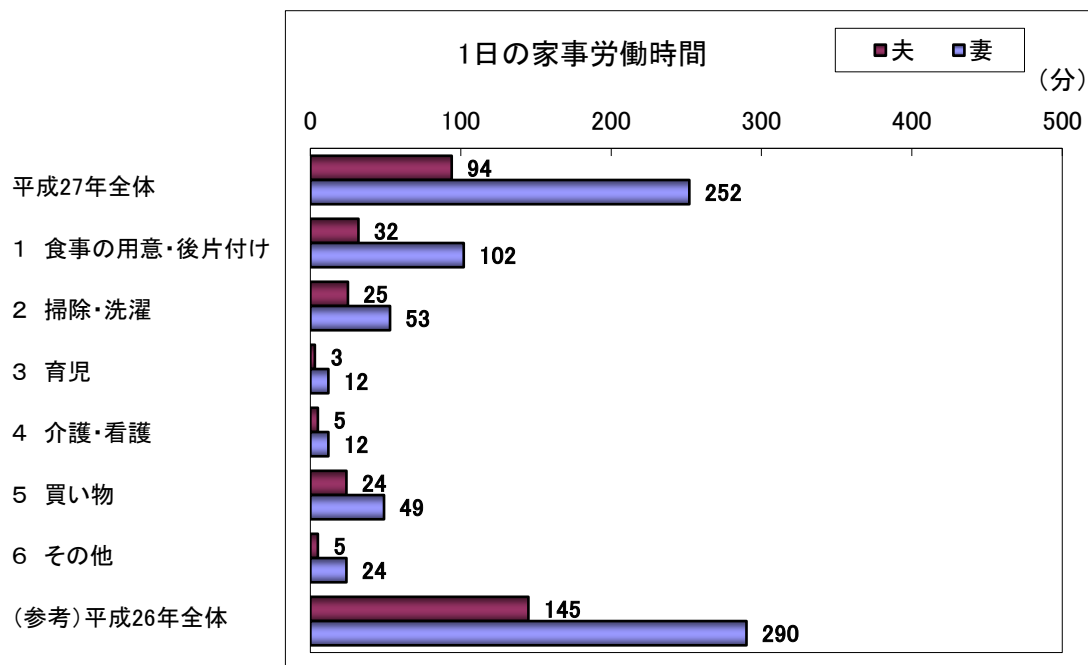
②夫のみ仕事を持っている世帯

- 夫のみ仕事を持っている世帯の「夫」の家事労働時間は82分、「妻」の家事労働時間は322分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の25.5%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「育児」、「掃除・洗濯」の順となっている。



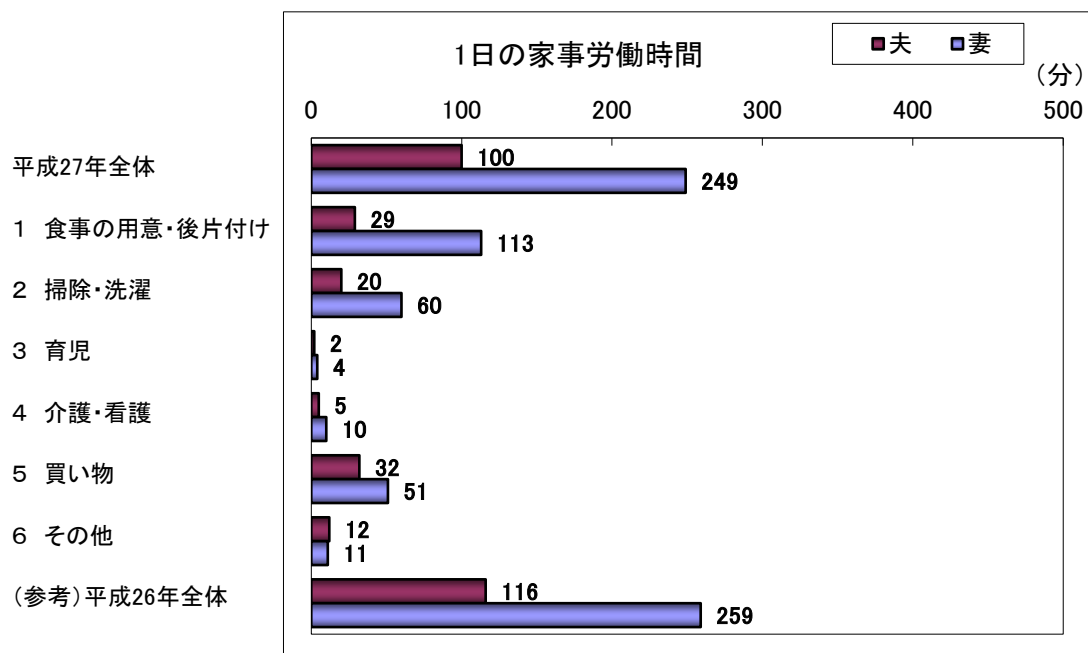
③妻のみ仕事を持っている世帯

- 妻のみ仕事を持っている世帯の「夫」の家事労働時間は94分、「妻」の家事労働時間は252分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の37.3%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「掃除・洗濯」、「買い物」の順となっている。



④二人とも仕事を持っていない世帯

- 二人とも仕事を持っていない世帯の「夫」の家事労働時間は100分、「妻」の家事労働時間は249分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の40.2%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「掃除・洗濯」、「買い物」の順となっている。

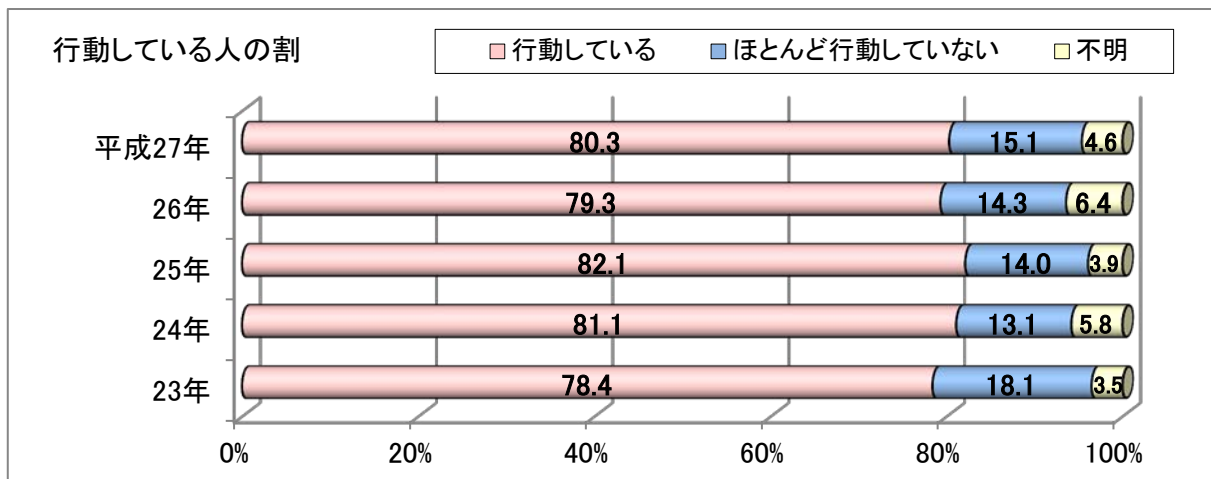


問3-4 地球温暖化防止への対応について

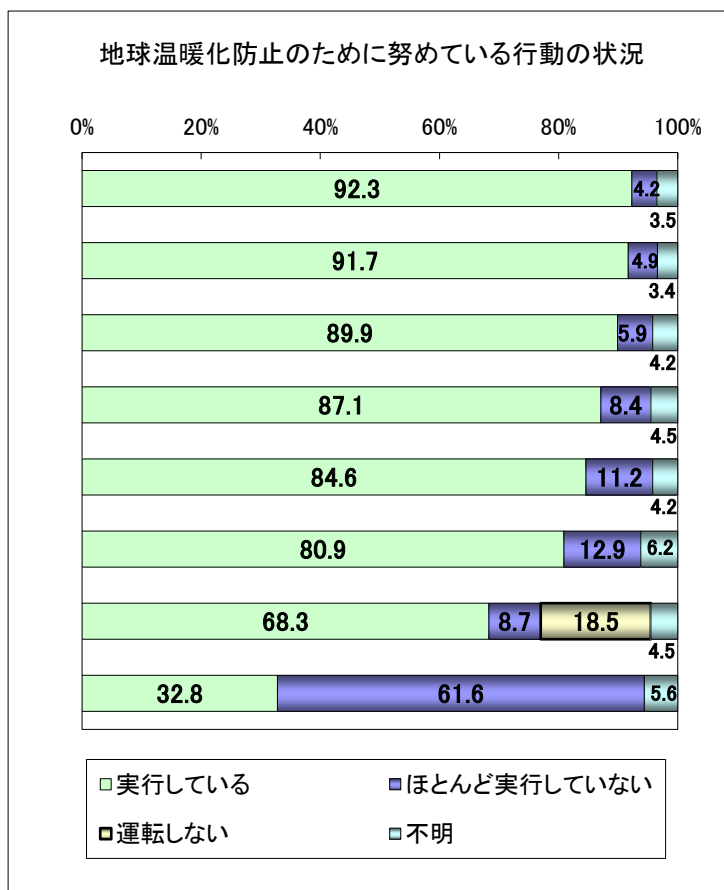
地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか

地球温暖化防止のための行動に努めている人は約8割

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で80.3%となっている。



○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなど生ごみを減らす」が92.3%と最も多く、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」が91.7%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」が89.9%となっている。

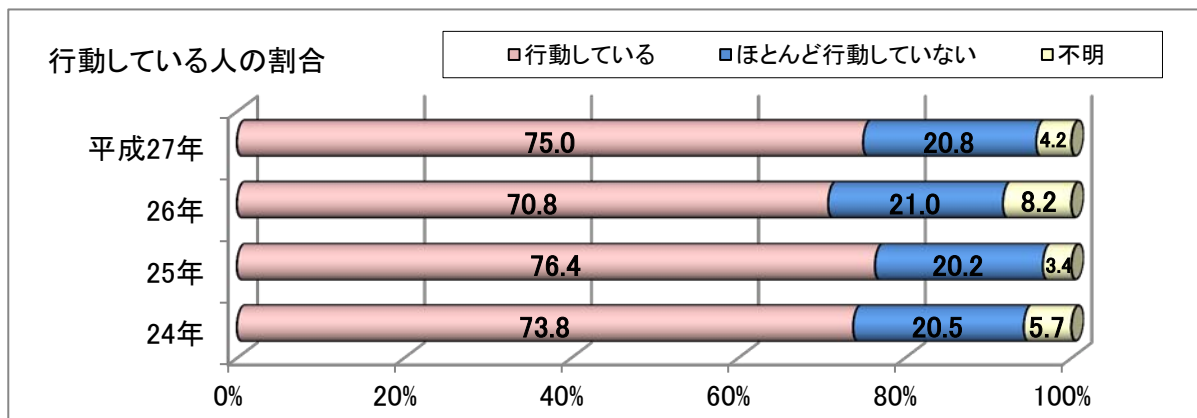


問3-5 ごみの減量化への対応について

ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか

ごみの減量化などのための行動に努めている人は75%

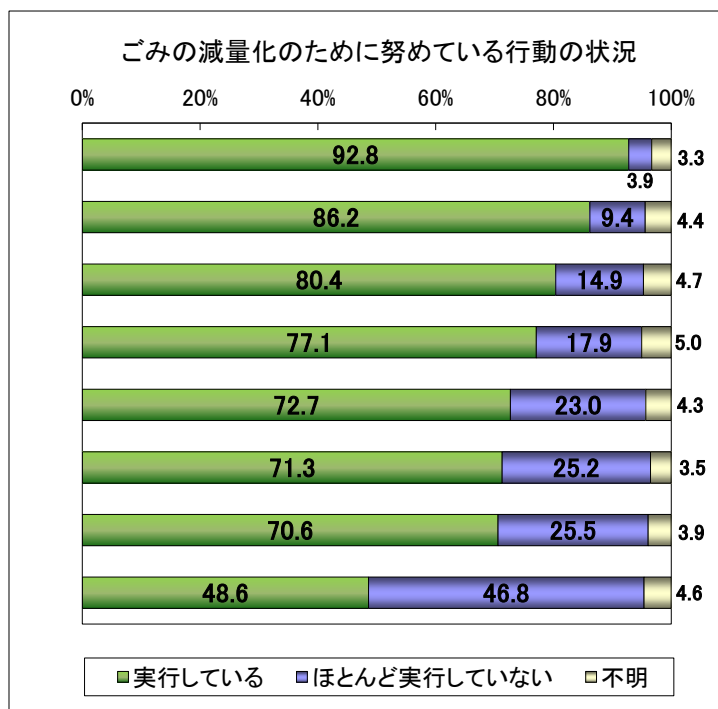
○ ごみの減量化などのための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で75.0%となっている。



注:平成23年は調査なし。

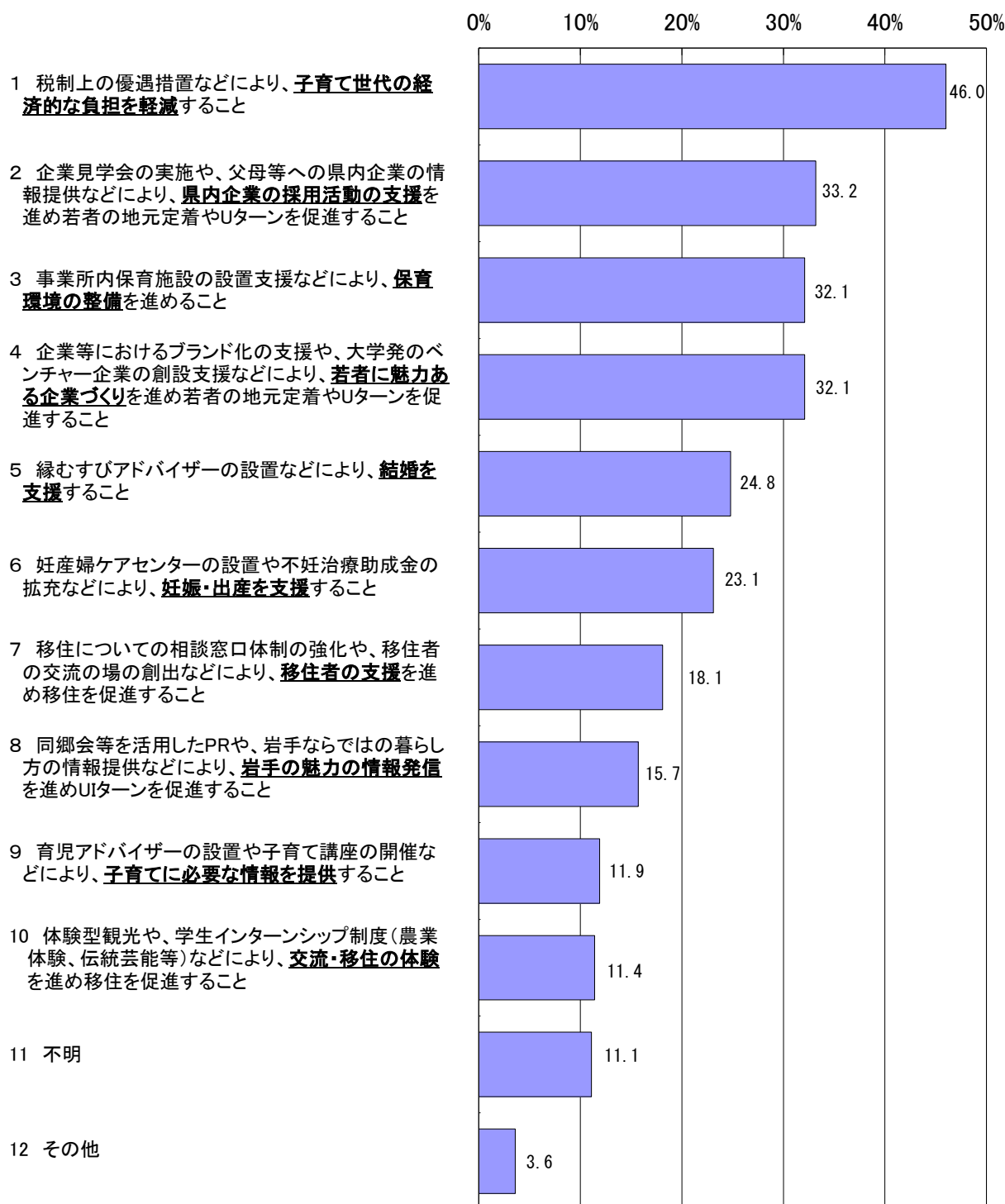
○ 行動の内容は、「リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)」が92.8%と最も多く、次いで「リターナブル容器や詰め替え商品を利用している」が86.2%、「過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる」が80.4%となっている。

- 1 リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)
- 2 リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している
- 3 過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる
- 4 使い捨て商品の購入を控えている
- 5 再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している
- 6 買い物のときは買い物袋(マイバック)を持参し、レジ袋は辞退している
- 7 コンポストなどにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている
- 8 リサイクルショップを利用している



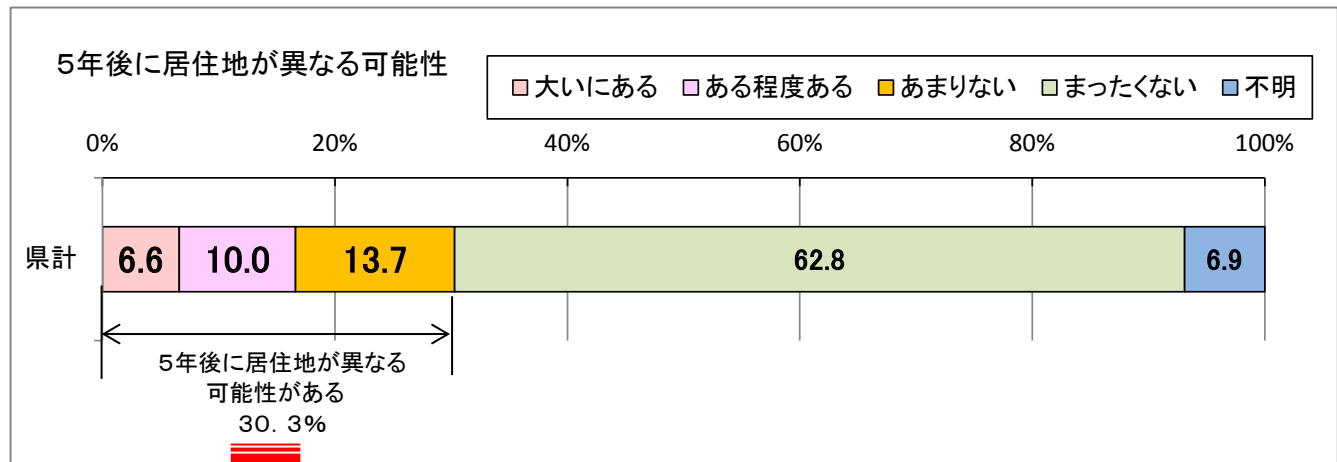
問4-1 近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきだと思いますか。(3つまで)

○ 人口減少のなか特に重要と思われる施策は、「子育て世代の経済的な負担を軽減」することと考える人の割合が46.0%と最も多く、次いで「県内企業の採用活動の支援」を進めることと考える人の割合が33.2%となっている。

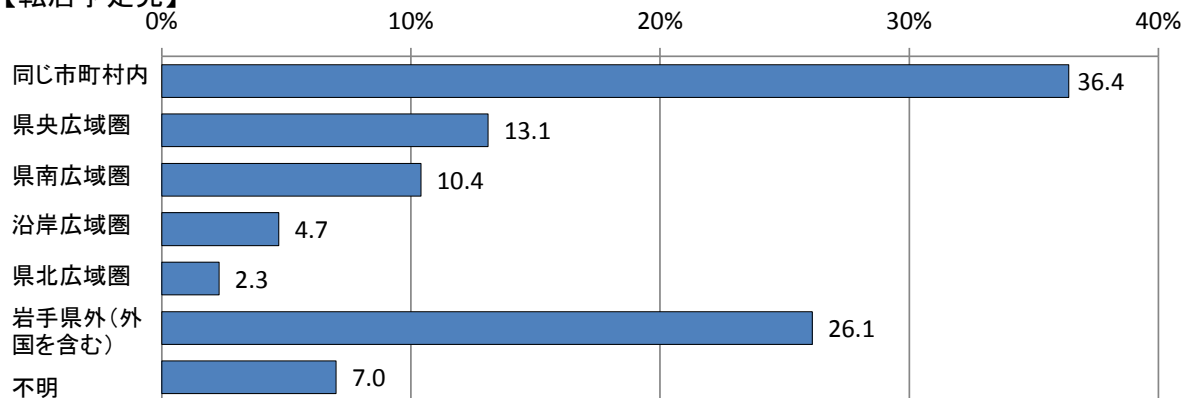


問4-2 5年後に居住地が異なる可能性はありますか。

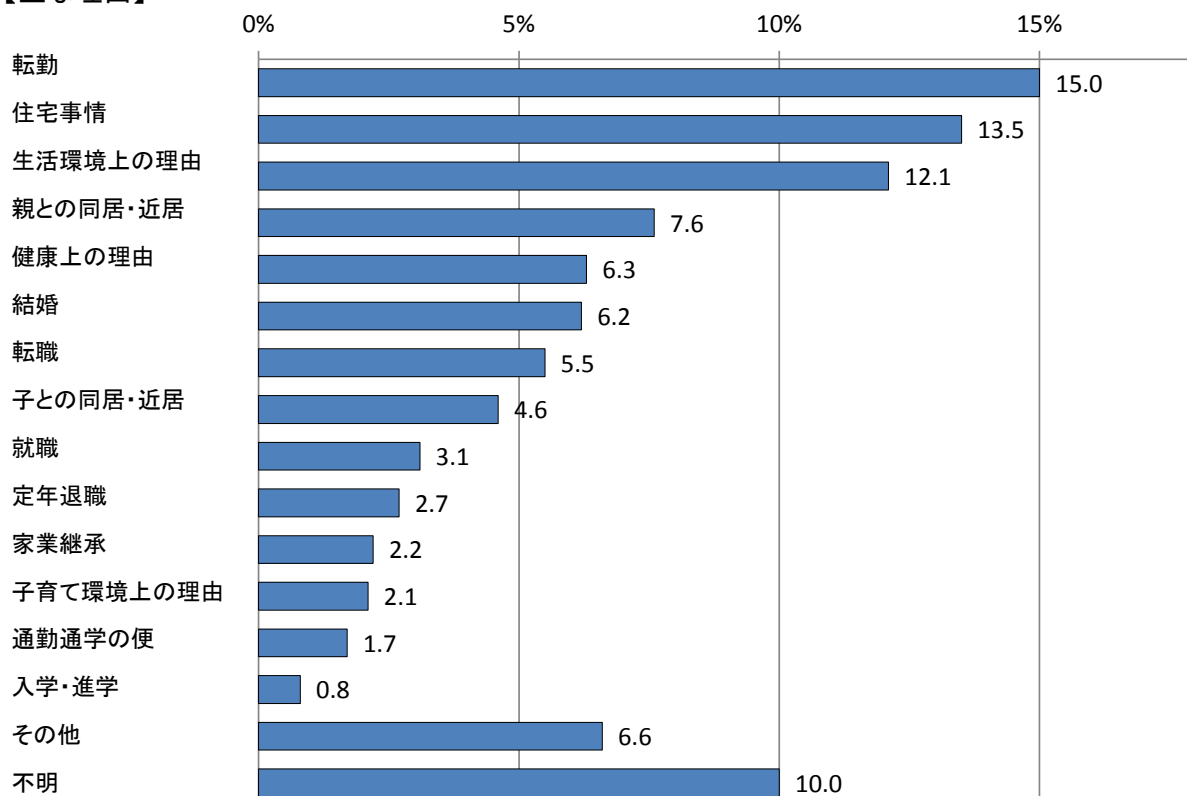
- 5年後に居住地が異なる可能性があると考える人は、30.3%となっている。
- 転居予定先としては、「同じ市町村」が36.4%である一方、「岩手県外」が26.1%となっている。
- 主な理由としては、「転勤」が15.0%、「住宅事情」が13.5%、「生活環境上の理由」が12.1%となっている。
- 5年後に居住地が異なる可能性がまったくないと考える人は62.8%となっている。



【転居予定先】



【主な理由】



(参考1)問2の各調査項目一覧(満足度、重要度、ニーズ度得点)

7つの政策	No.	項目	重要度	満足度	ニーズ度
①産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～	1	県内経済の活性化	4.135	2.507	1.629
	2	次世代を担う産業人材育成	4.258	2.412	1.846
	3	地域資源を活用した製品開発・販売	4.100	2.748	1.352
	4	魅力ある観光地づくり	4.025	2.686	1.339
	5	商店街のにぎわい	4.242	2.288	1.954
	6	中小企業の経営力の向上	4.233	2.474	1.759
	7	海外での県産品の販路拡大	3.604	2.726	0.878
	8	安定した就職環境	4.599	2.139	2.460
②農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～	9	農林水産業の担い手確保	4.265	2.272	1.993
	10	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.106	2.645	1.461
	11	農林水産物のブランド確立	4.172	2.742	1.429
	12	活力ある農山漁村の形成	4.007	2.631	1.375
	13	環境に配慮した農林水産業の経営	4.293	2.642	1.651
③医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～	14	適切な医療体制	4.817	2.929	1.889
	15	健康に関する相談・指導	4.436	3.101	1.335
	16	安心な子育て環境整備	4.658	2.573	2.084
	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり	4.687	2.542	2.145
④安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	18	充実した地域防災	4.440	3.111	1.329
	19	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.681	3.225	1.455
	20	交通事故の少ない社会づくり	4.682	3.064	1.618
	21	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.509	2.898	1.612
	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会	4.608	3.073	1.534
	23	移住や来訪による地域活力向上	4.385	2.752	1.633
	24	市民活動へ参加しやすい社会	4.003	3.123	0.879
	25	地域全体での青少年の健全育成	4.237	3.018	1.219
	26	個性と能力を發揮できる社会の実現	4.160	2.802	1.358
	⑤教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	27	学校と地域との協力	4.397	3.022
28		子どもの学力向上に向けた教育	4.404	2.978	1.426
29		人間性豊かな子どもの育成	4.619	2.973	1.646
30		子どもの体力向上	4.480	3.151	1.329
31		全ての子どもが学べる環境	4.472	2.968	1.504
32		自分に適した内容や方法で学べる環境	4.186	2.916	1.270
33		大学の地域社会貢献	4.164	2.962	1.201
34		郷土愛の向上に向けた取組	3.997	3.123	0.874
35		地域や学校での文化芸術活動	3.934	3.237	0.697
36		外国人も暮らしやすい地域社会	3.786	2.963	0.823
37		県出身スポーツ選手の活躍	3.998	3.233	0.765
⑥環境～「環境王国いわて」の実現～	38	地域での温暖化防止の取組	4.427	2.896	1.532
	39	ごみ減量やリサイクルの定着	4.492	3.477	1.015
	40	自然環境を大切に生活	4.568	3.209	1.359
⑦社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.403	3.223	1.180
	42	災害に強く安心して暮らせる県土	4.648	2.803	1.845
	43	生活基盤整備が進んだ生活環境	4.485	2.709	1.776
	44	社会資本の維持管理	4.319	2.854	1.465
	45	公共交通機関の維持・確保	4.442	2.766	1.676
	46	通信ネットワークの活用	4.014	3.171	0.843
平均			4.317	2.864	1.453

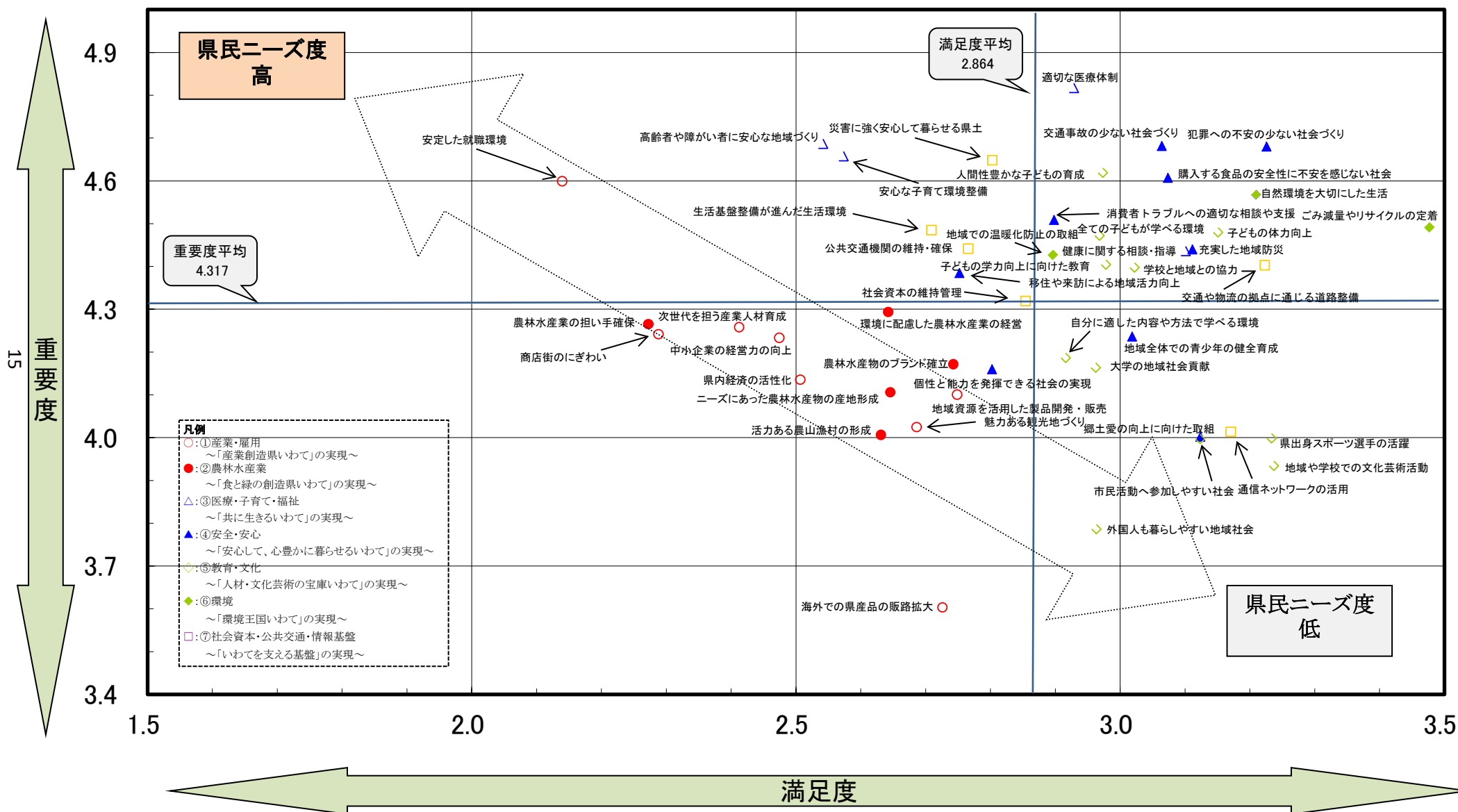
〔用語の説明〕

重要度(平均) : 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均) : 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度 : 重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考2)問2の項目別の重要度と満足度の関係



※ ——— は各項目の平均値(重要度:4.317、満足度:2.864)

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)			(参考)	上段:重要度 下段:満足度			
		0	1	2		0	1	2	3
8	安定した就職環境			2.460					4.599
17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり			2.145			2.139		4.687
16	安心な子育て環境整備			2.084			2.542		4.658
9	農林水産業の担い手確保			1.993			2.573		4.265
5	商店街のにぎわい			1.954			2.272		4.242
14	適切な医療体制			1.889			2.288		4.817
2	次世代を担う産業人材育成			1.846			2.929		4.258
42	災害に強く安心して暮らせる県土			1.845			2.412		4.648
43	生活基盤整備が進んだ生活環境			1.776			2.803		4.485
6	中小企業の経営力の向上			1.759			2.709		4.233
45	公共交通機関の維持・確保			1.676			2.474		4.442
13	環境に配慮した農林水産業の経営			1.651			2.766		4.293
29	人間性豊かな子どもの育成			1.646			2.642		4.619
23	移住や来訪による地域活力向上			1.633			2.973		4.385
1	県内経済の活性化			1.629			2.752		4.135
20	交通事故の少ない社会づくり			1.618			2.507		4.682
21	消費者トラブルへの適切な相談や支援			1.612			3.064		4.509
22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会			1.534			2.898		4.608
38	地域での温暖化防止の取組			1.532			3.073		4.427
31	全ての子どもが学べる環境			1.504			2.896		4.472
44	社会資本の維持管理			1.465			2.968		4.319
10	ニーズにあった農林水産物の産地形成			1.461			2.854		4.106
19	犯罪への不安の少ない社会づくり			1.455			2.645		4.681
11	農林水産物のブランド確立			1.429			3.225		4.172
28	子どもの学力向上に向けた教育			1.426			2.742		4.404
12	活力ある農山漁村の形成			1.375			2.978		4.007
27	学校と地域との協力			1.375			2.631		4.397
40	自然環境を大切にしたい生活			1.359			3.022		4.568
26	個性と能力を発揮できる社会の実現			1.358			3.209		4.160
3	地域資源を活用した製品開発・販売			1.352			2.802		4.100
4	魅力ある観光地づくり			1.339			2.748		4.025
15	健康に関する相談・指導			1.335			2.686		4.436
18	充実した地域防災			1.329			3.101		4.440
30	子どもの体力向上			1.329			3.111		4.480
32	自分に適した内容や方法で学べる環境			1.270			3.151		4.186
25	地域全体での青少年の健全育成			1.219			2.916		4.237
33	大学の地域社会貢献			1.201			3.018		4.164
41	交通や物流の拠点に通じる道路整備			1.180			2.962		4.403
39	ごみ減量やリサイクルの定着			1.015			3.223		4.492
24	市民活動へ参加しやすい社会			0.879			3.477		4.003
7	海外での県産品の販路拡大			0.878			3.123		3.604
34	郷土愛の向上に向けた取組			0.874			2.726		3.997
46	通信ネットワークの活用			0.843			3.123		4.014
36	外国人も暮らしやすい地域社会			0.823			3.171		3.786
37	県出身スポーツ選手の活躍			0.765			2.963		3.998
35	地域や学校での文化芸術活動			0.697			3.233		3.934
							3.237		

居住地（広域振興圏）別
男女別
年代別
集計結果
（問1、問2、問3、問4）

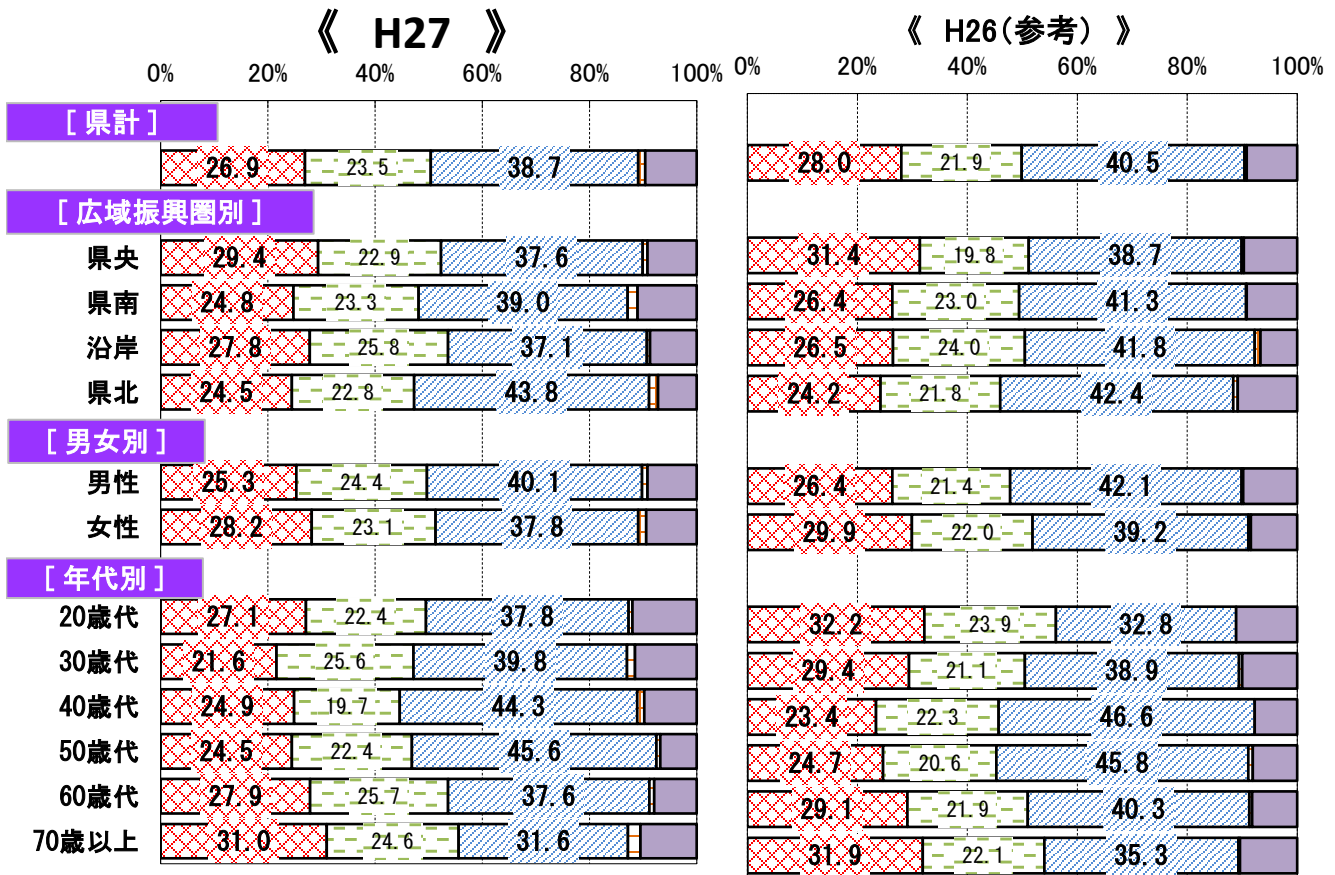
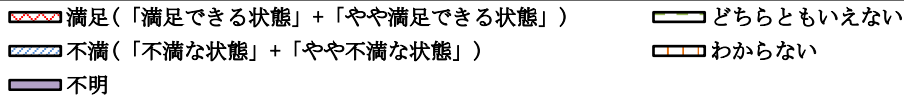
調査項目一覧

		頁
問1	あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。	19
問2	「いわて県民計画」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」に関連する1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。	
	①産業・雇用 ～「産業創造県いわて」の実現～	
問2-1	新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。	22
問2-2	次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。	24
問2-3	地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。	26
問2-4	魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	28
問2-5	身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	30
問2-6	中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。	32
問2-7	海外における県産品の販路の拡大が図られること。	34
問2-8	県内に職を求めの人が希望どおりに就職できること。	36
	②農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～	
問2-9	地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	38
問2-10	消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。	40
問2-11	本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。	42
問2-12	都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。	44
問2-13	地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。	46
	③医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～	
問2-14	必要な医療を適切に受けられること。	48
問2-15	病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。	50
問2-16	安心して子どもを産み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	52
問2-17	高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。	54
	④安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	
問2-18	地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	56
問2-19	犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	58
問2-20	交通事故が少ない社会であること。	60
問2-21	悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	62
問2-22	購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。	64
問2-23	岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。	66
問2-24	だれもが市民活動に参加できる社会であること。	68
問2-25	地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	70
問2-26	女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	72
	⑤教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	
問2-27	学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。	74
問2-28	子どもたちの学力が向上する教育がされていること。	76
問2-29	子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	78
問2-30	子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。	80
問2-31	学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	82
問2-32	学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。	84
問2-33	県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	86
問2-34	郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること。	88
問2-35	地域や学校などで文化芸術（芸術、祭り、行事など）の鑑賞や活動が活発に行われていること。	90
問2-36	外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。	92
問2-37	スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。	94
	⑥環境 ～「環境王国いわて」の実現～	
問2-38	地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組が各地域で活発に行われていること。	96
問2-39	ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル（資源ごみの分別など）が定着していること。	98
問2-40	大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	100
	⑦社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～	
問2-41	高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	102
問2-42	防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	104
問2-43	道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	106
問2-44	道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	108
問2-45	鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	110
問2-46	携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。	112
問3	あなたの普段の行動についてお聞きします。	
問3-1	あなたは、大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っていますか。	114
問3-2	あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。	116
問3-3	あなたとあなたの夫（妻）は、普段、どれくらい家事を行っていますか。	118
問3-4	あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。	124
問3-5	あなたは、ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか。	126
問4	「いわて県民計画」の推進に生かしていくために、お聞きします。	
問4-1	近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきと思いますか。	128
問4-2（1）	あなたは、5年後に居住地が異なる可能性はありますか。	130
問4-2（2）	あなたが、転居予定先として考えられるのは、次のうちどれですか。	132
問4-2（3）	5年後に居住地が異なる可能性の主な理由は何ですか。	134

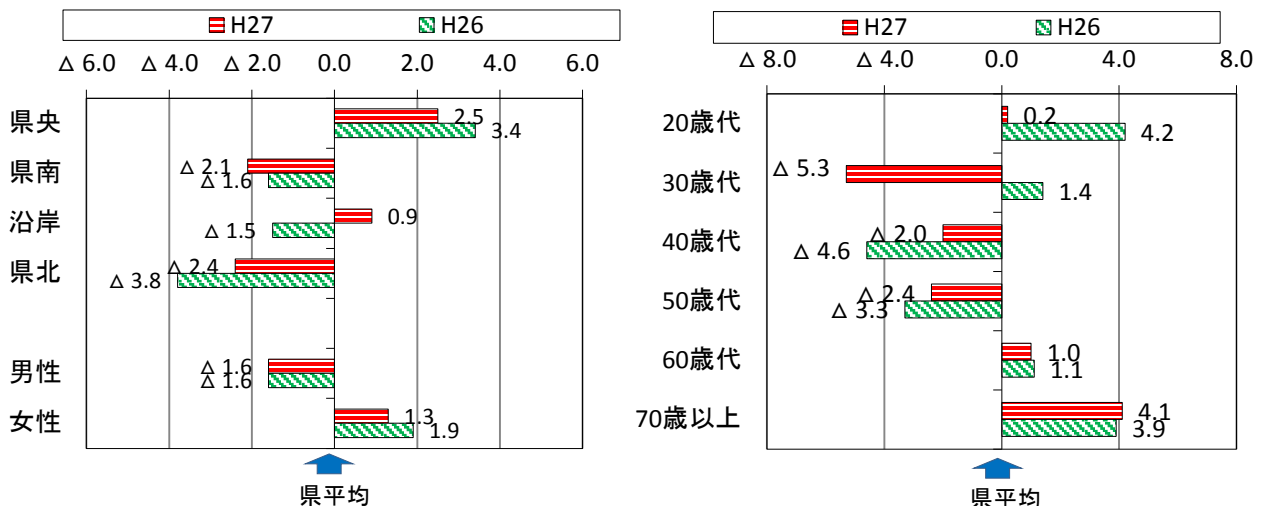
問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

前回と比べて満足の割合はほとんど変化なし

- 広域振興圏別にみると、沿岸及び県北で満足(「満足」+「やや満足」)の割合が上昇し、県北で不満(「不満」+「やや不満」)の割合が上昇している。
- 男女別にみると、男女とも満足及び不満の割合がともに低下している。
- 年代別にみると、満足の割合は40歳代を除く全ての年代で低下しており、また、不満の割合は20歳代及び30歳代を除く全ての年代で低下している。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.5ポイント)、男女別では男性(△1.6ポイント)、年代別では30歳代(△5.3ポイント)となっている。



満足の県平均との差



(広域振興圏別・男女別・年代別の回答内訳及び満足度平均(5カ年分))

5年前(平成23年)と比べて満足度が上昇

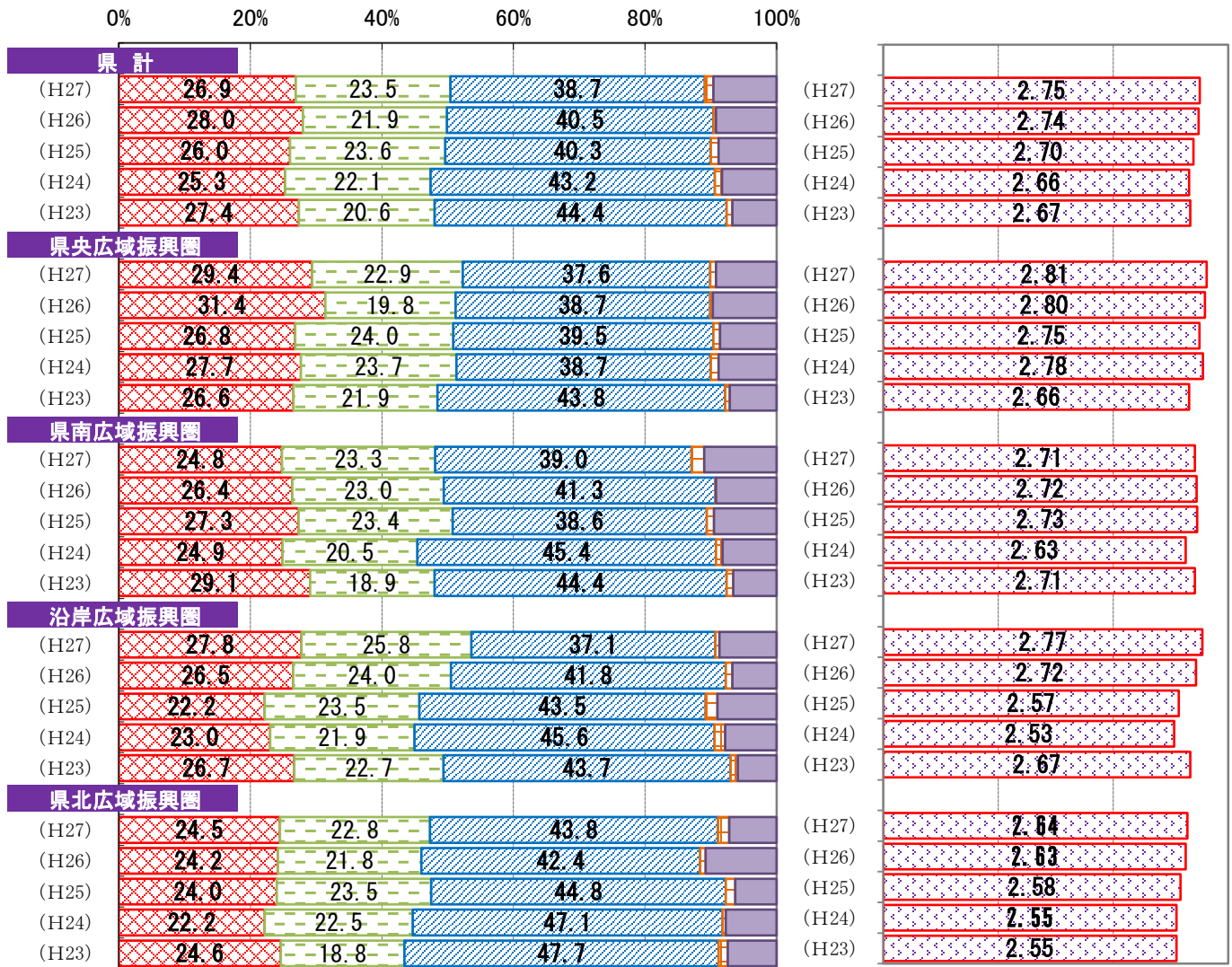
- 県計では、満足度の平均が2.75となっており、5年前と比べて0.08ポイント上昇している。
- 属性別にみると、広域振興圏では県央、沿岸及び県北、男女別では女性、年代別では20歳代から60歳代において、5年前と比べて満足度が上昇している。

<回答内訳>

- 満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
- どちらともいえない
- 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
- わからない
- 不明

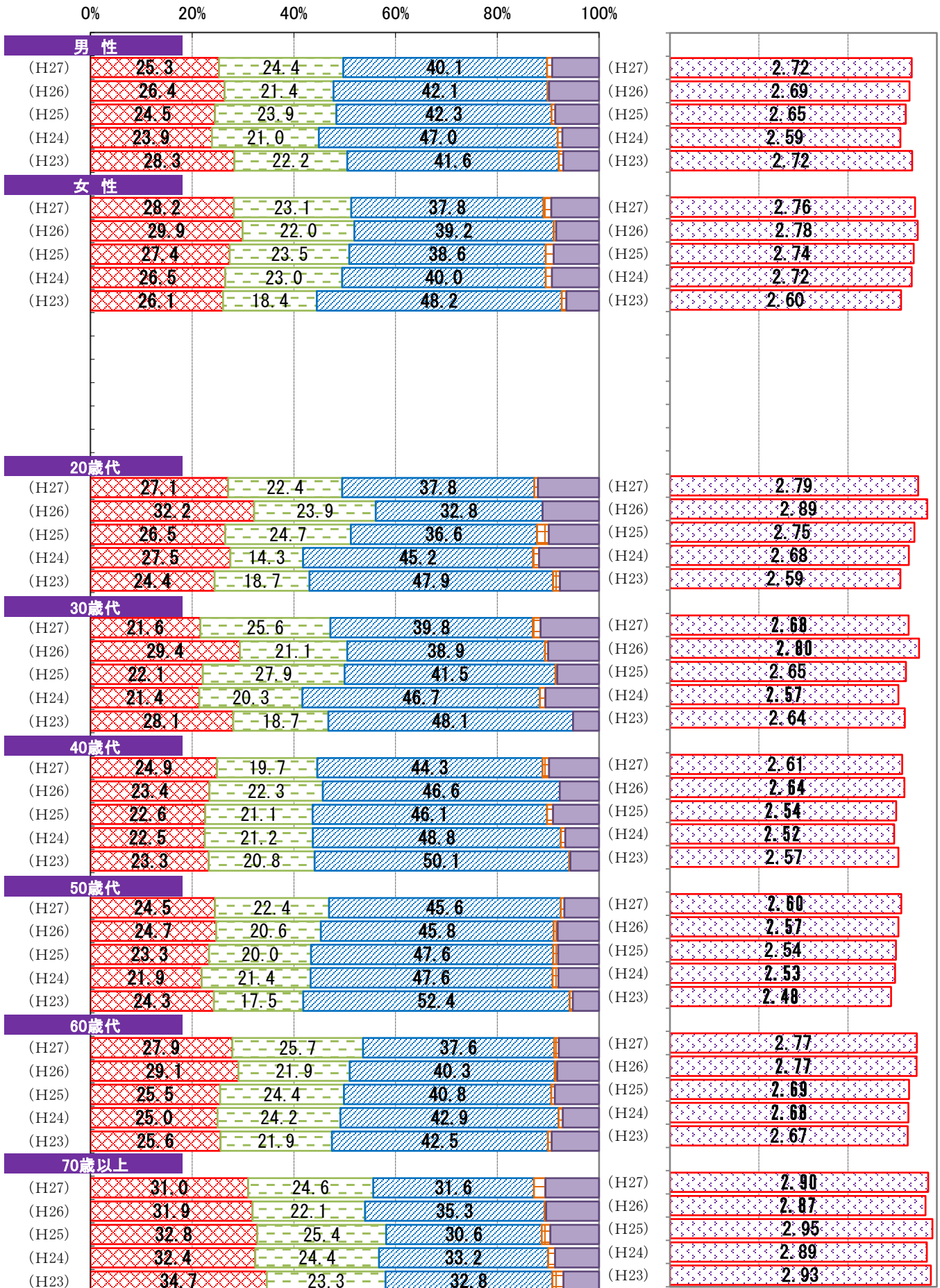
<満足度平均>

「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。



<回答内訳>

<満足度平均>



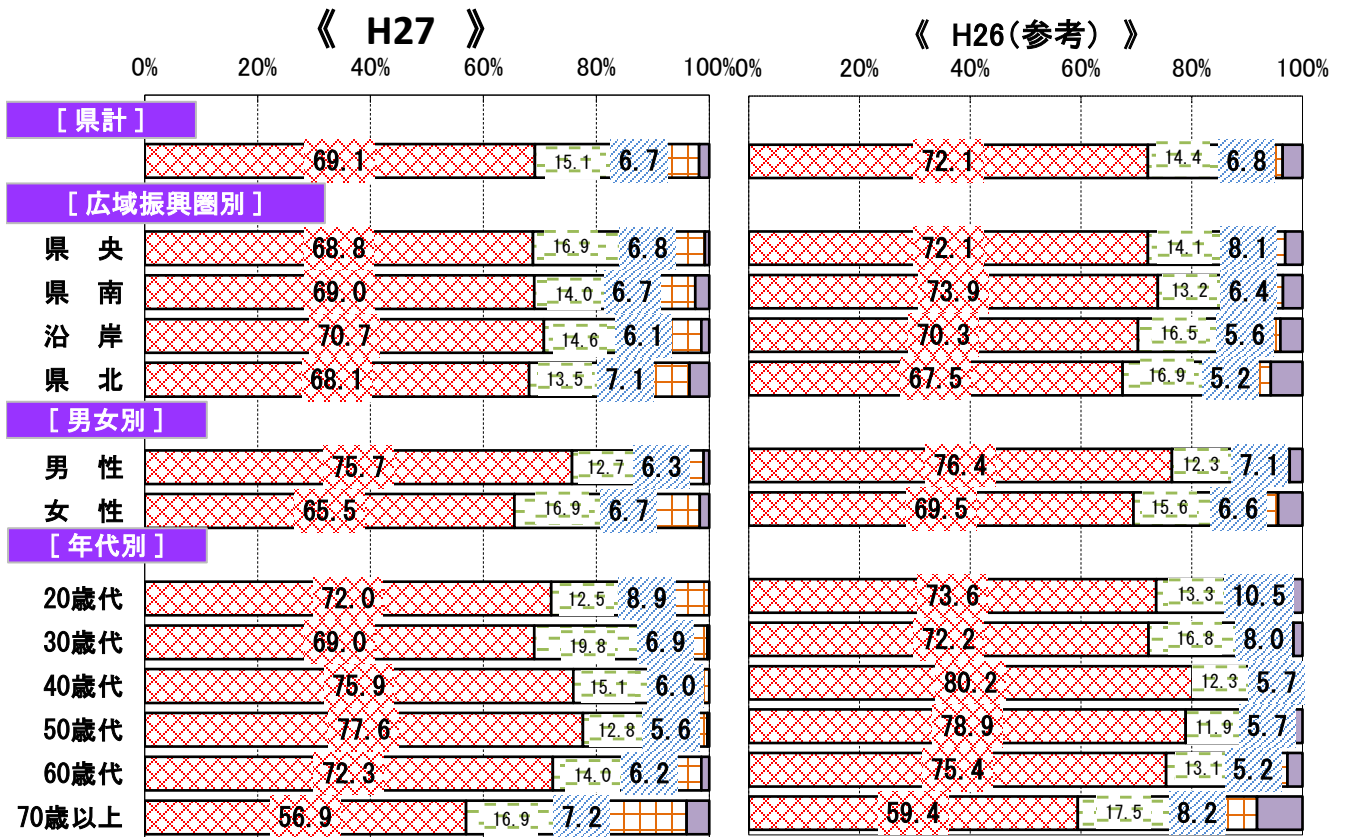
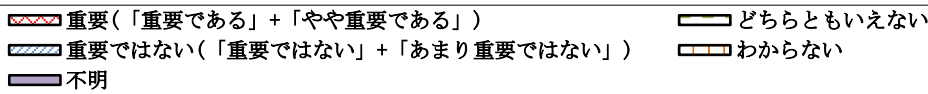
問2 「いわて県民計画」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」に関連する1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。

1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。

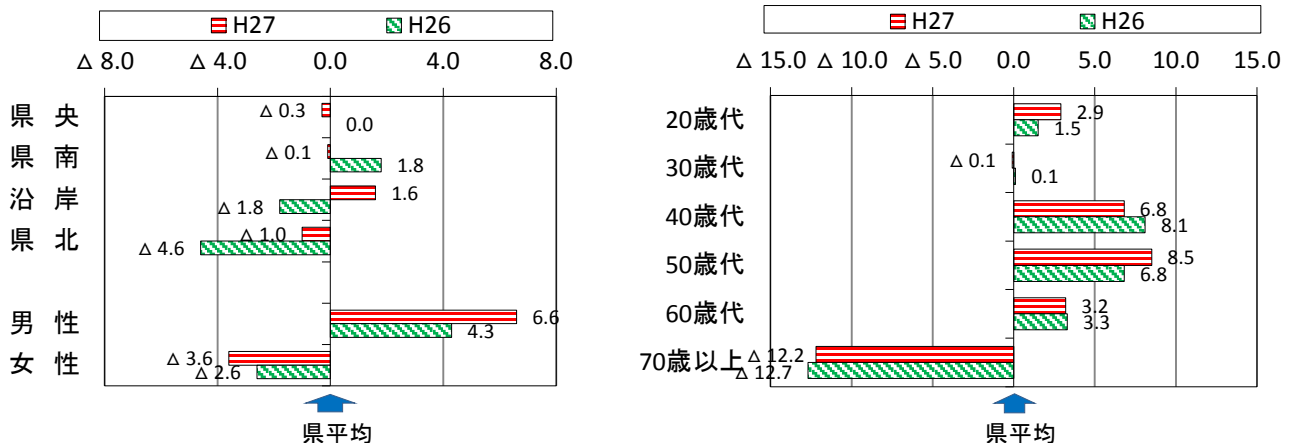
(1) 重要度について

重要が7割弱(69.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が69.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合6.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(70.7%)、男女別では男性(75.7%)、年代別では50歳代(77.6%)において重要の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(1.6ポイント)、男女別では男性(6.6ポイント)、年代別では70歳以上(△12.2ポイント)である。



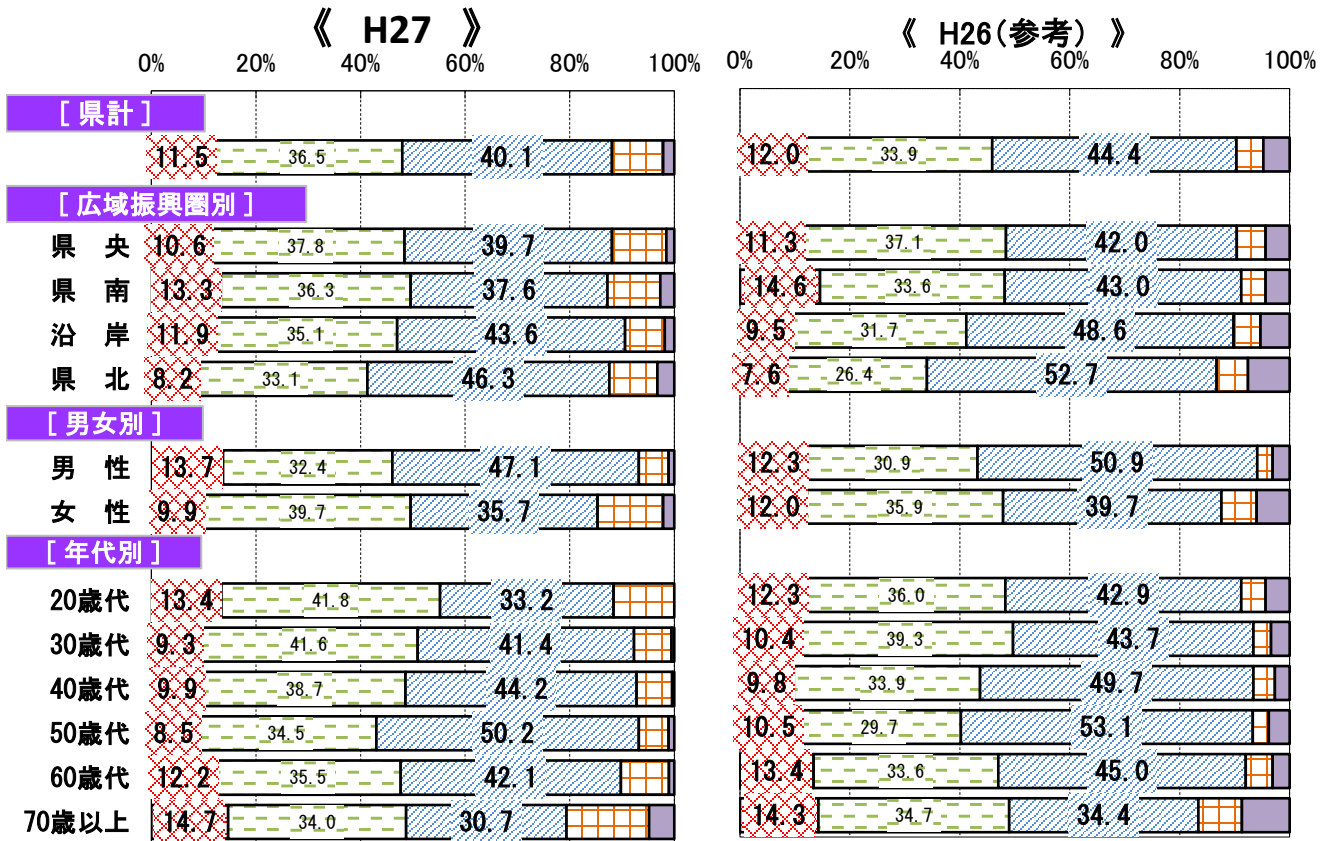
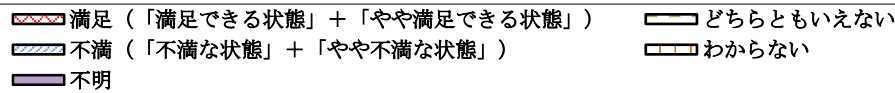
重要の県平均との差



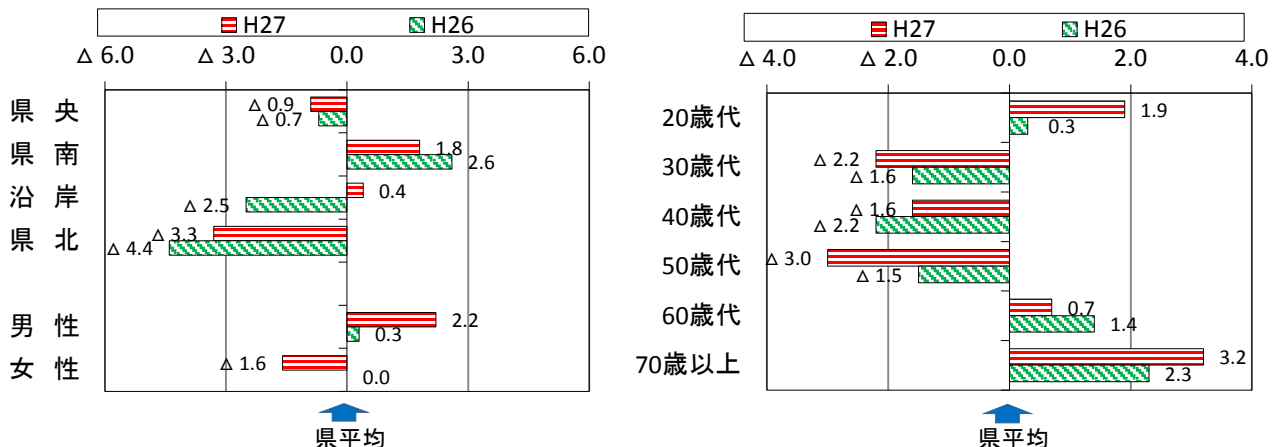
(2) 満足度について

満足が1割強(11.5%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が11.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合40.1%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(13.3%)、男女別では男性(13.7%)、年代別では70歳以上(14.7%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.3ポイント)、男女別では男性(2.2ポイント)、年代別では70歳以上(3.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

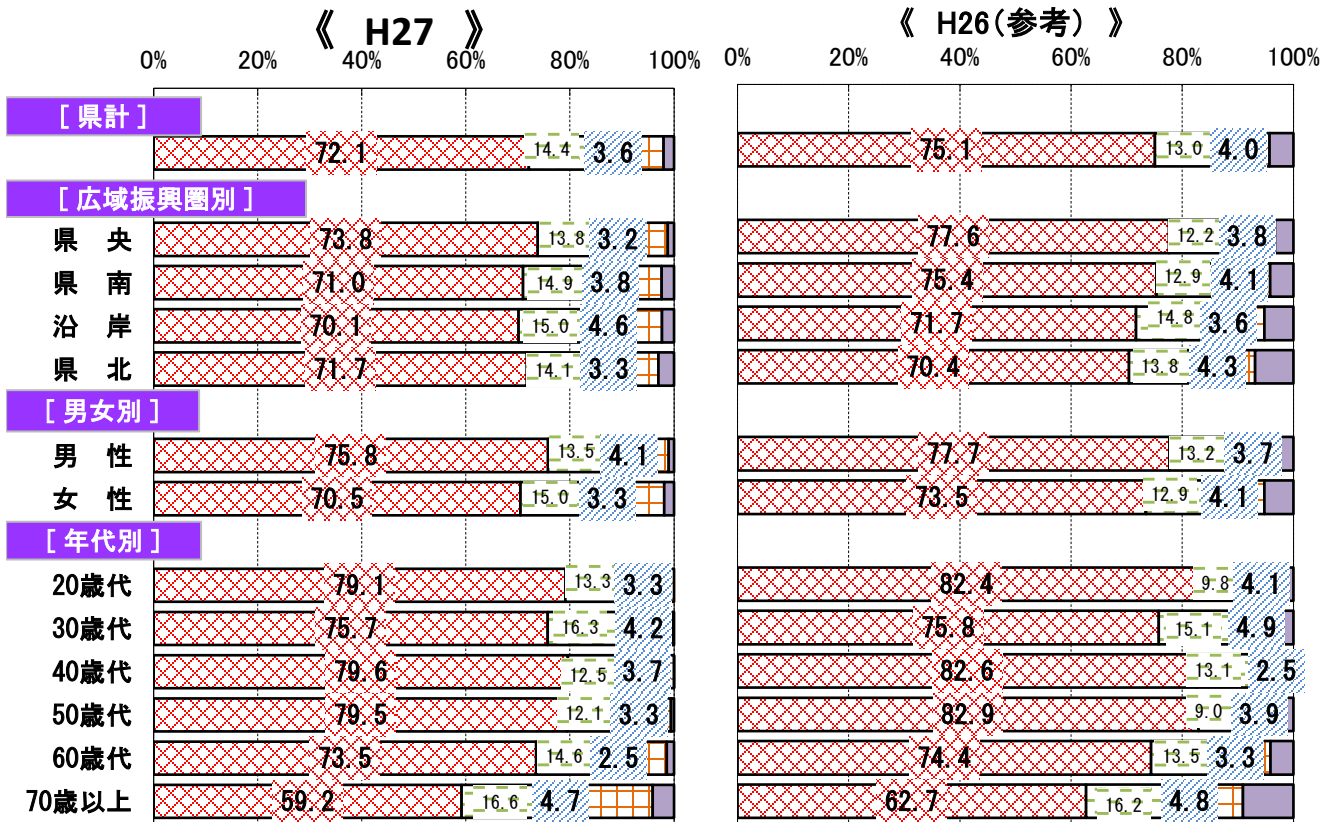
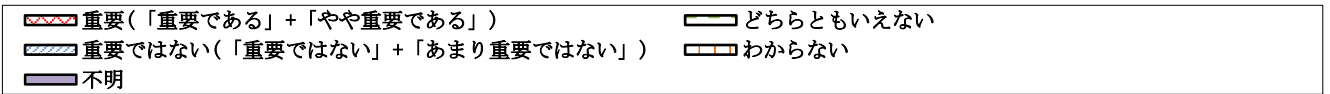


問2-2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。

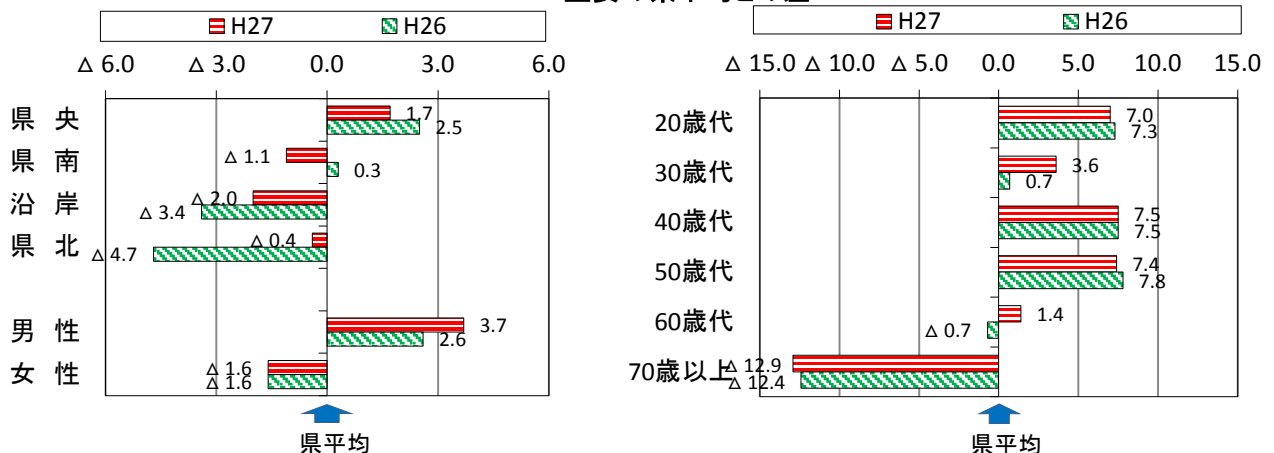
(1) 重要度について

重要が7割強(72.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が72.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.6%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(73.8%)、男女別では男性(75.8%)、年代別では40歳代(79.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.0ポイント)、男女別では男性(3.7ポイント)、年代別では70歳以上(△12.9ポイント)となっている。



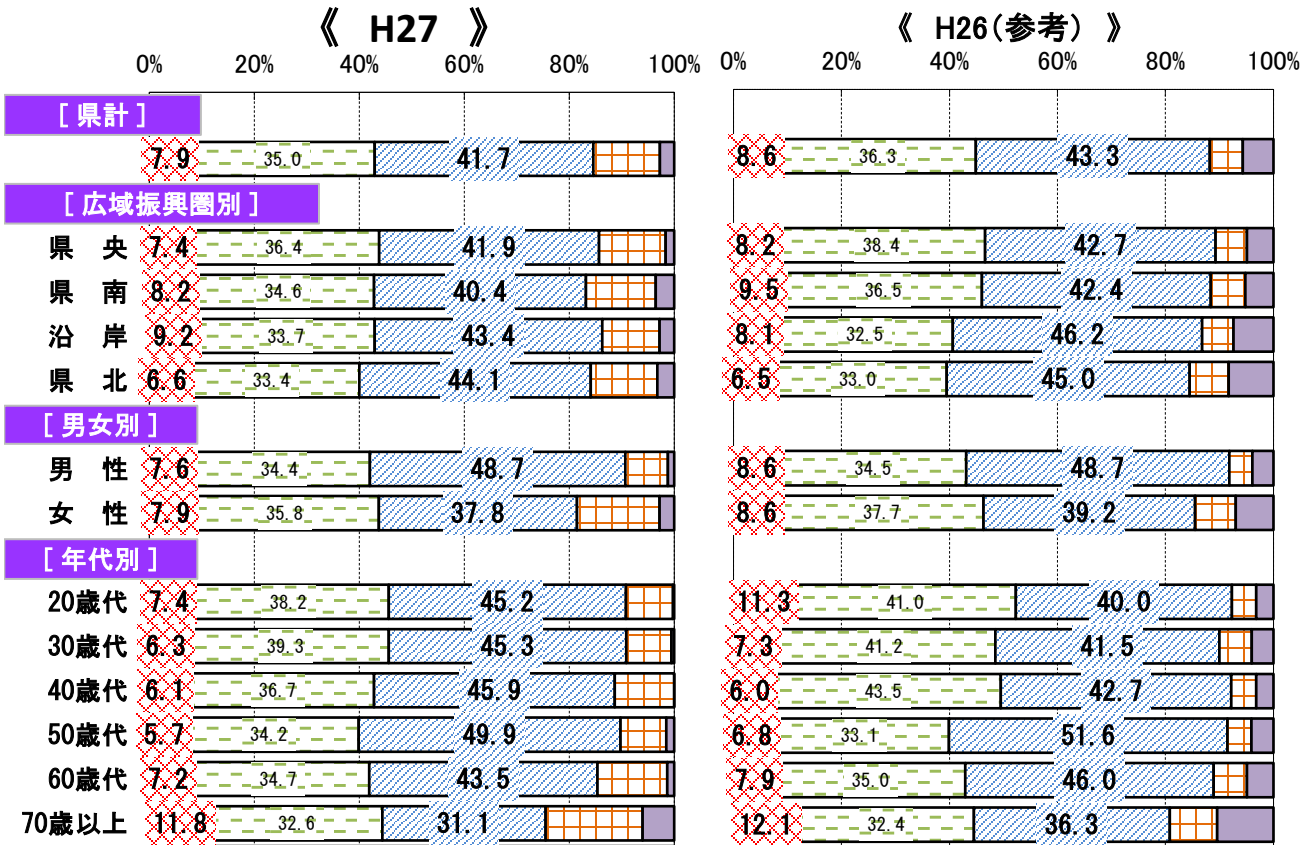
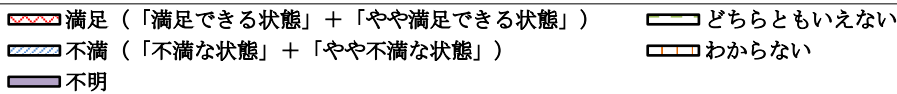
重要な県平均との差



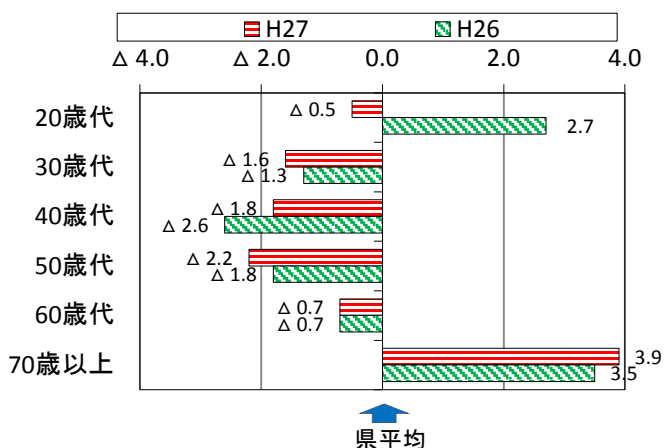
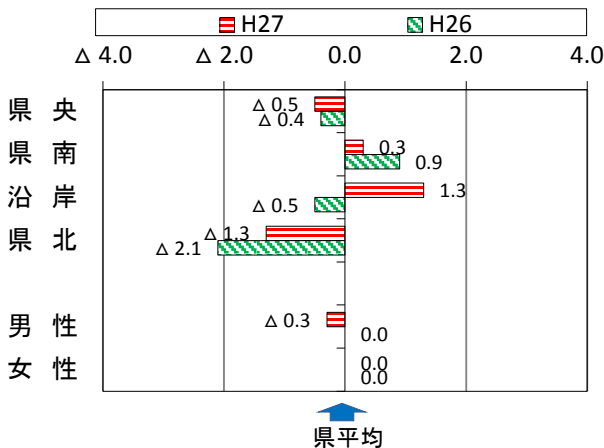
(2) 満足度について

満足が1割弱(7.9%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合41.7%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(9.2%)、男女別では女性(7.9%)、年代別では70歳以上(11.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(1.3ポイント)及び県北(△1.3ポイント)、男女別では男性(△0.3ポイント)、年代別では70歳以上(3.9ポイント)となっている。



満足の県平均との差

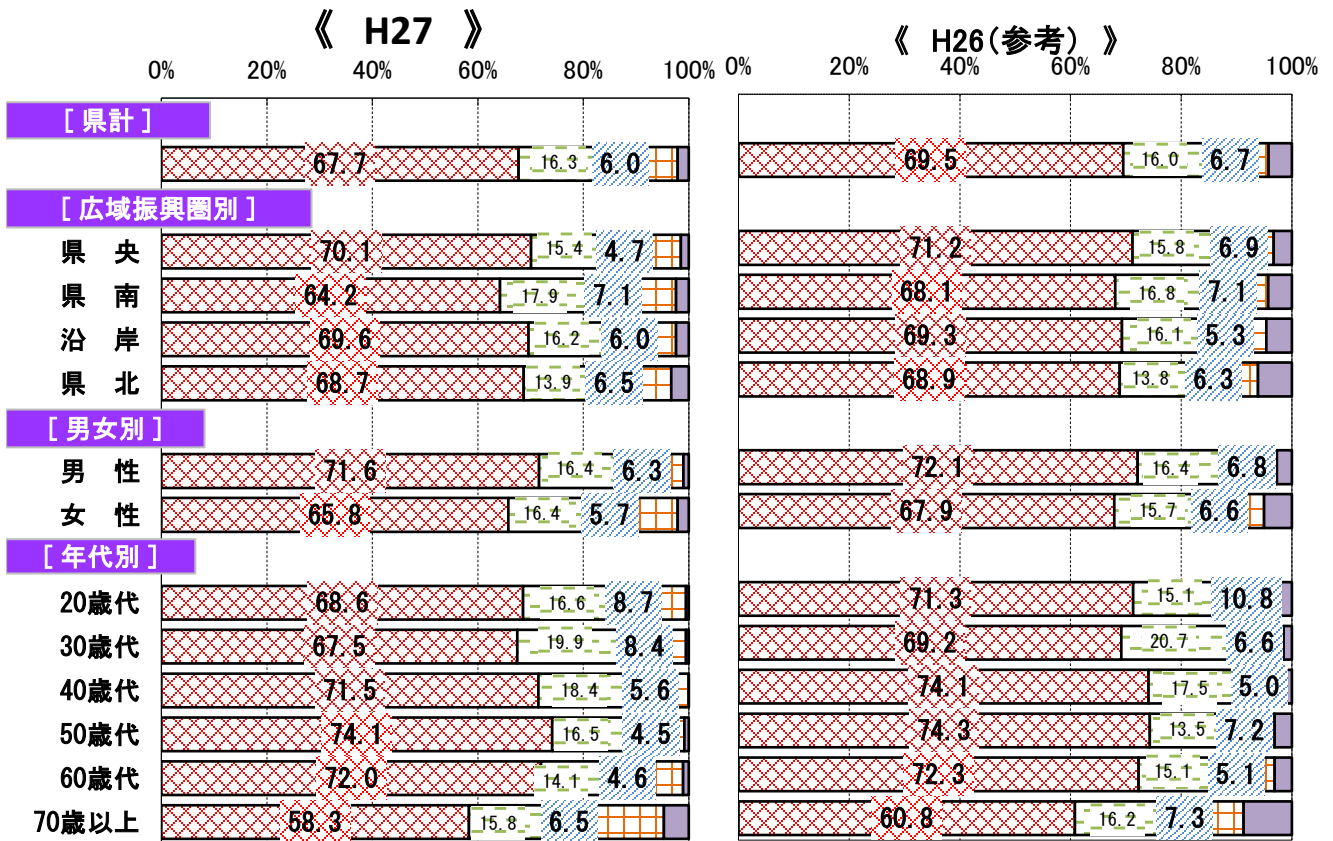
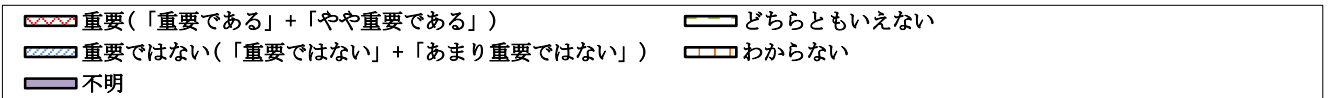


問2-3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。

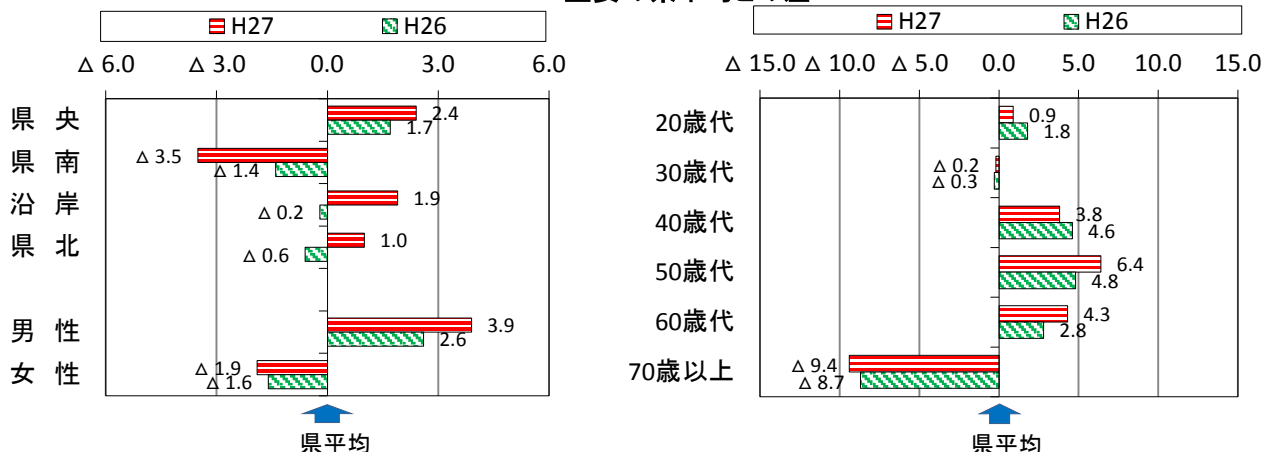
(1) 重要度について

重要が7割弱(67.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が67.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合6.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(70.1%)、男女別では男性(71.6%)、年代別では50歳代(74.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△3.5ポイント)、男女別では男性(3.9ポイント)、年代別では70歳以上(△9.4ポイント)となっている。



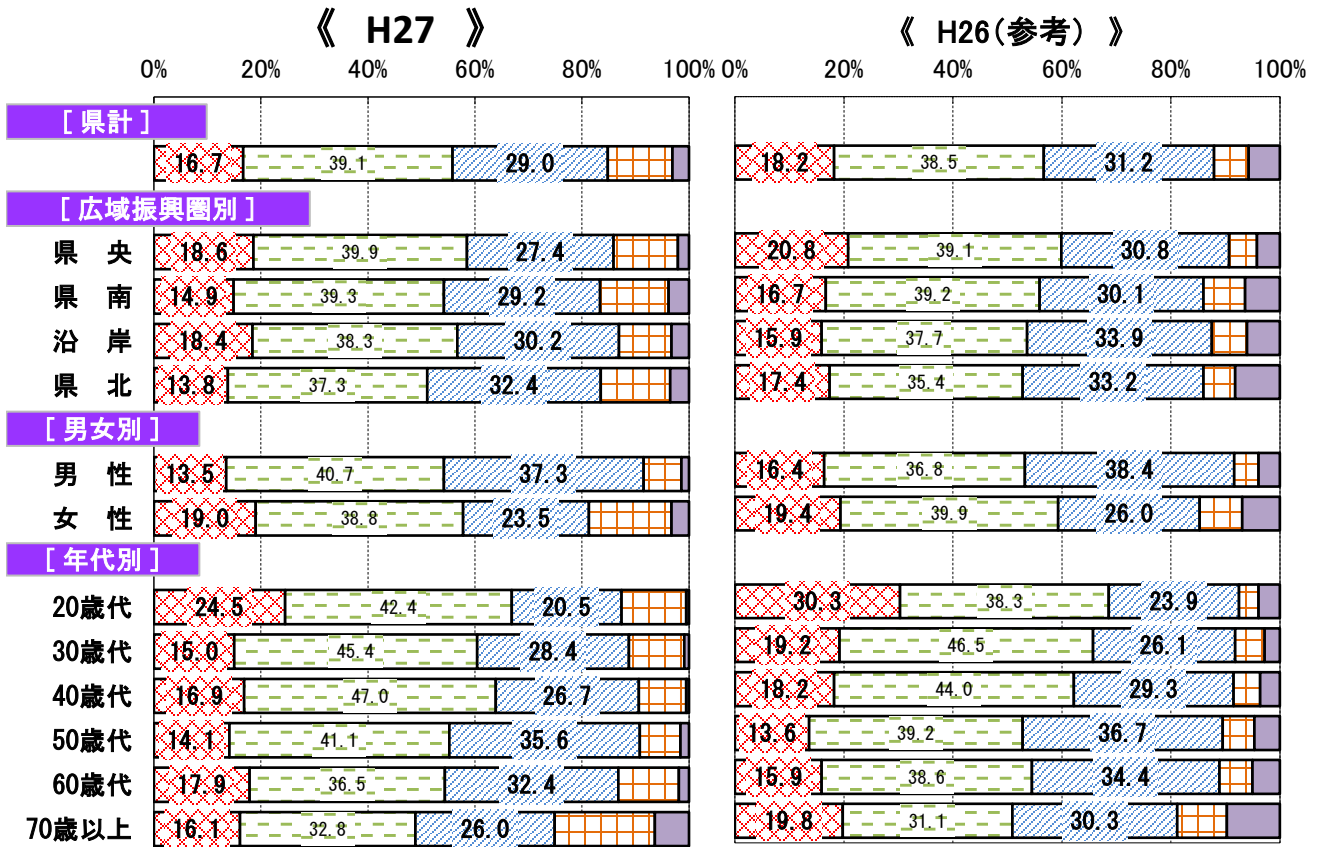
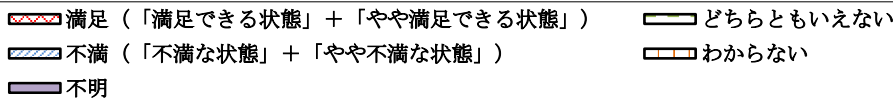
重要な県平均との差



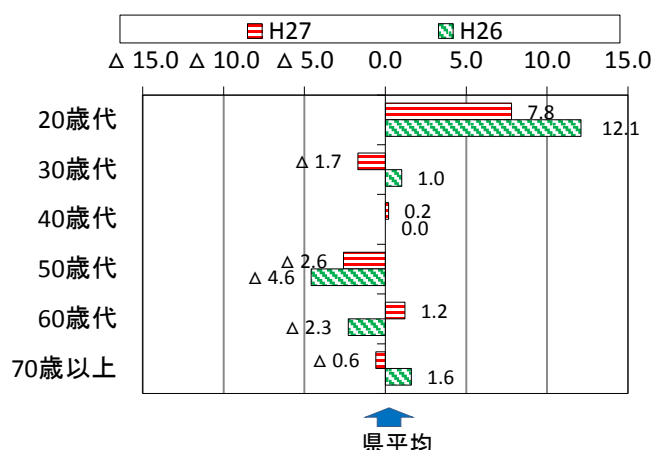
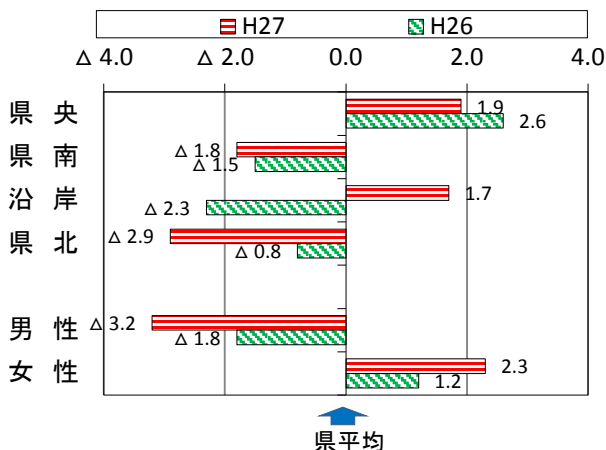
(2) 満足度について

満足が2割弱(16.7%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が16.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合29.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(18.6%)、男女別では女性(19.0%)、年代別では20歳代(24.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.9ポイント)、男女別では男性(△3.2ポイント)、年代別では20歳代(7.8ポイント)となっている。



満足の県平均との差

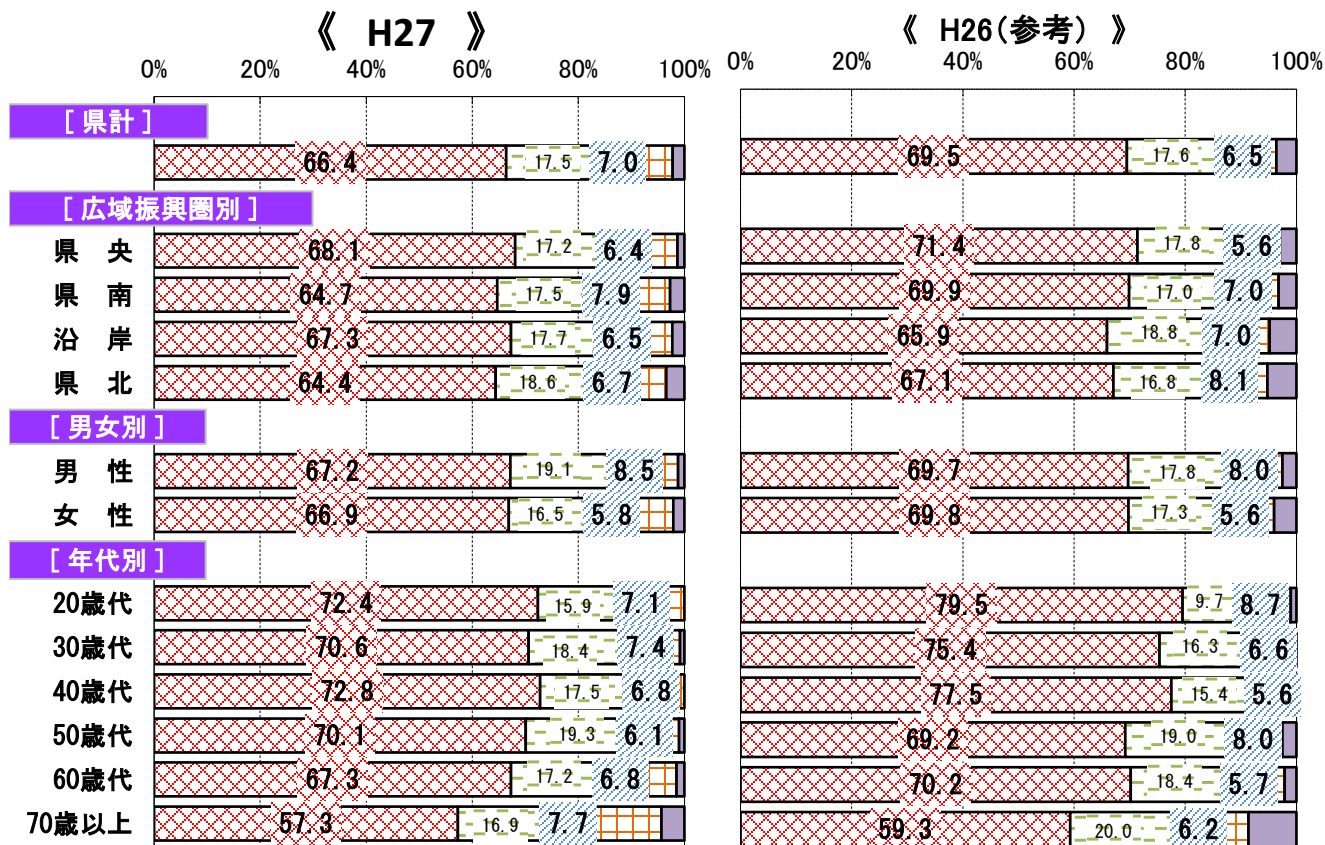
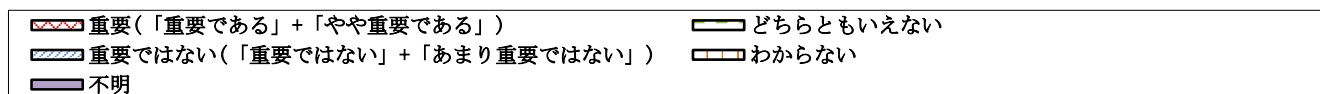


問2-4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。

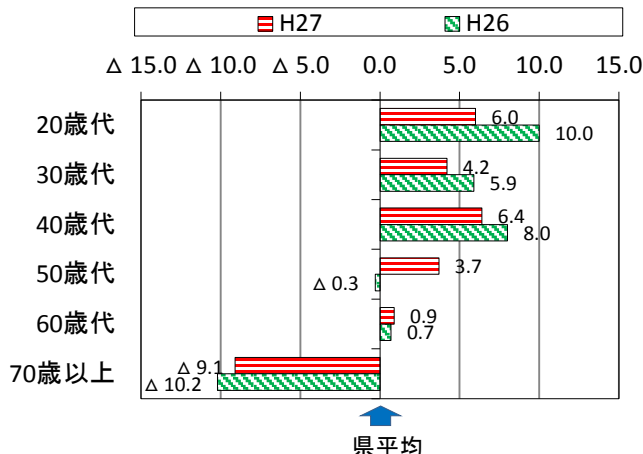
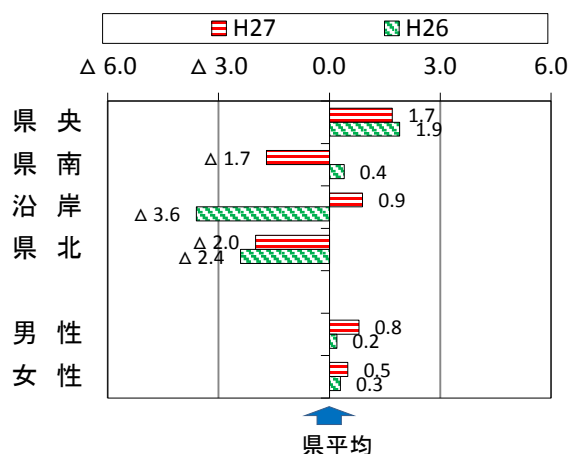
(1) 重要度について

重要が7割弱(66.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が66.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合7.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(68.1%)、男女別では男性(67.2%)、年代別では40歳代(72.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.0ポイント)、男女別では男性(0.8ポイント)、年代別では70歳以上(△9.1ポイント)となっている。



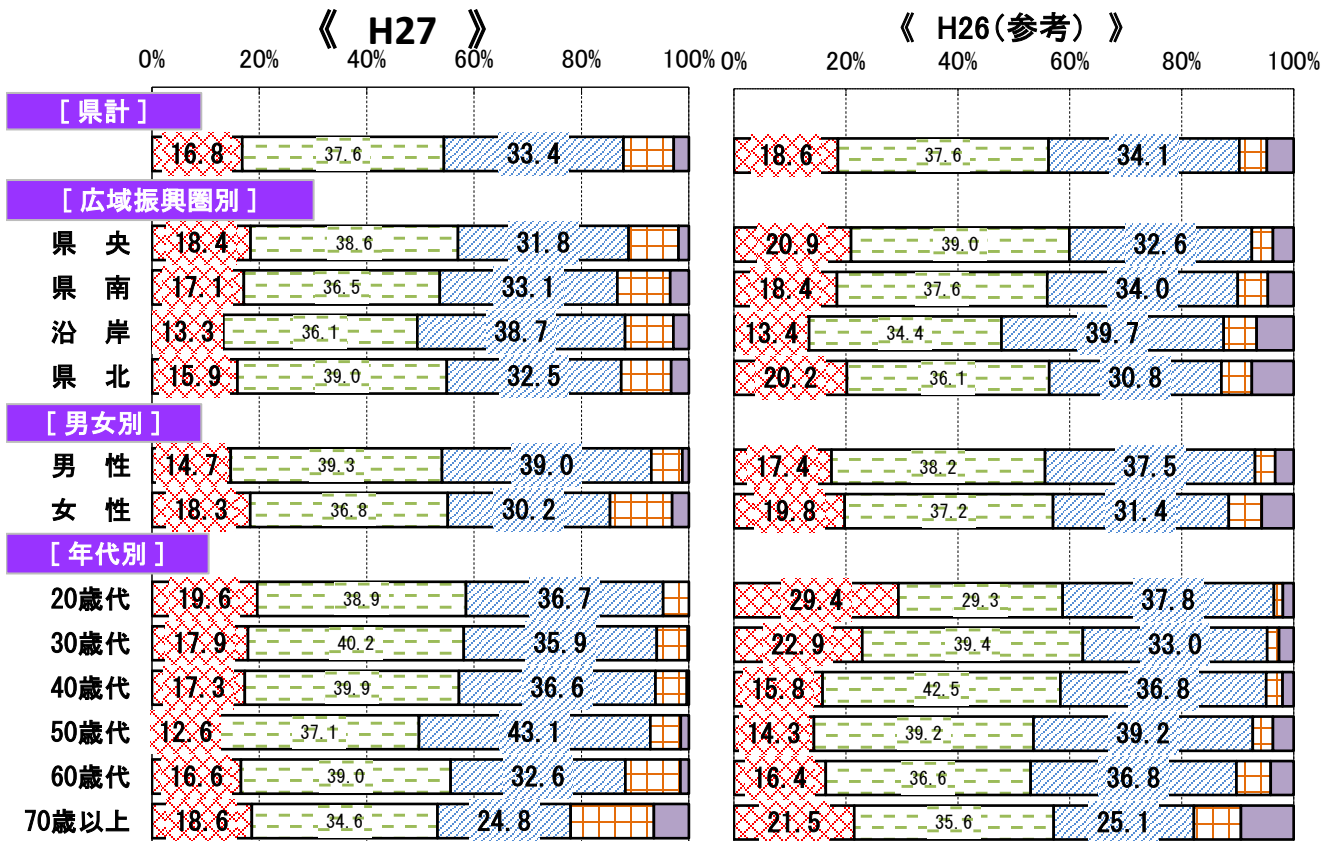
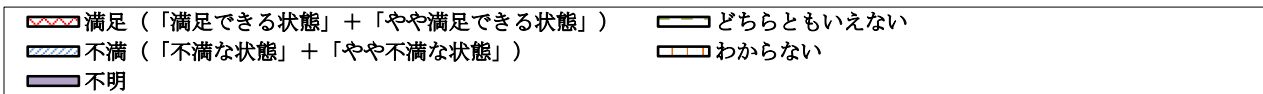
重要の県平均との差



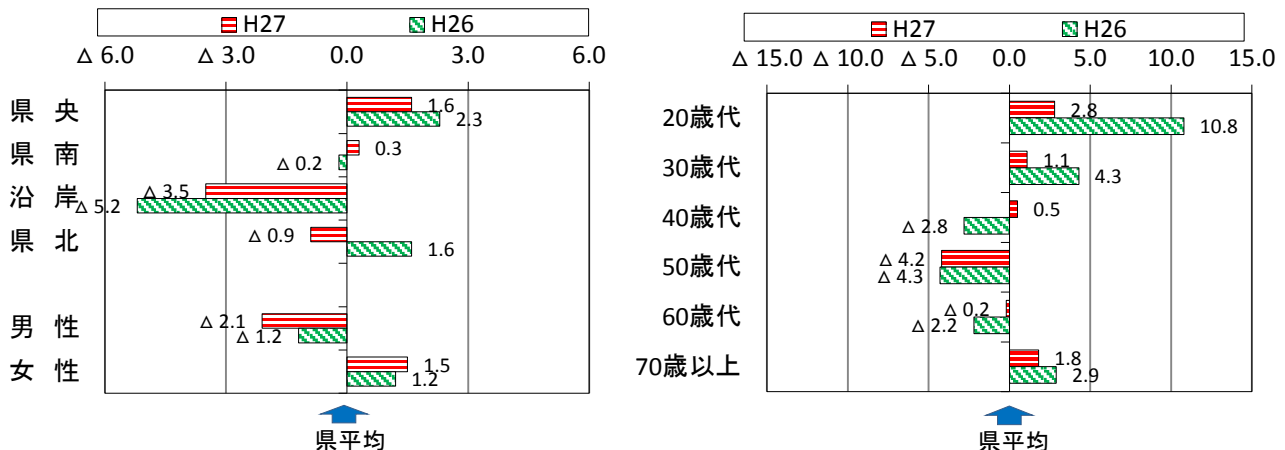
(2) 満足度について

満足が2割弱(16.8%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が16.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合33.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(18.4%)、男女別では女性(18.3%)、年代別では20歳代(19.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.5ポイント)、男女別では男性(△2.1ポイント)、年代別では50歳代(△4.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

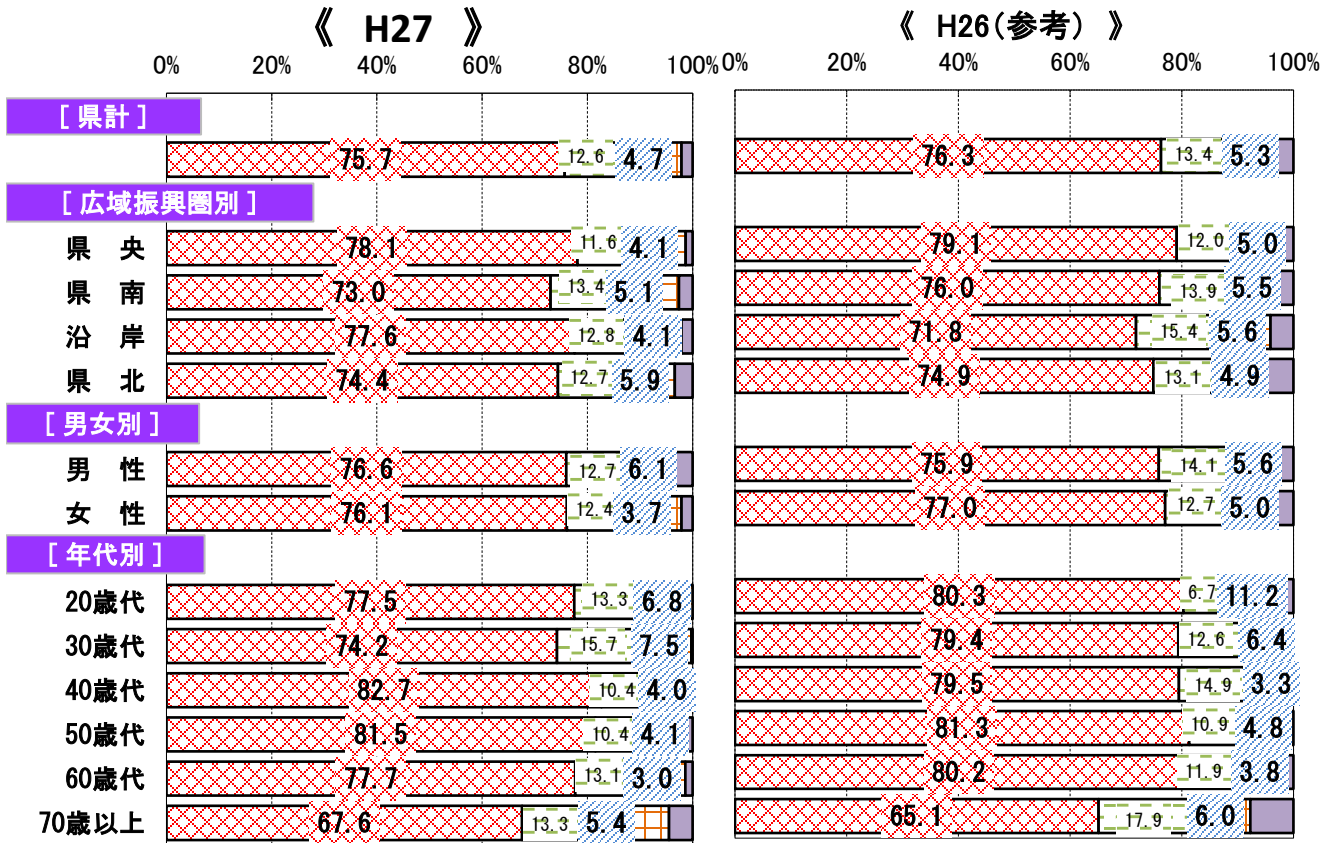
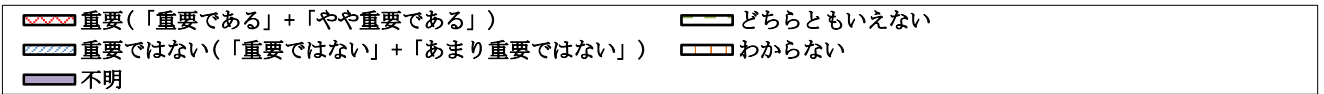


問2-5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。

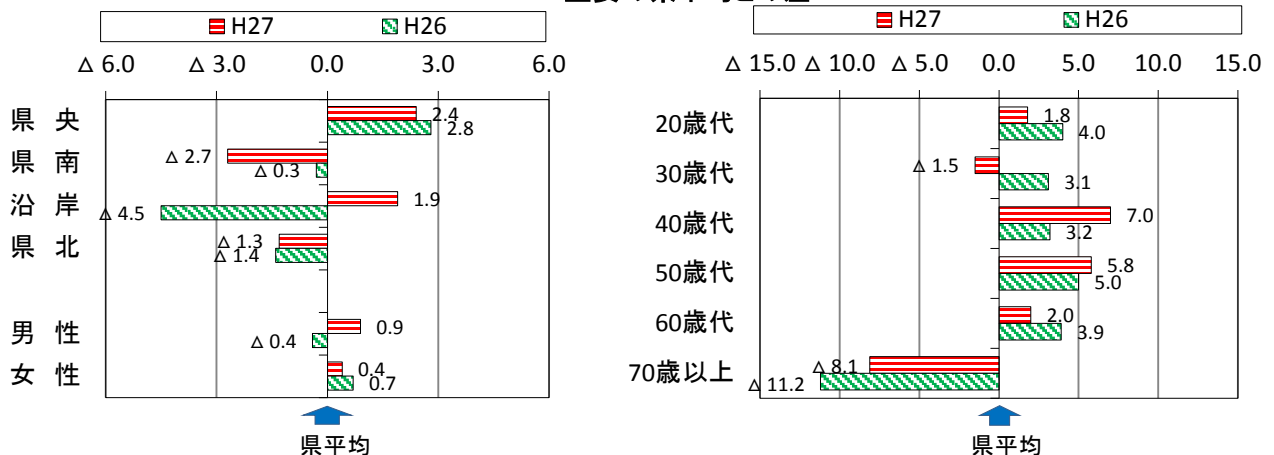
(1) 重要度について

重要が約75% (75.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が75.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合4.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(78.1%)、男女別では男性(76.6%)、年代別では40歳代(82.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.7ポイント)、男女別では男性(0.9ポイント)、年代別では70歳以上(△8.1ポイント)となっている。



重要の県平均との差

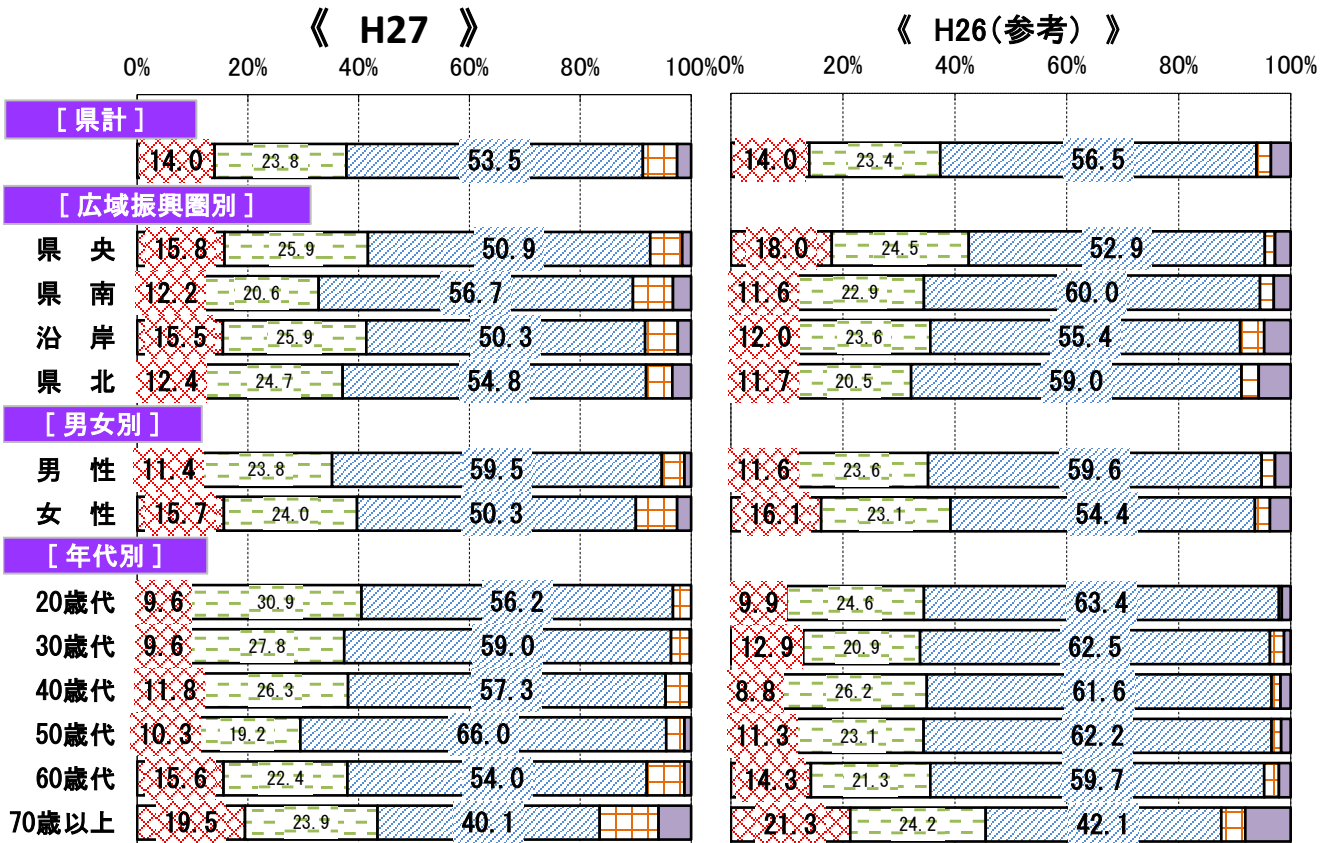


(2) 満足度について

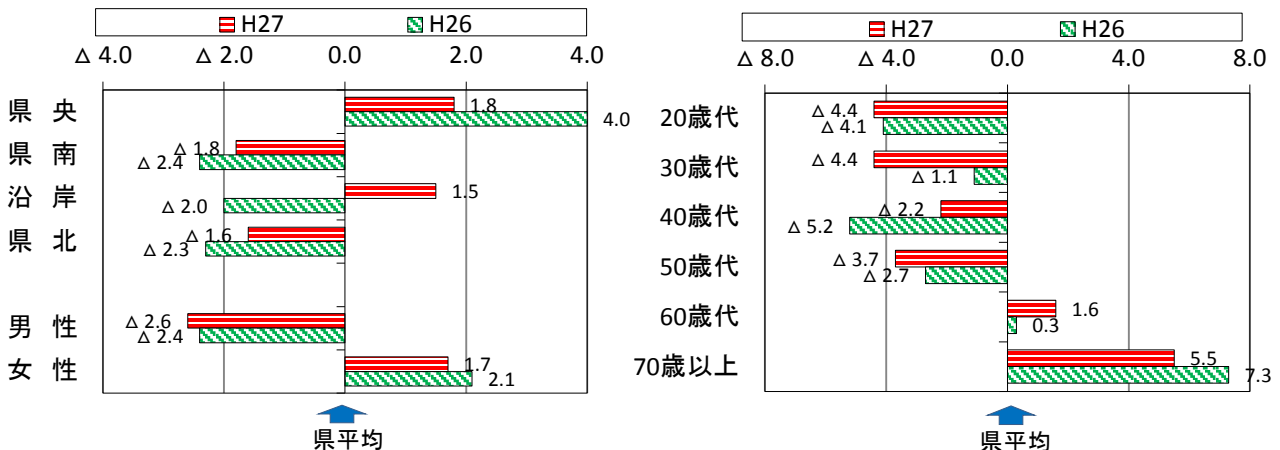
満足が約15%(14.0%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合53.5%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(15.8%)、男女別では女性(15.7%)、年代別では70歳以上(19.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.8ポイント)及び県南(△1.8ポイント)、男女別では男性(△2.6ポイント)、年代別では70歳以上(5.5ポイント)となっている。

満足 (「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない
 不満 (「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない
 不明



満足の県平均との差

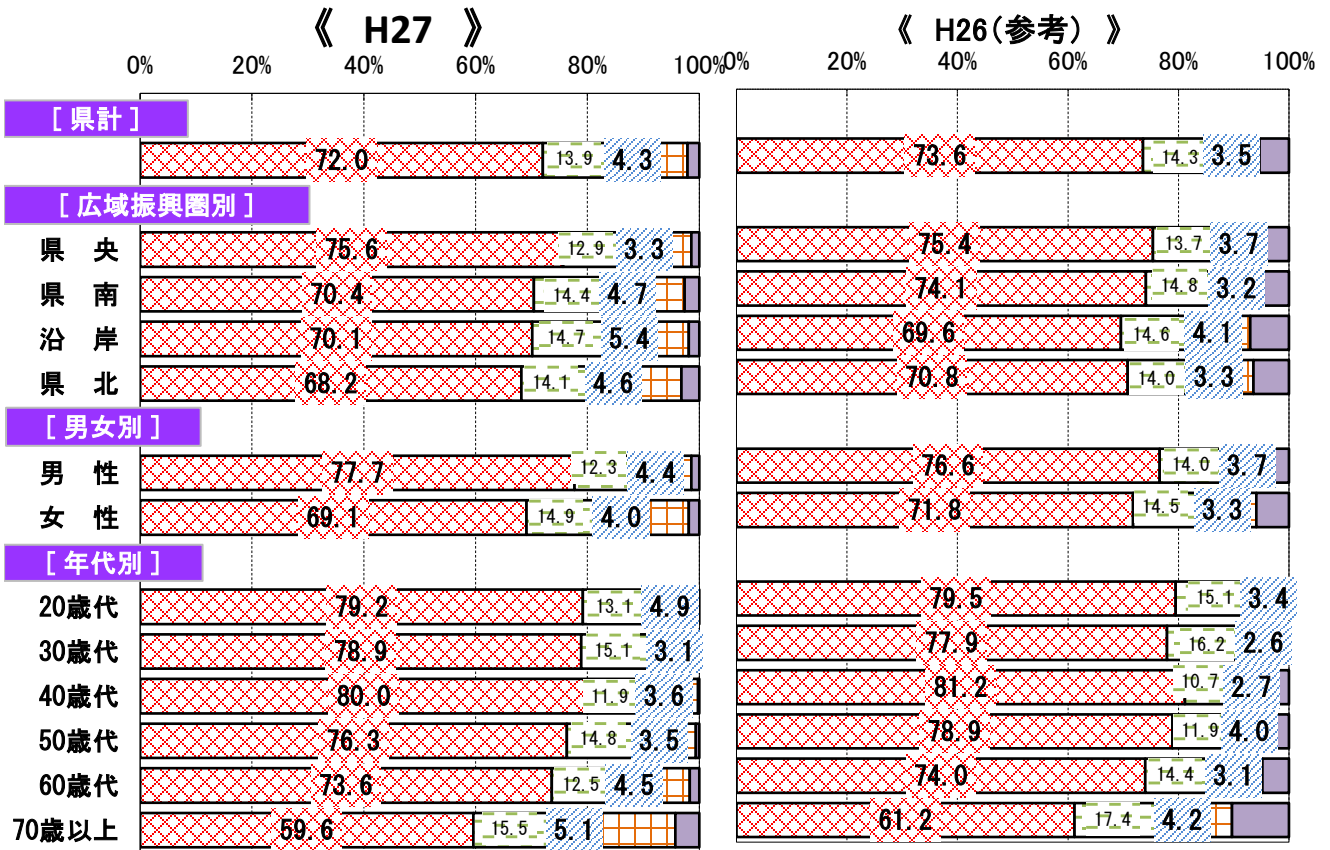
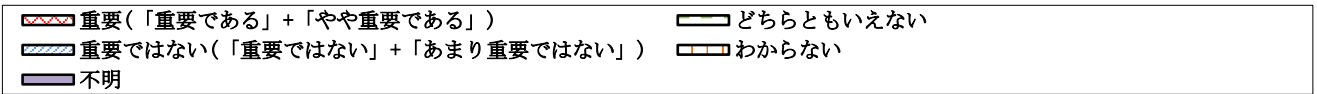


問2-6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。

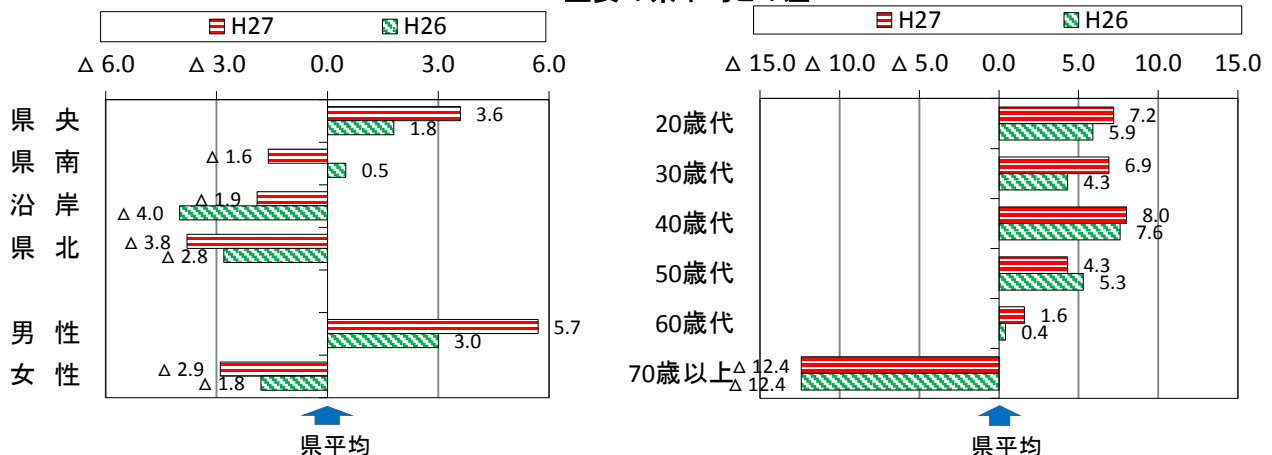
(1) 重要度について

重要が7割強(72.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が72.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合4.3%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(75.6%)、男女別では男性(77.7%)、年代別では40歳代(80.0%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.8ポイント)、男女別では男性(5.7ポイント)、年代別では70歳以上(△12.4ポイント)となっている。



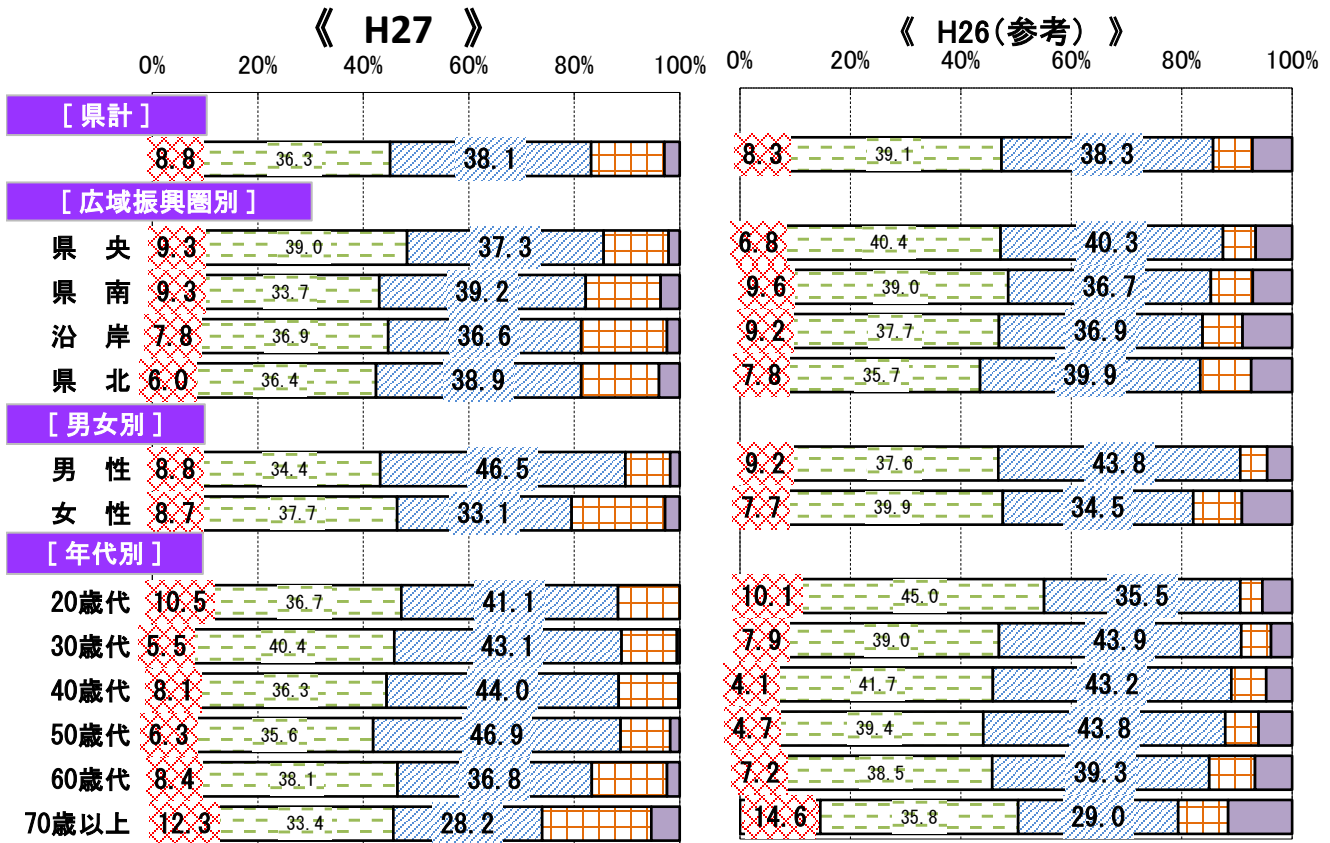
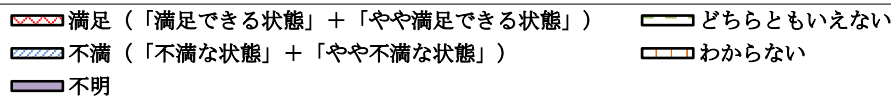
重要な県平均との差



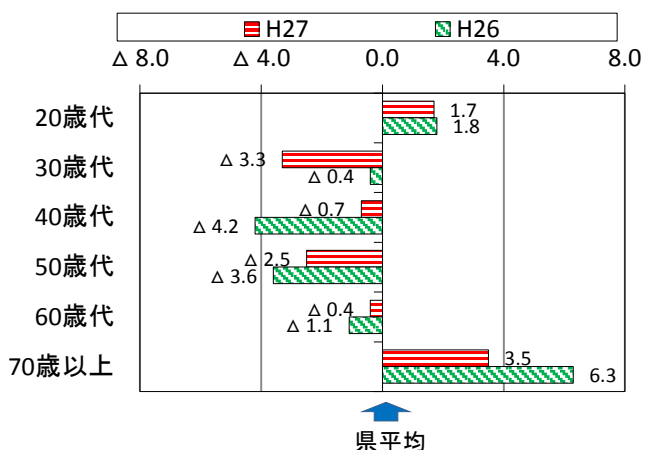
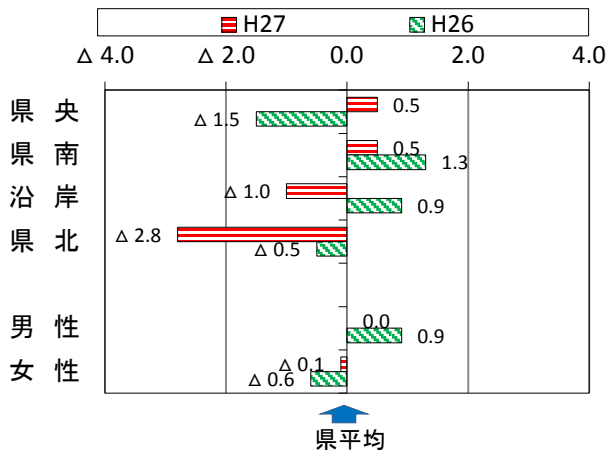
(2) 満足度について

満足が1割弱(8.8%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合38.1%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(9.3%)及び県南(9.3%)、男女別では男性(8.8%)、年代別では70歳以上(12.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.8ポイント)、男女別では女性(△0.1ポイント)、年代別では70歳以上(3.5ポイント)となっている。



満足の県平均との差

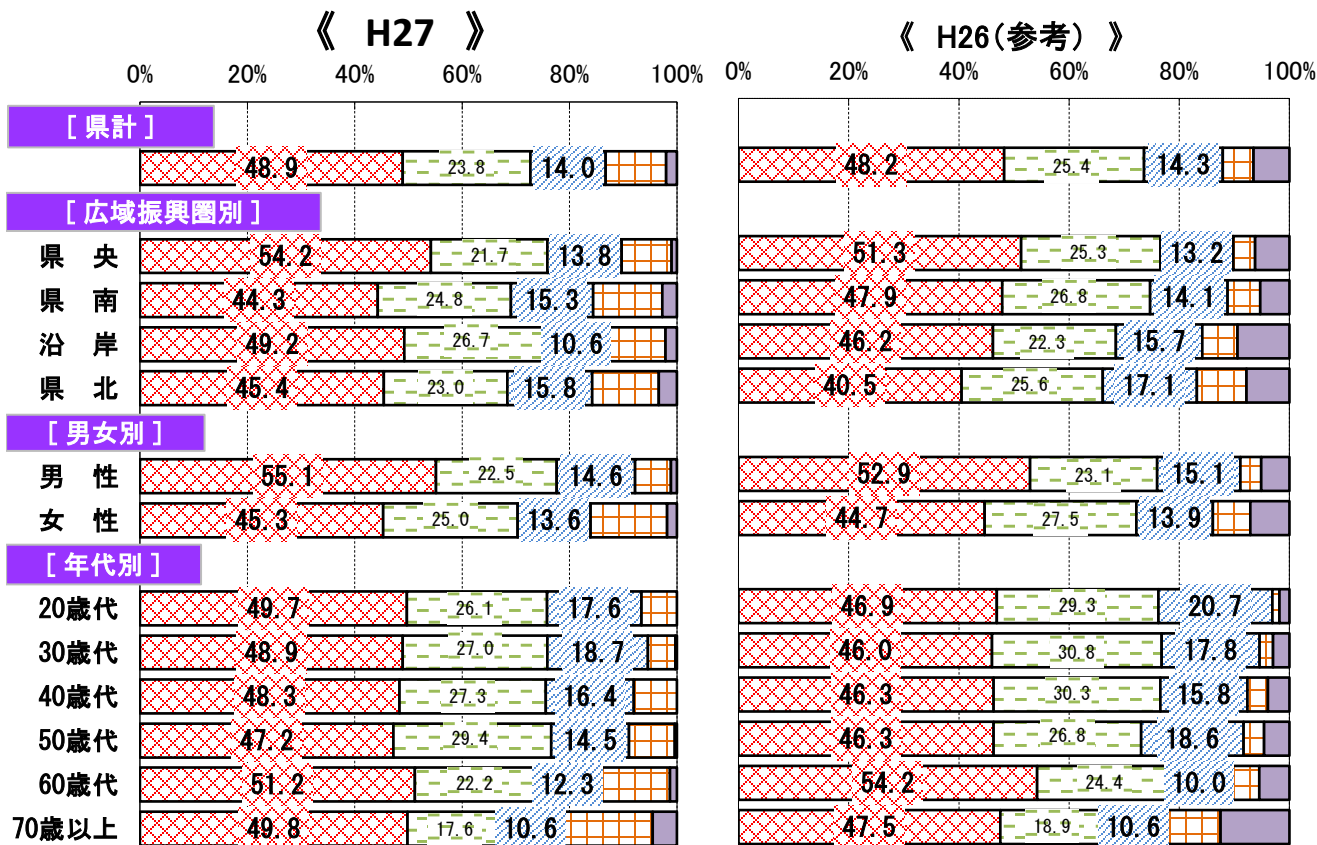
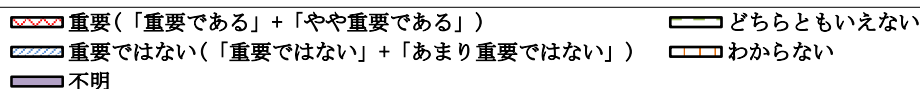


問2-7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。

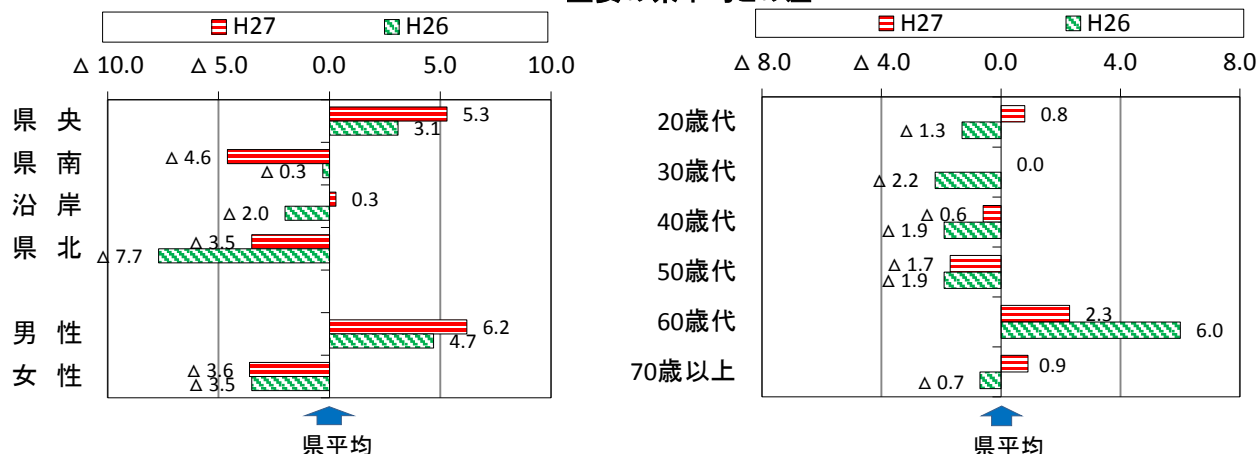
(1) 重要度について

重要が5割弱(48.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が48.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合14.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(54.2%)、男女別では男性(55.1%)、年代別では60歳代(51.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(5.3ポイント)、男女別では男性(6.2ポイント)、年代別では60歳代(2.3ポイント)となっている。



重要な県平均との差



(2) 満足度について

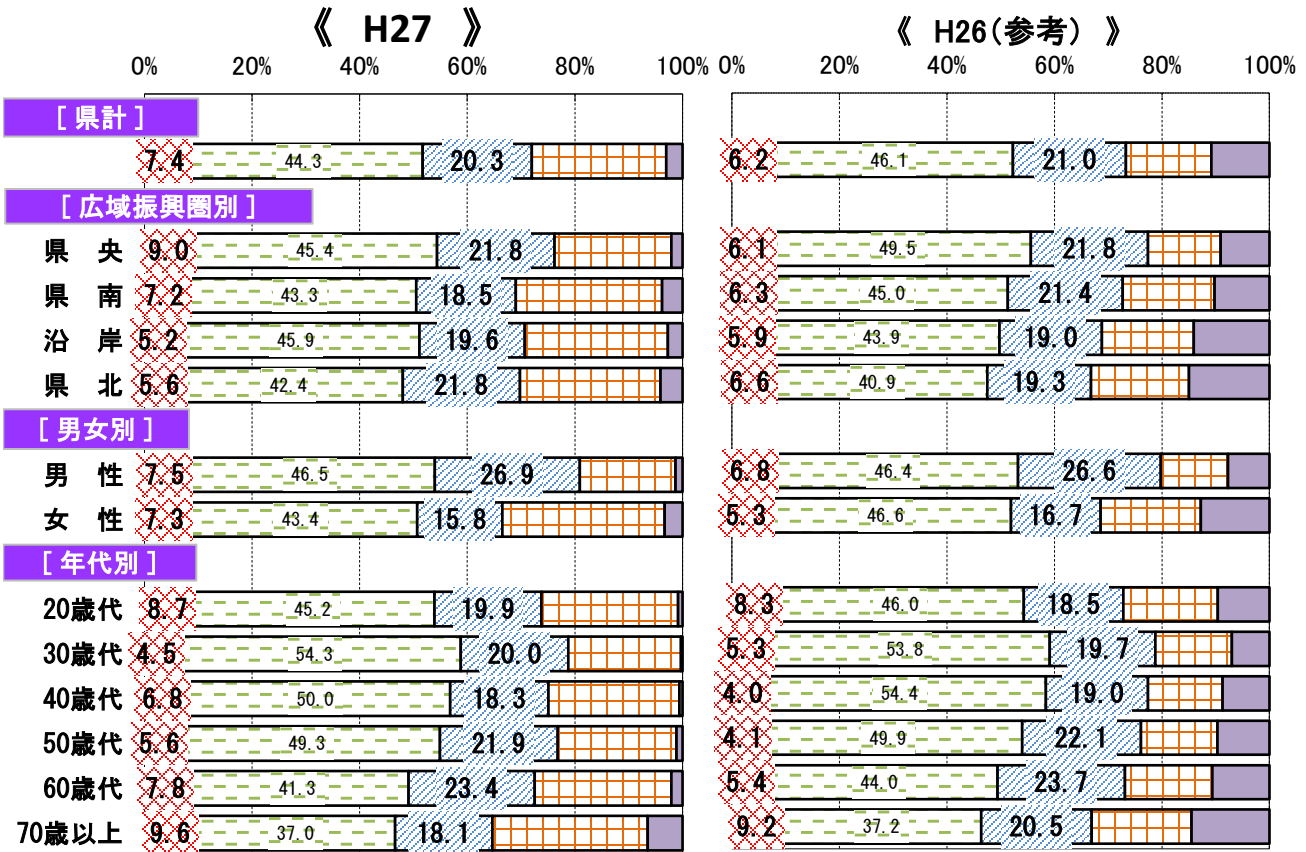
満足が1割弱(7.4%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合20.3%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(9.0%)、男女別では男性(7.5%)、年代別では70歳以上(9.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.2ポイント)、年代別では30歳代(△2.9ポイント)となっている。

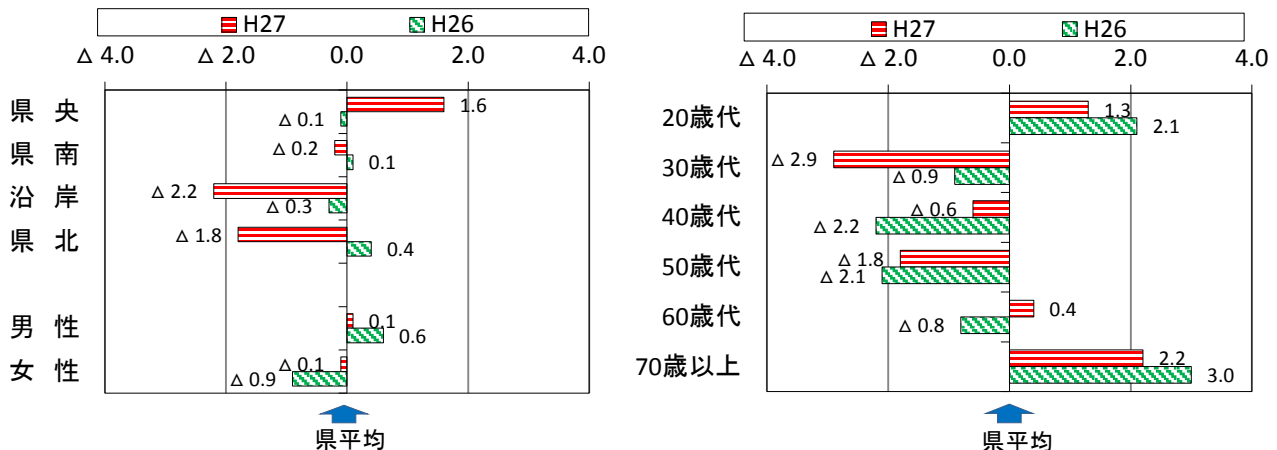
満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない

不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない

不明



満足の県平均との差

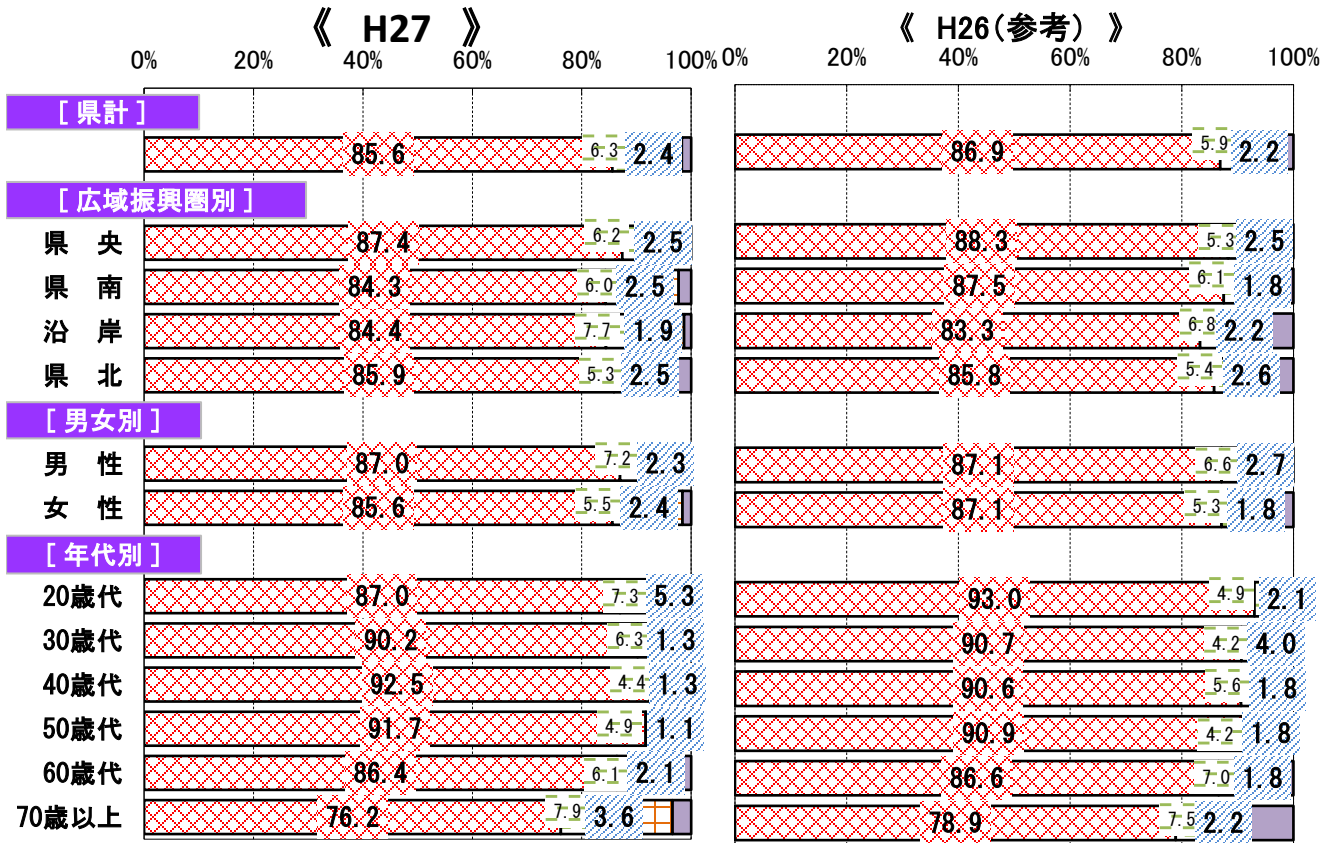
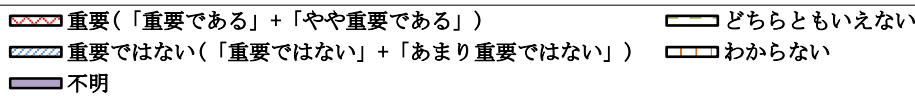


問2-8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。

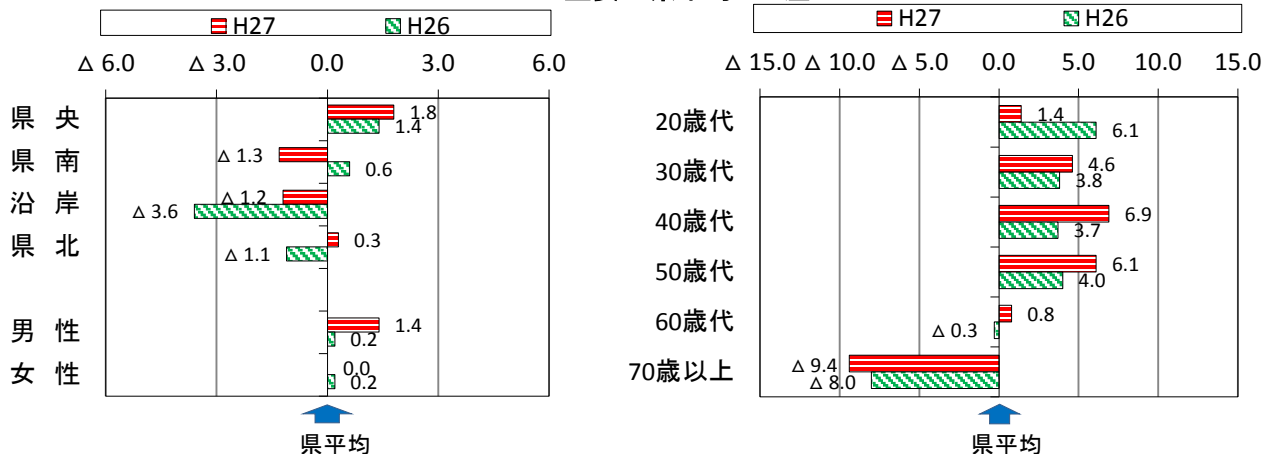
(1) 重要度について

重要が約85% (85.6%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が85.6%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合2.4%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(87.4%)、男女別では男性(87.0%)、年代別では40歳代(92.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.8ポイント)、男女別では男性(1.4ポイント)、年代別では70歳以上(△9.4ポイント)となっている。



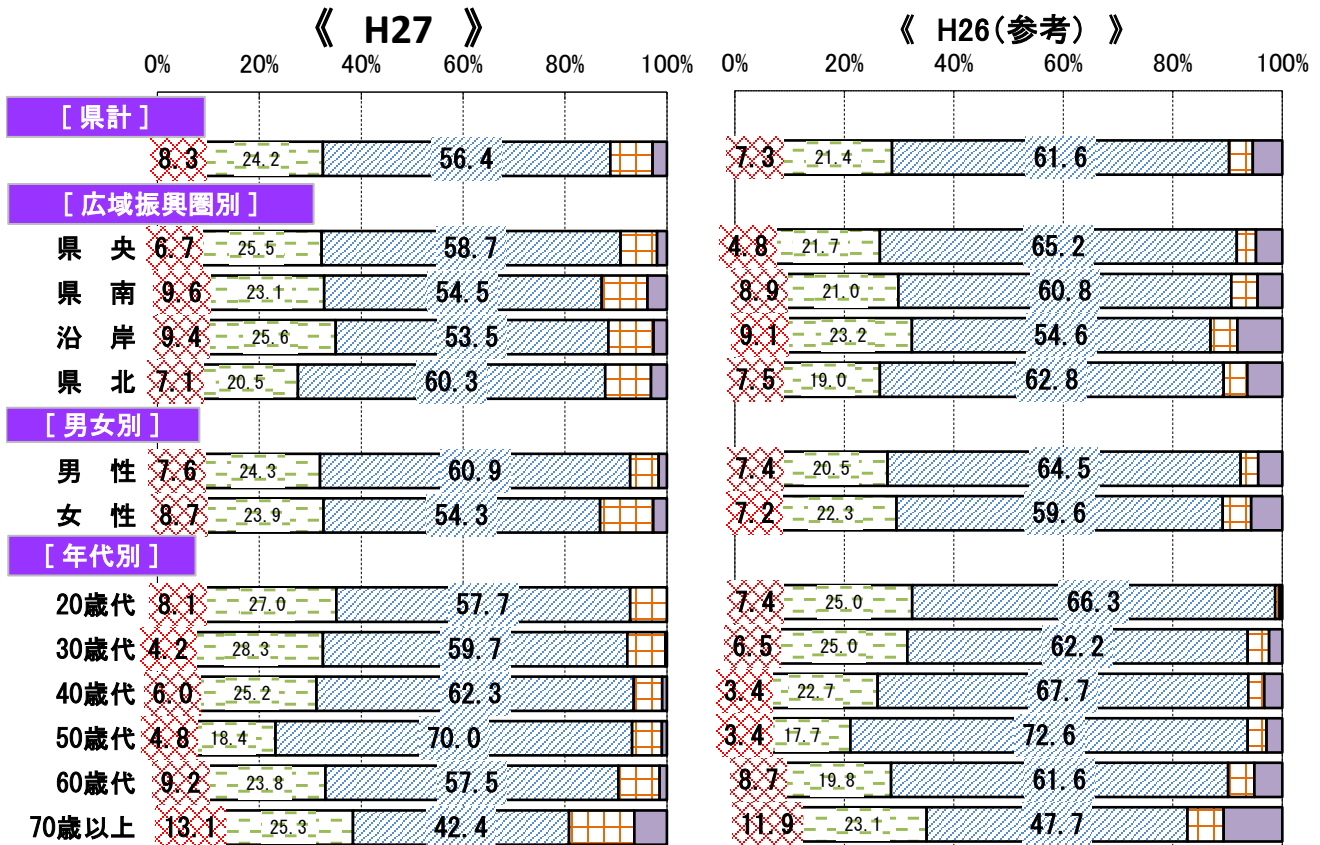
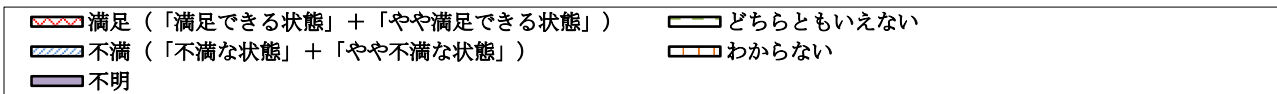
重要の県平均との差



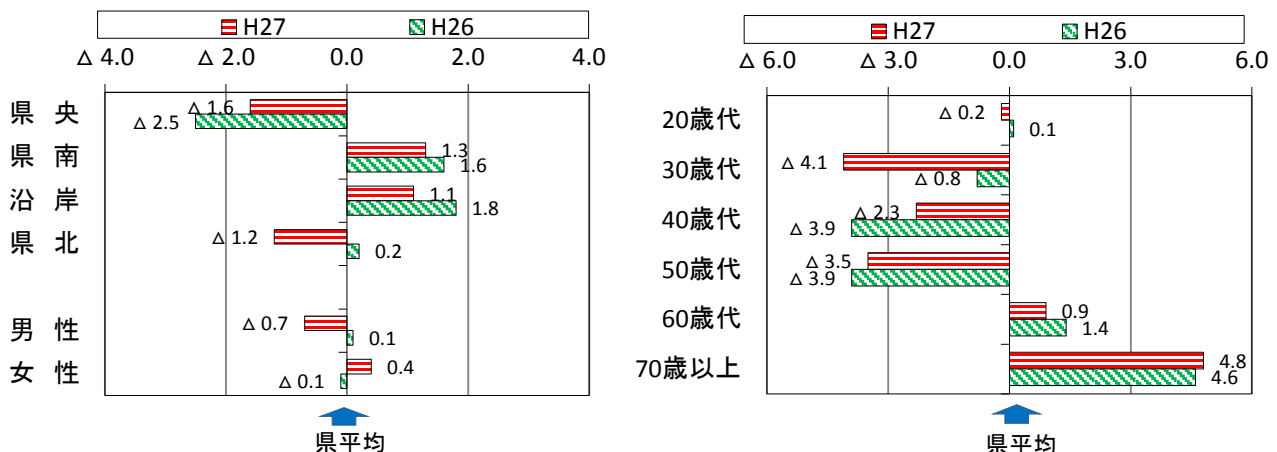
(2) 満足度について

満足が1割弱(8.3%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合56.4%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(9.6%)、男女別では女性(8.7%)、年代別では70歳以上(13.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(△1.6ポイント)、男女別では男性(△0.7ポイント)、年代別では70歳以上(4.8ポイント)となっている。



満足の県平均との差

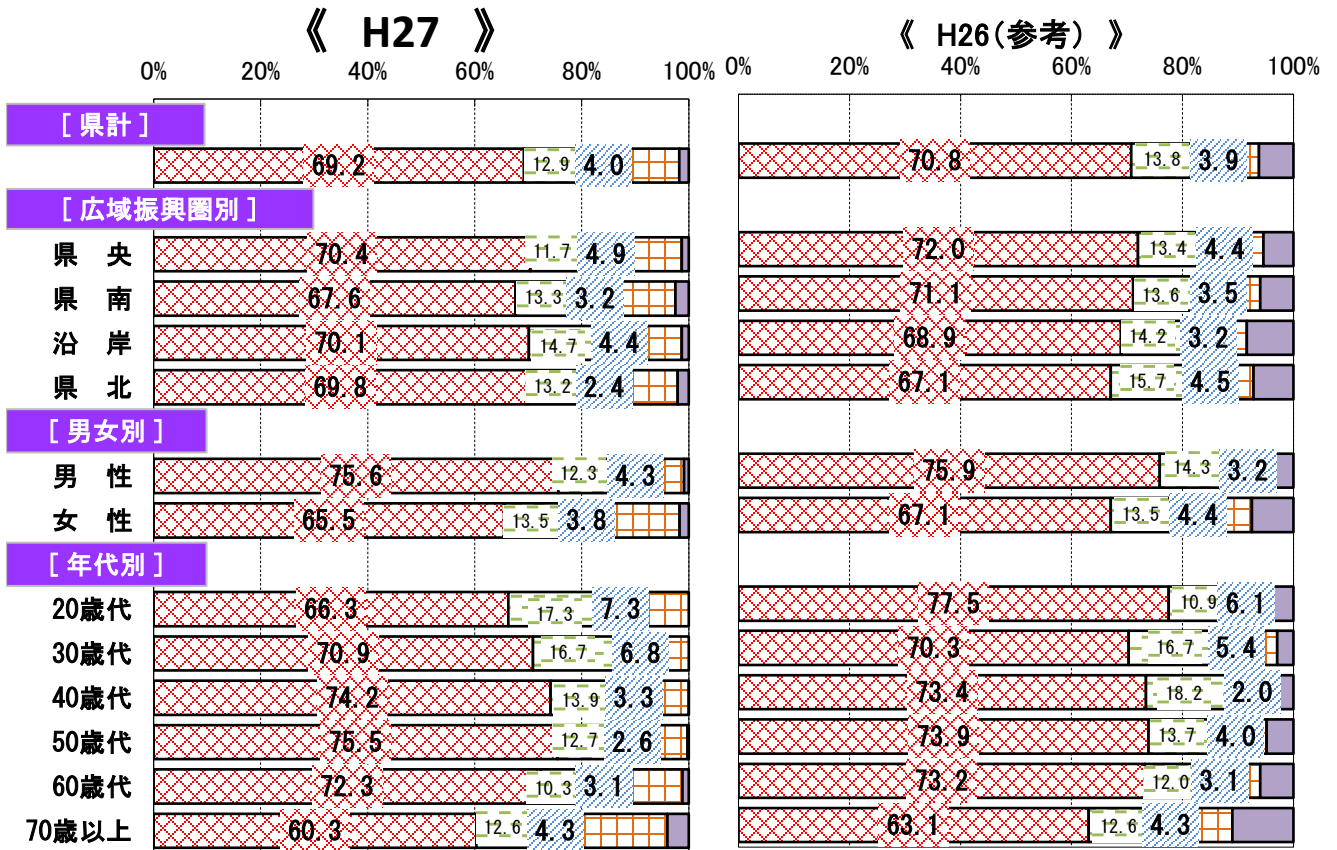
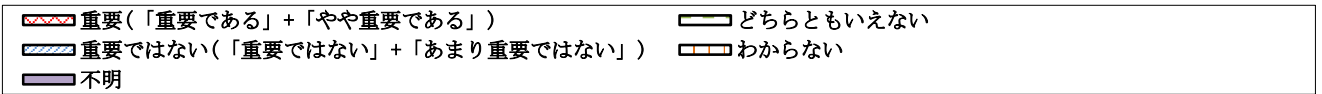


問2-9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。

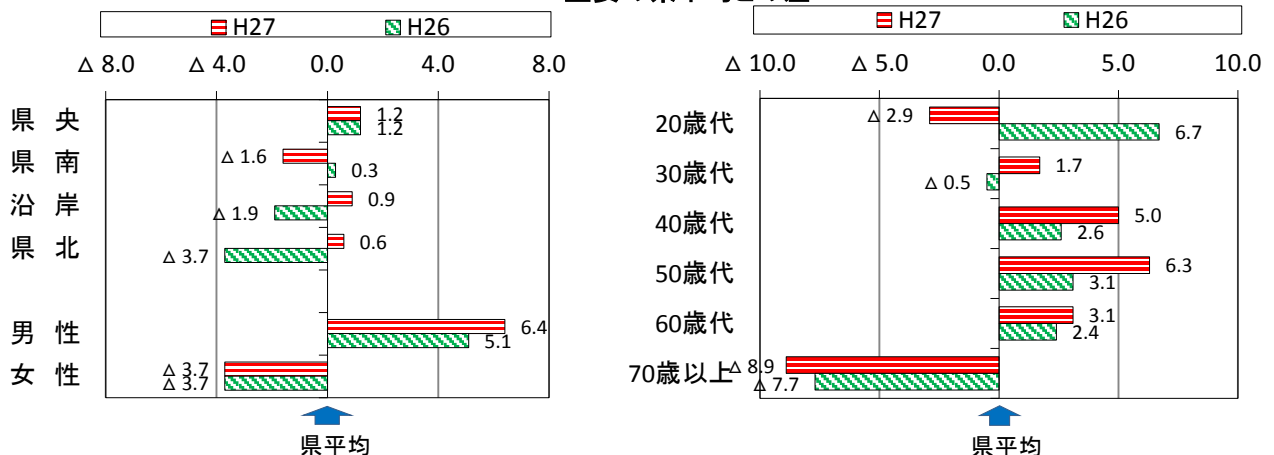
(1) 重要度について

重要が7割弱(69.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が69.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合4.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(70.4%)、男女別では男性(75.6%)、年代別では50歳代(75.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△1.6ポイント)、男女別では男性(6.4ポイント)、年代別では70歳以上(△8.9ポイント)となっている。



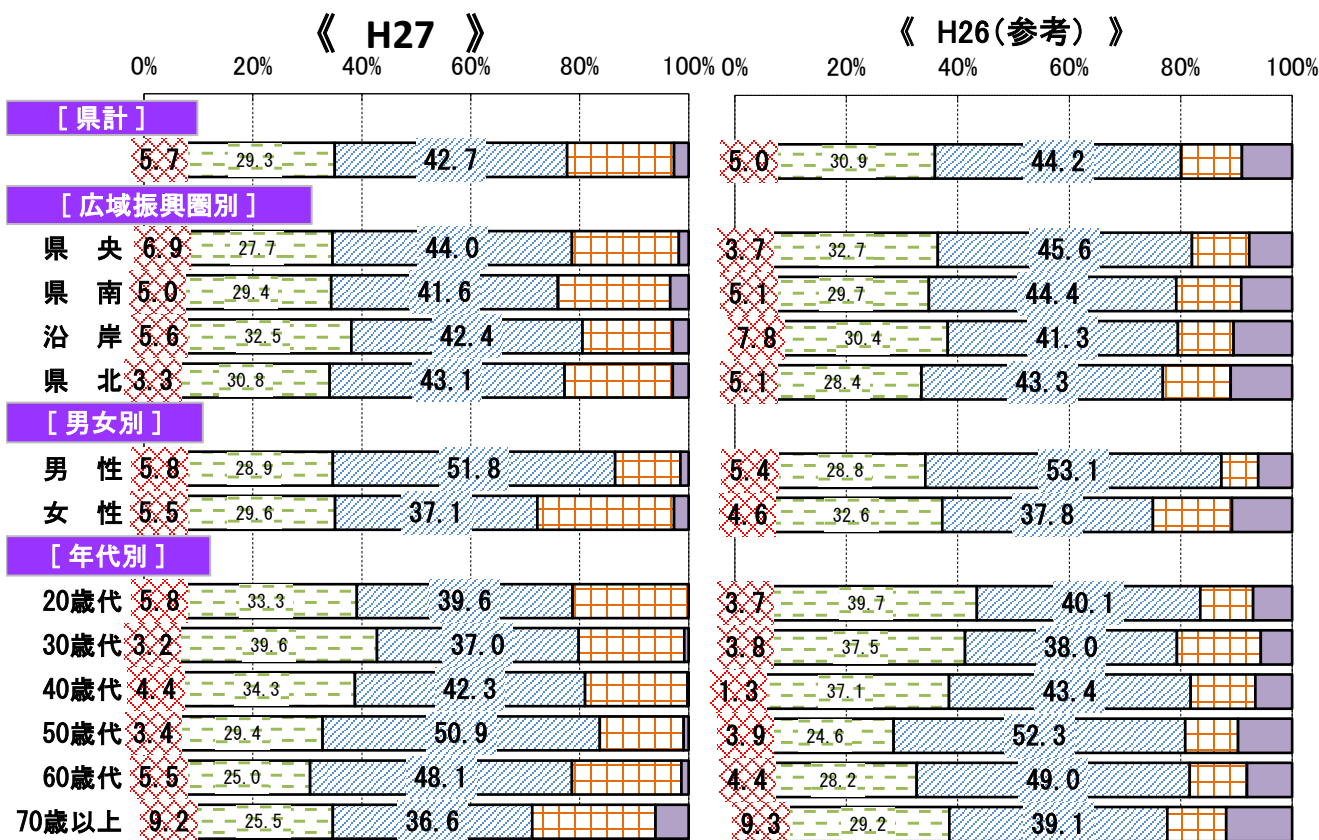
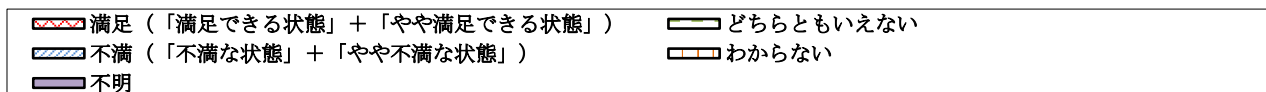
重要な県平均との差



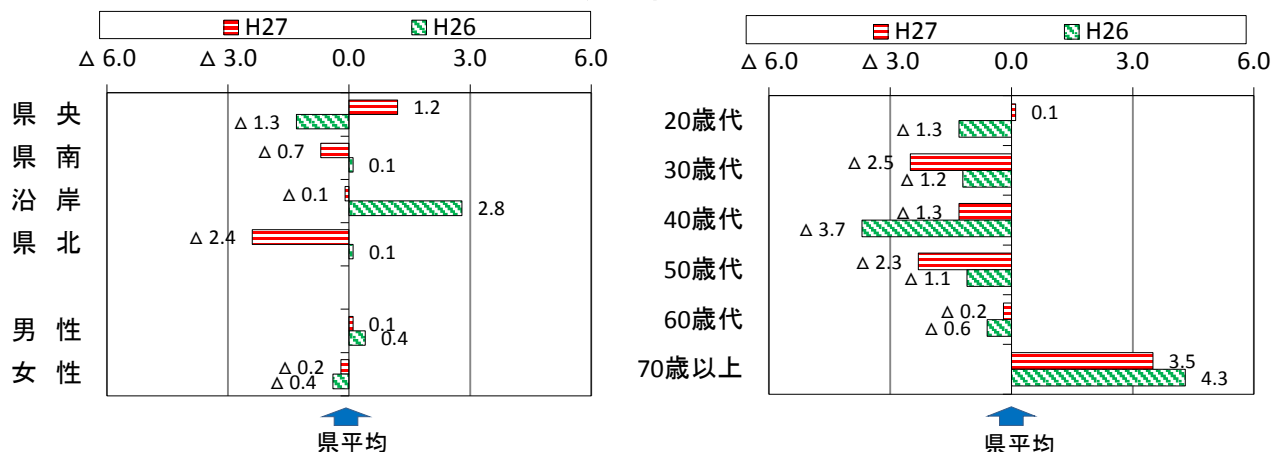
(2) 満足度について

満足が約5% (5.7%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が5.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合42.7%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(6.9%)、男女別では男性(5.8%)、年代別では70歳以上(9.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.4ポイント)、男女別では女性(△0.2ポイント)、年代別では70歳以上(3.5ポイント)となっている。



満足の県平均との差

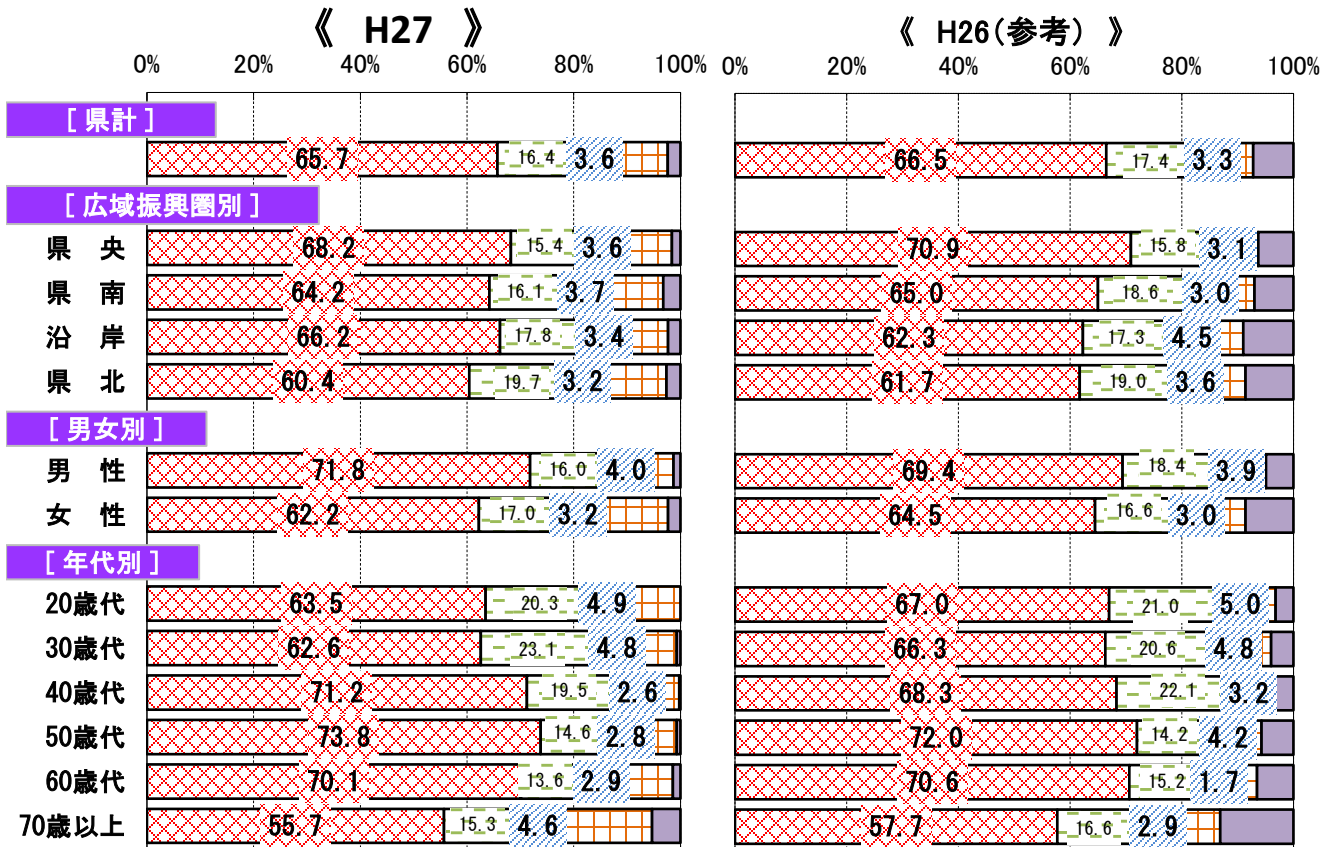
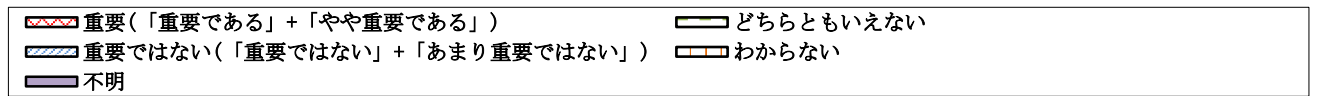


問2-10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。

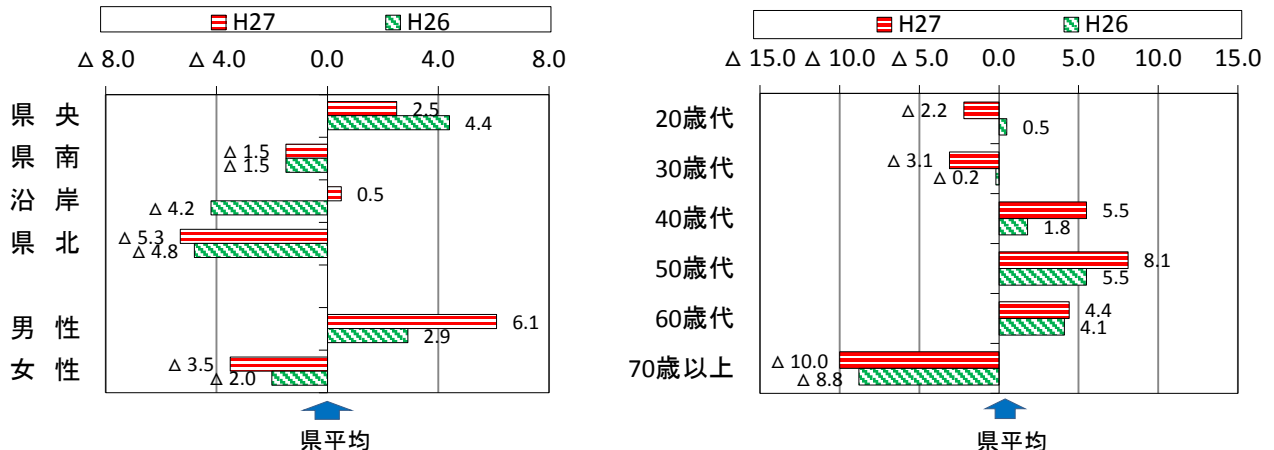
(1) 重要度について

重要が約65% (65.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が65.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.6%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(68.2%)、男女別では男性(71.8%)、年代別では50歳代(73.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.3ポイント)、男女別では男性(6.1ポイント)、年代別では70歳以上(△10.0ポイント)となっている。



重要な県平均との差



(2) 満足度について

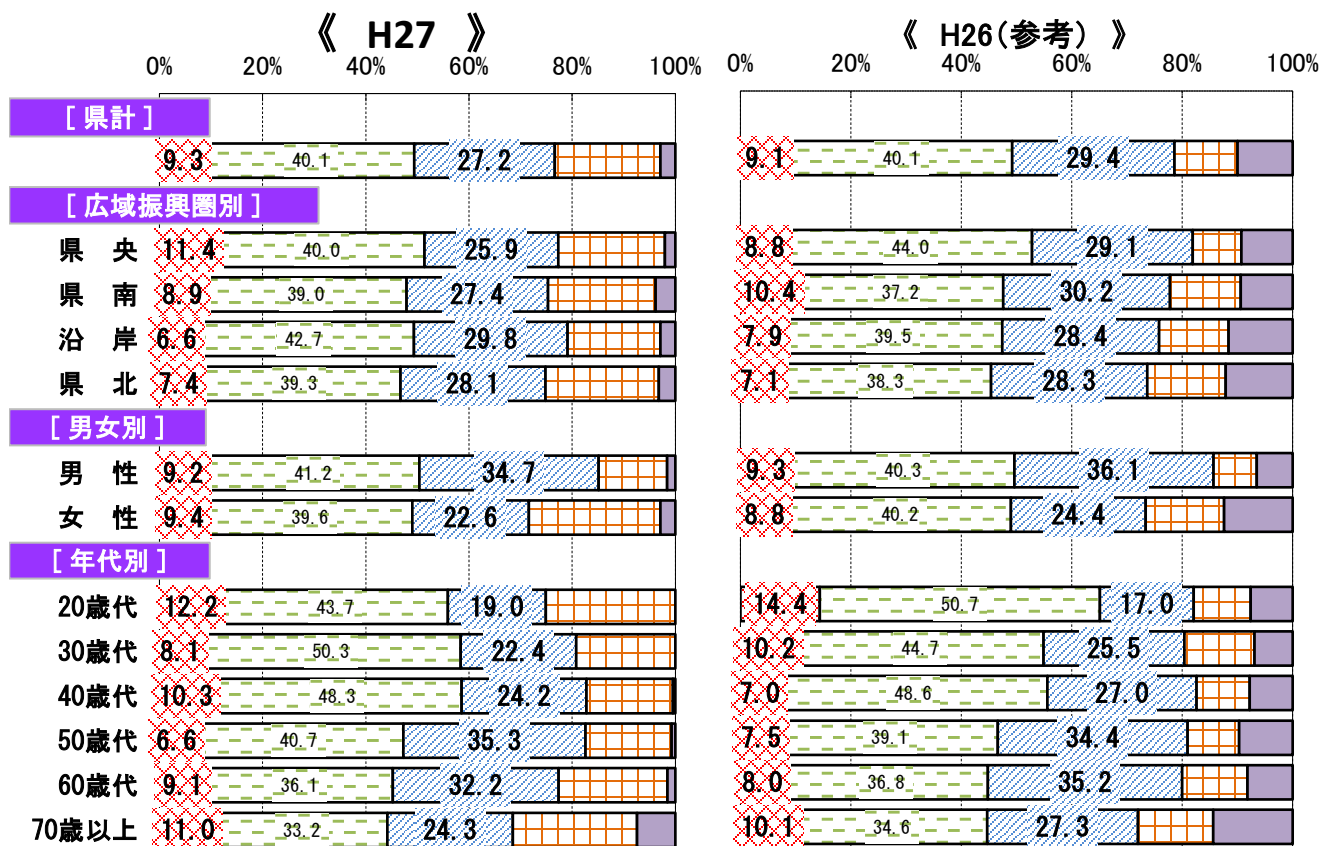
満足が1割弱(9.3%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合27.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(11.4%)、男女別では女性(9.4%)、年代別では20歳代(12.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.7ポイント)、年代別では20歳代(2.9ポイント)となっている。

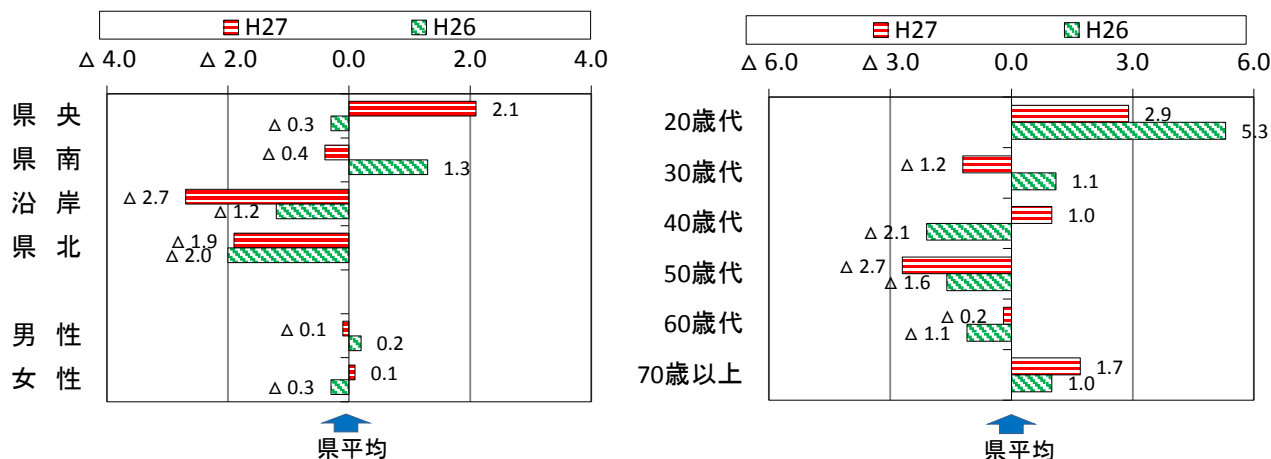
満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない

不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない

不明



満足の県平均との差

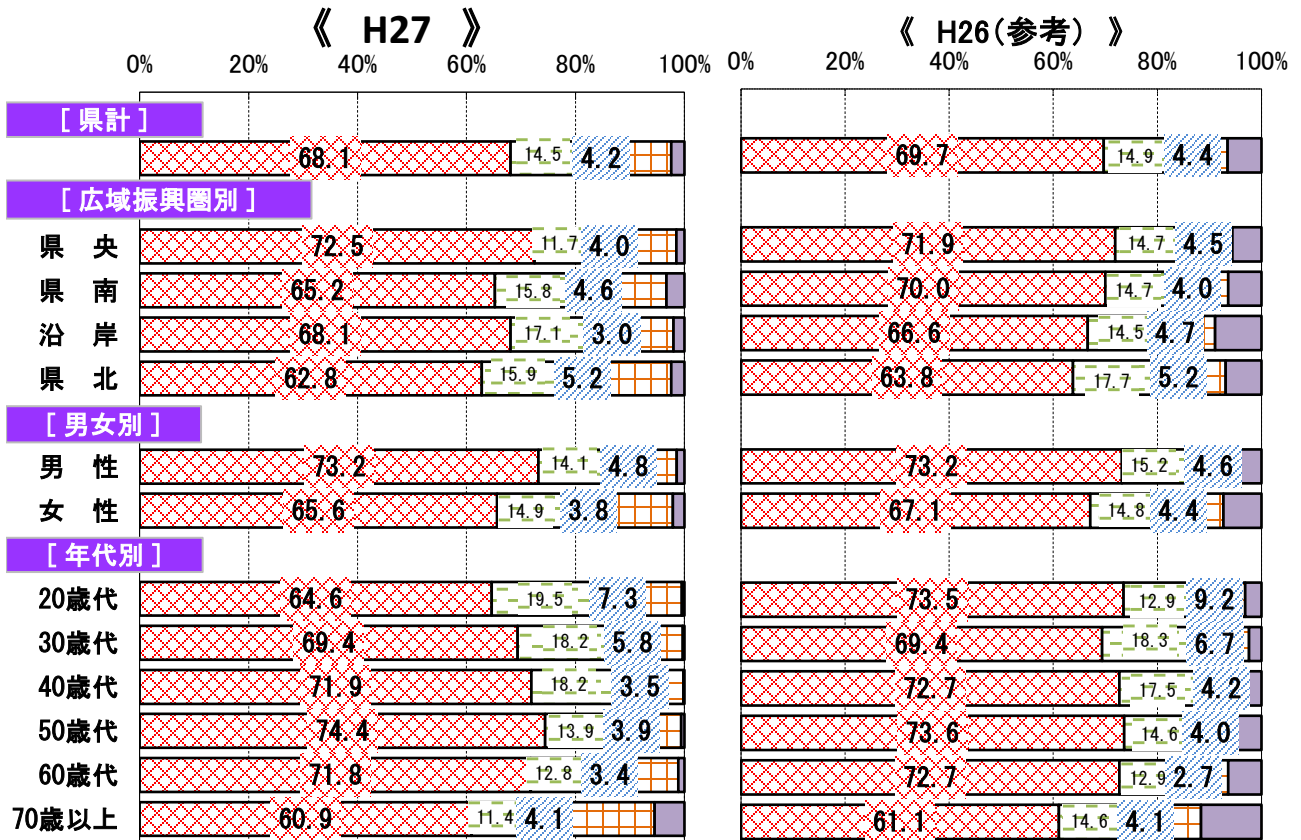
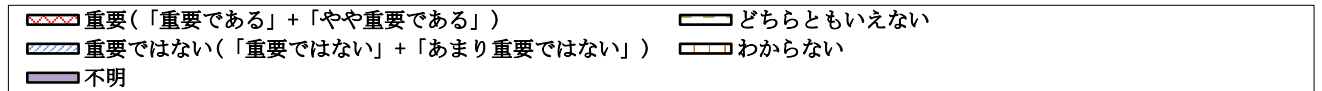


問2-11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。

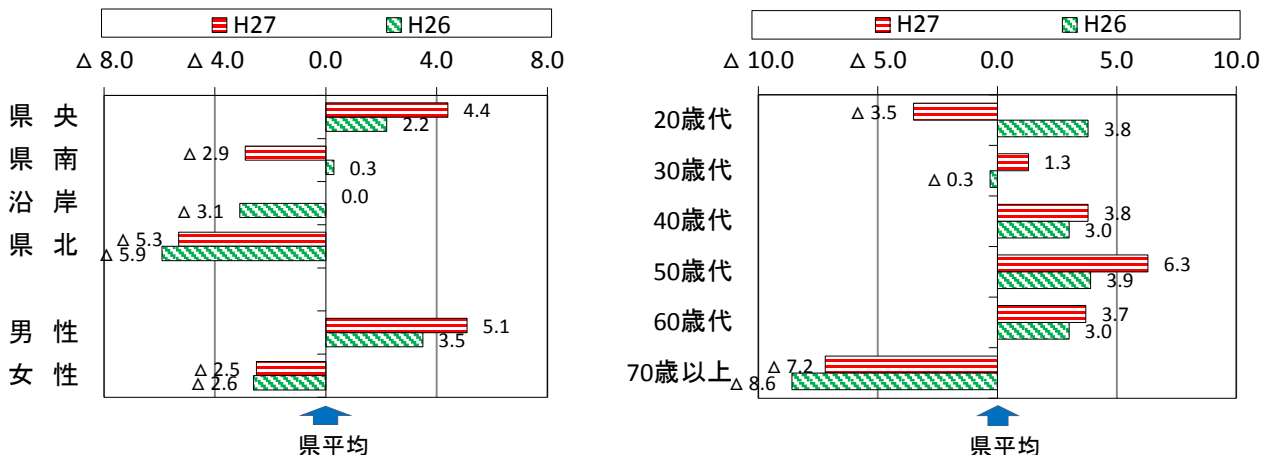
(1) 重要度について

重要が7割弱(68.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が68.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合4.2%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(72.5%)、男女別では男性(73.2%)、年代別では50歳代(74.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.3ポイント)、男女別では男性(5.1ポイント)、年代別では70歳以上(△7.2ポイント)となっている。



重要な県平均との差

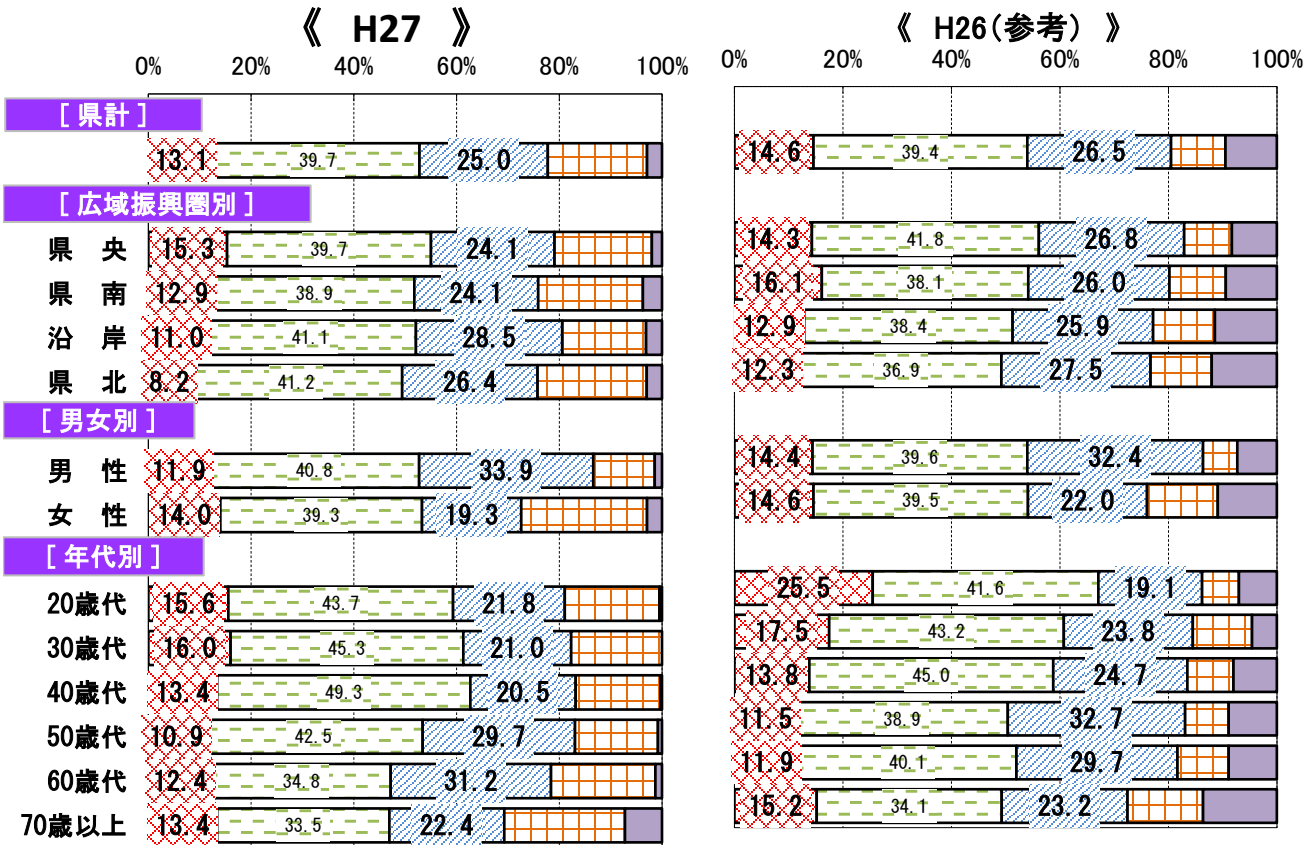


(2) 満足度について

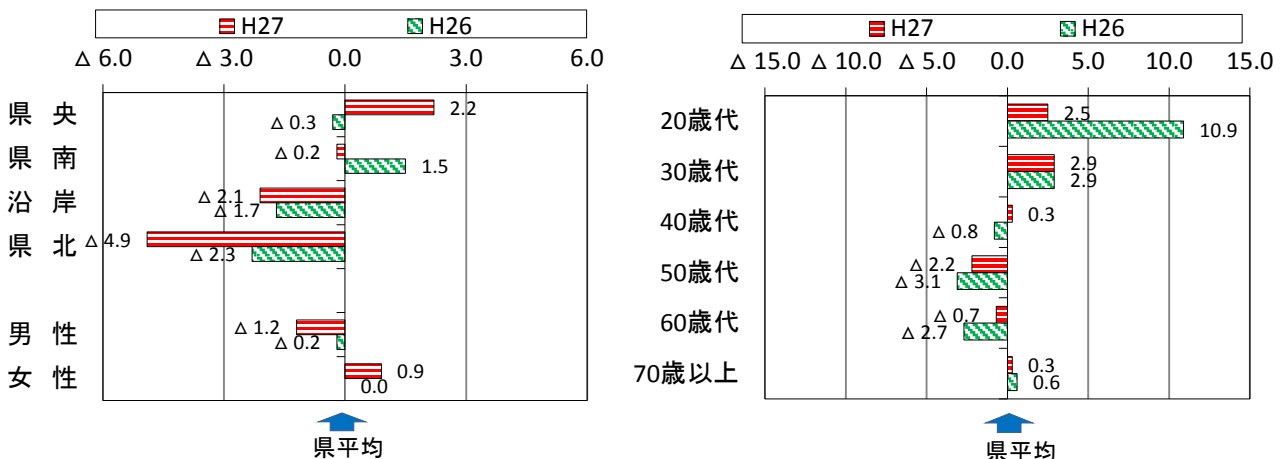
満足が1割強(13.1%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(15.3%)、男女別では女性(14.0%)、年代別では30歳代(16.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.9ポイント)、男女別では男性(△1.2ポイント)、年代別では30歳代(2.9ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない
 不明



満足の県平均との差

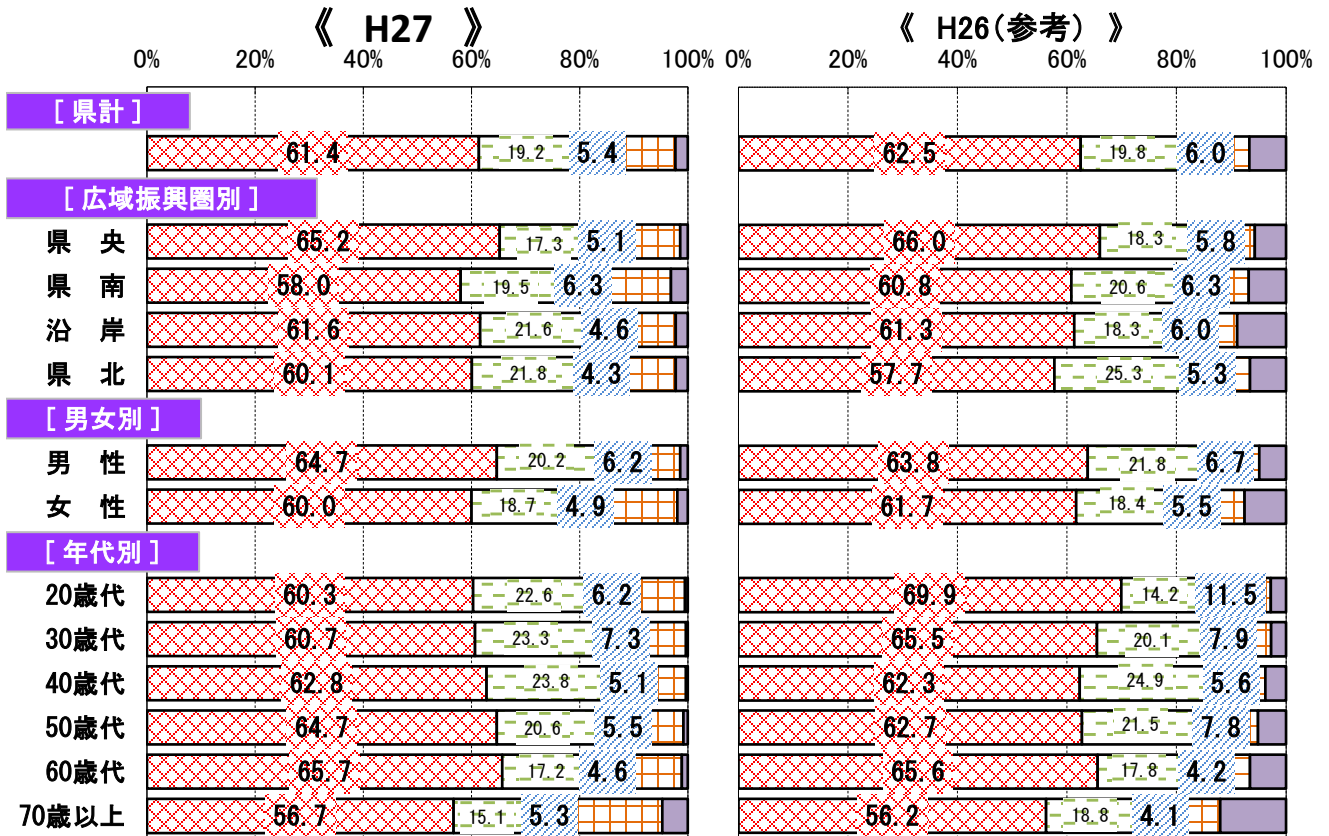
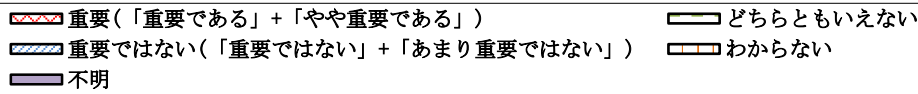


問2-12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。

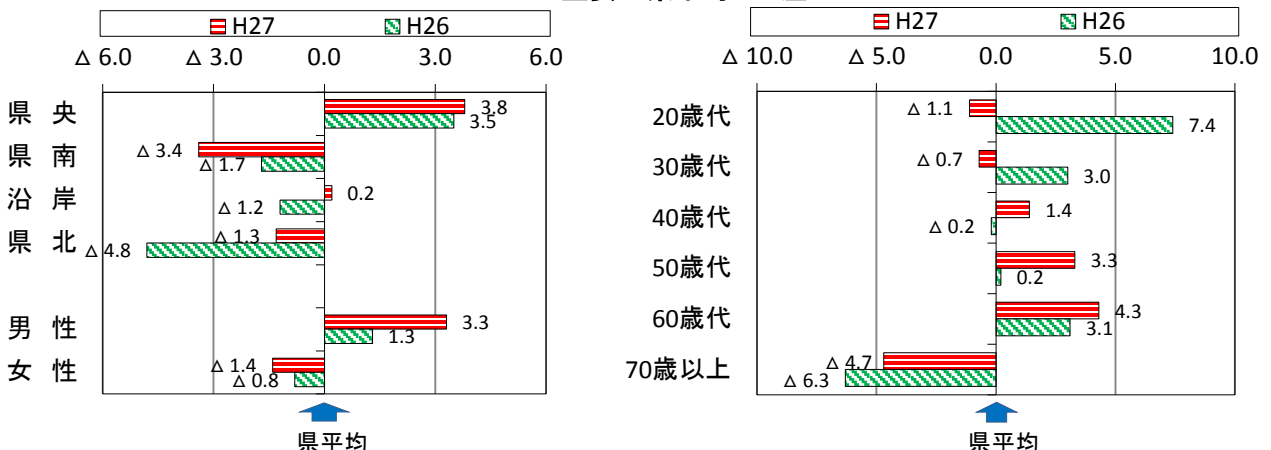
(1) 重要度について

重要が6割強(61.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が61.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合5.4%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(65.2%)、男女別では男性(64.7%)、年代別では60歳代(65.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.8ポイント)、男女別では男性(3.3ポイント)、年代別では70歳以上(△4.7ポイント)となっている。



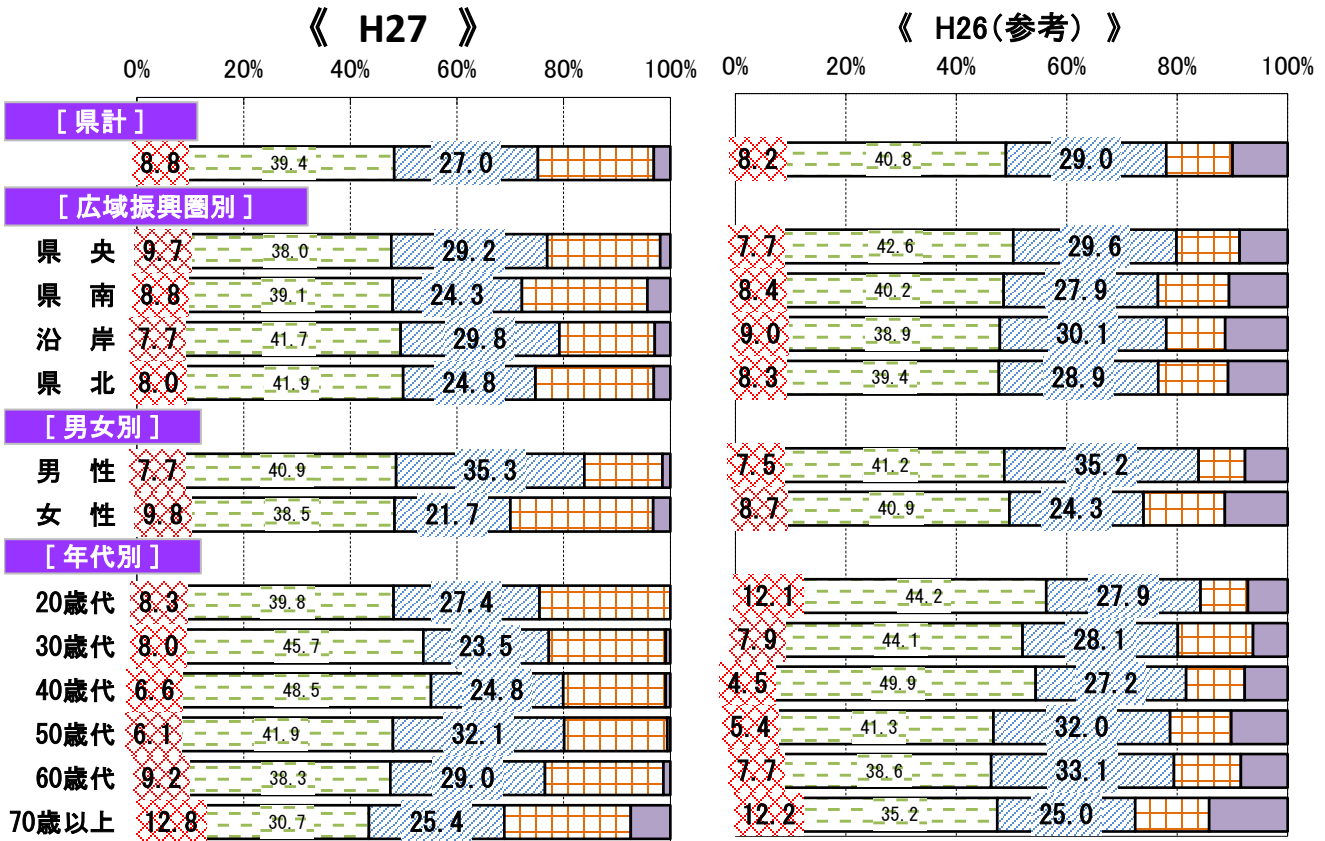
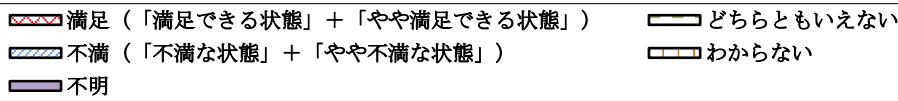
重要な県平均との差



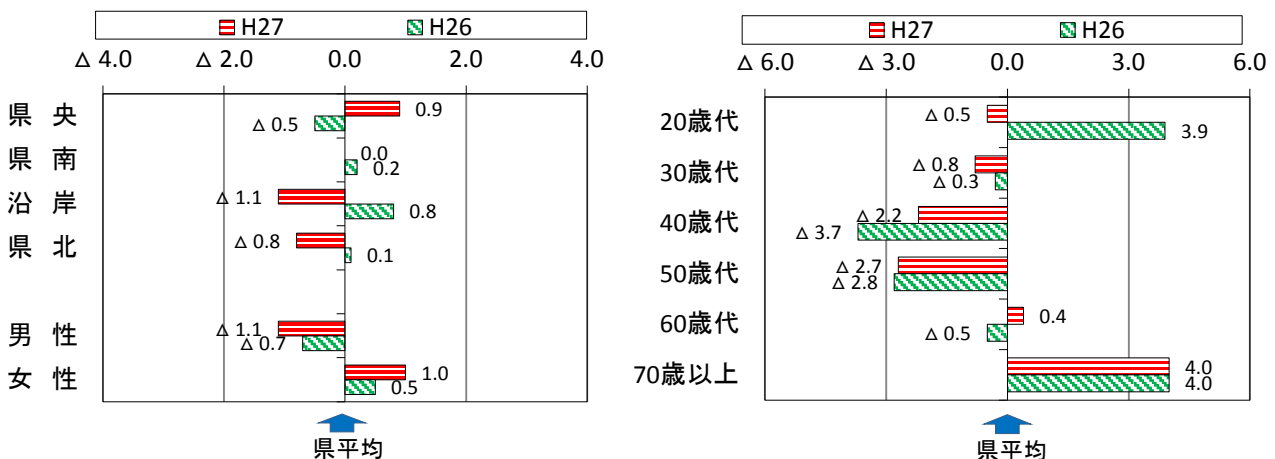
(2) 満足度について

満足が1割弱(8.8%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合27.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(9.7%)、男女別では女性(9.8%)、年代別では70歳以上(12.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△1.1ポイント)、男女別では男性(△1.1ポイント)、年代別では70歳以上(4.0ポイント)となっている。



満足の県平均との差

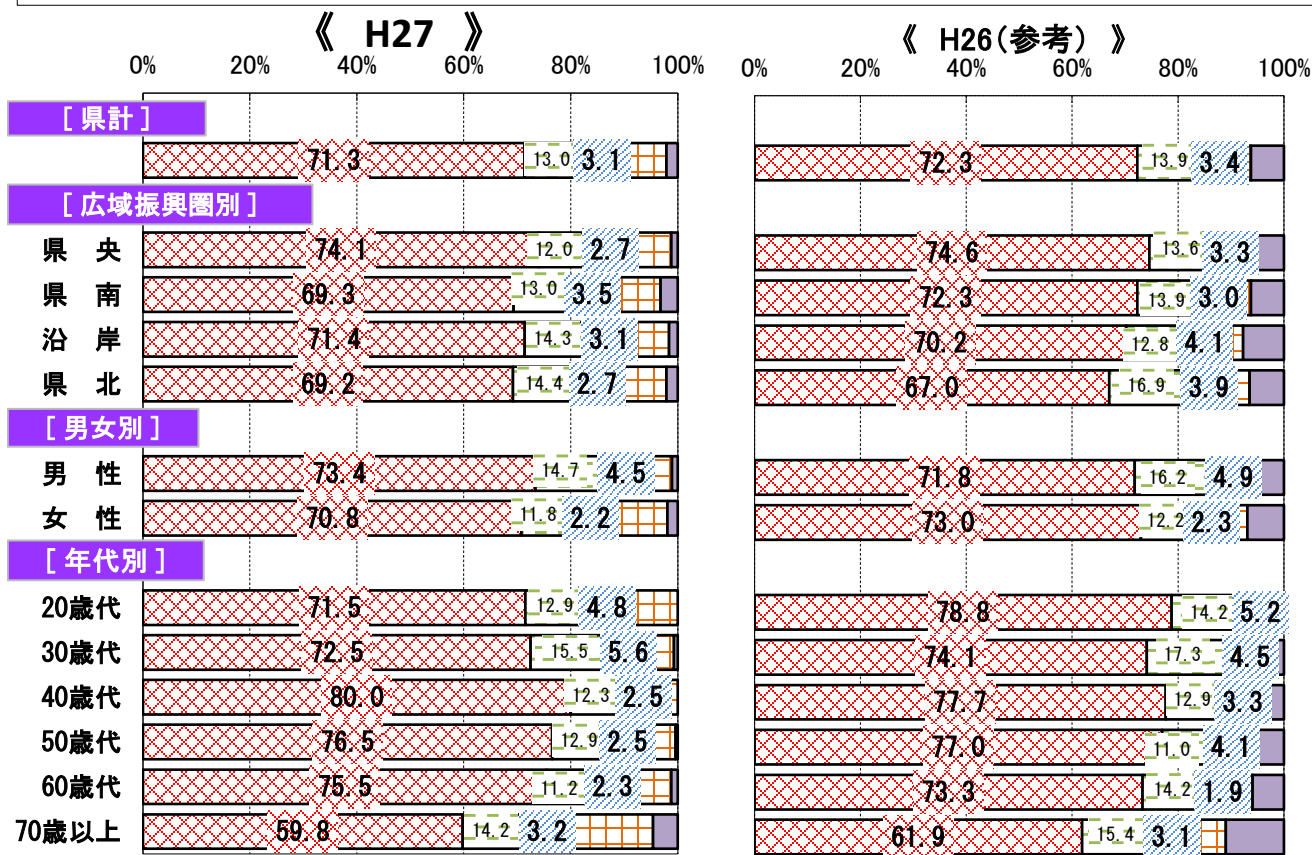
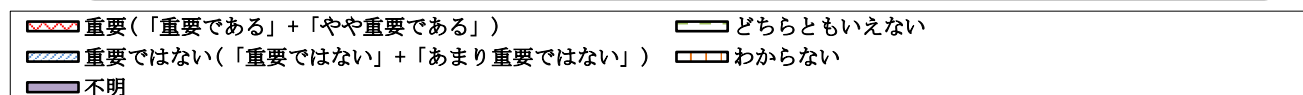


問2-13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。

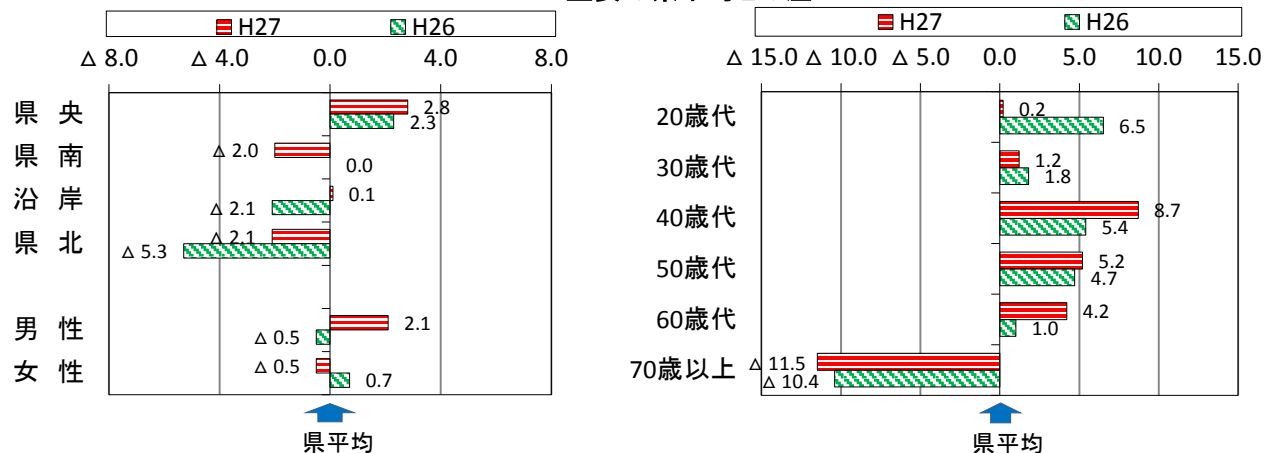
(1) 重要度について

重要が7割強(71.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が71.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.1%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(74.1%)、男女別では男性(73.4%)、年代別では40歳代(80.0%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.8ポイント)、男女別では男性(2.1ポイント)、年代別では70歳以上(△11.5ポイント)となっている。



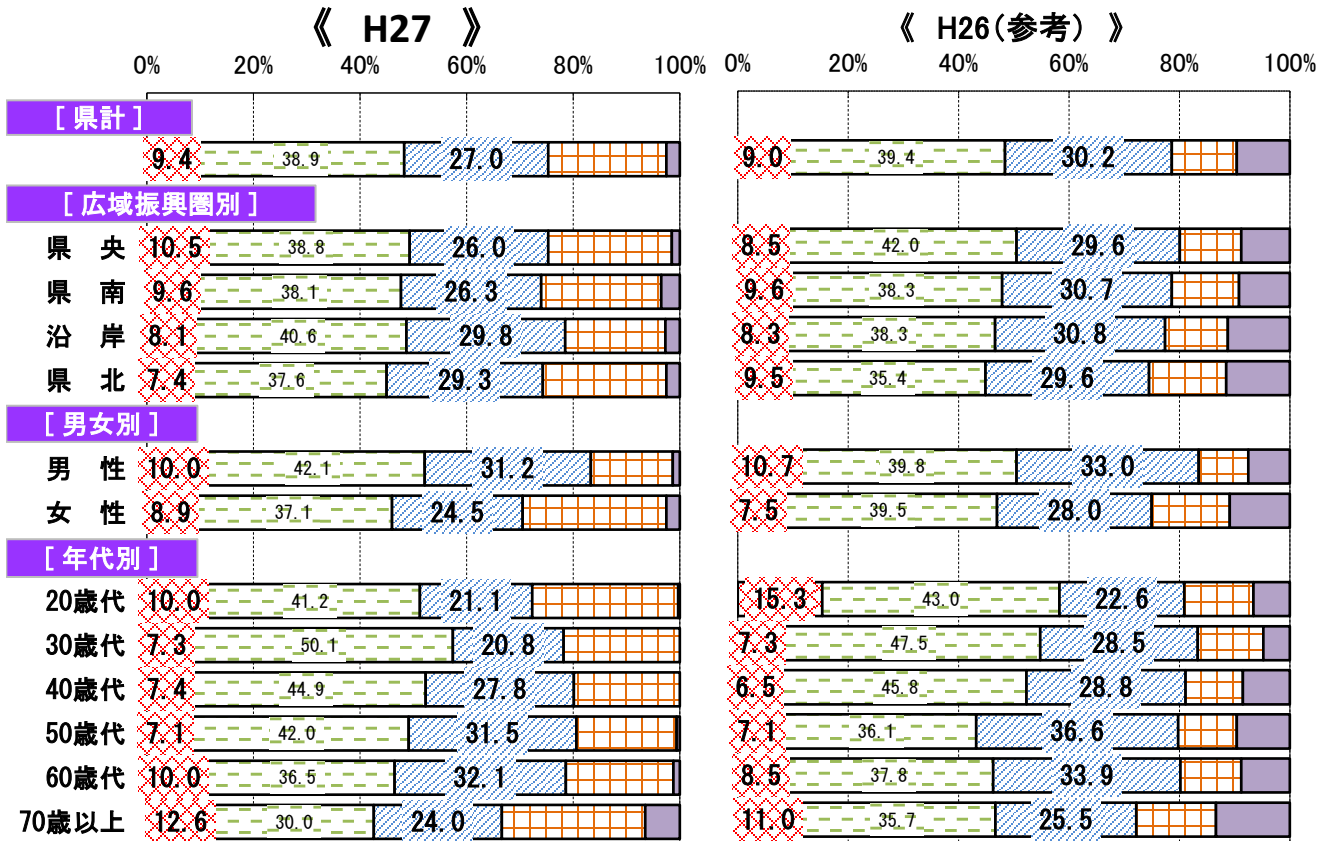
重要の県平均との差



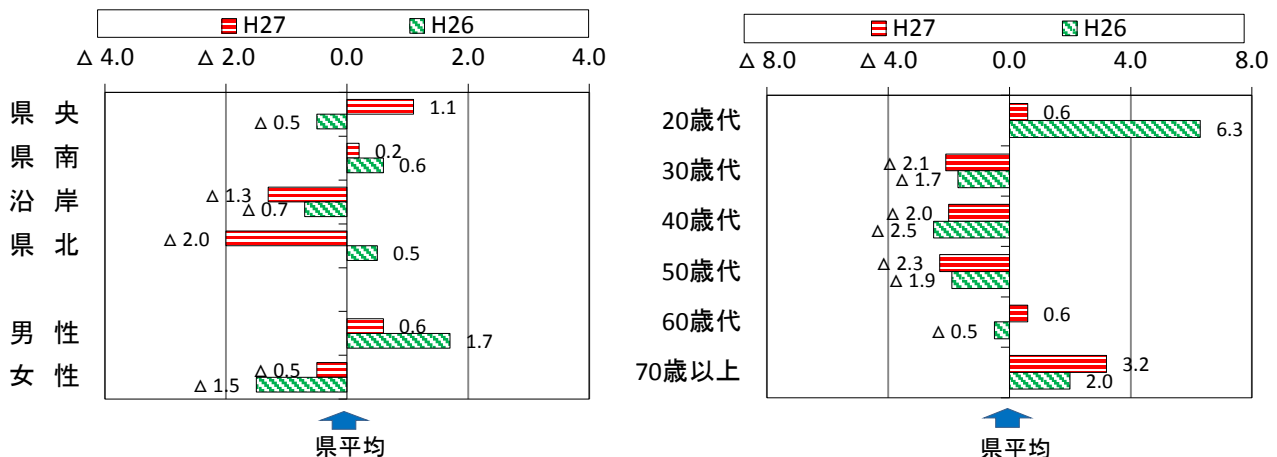
(2) 満足度について

満足が1割弱(9.4%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合27.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(10.5%)、男女別では男性(10.0%)、年代別では70歳以上(12.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(Δ2.0ポイント)、男女別では男性(0.6ポイント)、年代別では70歳以上(3.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

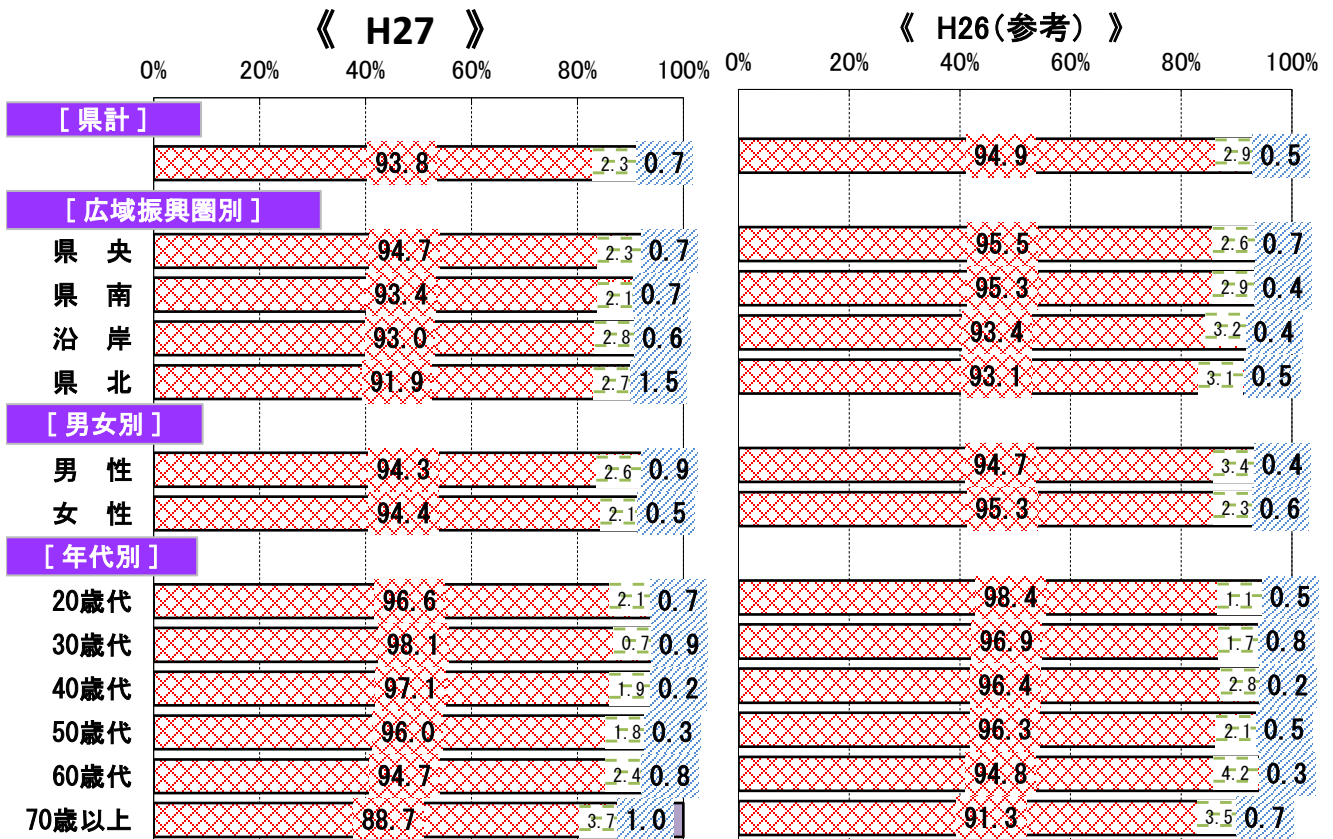
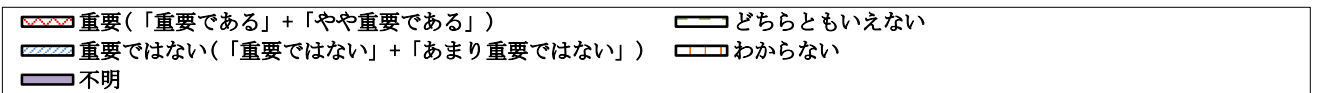


問2-14 必要な医療を適切に受けられること。

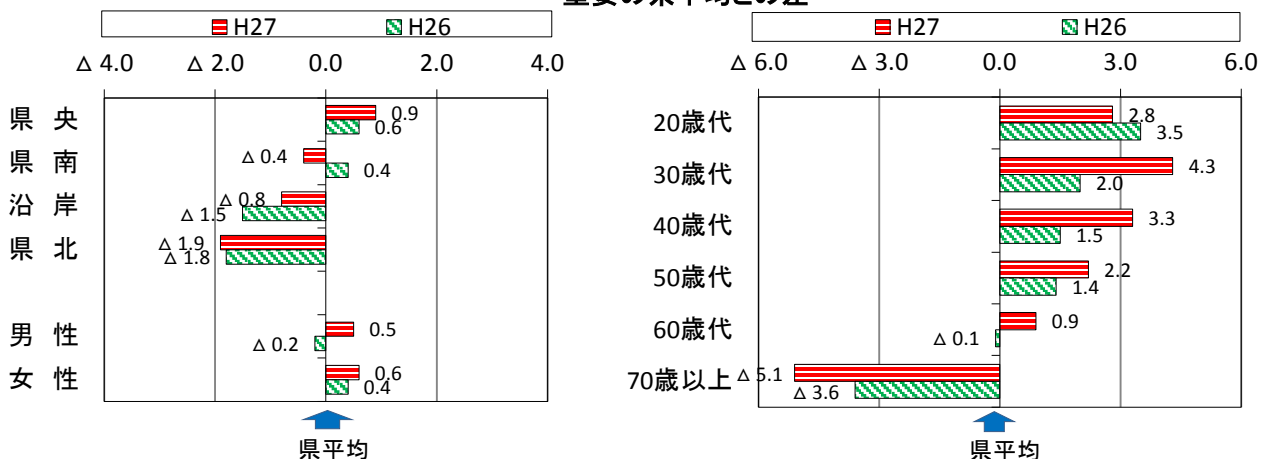
(1) 重要度について

重要が9割強(93.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が93.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合0.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(94.7%)、男女別では女性(94.4%)、年代別では30歳代(98.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△1.9ポイント)、男女別では女性(0.6ポイント)、年代別では70歳以上(△5.1ポイント)となっている。



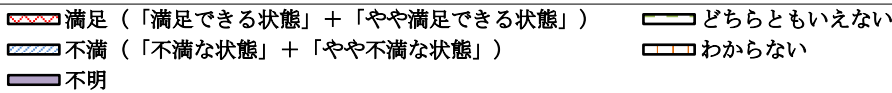
重要の県平均との差



(2) 満足度について

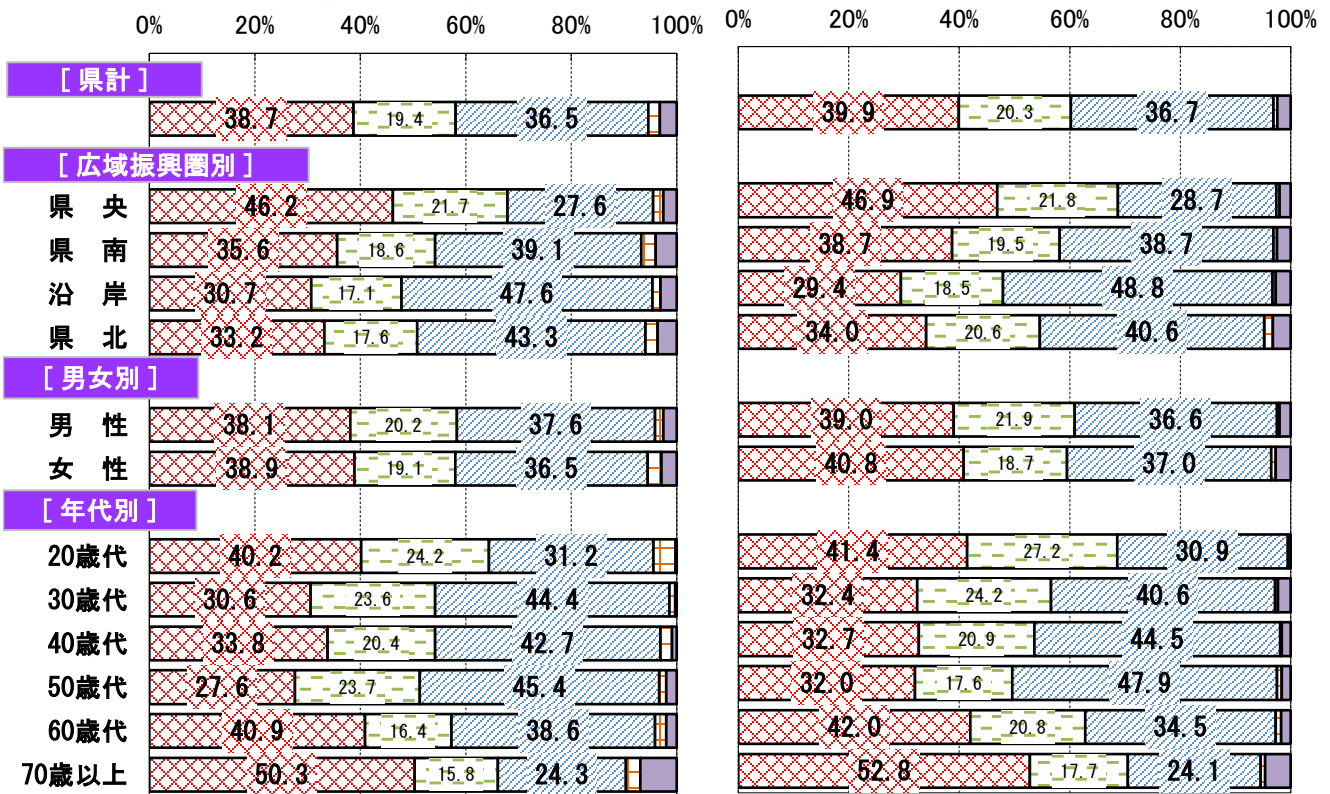
満足が4割弱(38.7%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が38.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合36.5%を若干上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(46.2%)、男女別では女性(38.9%)、年代別では70歳以上(50.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△8.0ポイント)、男女別では男性(△0.6ポイント)、年代別では70歳以上(11.6ポイント)となっている。

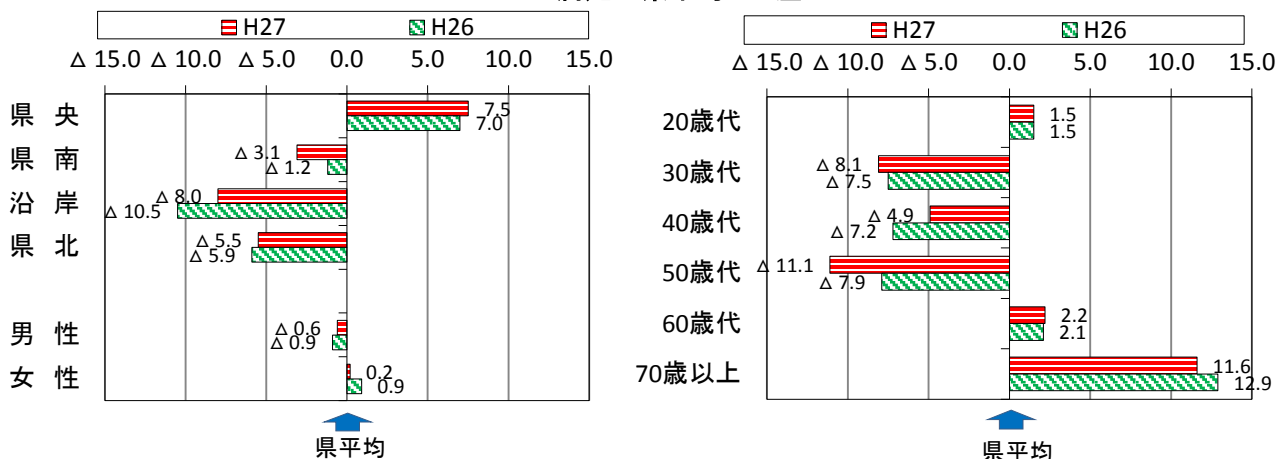


《 H27 》

《 H26(参考) 》



満足の県平均との差

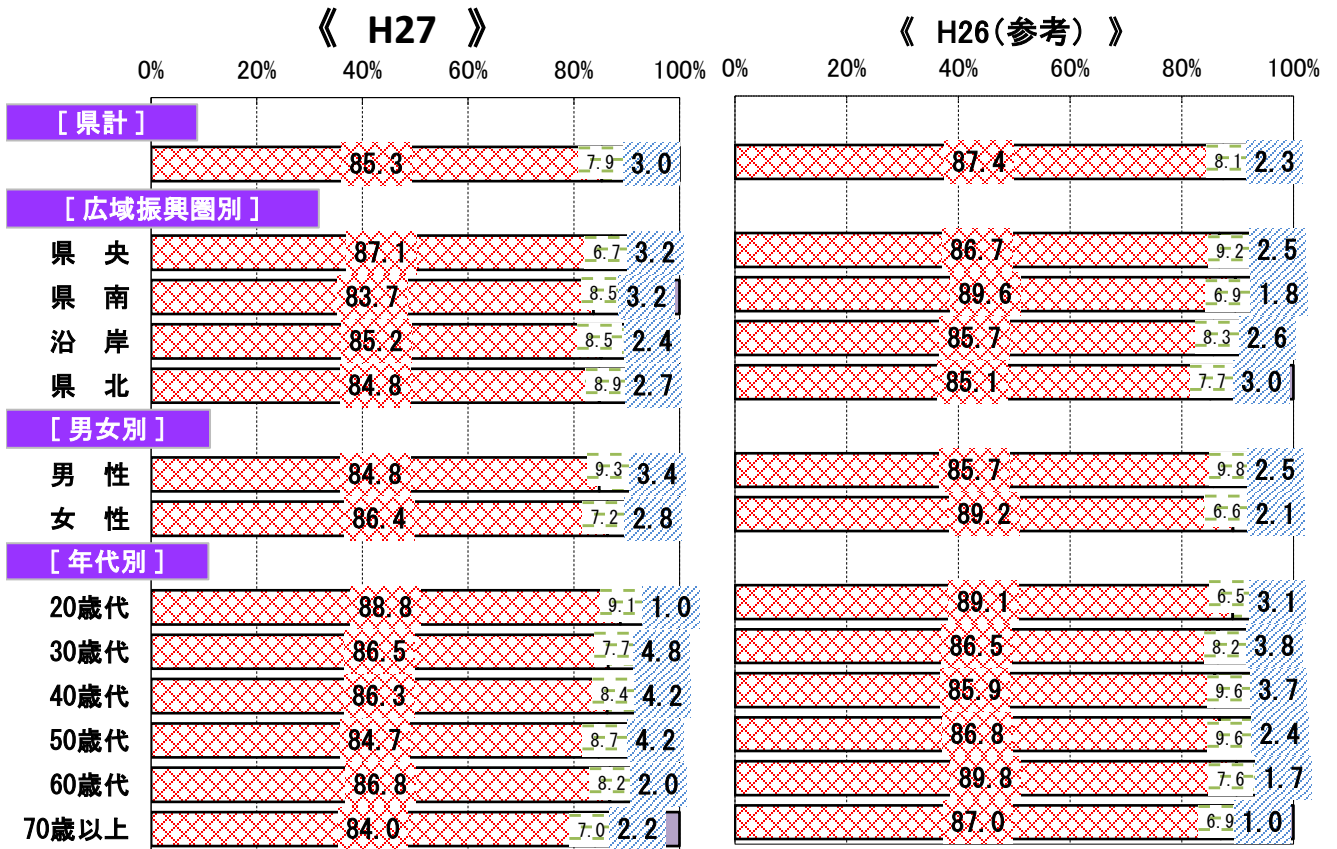
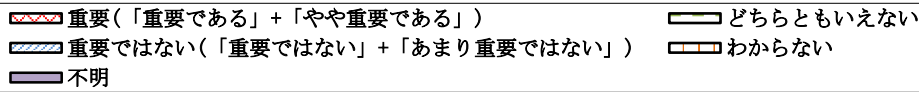


問2-15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。

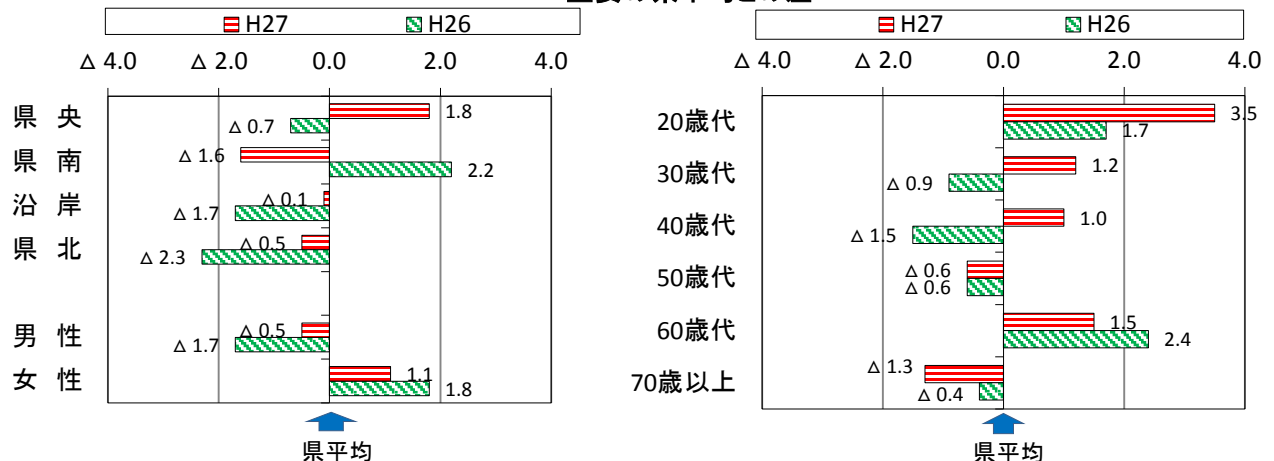
(1) 重要度について

重要が約85% (85.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が85.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(87.1%)、男女別では女性(86.4%)、年代別では20歳代(88.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.8ポイント)、男女別では女性(1.1ポイント)、年代別では20歳代(3.5ポイント)となっている。



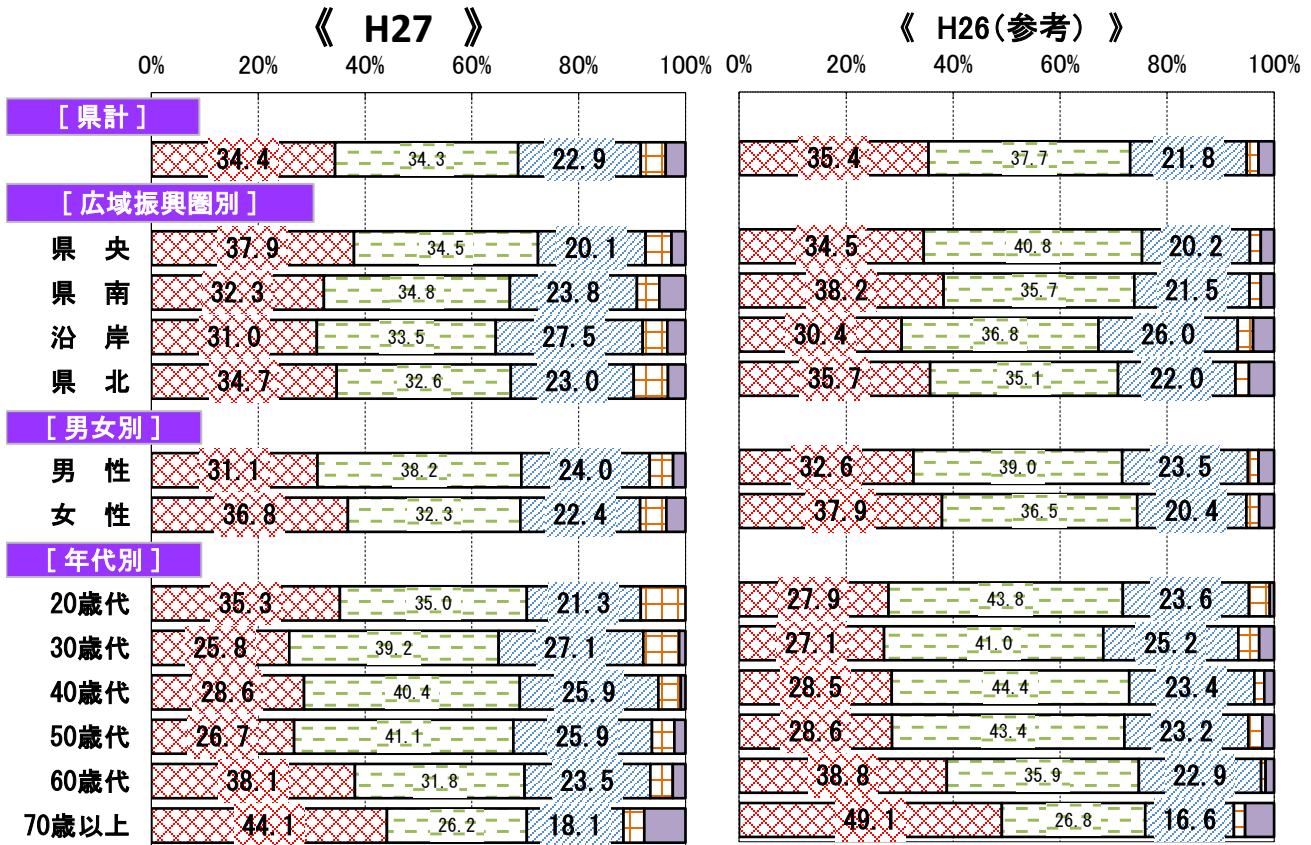
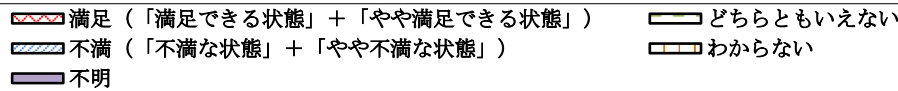
重要の県平均との差



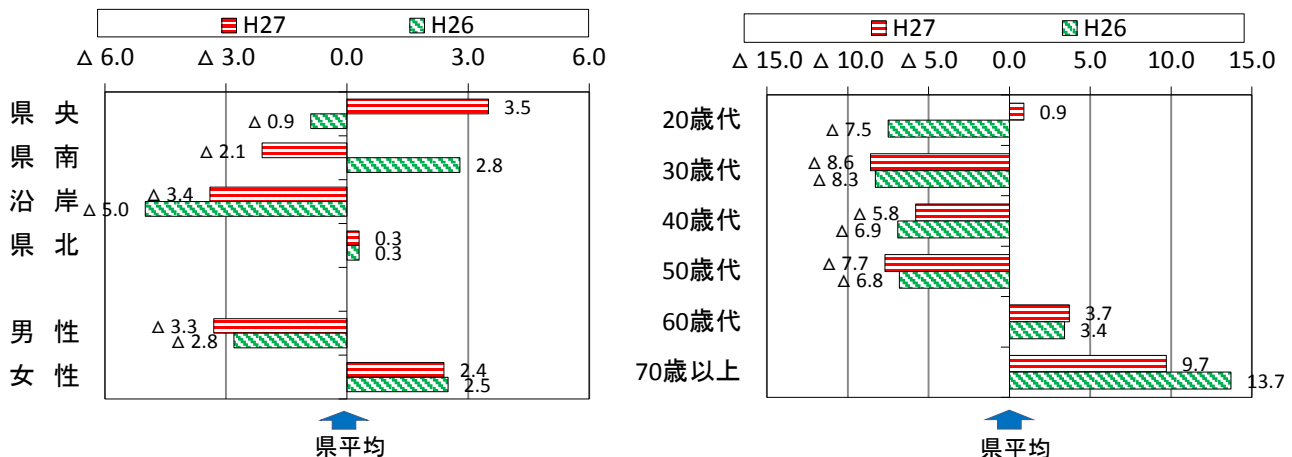
(2) 満足度について

満足が約35% (34.4%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が34.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.9%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(37.9%)、男女別では女性(36.8%)、年代別では70歳以上(44.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.5ポイント)、男女別では男性(△3.3ポイント)、年代別では70歳以上(9.7ポイント)となっている。



満足の県平均との差

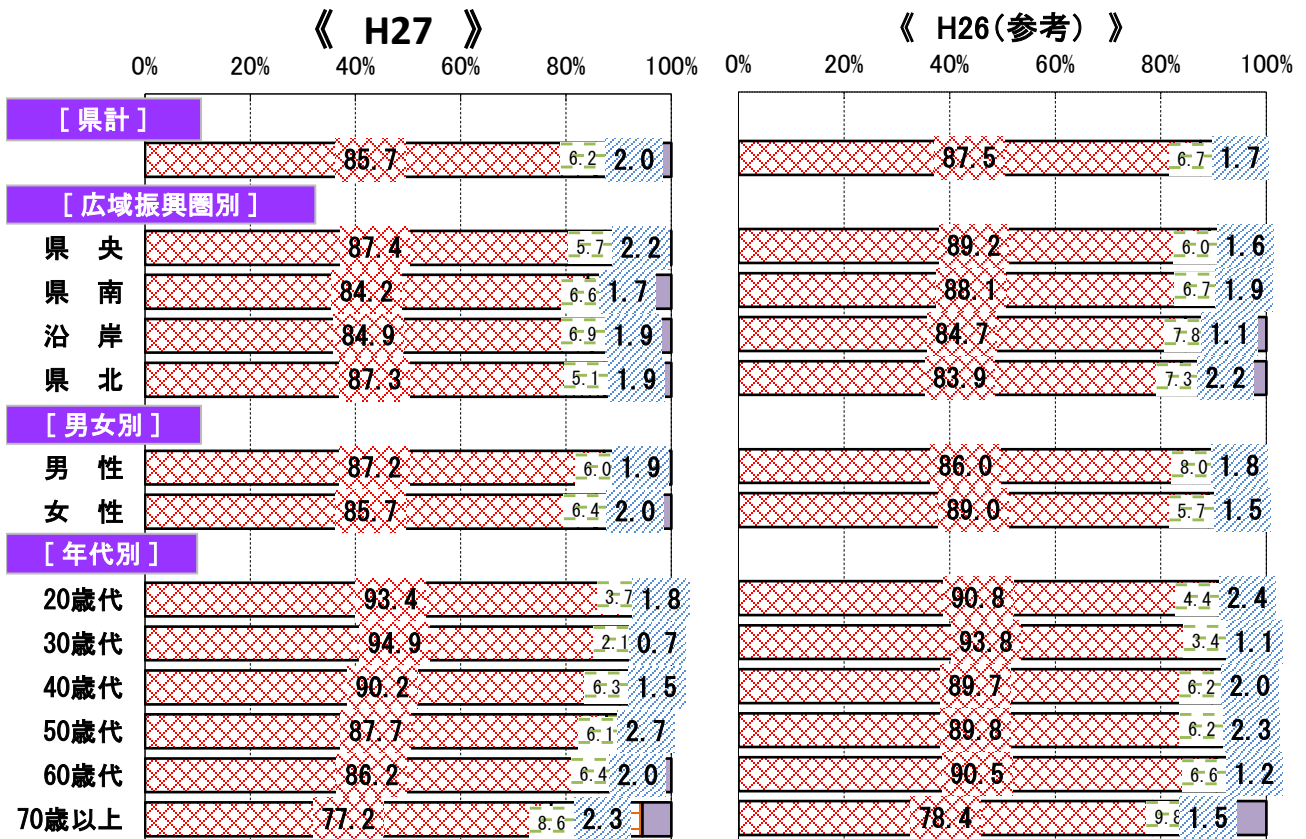
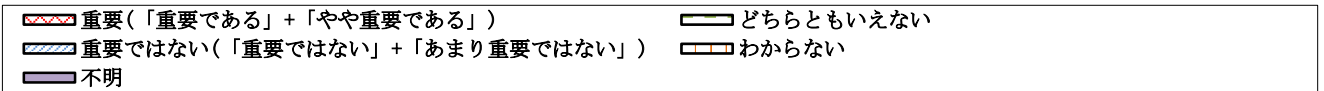


問2-16 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。

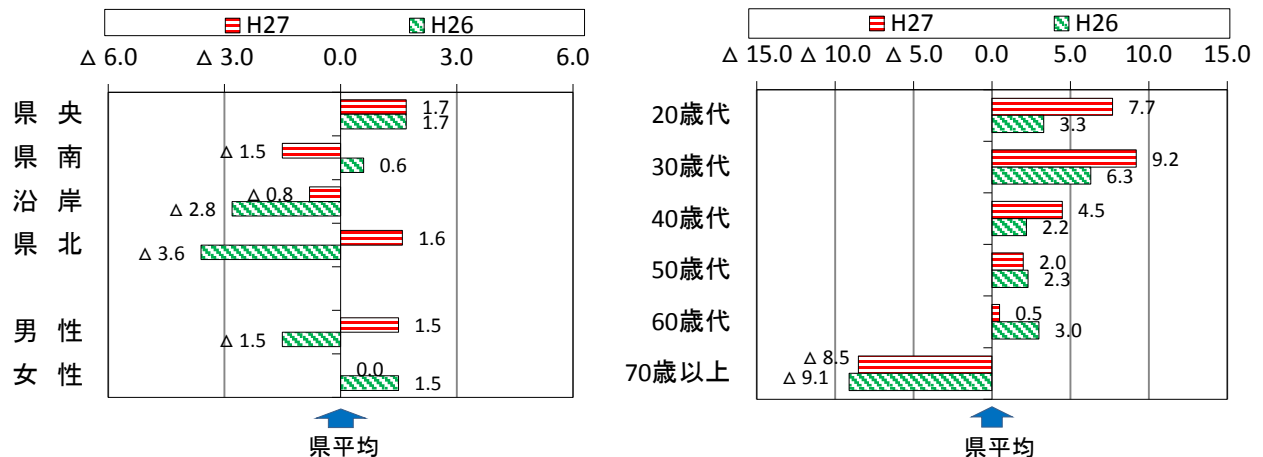
(1) 重要度について

重要が約85% (85.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が85.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合2.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(87.4%)、男女別では男性(87.2%)、年代別では30歳代(94.9%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.7ポイント)、男女別では男性(1.5ポイント)、年代別では30歳代(9.2ポイント)となっている。



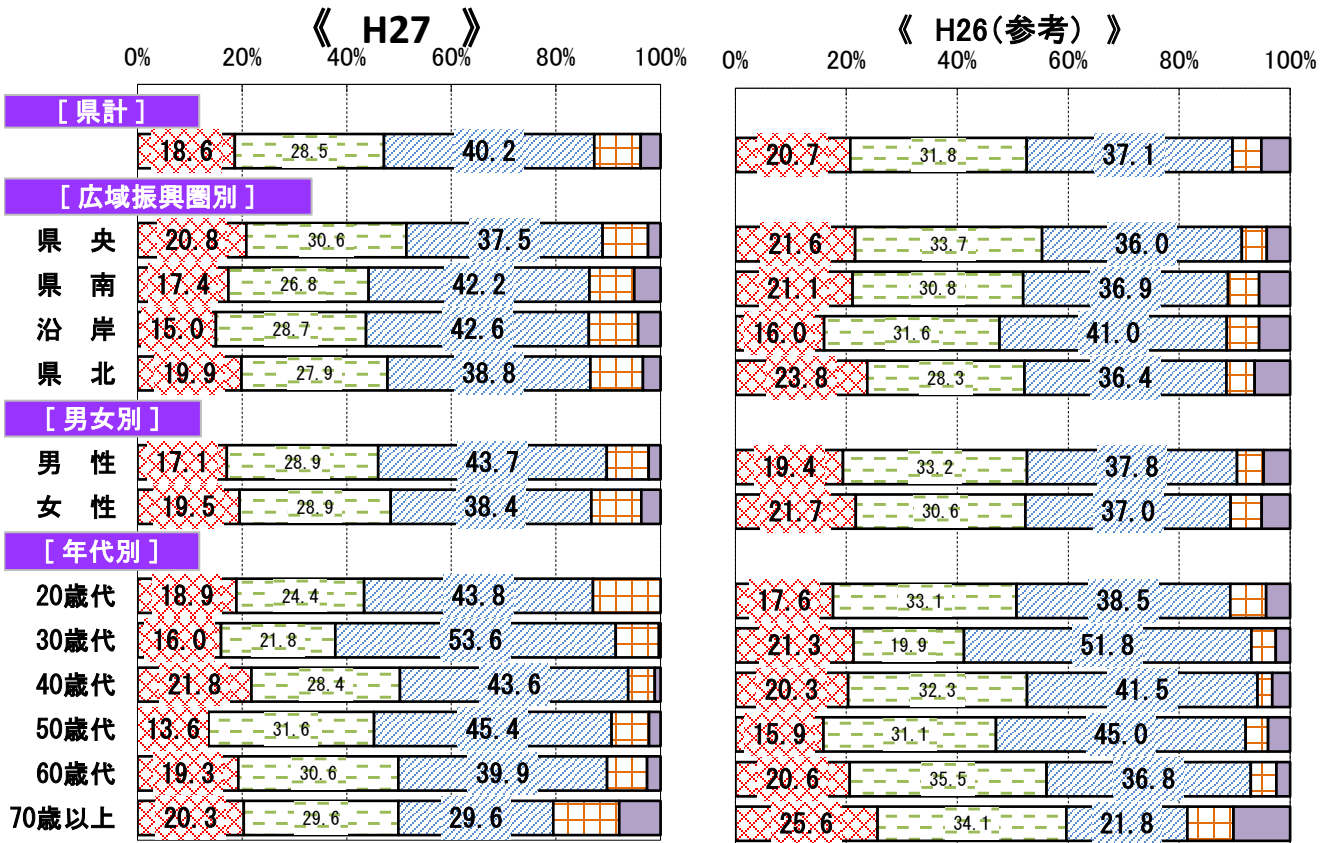
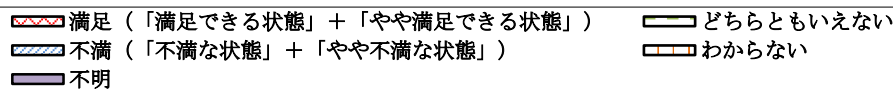
重要の県平均との差



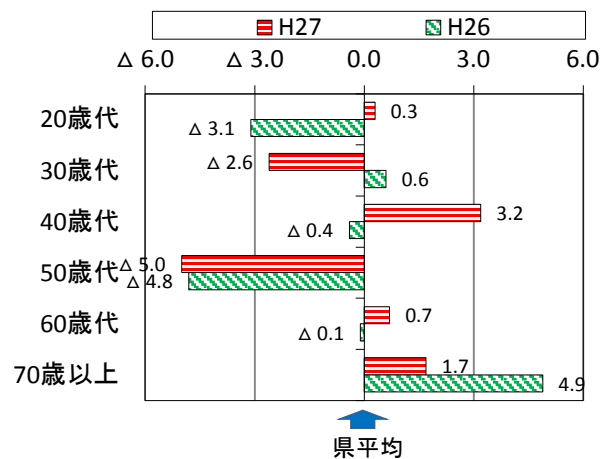
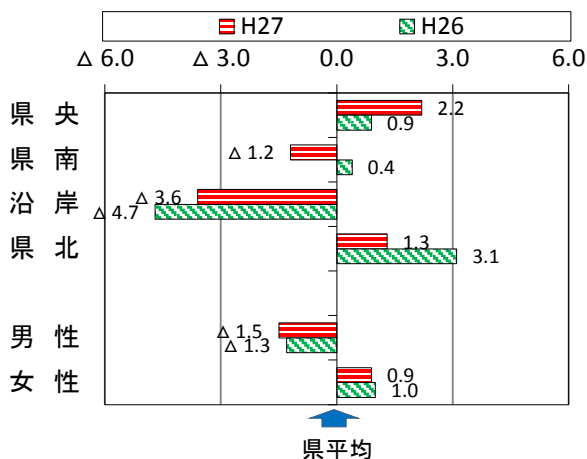
(2) 満足度について

満足が2割弱(18.6%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合40.2%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(20.8%)、男女別では女性(19.5%)、年代別では40歳代(21.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△3.6ポイント)、男女別では男性(△1.5ポイント)、年代別では50歳代(△5.0ポイント)となっている。



満足の県平均との差

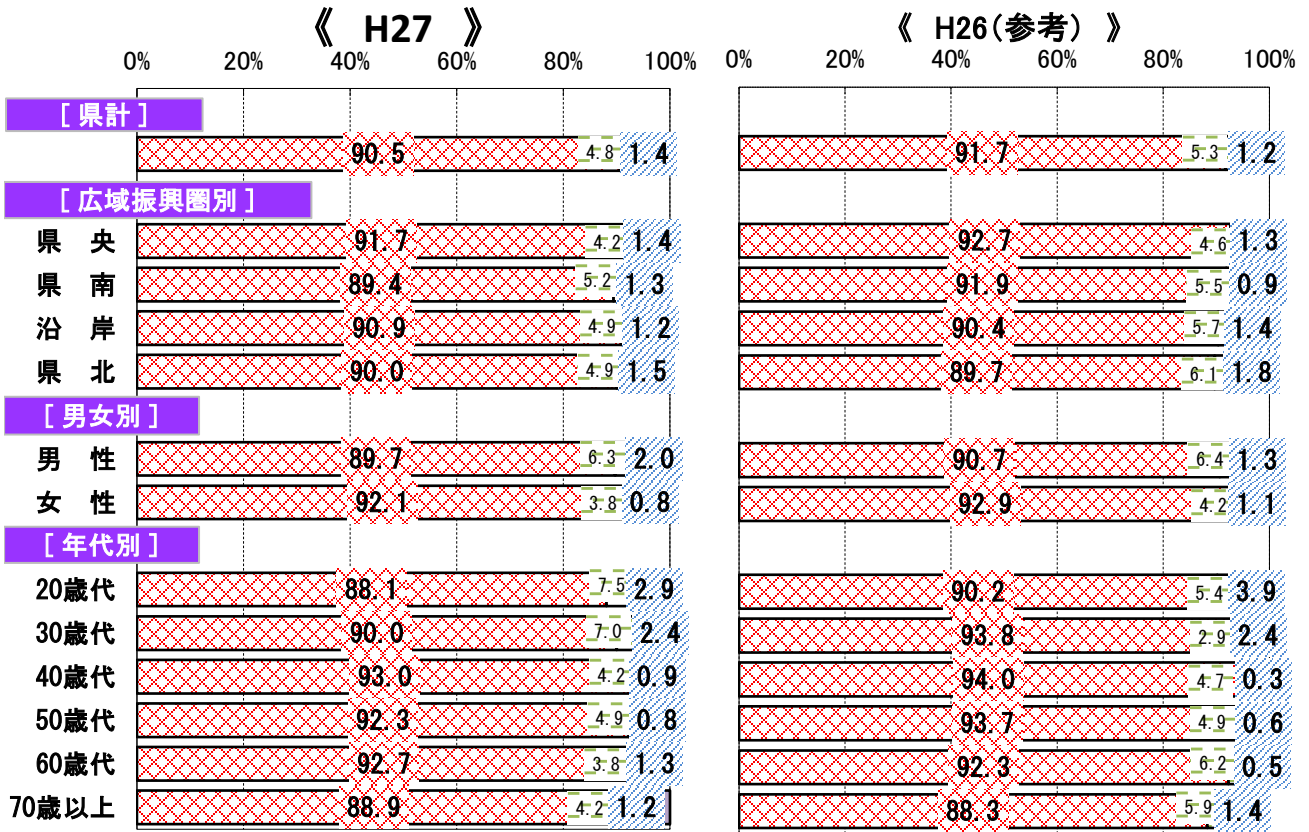
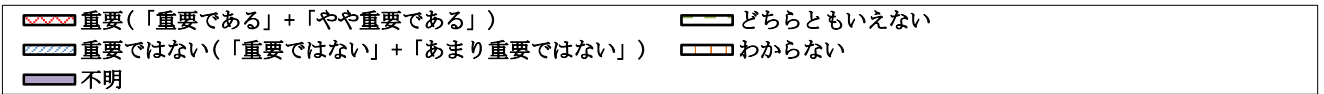


問2-17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。

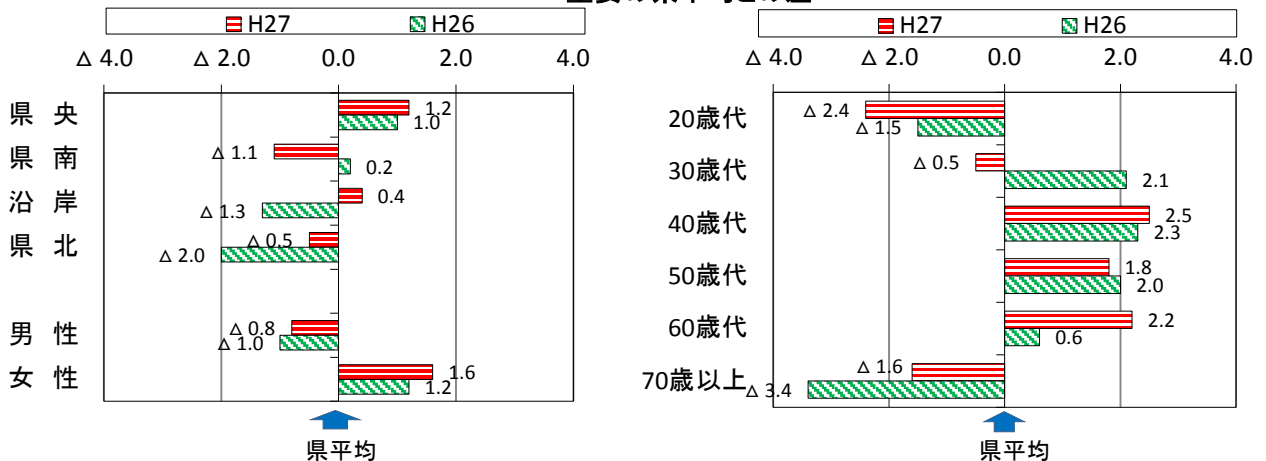
(1) 重要度について

重要が9割強(90.5%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が90.5%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.4%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(91.7%)、男女別では女性(92.1%)、年代別では40歳代(93.0%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.2ポイント)、男女別では女性(1.6ポイント)、年代別では40歳代(2.5ポイント)となっている。



重要の県平均との差

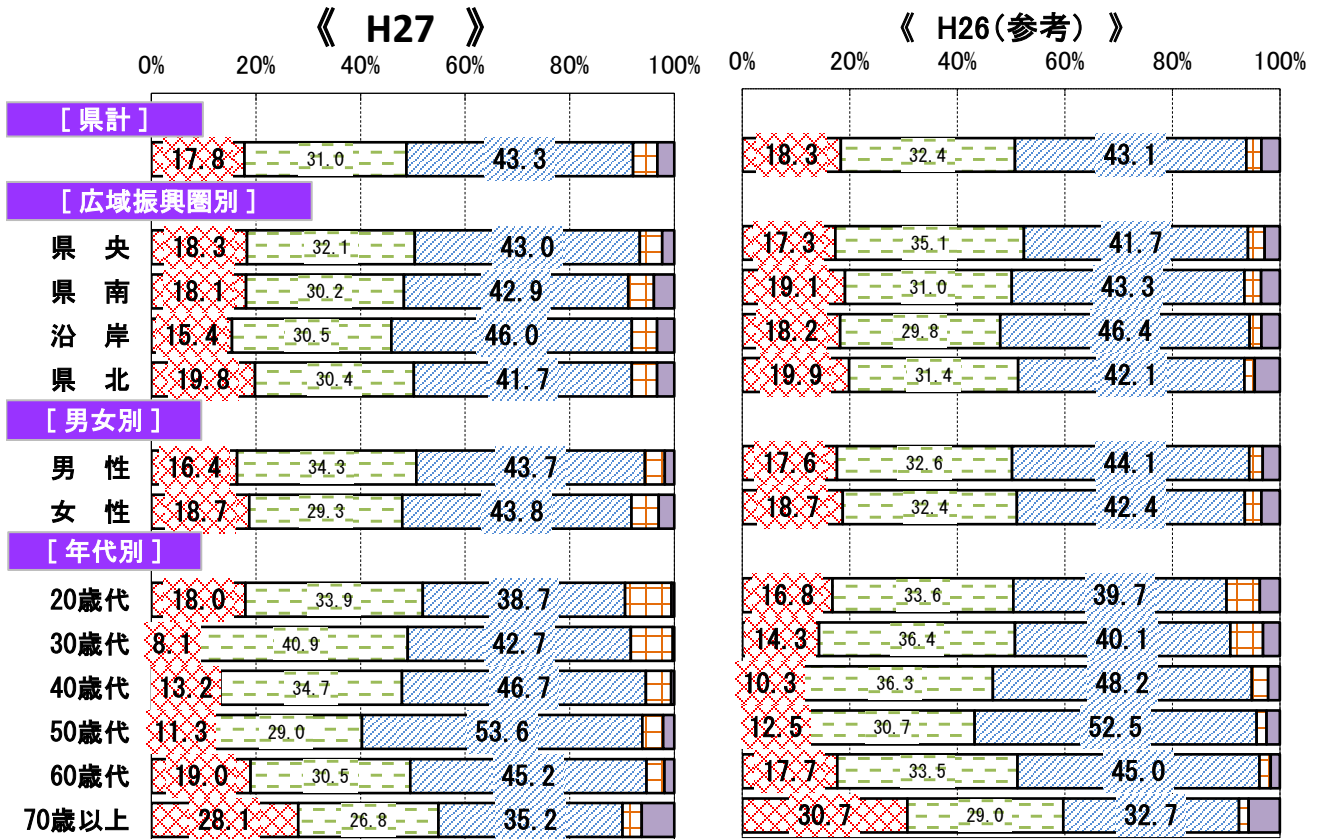


(2) 満足度について

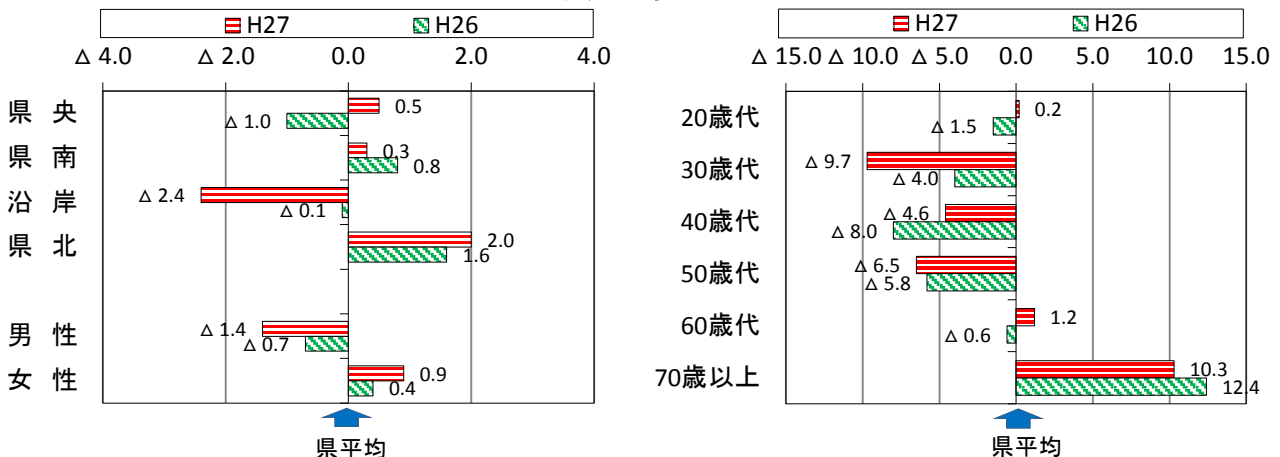
満足が2割弱(17.8%)、不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が17.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合43.3%を大きく下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(19.8%)、男女別では女性(18.7%)、年代別では70歳以上(28.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△2.4ポイント)、男女別では男性(△1.4ポイント)、年代別では70歳以上(10.3ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない
 不明



満足の県平均との差

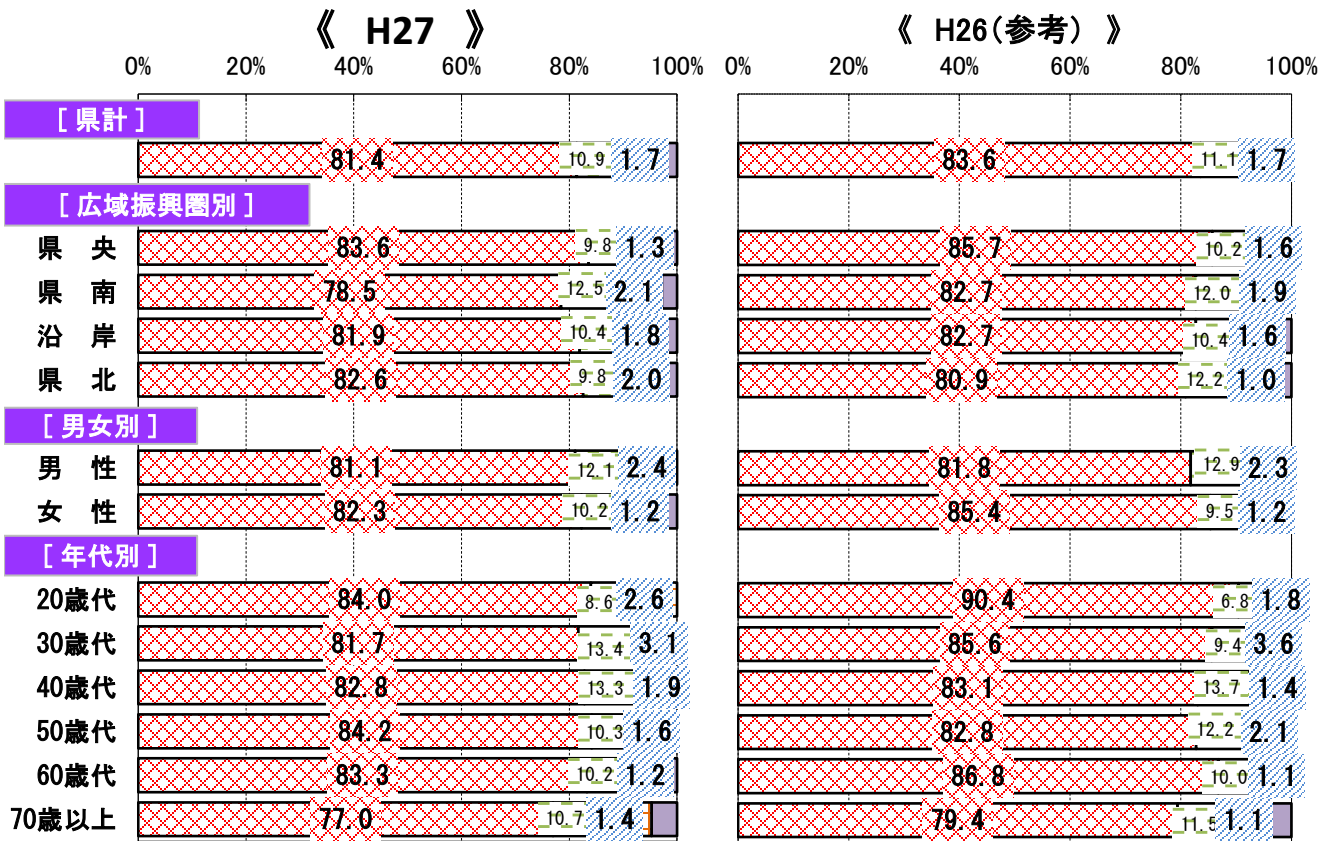
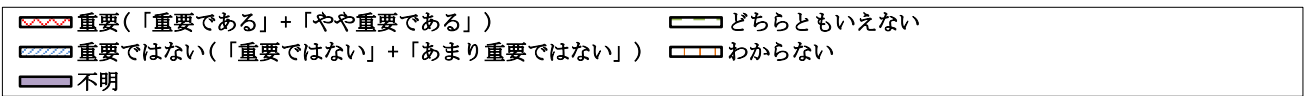


問2-18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。

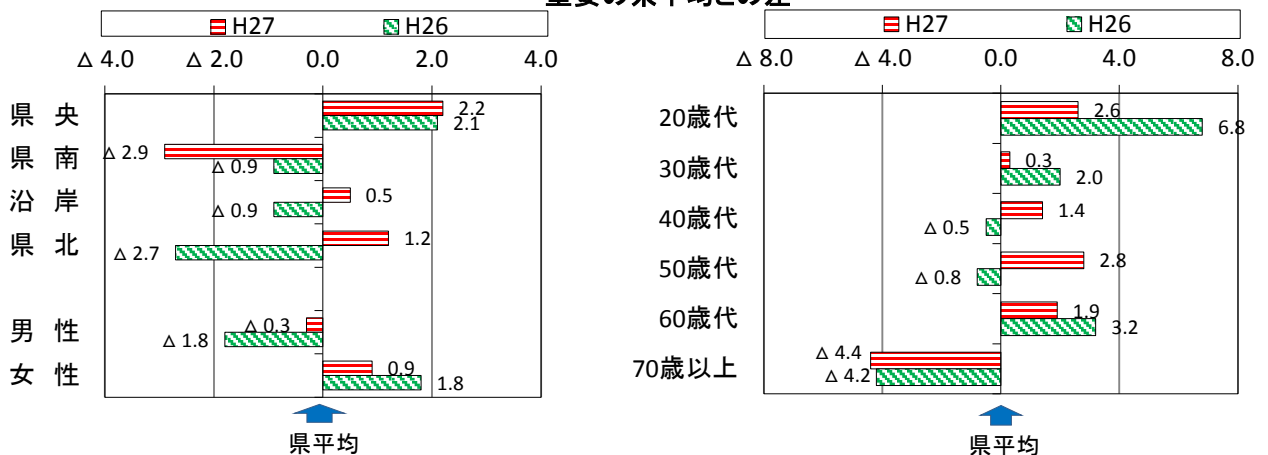
(1) 重要度について

重要が8割強(81.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が81.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(83.6%)、男女別では女性(82.3%)、年代別では50歳代(84.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.9ポイント)、男女別では女性(0.9ポイント)、年代別では70歳以上(△4.4ポイント)となっている。



重要の県平均との差

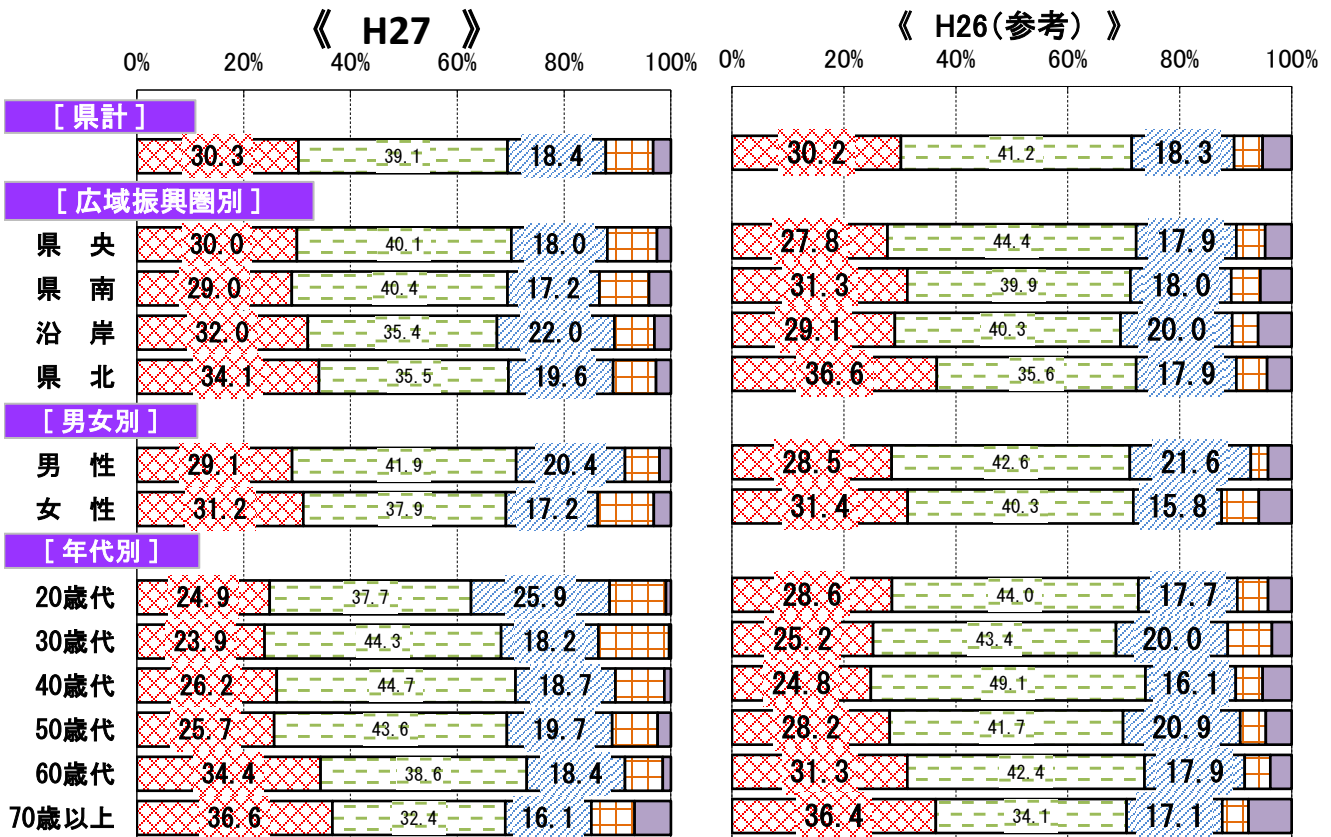


(2) 満足度について

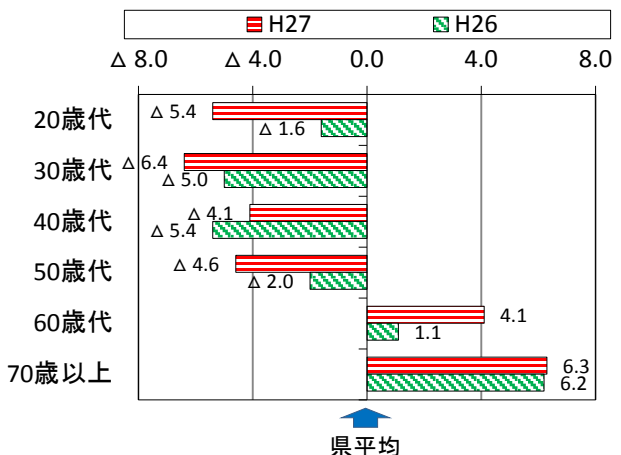
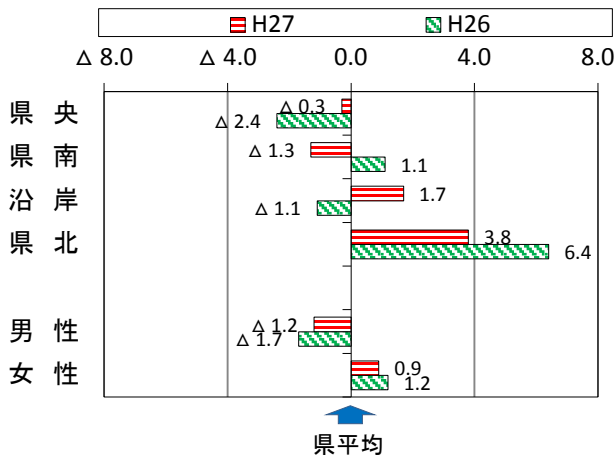
満足が約3割(30.3%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(34.1%)、男女別では女性(31.2%)、年代別では70歳以上(36.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(3.8ポイント)、男女別では男性(△1.2ポイント)、年代別では30歳代(△6.4ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 どちらともいえない
 わからない
 不明



満足の県平均との差

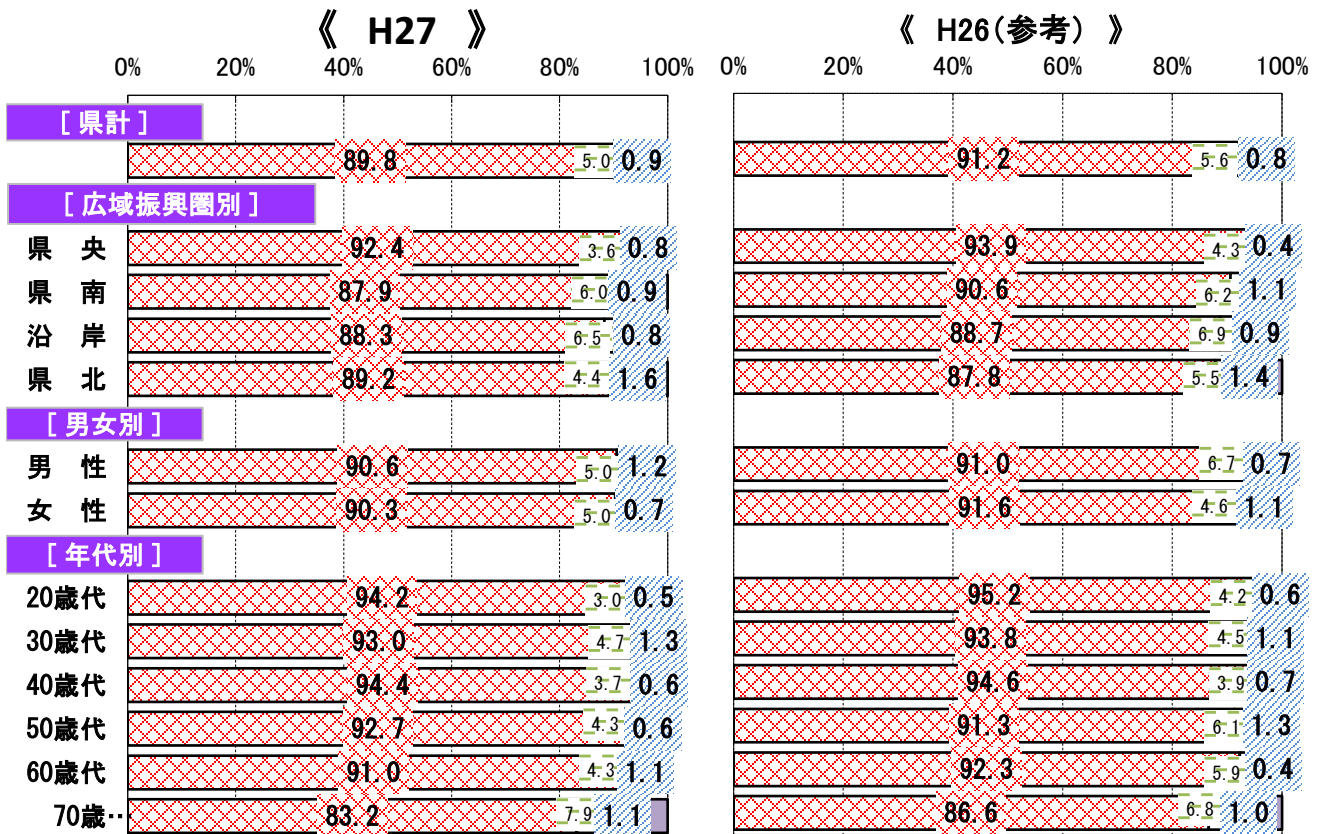
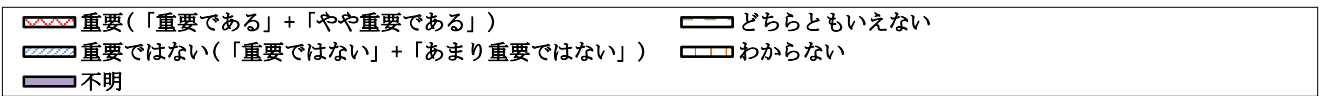


問2-19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。

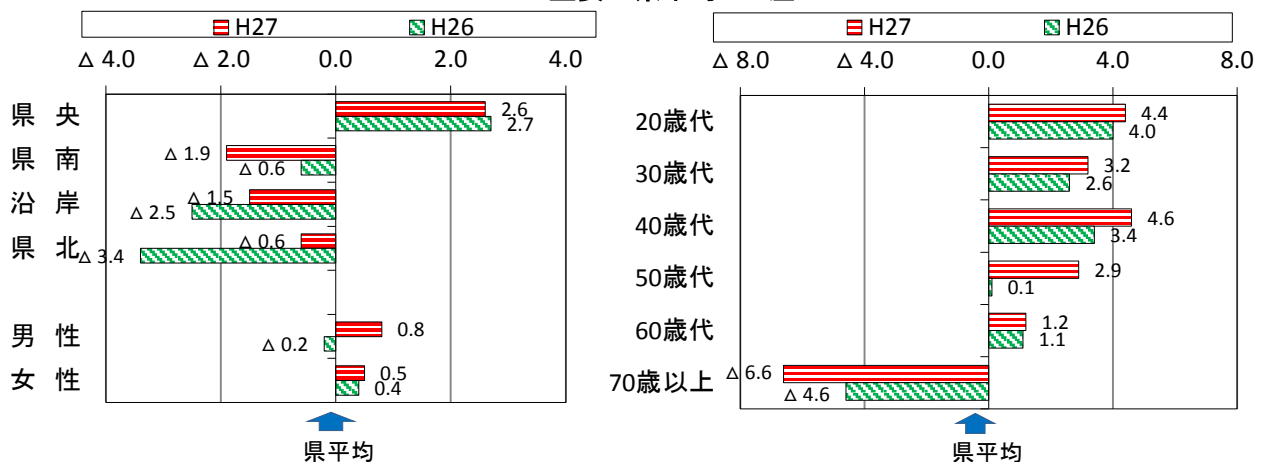
(1) 重要度について

重要が約9割(89.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が89.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合0.9%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(92.4%)、男女別では男性(90.6%)、年代別では40歳代(94.4%)において重要の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.6ポイント)、男女別では男性(0.8ポイント)、年代別では70歳以上(Δ6.6ポイント)となっている。



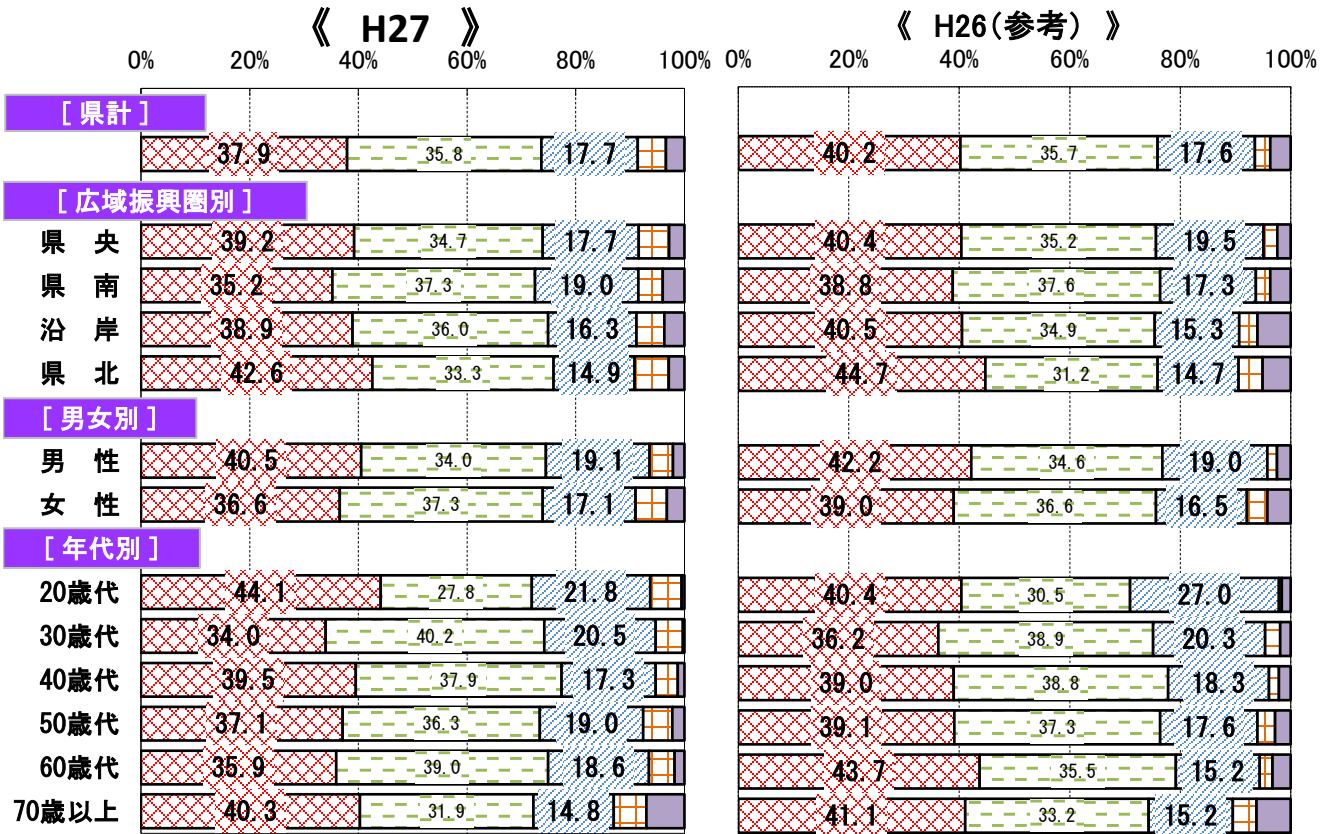
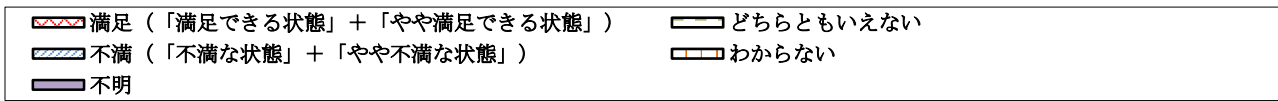
重要の県平均との差



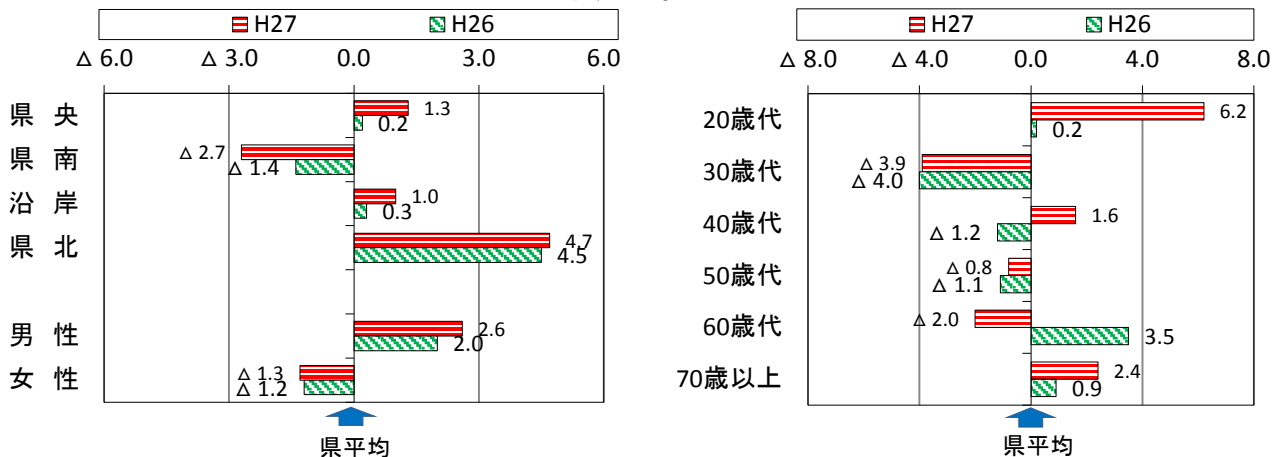
(2) 満足度について

満足が4割弱(37.9%)、不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が37.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(42.6%)、男女別では男性(40.5%)、年代別では20歳代(44.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(4.7ポイント)、男女別では男性(2.6ポイント)、年代別では20歳代(6.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

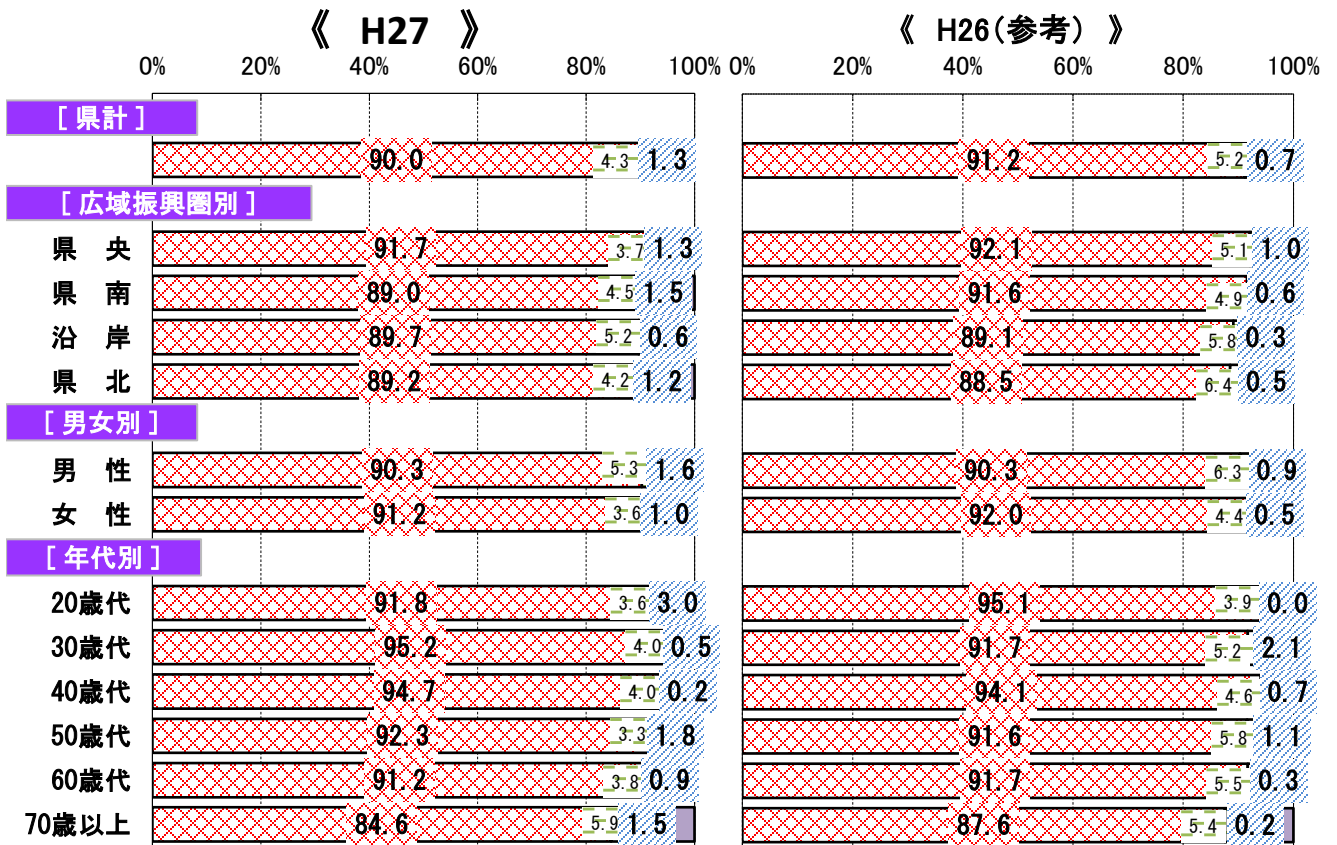
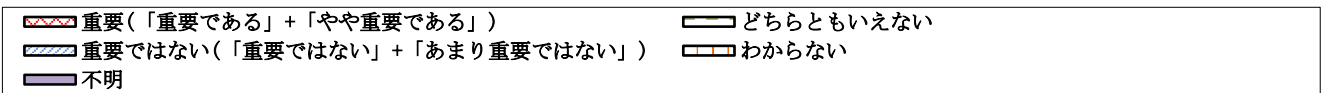


問2-20 交通事故が少ない社会であること。

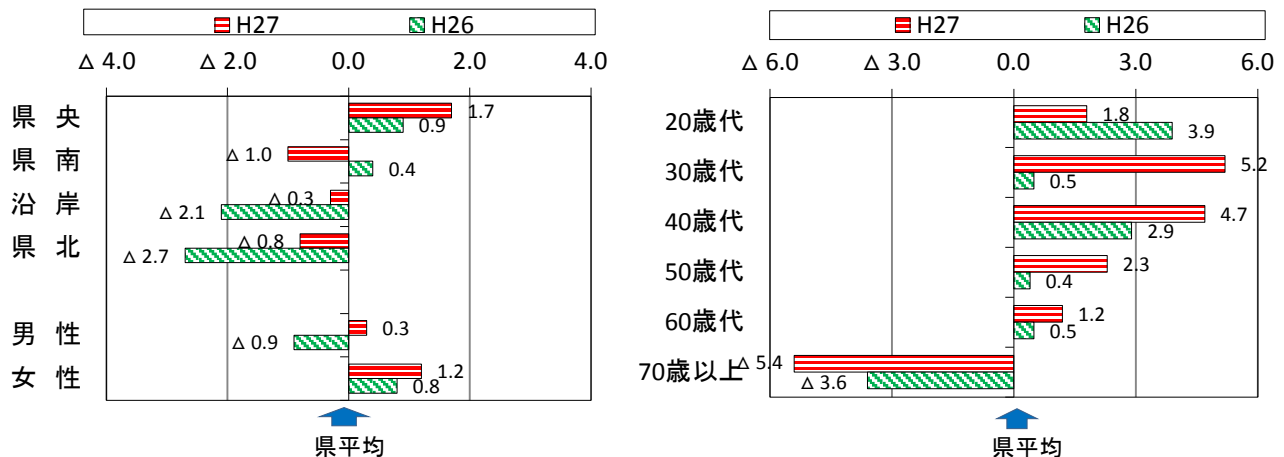
(1) 重要度について

重要が90% (90.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が90.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.3%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(91.7%)、男女別では女性(91.2%)、年代別では30歳代(95.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.7ポイント)、男女別では女性(1.2ポイント)、年代別では70歳以上(△5.4ポイント)となっている。



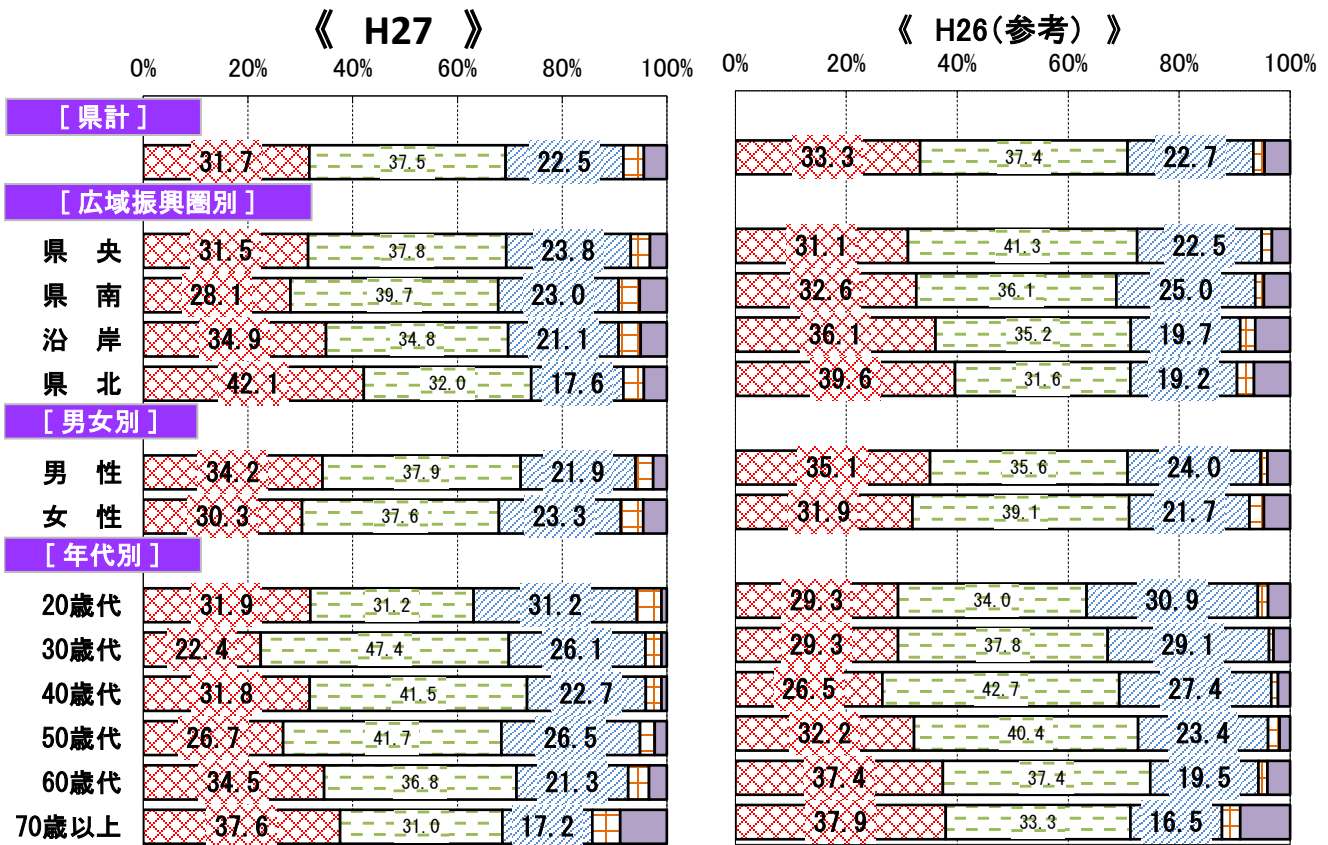
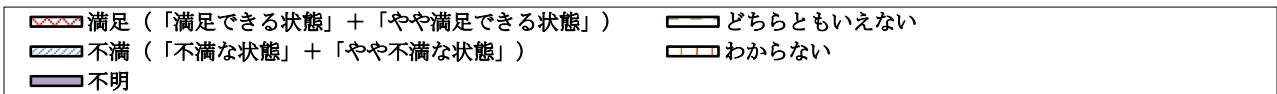
重要の県平均との差



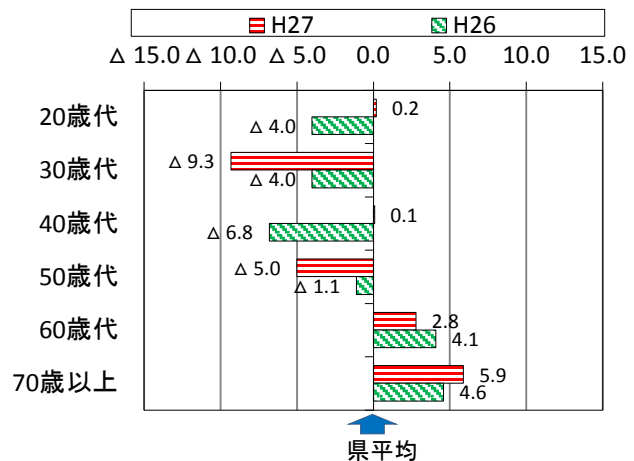
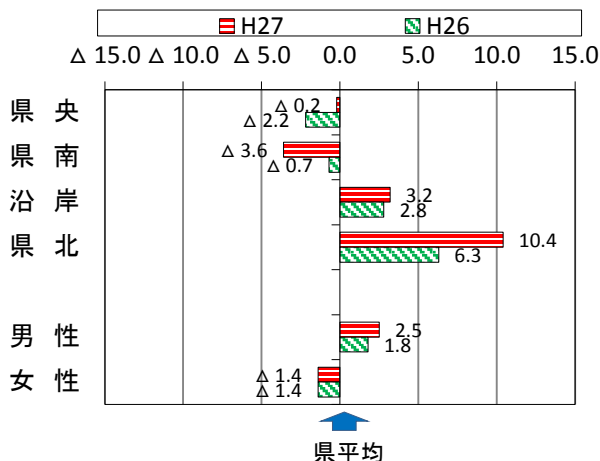
(2) 満足度について

満足が3割強(31.7%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.5%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(42.1%)、男女別では男性(34.2%)、年代別では70歳以上(37.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(10.4ポイント)、男女別では男性(2.5ポイント)、年代別では30歳代(△9.3ポイント)となっている。



満足の県平均との差

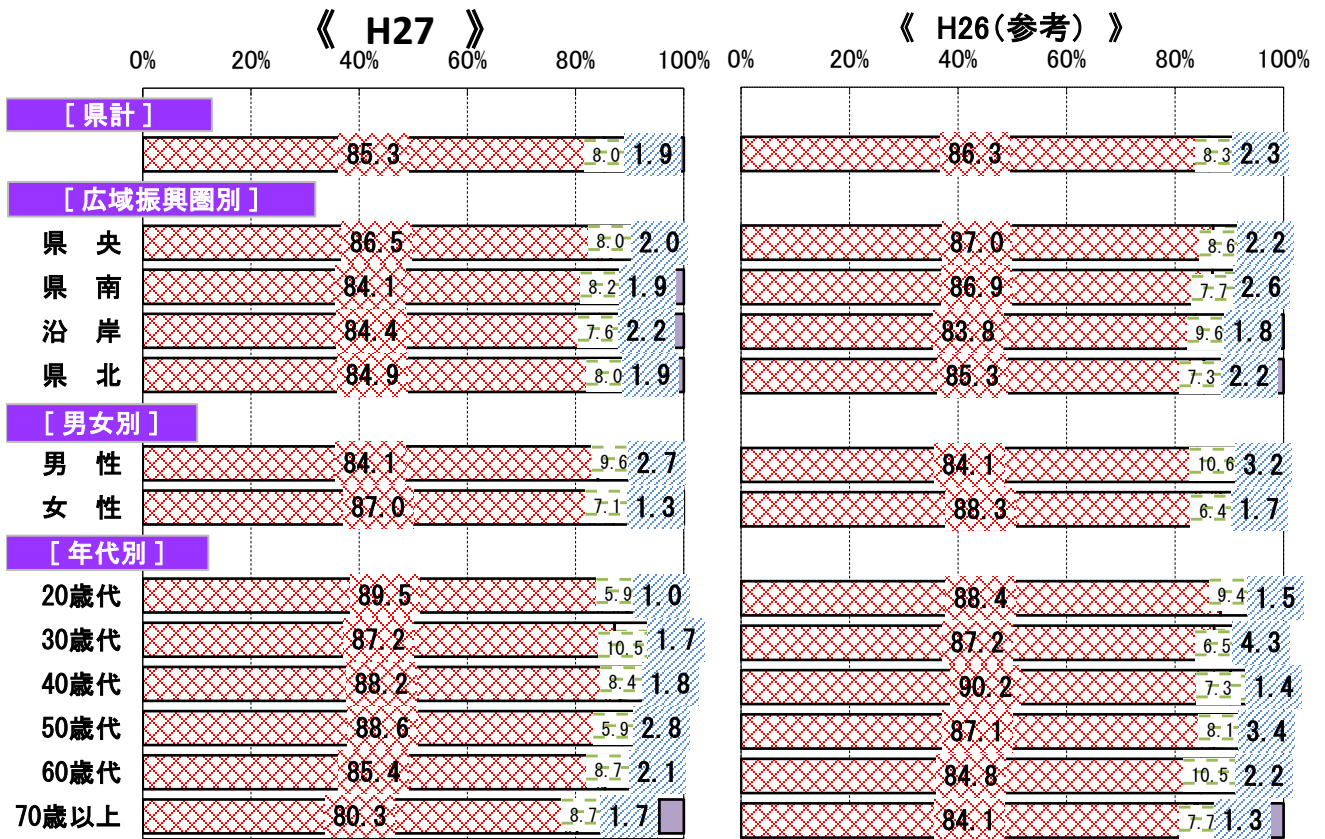
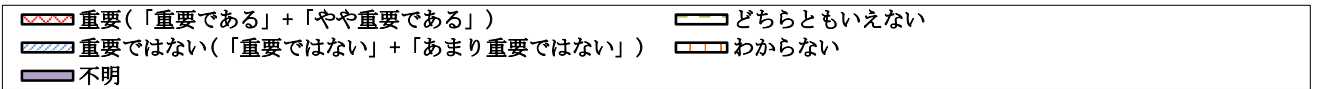


問2-21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。

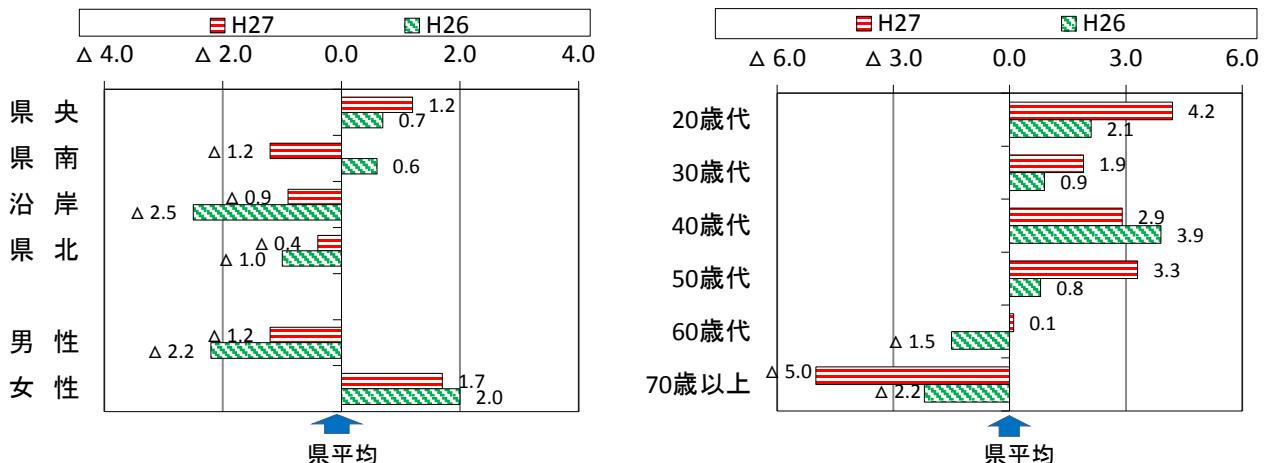
(1) 重要度について

重要が約85% (85.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が85.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.9%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(86.5%)、男女別では女性(87.0%)、年代別では20歳代(89.5%)において重要の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.2ポイント)及び県南(△1.2ポイント)、男女別では女性(1.7ポイント)、年代別では70歳以上(△5.0ポイント)となっている。



重要の県平均との差

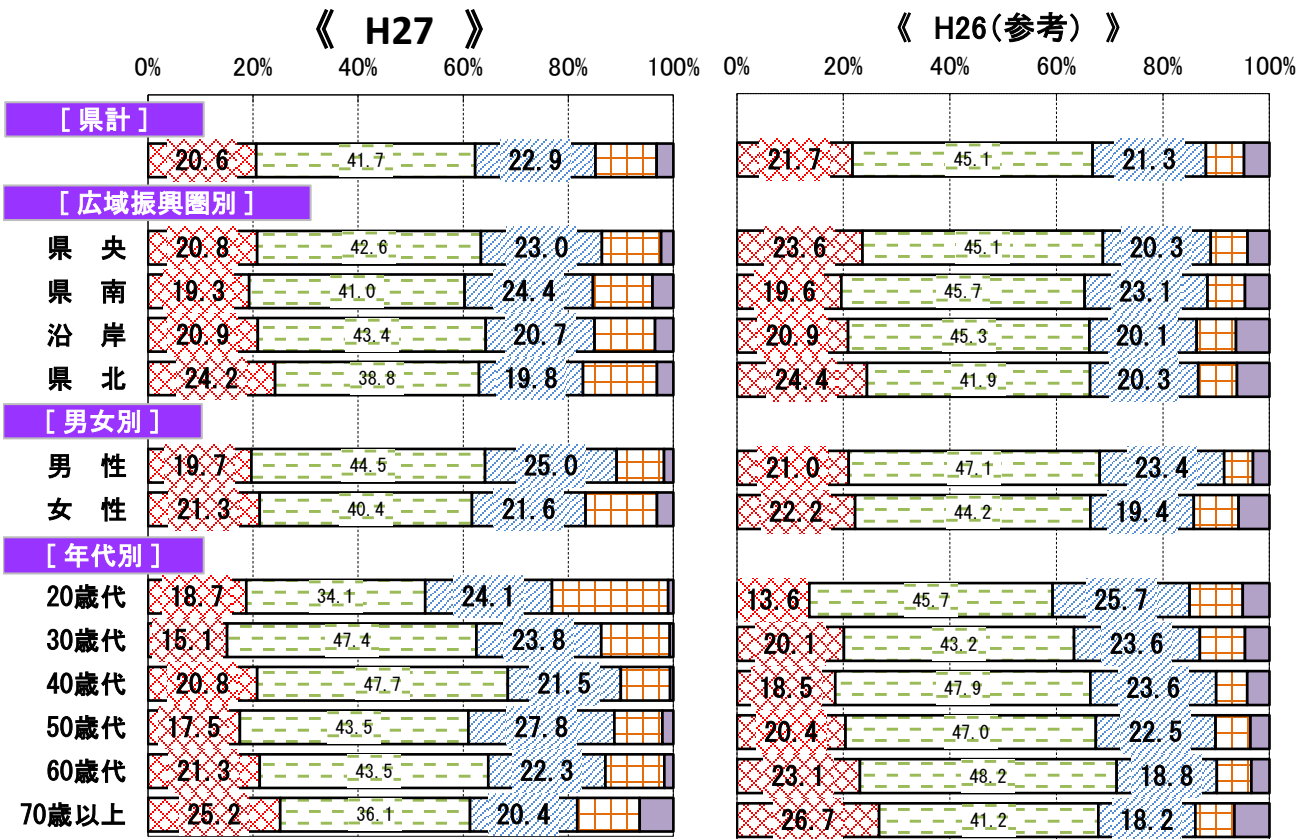


(2) 満足度について

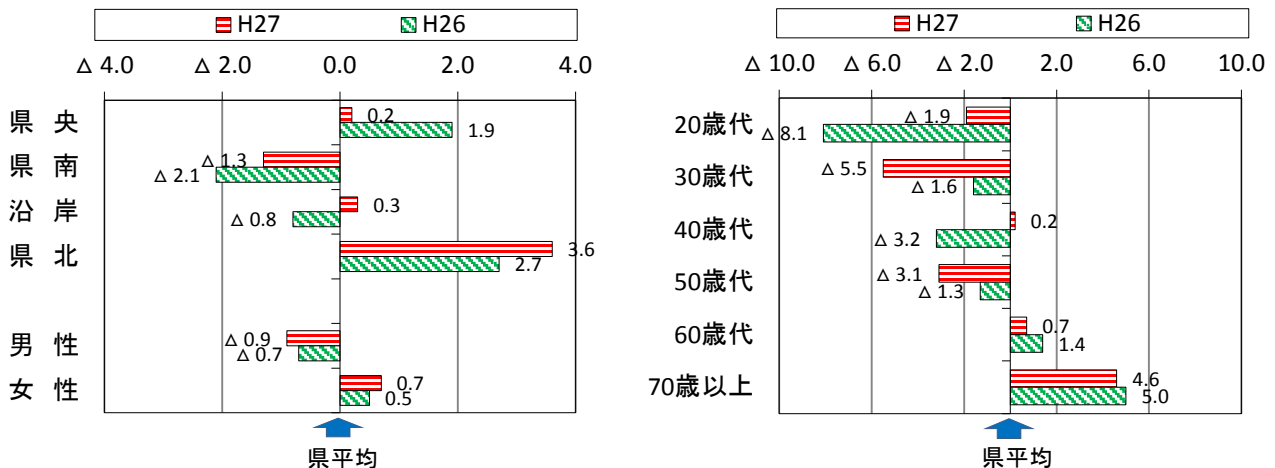
満足が2割強(20.6%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.9%を若干下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(24.2%)、男女別では女性(21.3%)、年代別では70歳以上(25.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(3.6ポイント)、男女別では男性(Δ0.9ポイント)、年代別では30歳代(Δ5.5ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない



満足の県平均との差

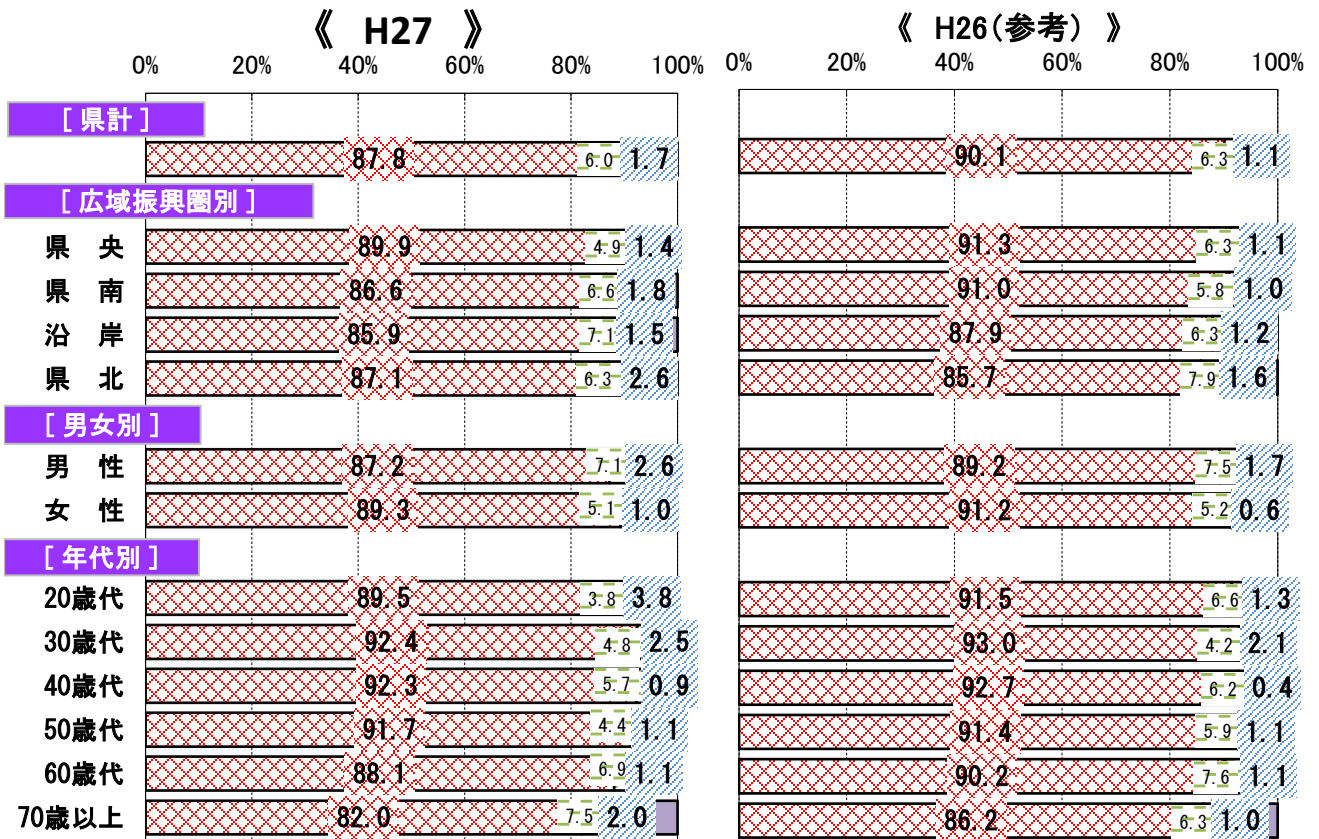
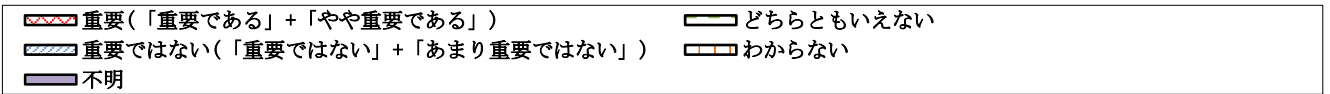


問2-22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。

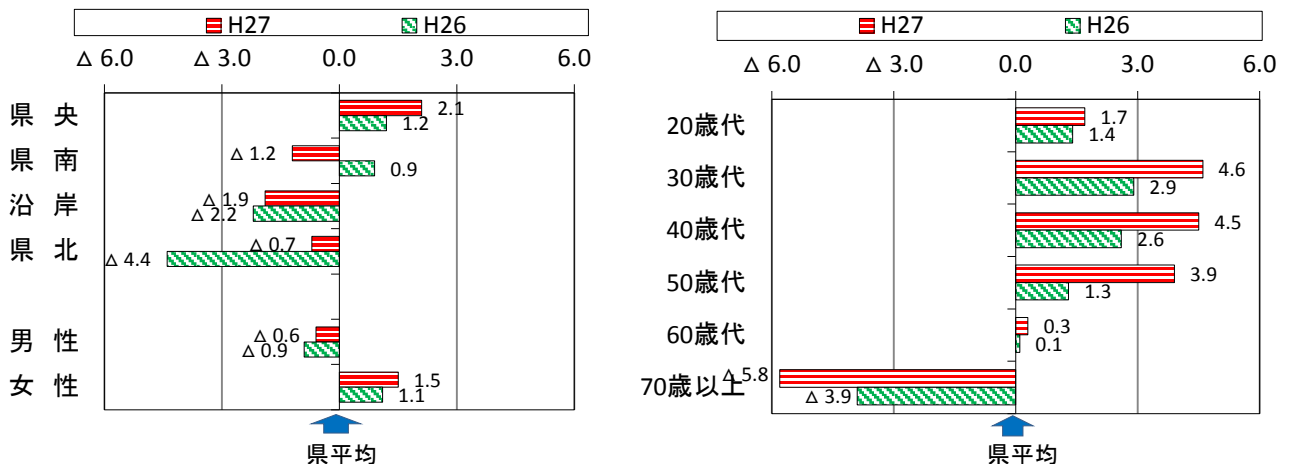
(1) 重要度について

重要が9割弱(87.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が87.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(89.9%)、男女別では女性(89.3%)、年代別では30歳代(92.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.1ポイント)、男女別では女性(1.5ポイント)、年代別では70歳以上(△5.8ポイント)となっている。



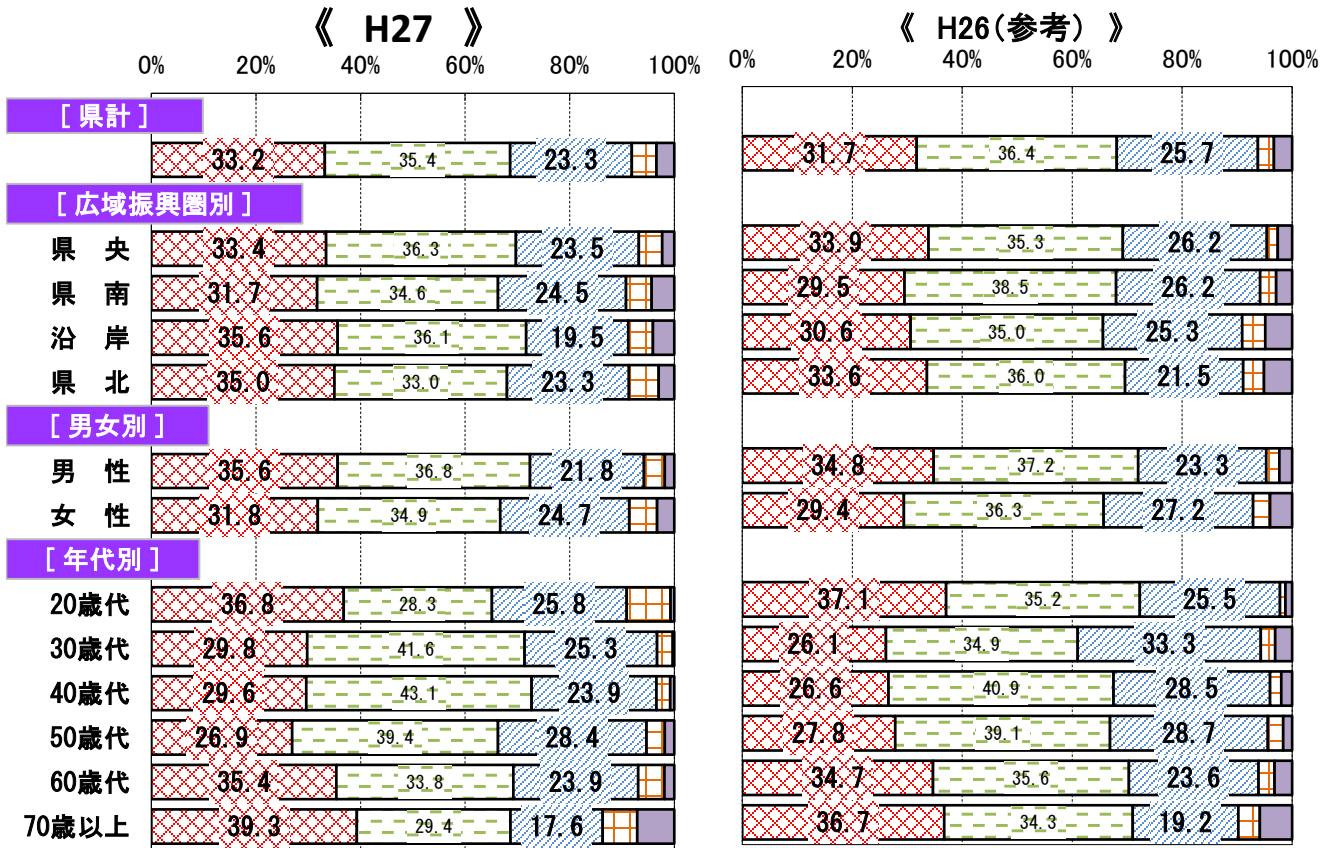
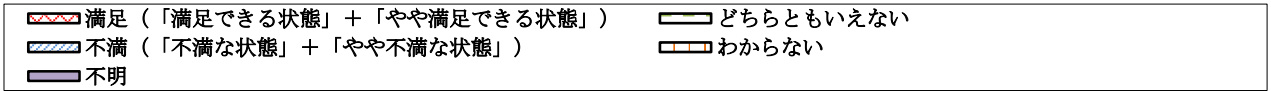
重要の県平均との差



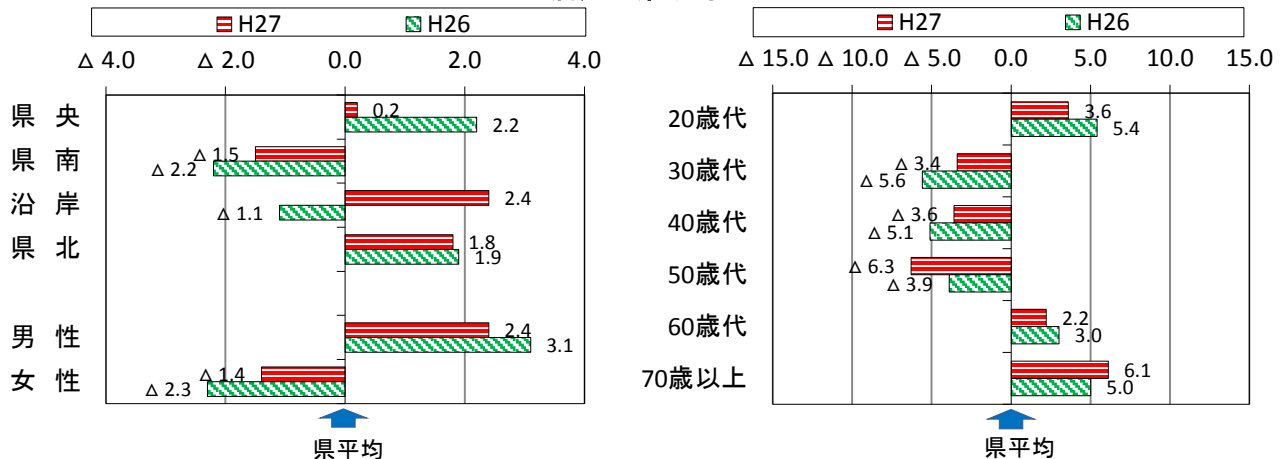
(2) 満足度について

満足が3割強(33.2%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が33.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合23.3%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(35.6%)、男女別では男性(35.6%)、年代別では70歳以上(39.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(2.4ポイント)、男女別では男性(2.4ポイント)、年代別では50歳代(△6.3ポイント)となっている。



満足の県平均との差

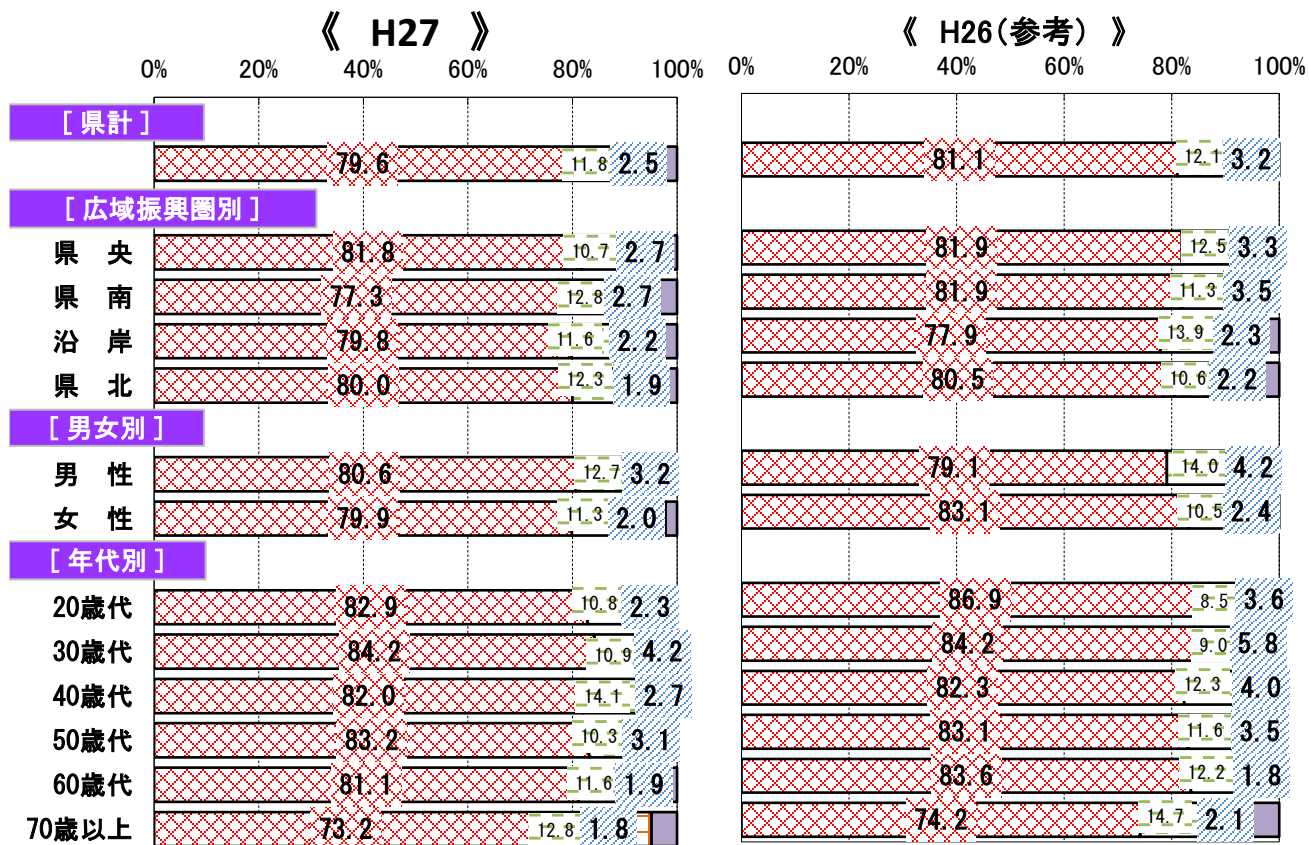
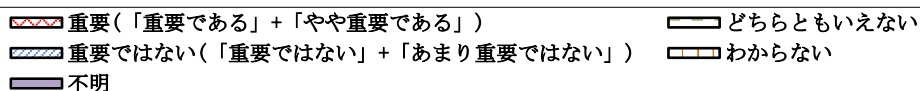


問2-23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。

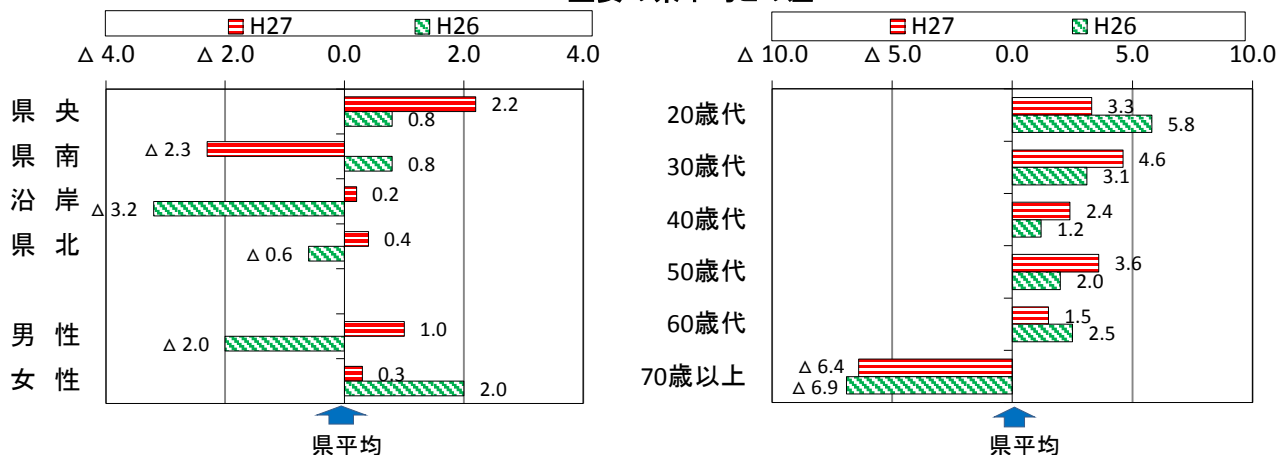
(1) 重要度について

重要が約8割(79.6%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が79.6%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合2.5%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(81.8%)、男女別では男性(80.6%)、年代別では30歳代(84.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.3ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では70歳以上(△6.4ポイント)となっている。



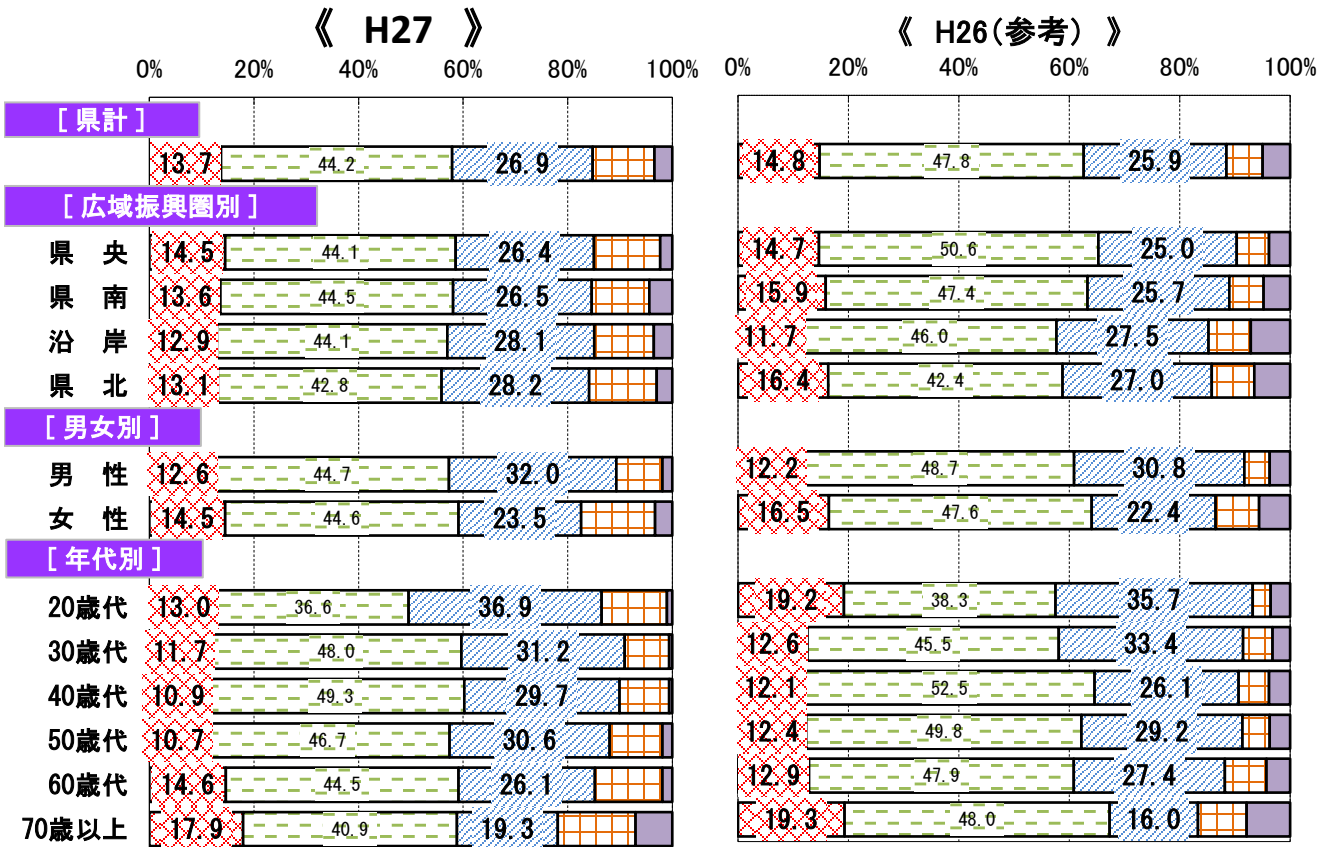
重要な県平均との差



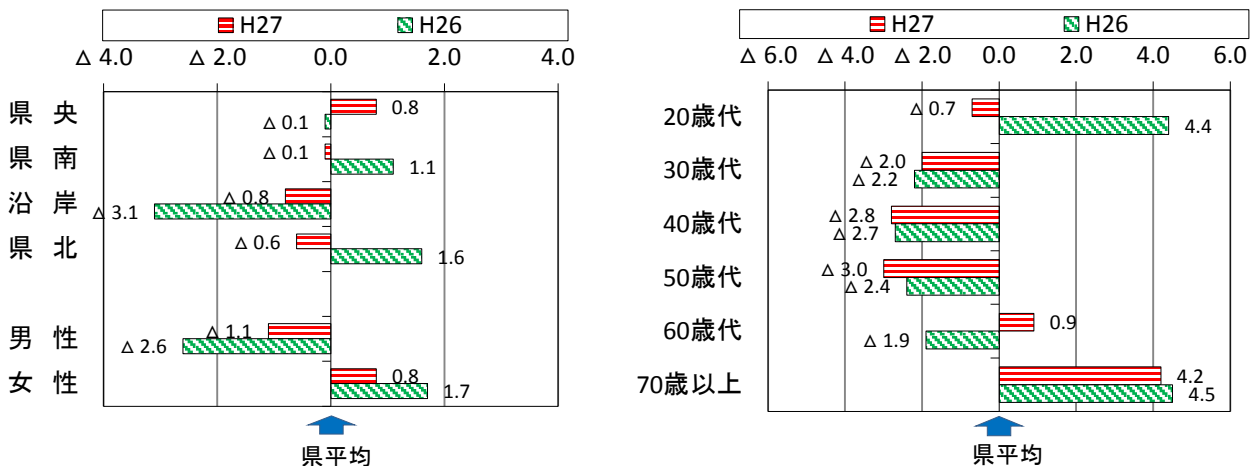
(2) 満足度について

満足が1割強(13.7%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合26.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(14.5%)、男女別では女性(14.5%)、年代別では70歳以上(17.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(0.8ポイント)及び沿岸(△0.8ポイント)、男女別では男性(△1.1ポイント)、年代別では70歳以上(4.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

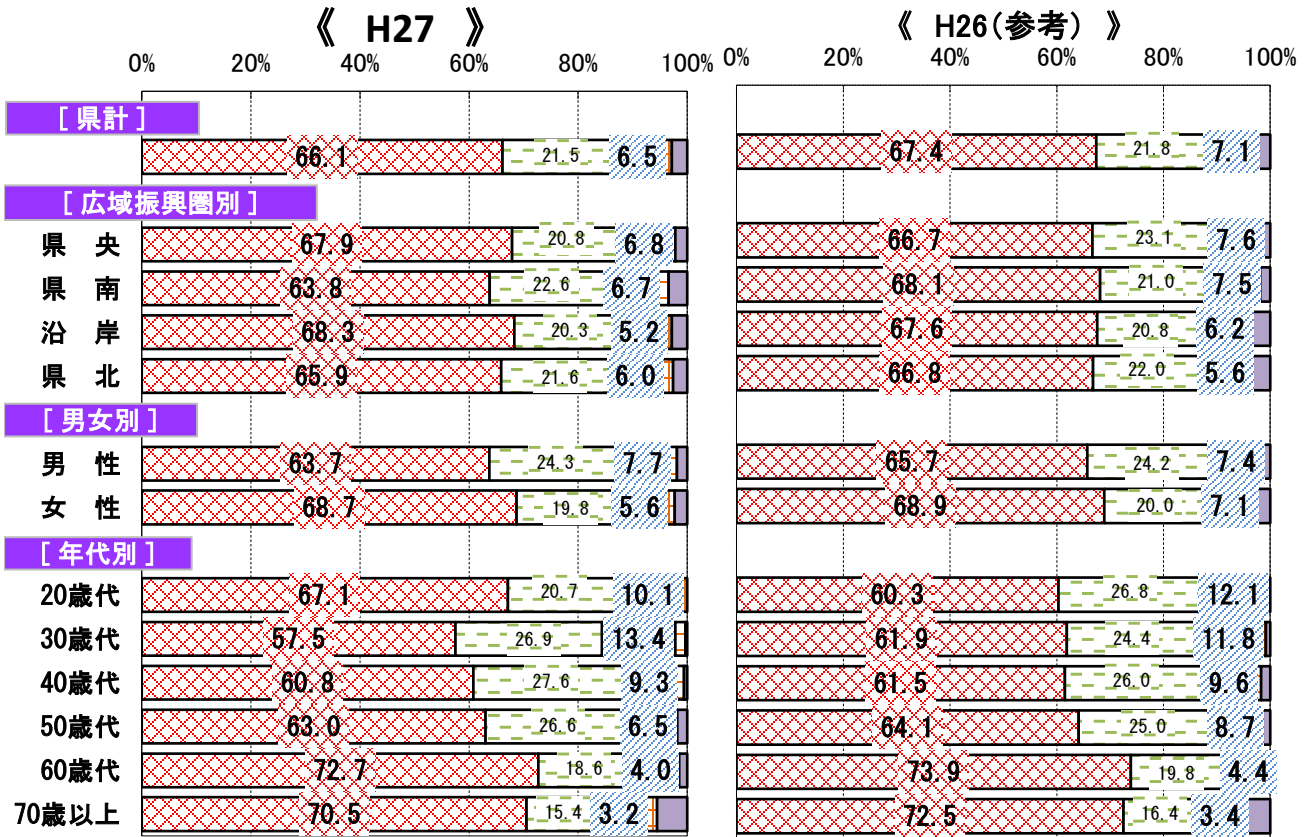
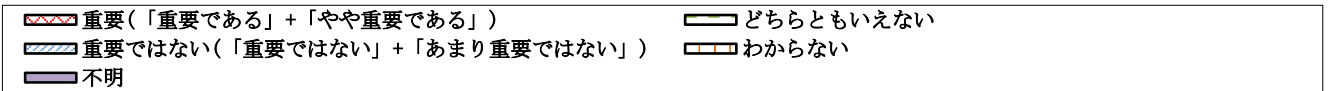


問2-24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。

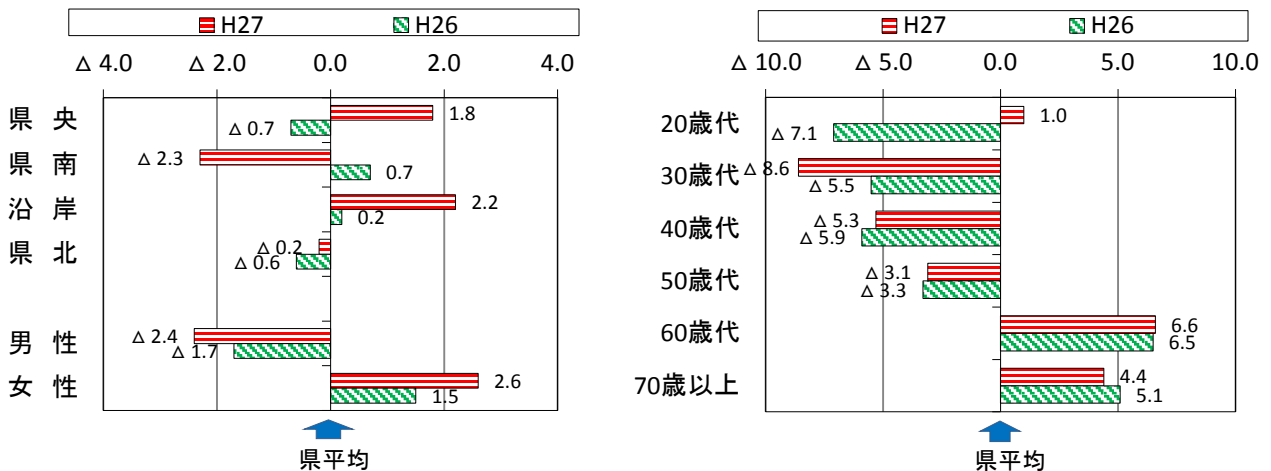
(1) 重要度について

重要が7割弱(66.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が66.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合6.5%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(68.3%)、男女別では女性(68.7%)、年代別では60歳代(72.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.3ポイント)、男女別では女性(2.6ポイント)、年代別では30歳代(△8.6ポイント)となっている。



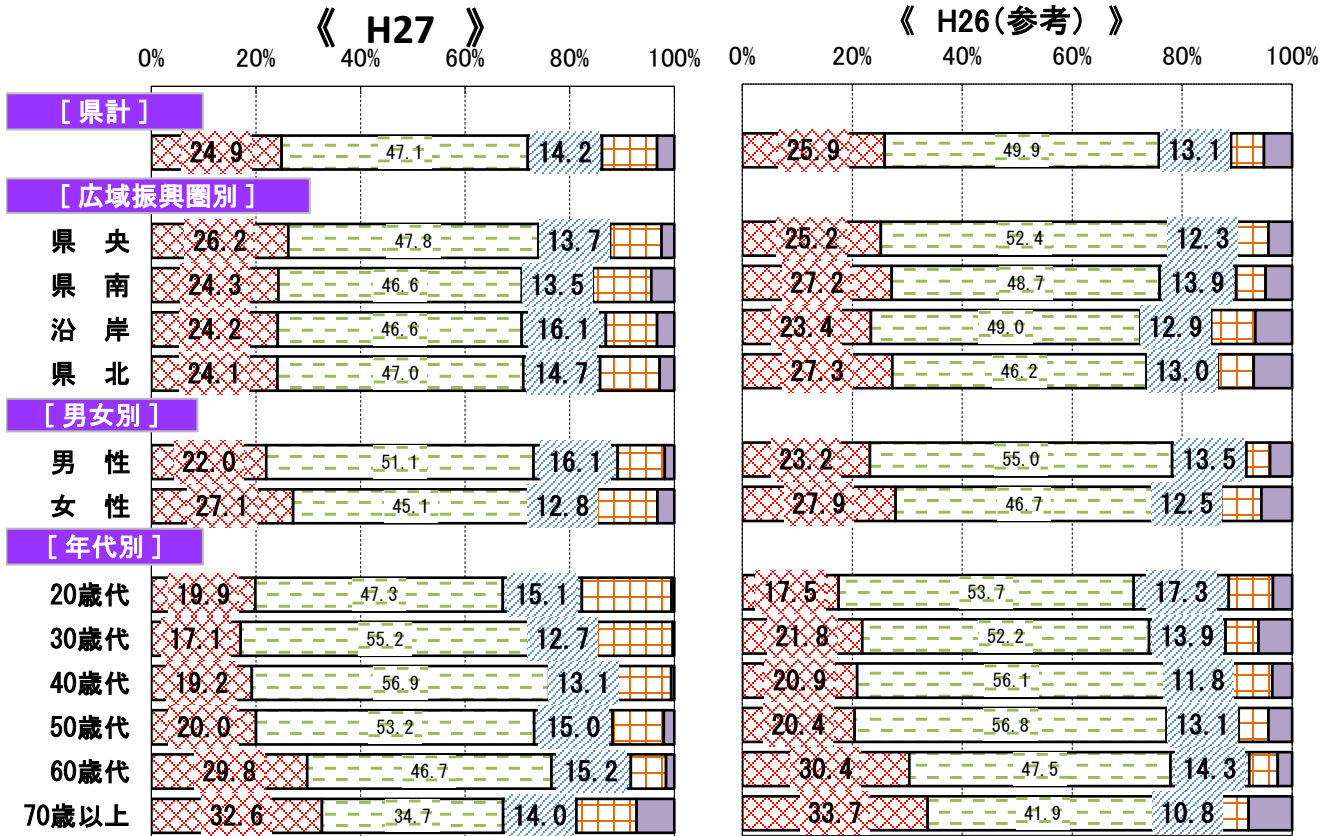
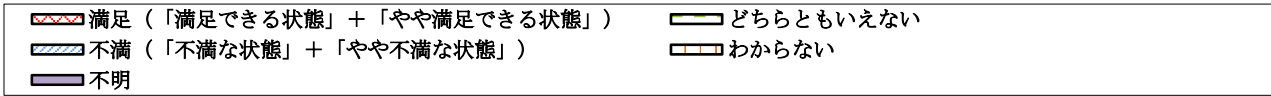
重要の県平均との差



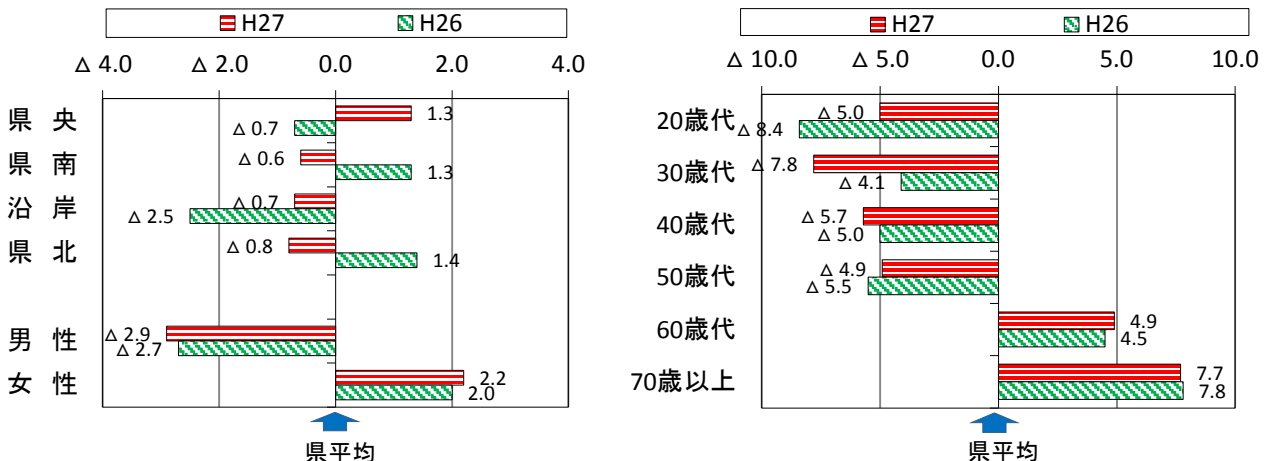
(2) 満足度について

満足が約25% (24.9%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が24.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合14.2%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(26.2%)、男女別では女性(27.1%)、年代別では70歳以上(32.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.3ポイント)、男女別では男性(Δ2.9ポイント)、年代別では30歳代(Δ7.8ポイント)となっている。



満足の県平均との差

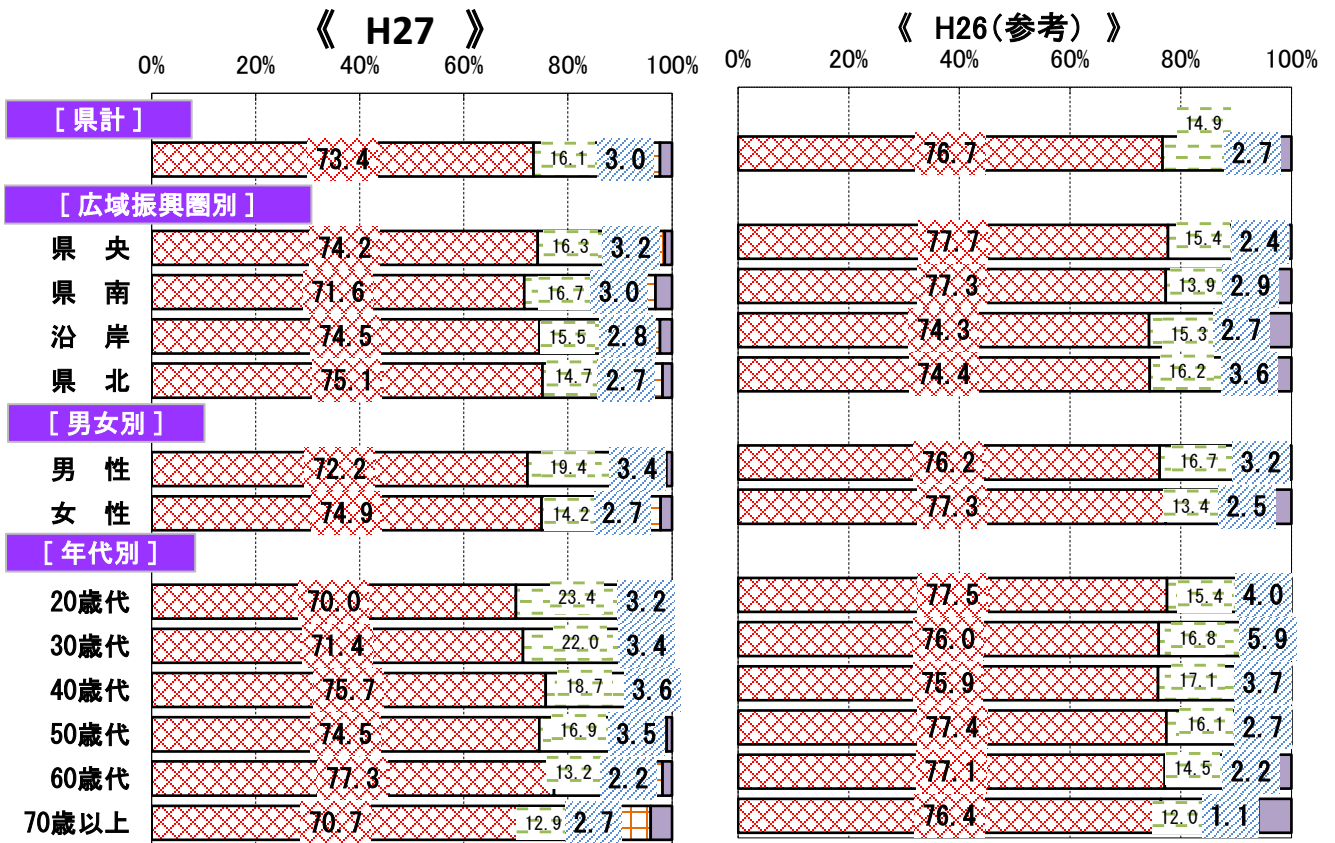
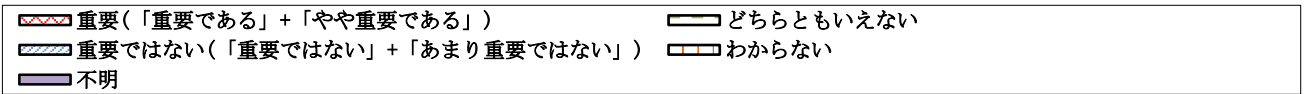


問2-25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。

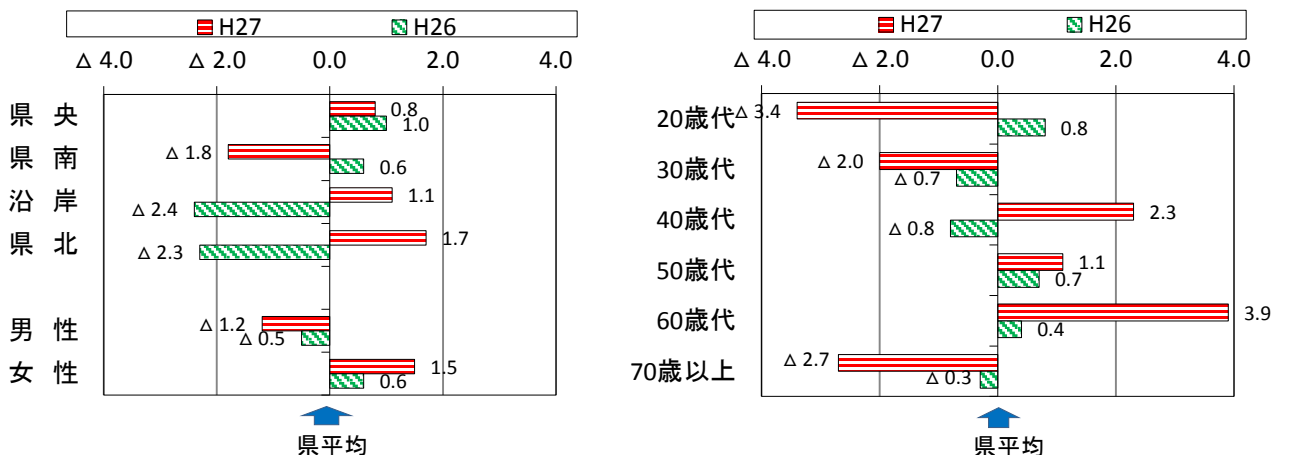
(1) 重要度について

重要が7割強(73.4%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)が73.4%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(75.1%)、男女別では女性(74.9%)、年代別では60歳代(77.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△1.8ポイント)、男女別では女性(1.5ポイント)、年代別では60歳代(3.9ポイント)となっている。



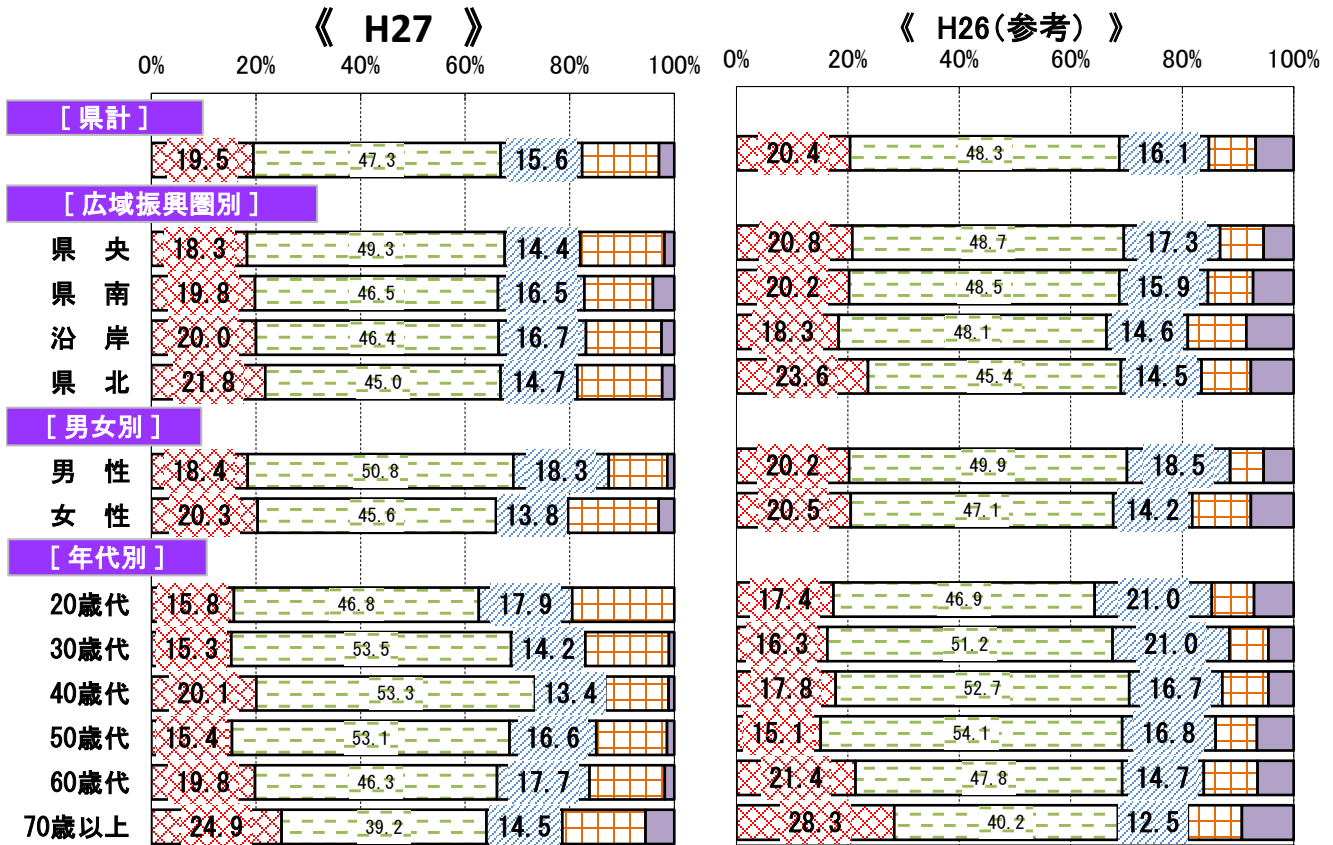
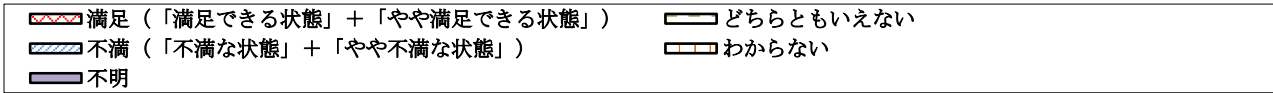
重要の県平均との差



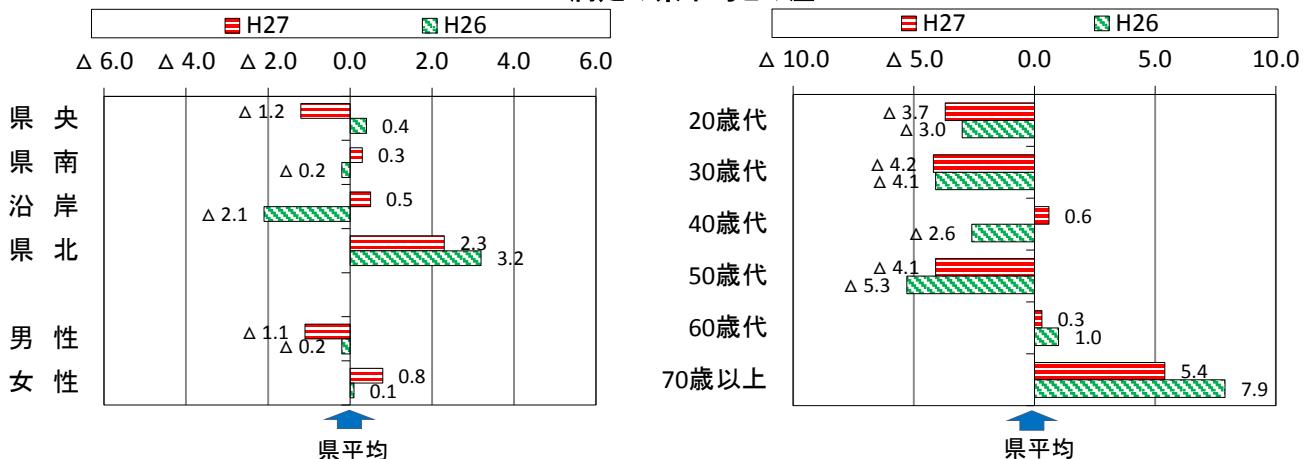
(2) 満足度について

満足が約2割(19.5%)、不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.6%を若干上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(21.8%)、男女別では女性(20.3%)、年代別では70歳以上(24.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(2.3ポイント)、男女別では男性(△1.1ポイント)、年代別では70歳以上(5.4ポイント)となっている。



満足の県平均との差

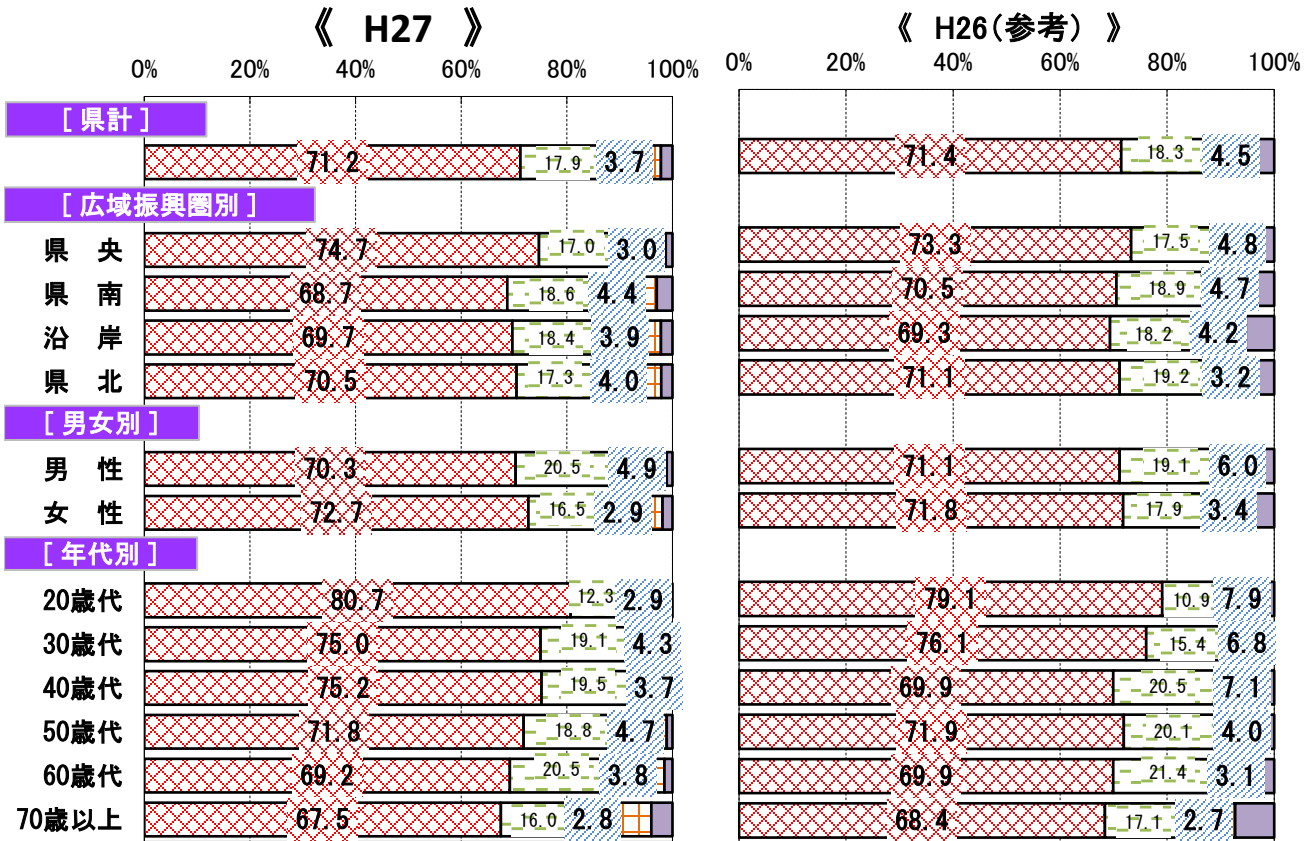
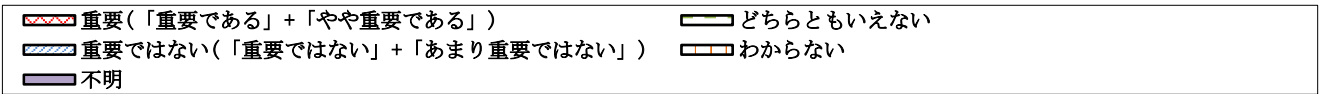


問2-26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。

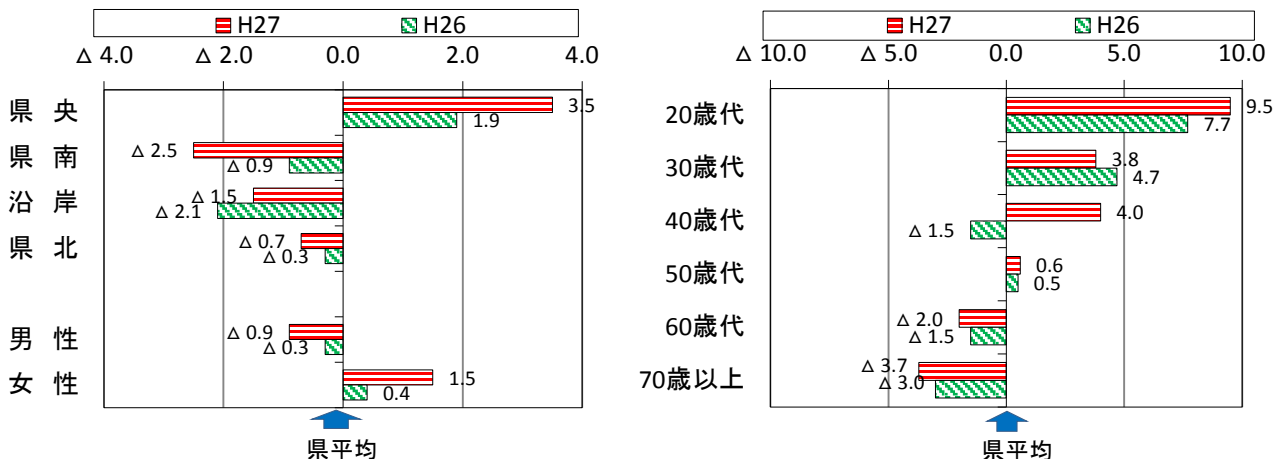
(1) 重要度について

重要が7割強(71.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が71.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(74.7%)、男女別では女性(72.7%)、年代別では20歳代(80.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.5ポイント)、男女別では女性(1.5ポイント)、年代別では20歳代(9.5ポイント)となっている。



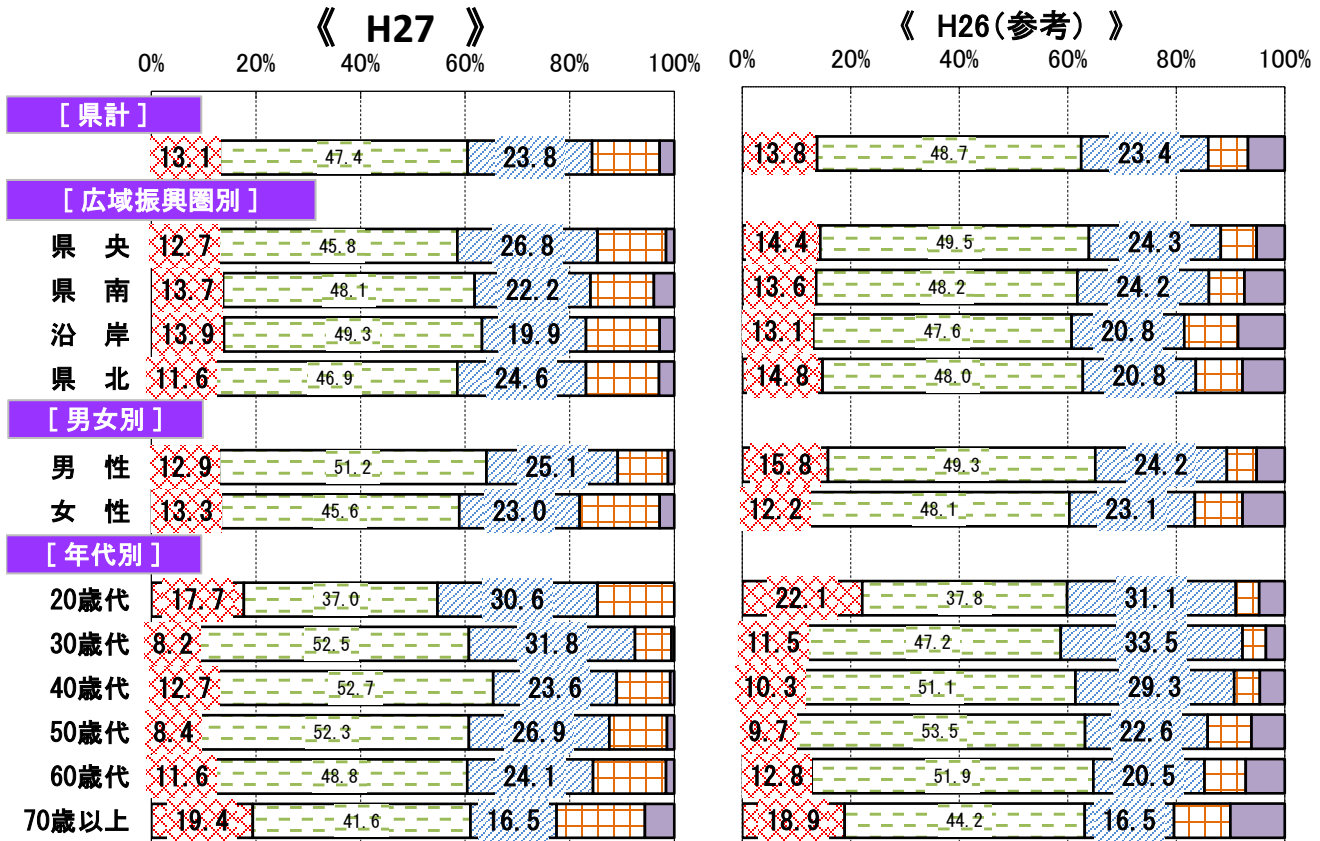
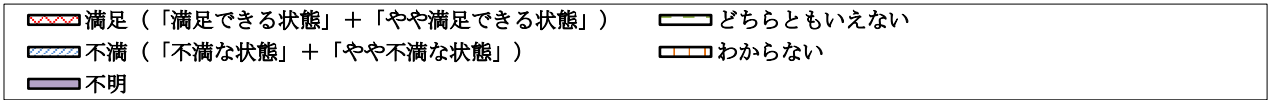
重要な県平均との差



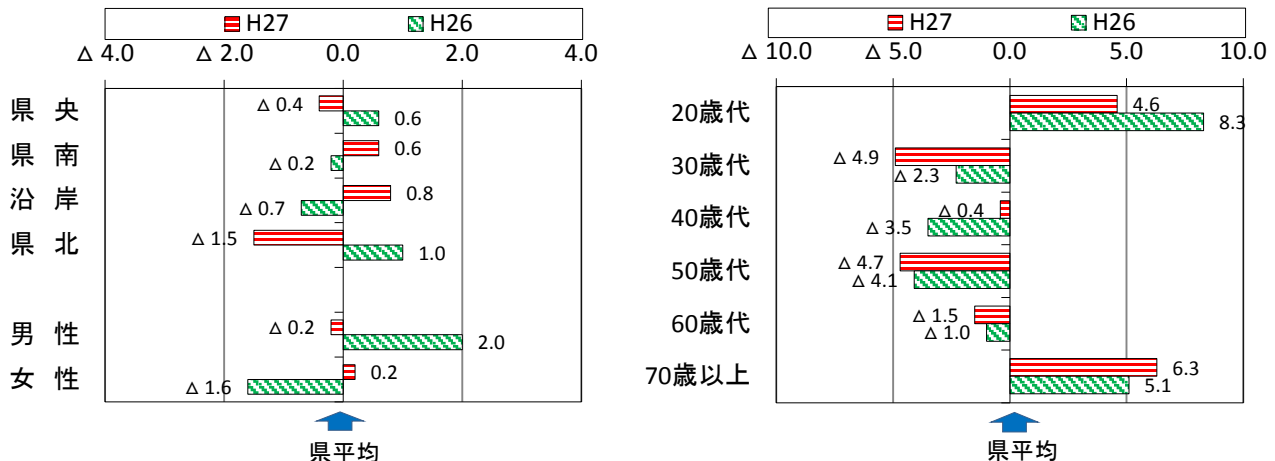
(2) 満足度について

満足が1割強(13.1%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合23.8%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(13.9%)、男女別では女性(13.3%)、年代別では70歳以上(19.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△1.5ポイント)、年代別では70歳以上(6.3ポイント)となっている。



満足の県平均との差

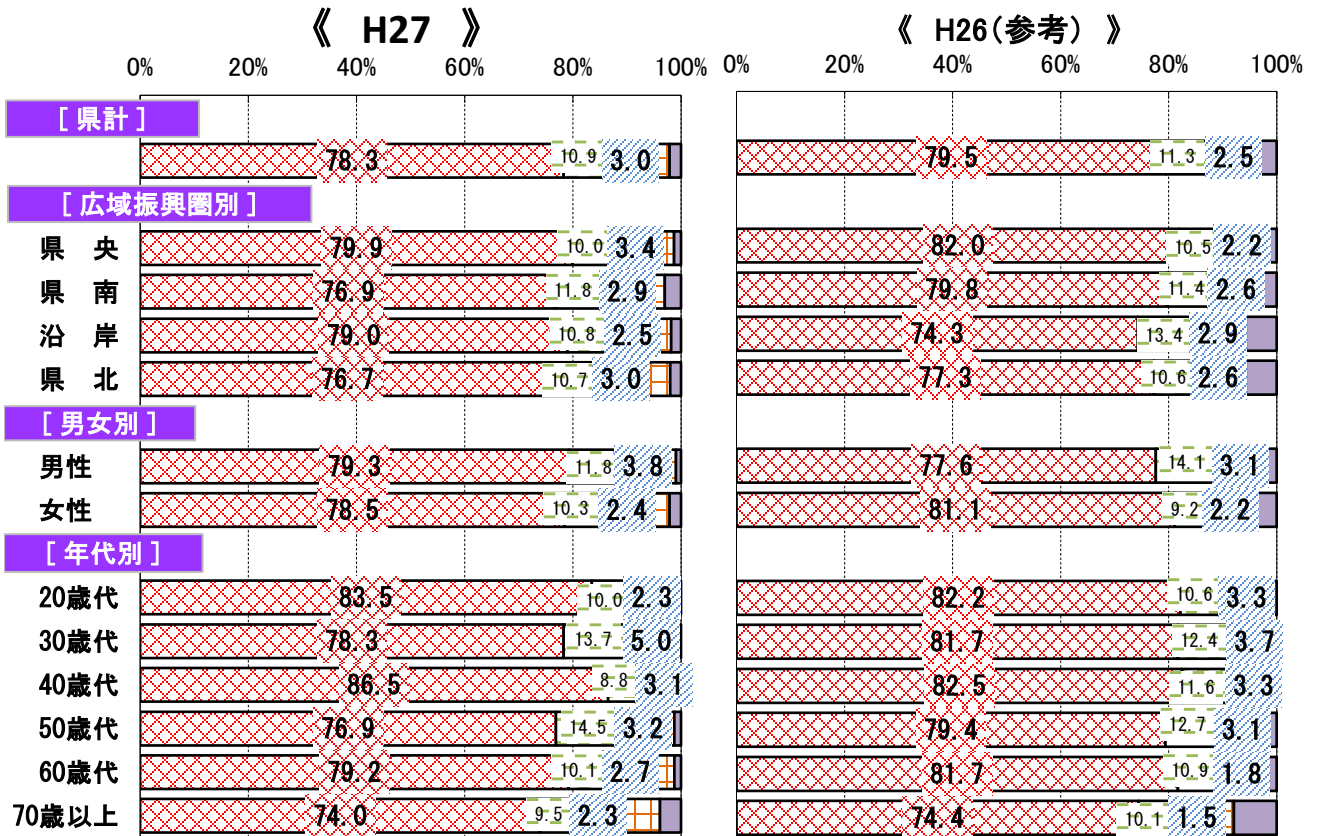
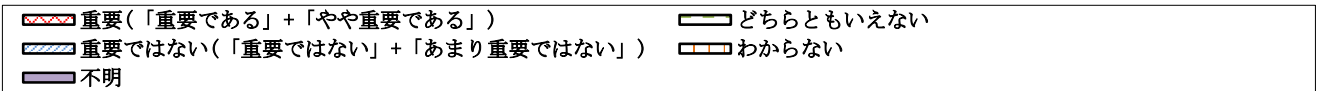


問2-27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。

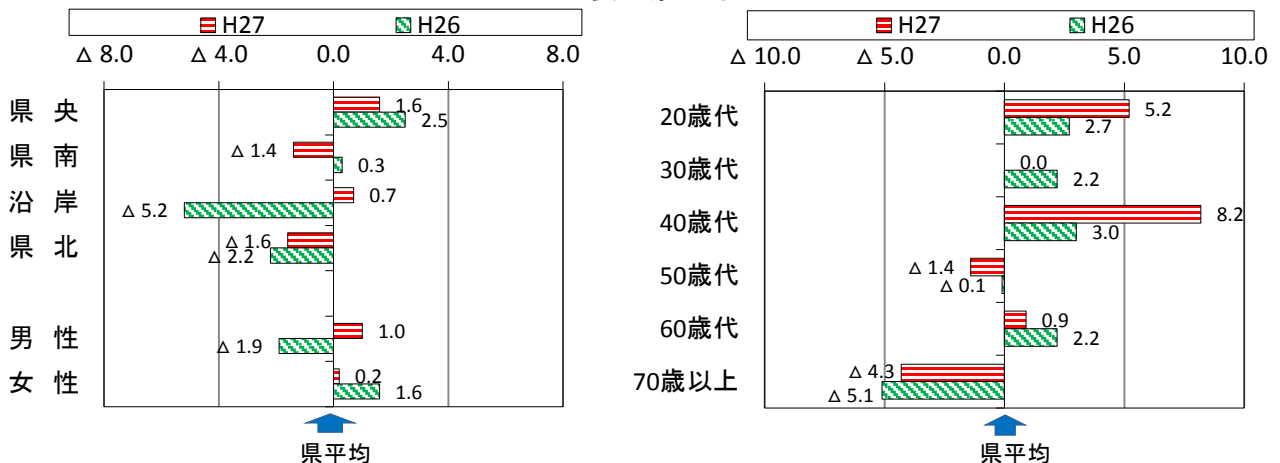
(1) 重要度について

重要が8割弱(78.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が78.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(79.9%)、男女別では男性(79.3%)、年代別では40歳代(86.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.6ポイント)及び県北(△1.6ポイント)、男女別では男性(1.0ポイント)、年代別では40歳代(8.2ポイント)となっている。



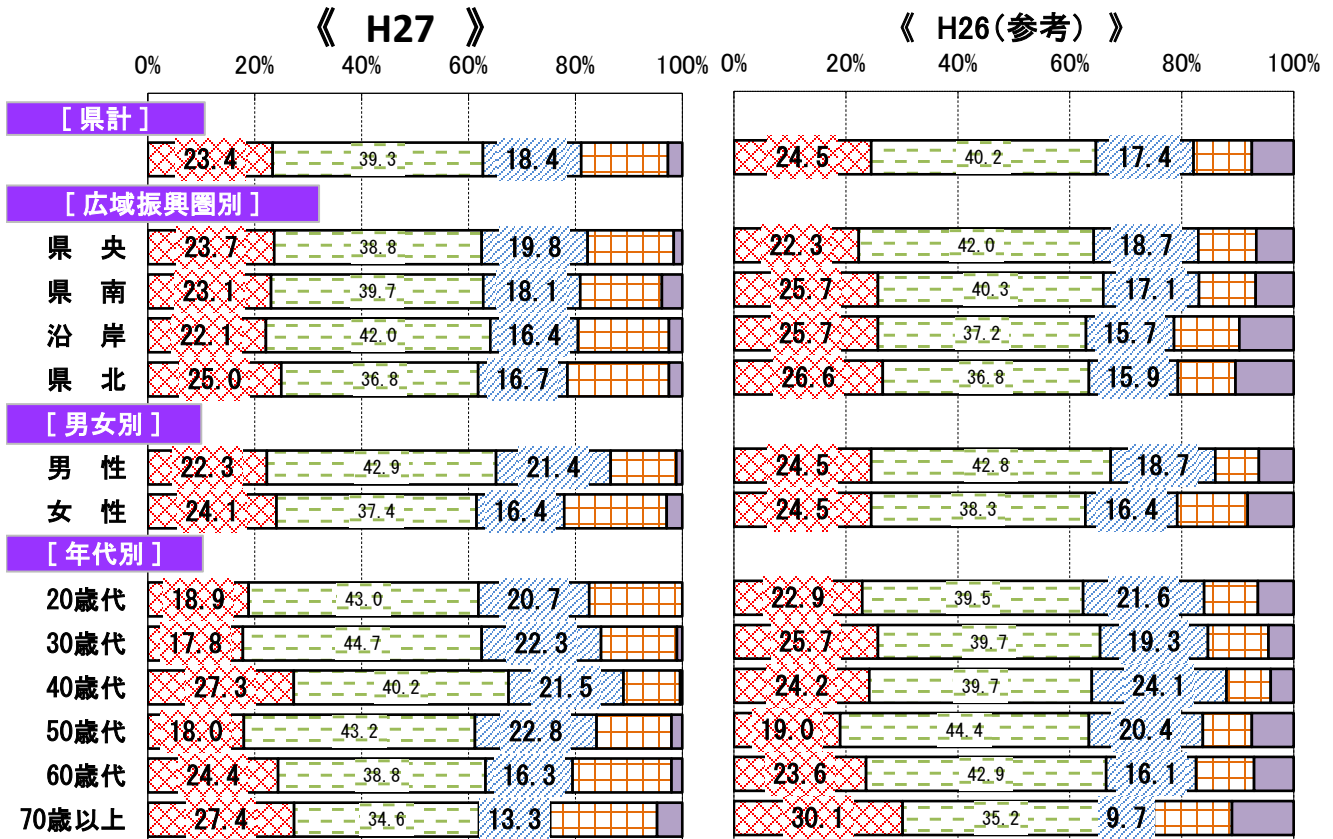
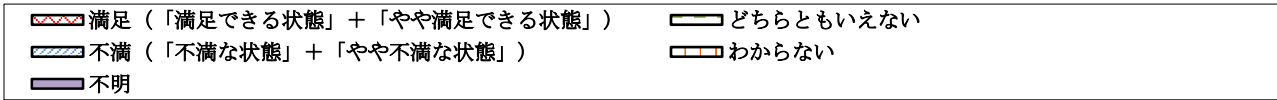
重要の県平均との差



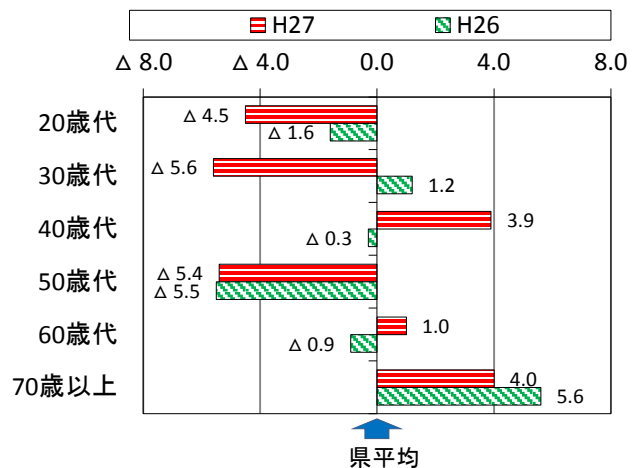
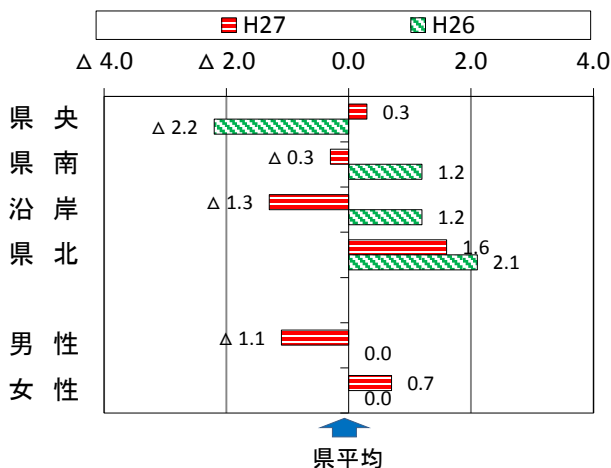
(2) 満足度について

満足が2割強(23.4%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(25.0%)、男女別では女性(24.1%)、年代別では70歳以上(27.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(1.6ポイント)、男女別では男性(△1.1ポイント)、年代別では30歳代(△5.6ポイント)となっている。



満足の県平均との差

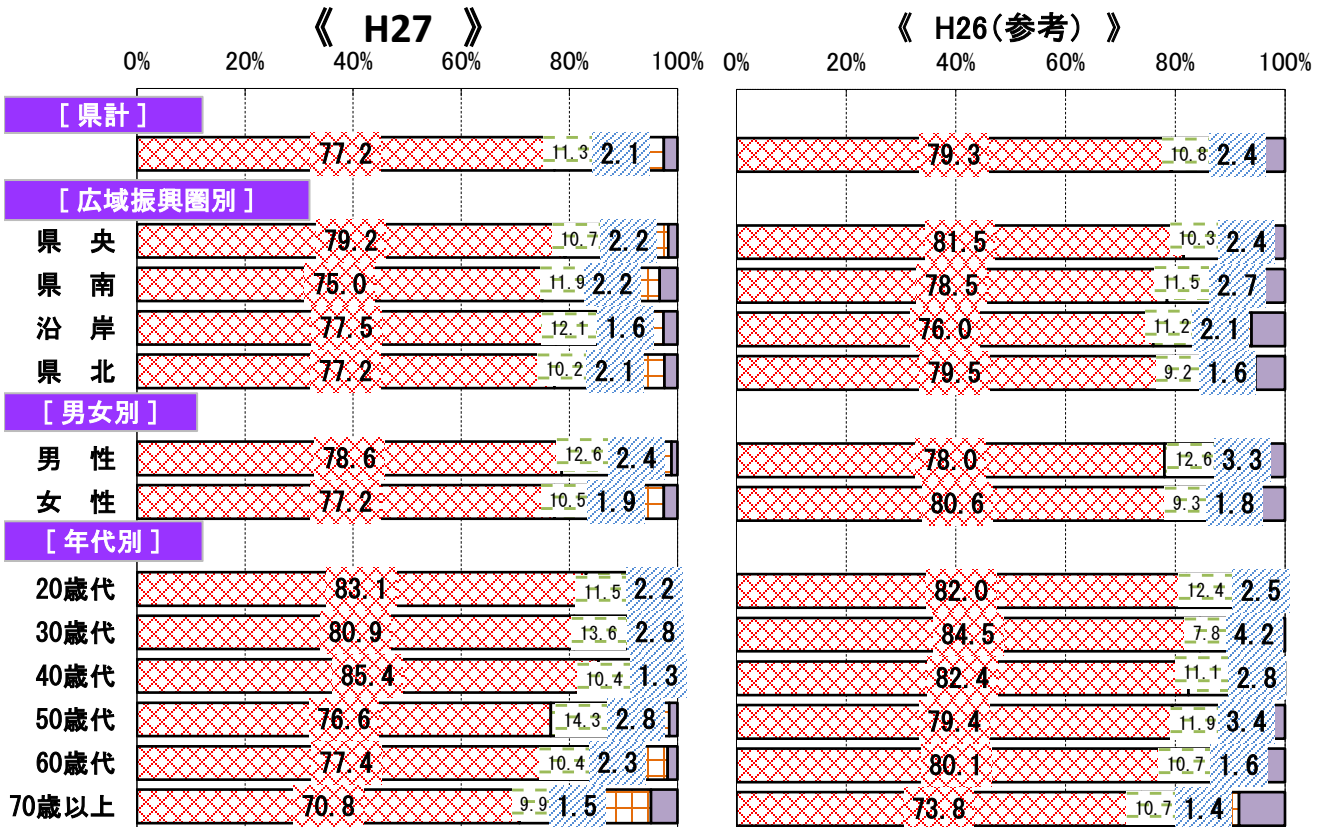
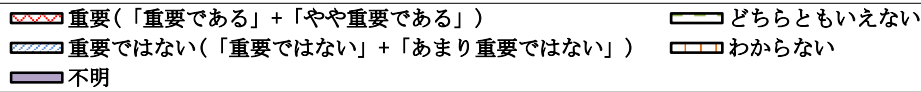


問2-28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。

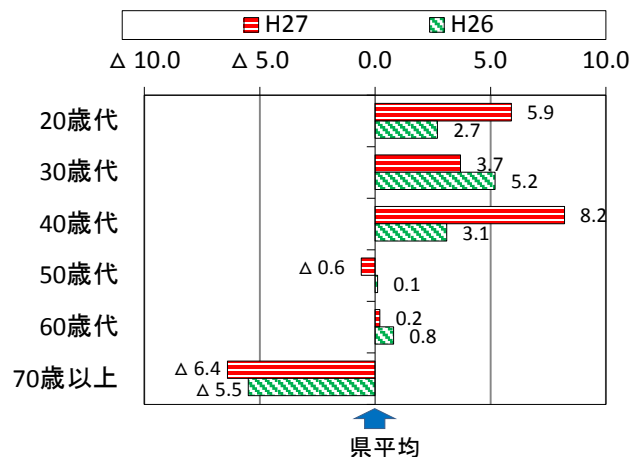
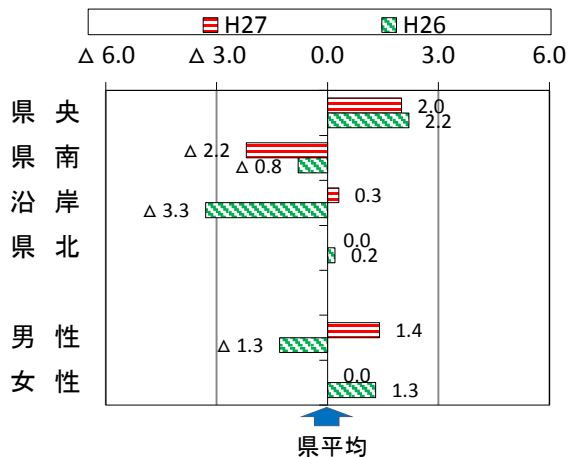
(1) 重要度について

重要が8割弱(77.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が77.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合2.1%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(79.2%)、男女別では男性(78.6%)、年代別では40歳代(85.4%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.2ポイント)、男女別では男性(1.4ポイント)、年代別では40歳代(8.2ポイント)となっている。



重要な県平均との差

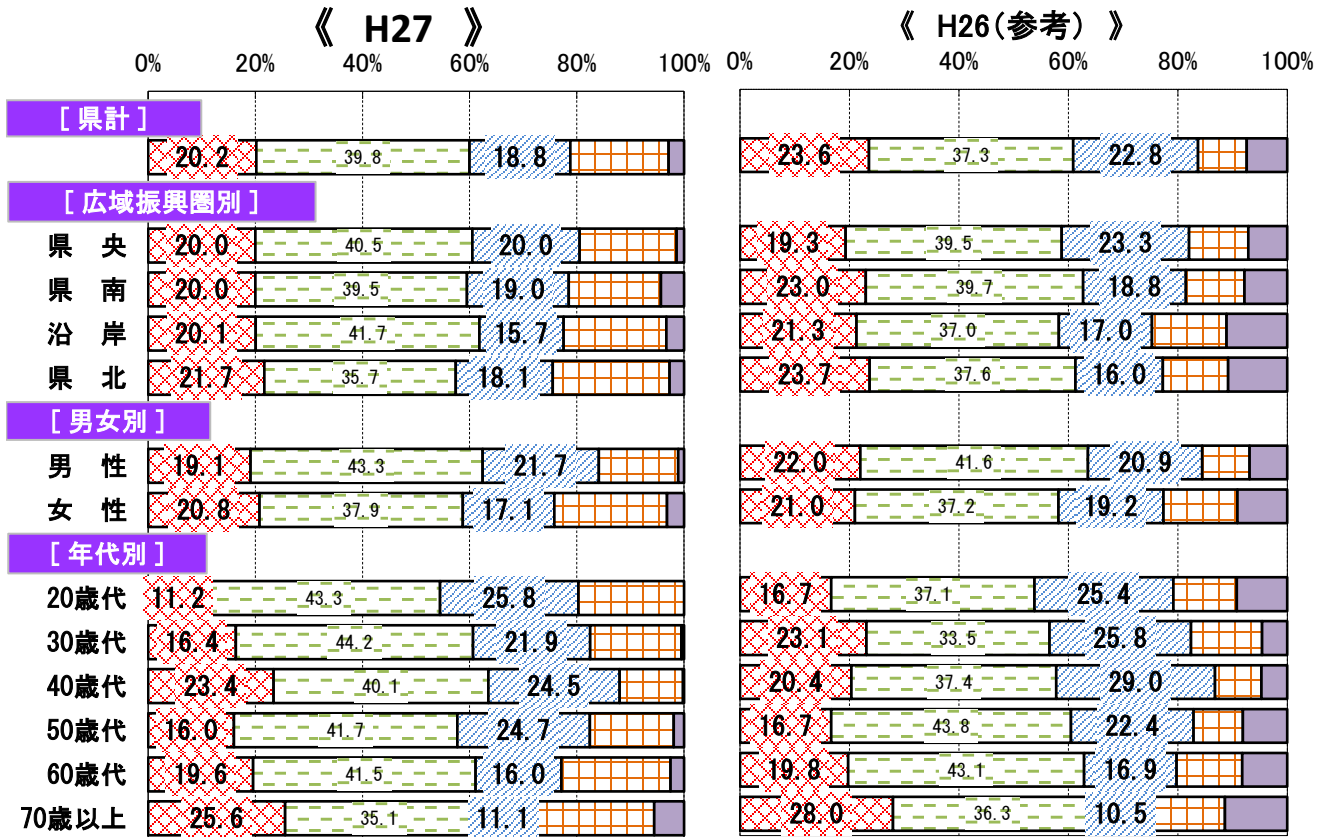


(2) 満足度について

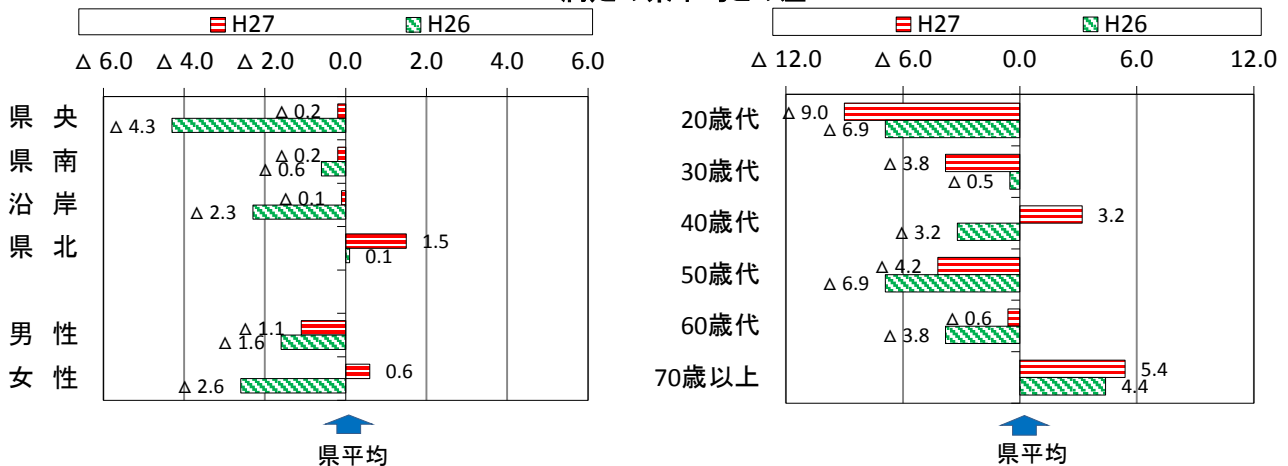
満足が約2割(20.2%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)の割合が20.2%となっており、不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)の割合18.8%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(21.7%)、男女別では女性(20.8%)、年代別では70歳以上(25.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(1.5ポイント)、男女別では男性(△1.1ポイント)、年代別では20歳代(△9.0ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない



満足の県平均との差

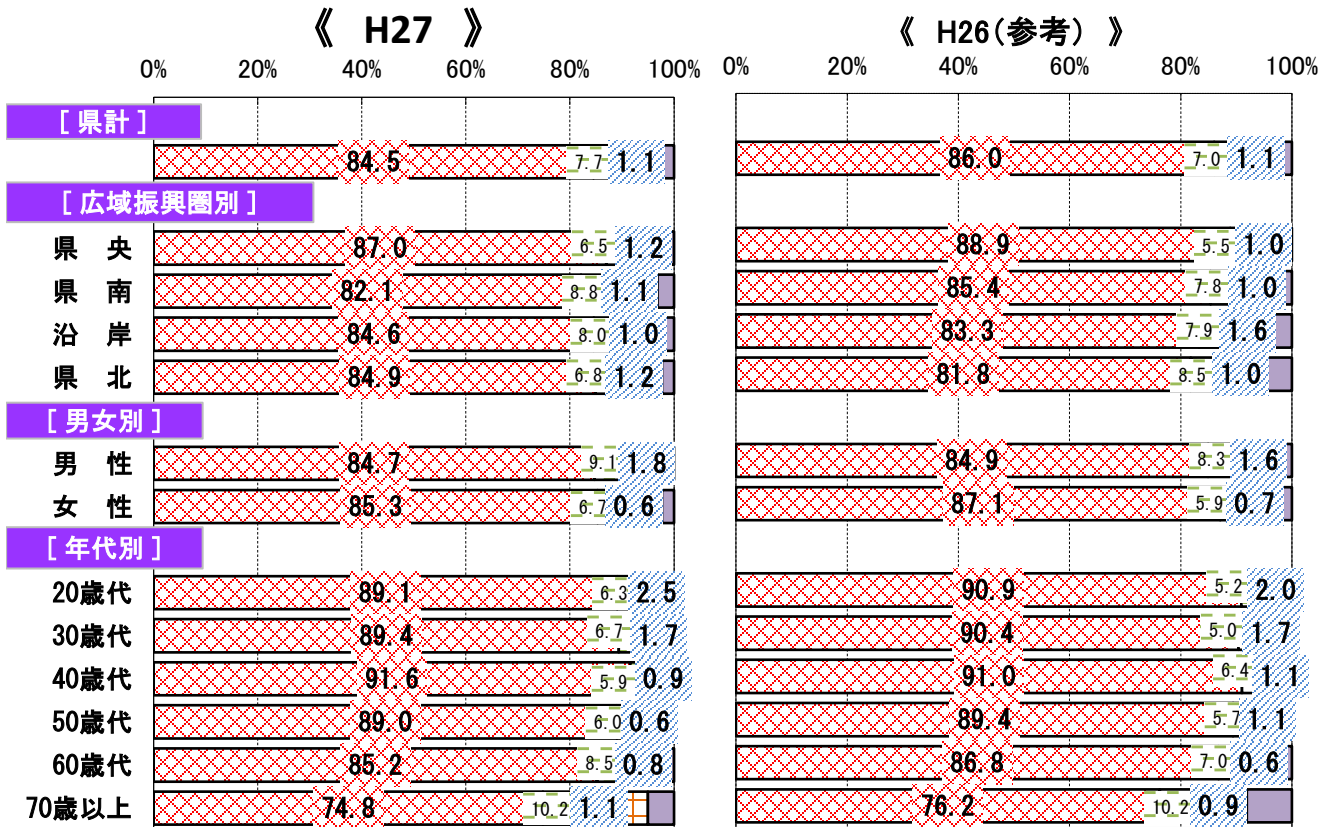
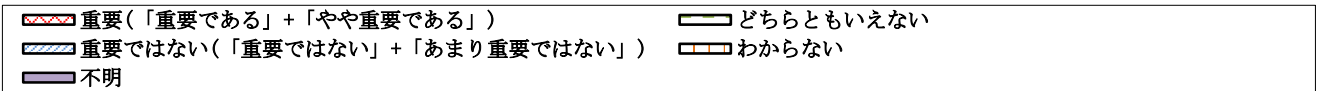


問2-29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。

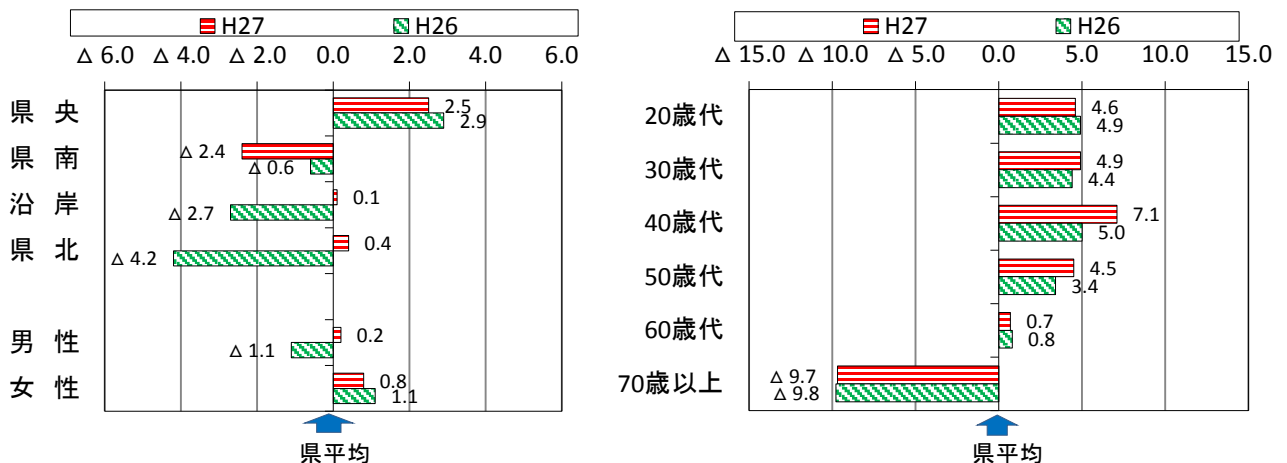
(1) 重要度について

重要が約85% (84.5%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が84.5%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.1%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(87.0%)、男女別では女性(85.3%)、年代別では40歳代(91.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.5ポイント)、男女別では女性(0.8ポイント)、年代別では70歳以上(△9.7ポイント)となっている。



重要の県平均との差

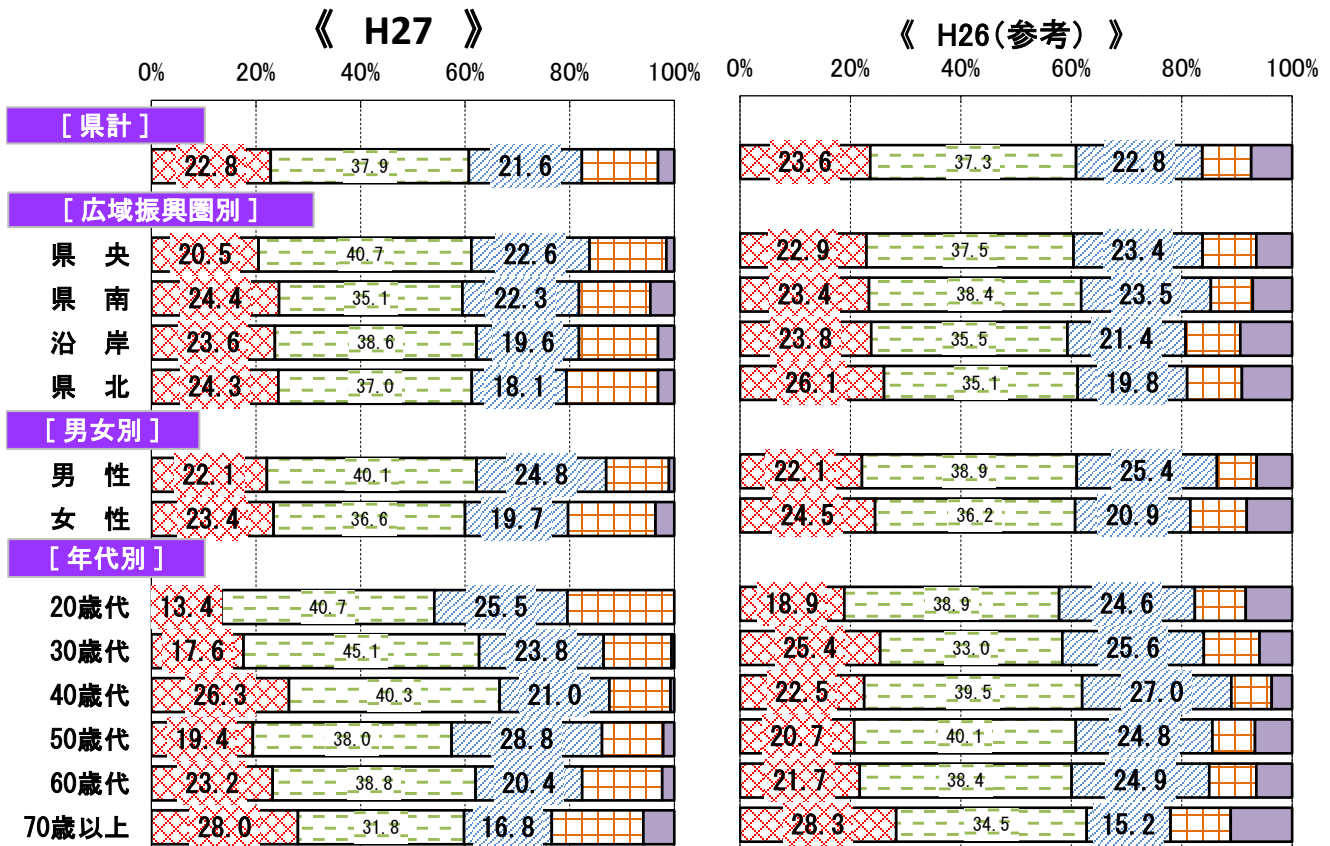


(2) 満足度について

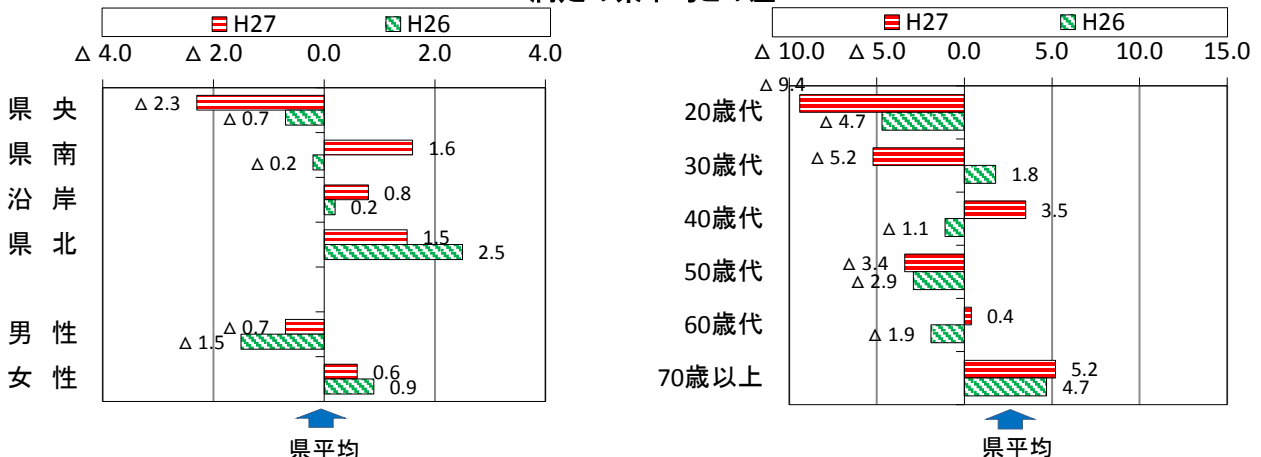
満足が2割強(22.8%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.6%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(24.4%)、男女別では女性(23.4%)、年代別では70歳以上(28.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(△2.3ポイント)、男女別では男性(△0.7ポイント)、年代別では20歳代(△9.4ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 どちらともいえない
 わからない
 不明



満足の県平均との差

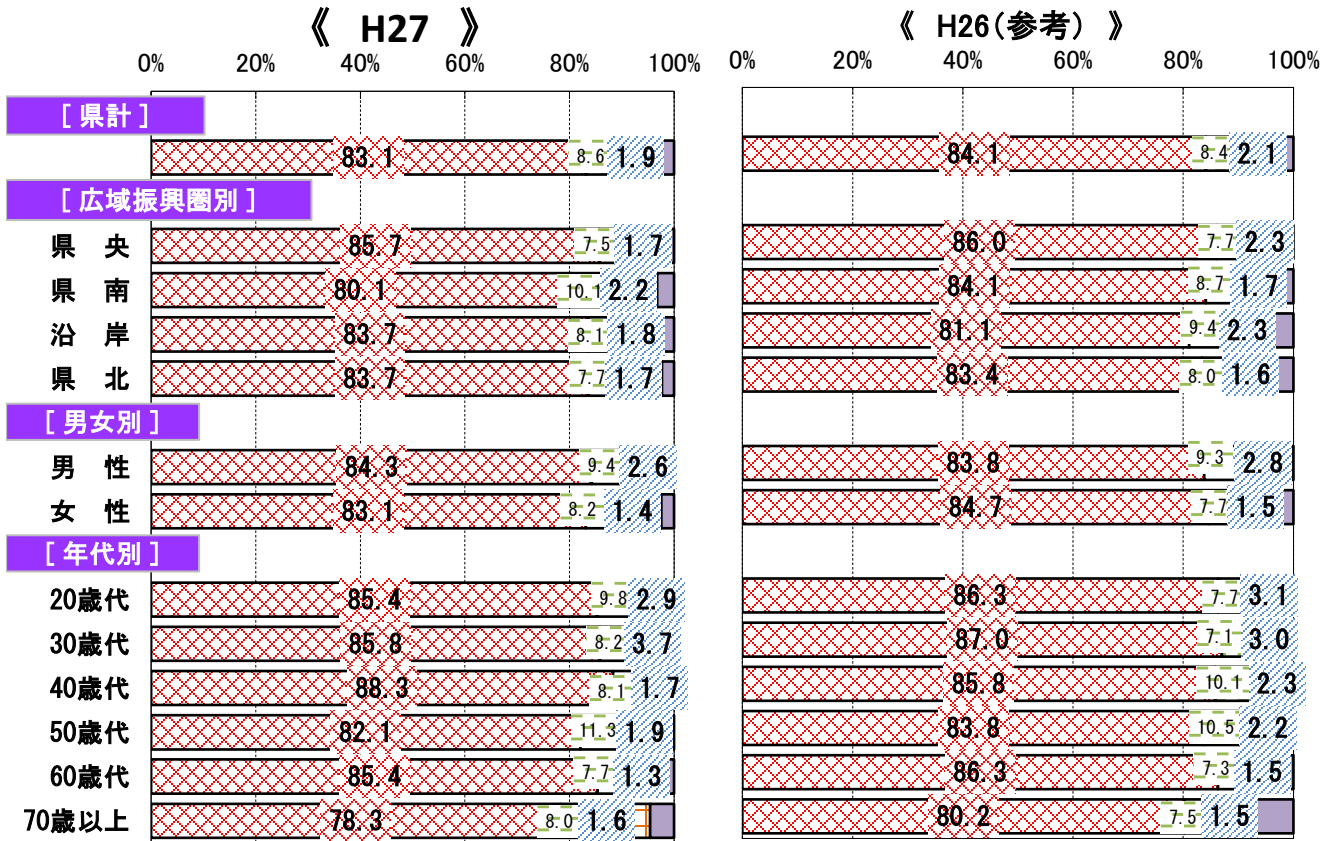
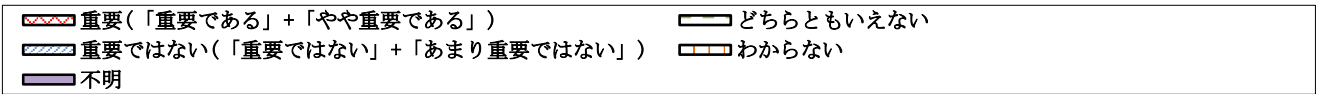


問2-30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。

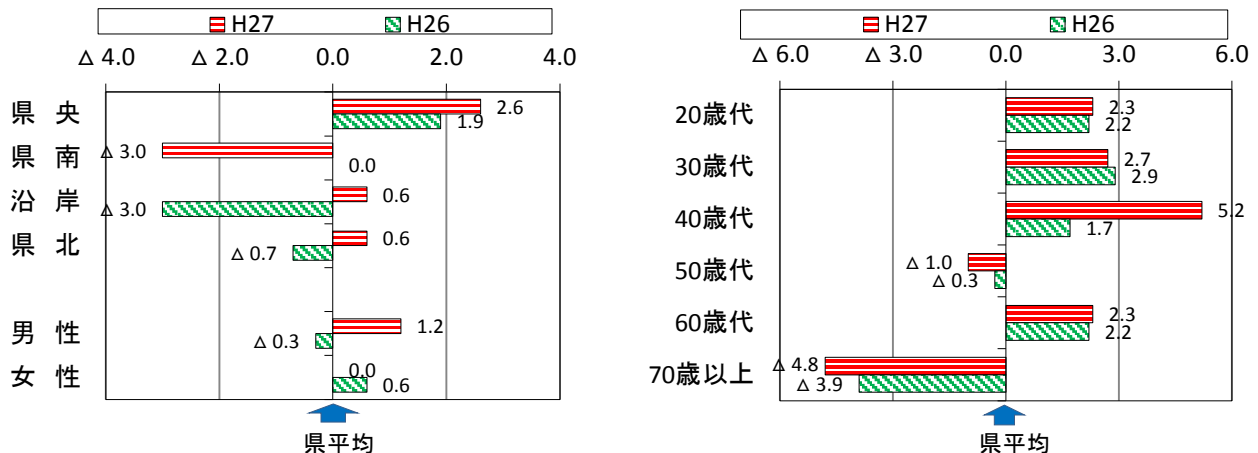
(1) 重要度について

重要が8割強(83.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が83.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.9%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(85.7%)、男女別では男性(84.3%)、年代別では40歳代(88.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△3.0ポイント)、男女別では男性(1.2ポイント)、年代別では40歳代(5.2ポイント)となっている。



重要の県平均との差

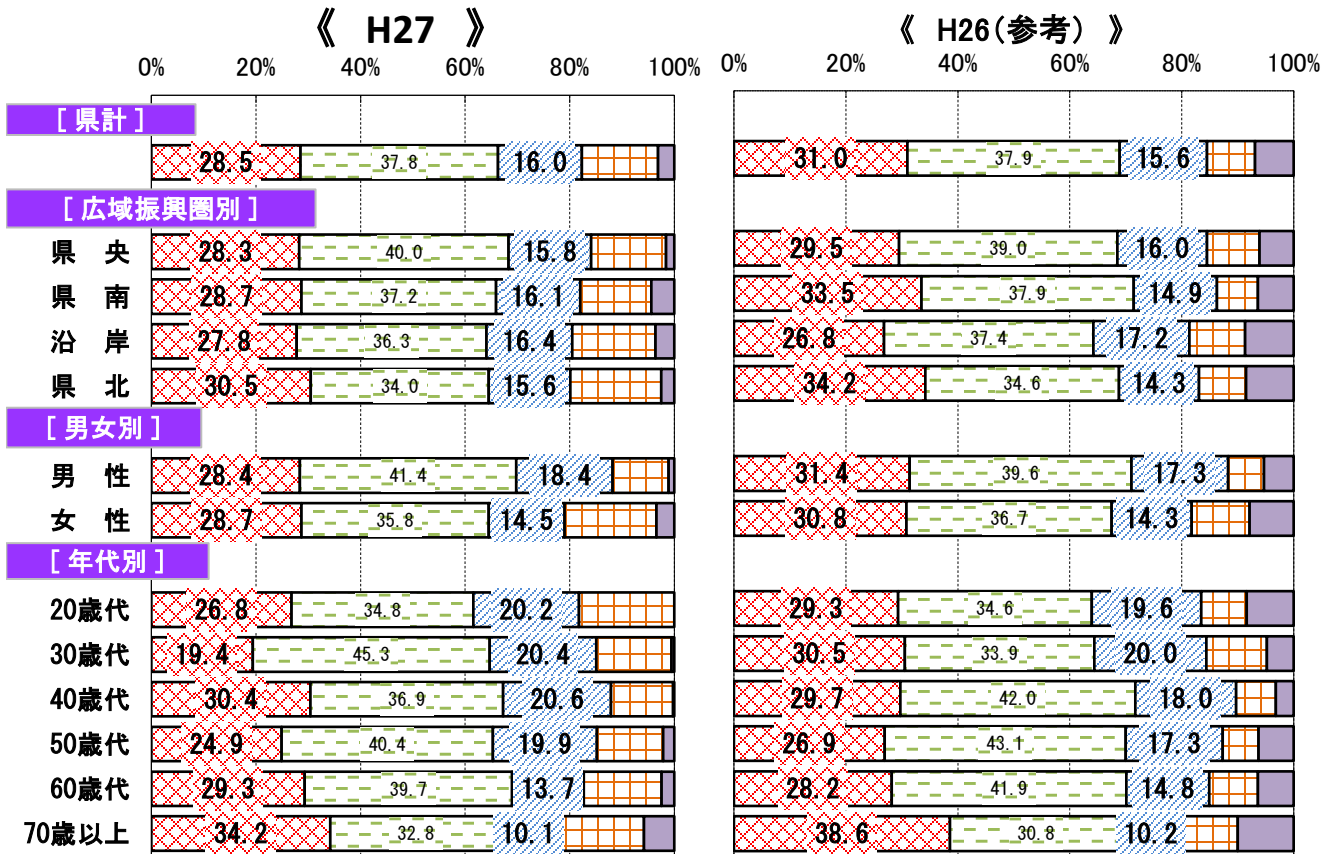


(2) 満足度について

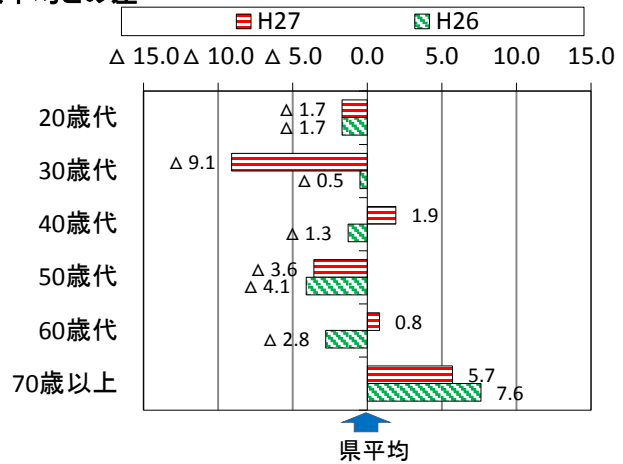
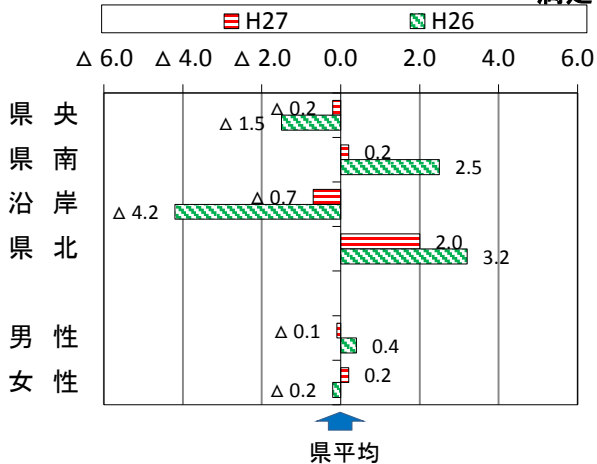
満足が3割弱(28.5%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が28.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合16.0%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(30.5%)、男女別では女性(28.7%)、年代別では70歳以上(34.2%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(2.0ポイント)、男女別では女性(0.2ポイント)、年代別では30歳代(Δ9.1ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない



満足の県平均との差

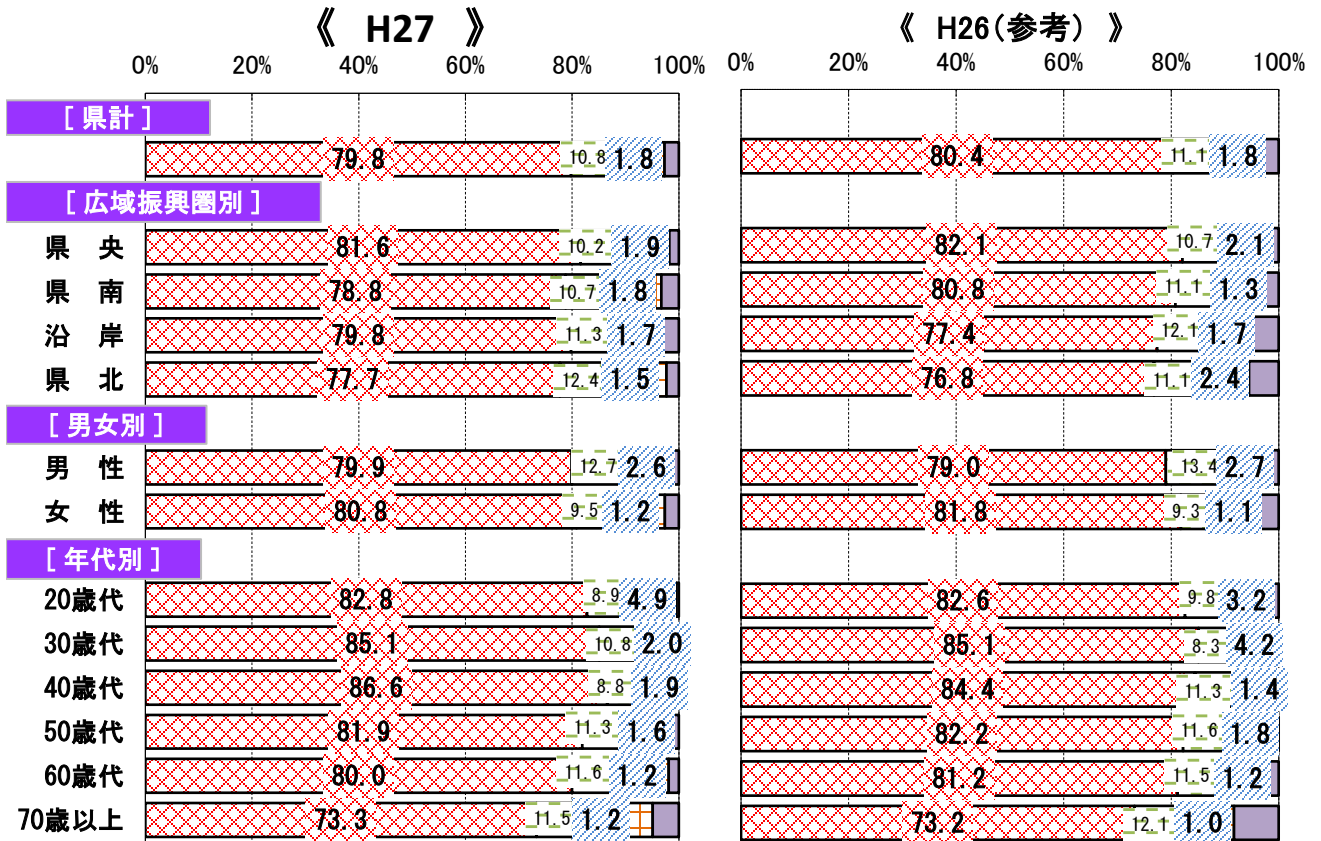
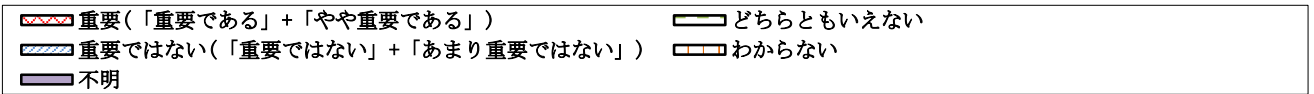


問2-31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。

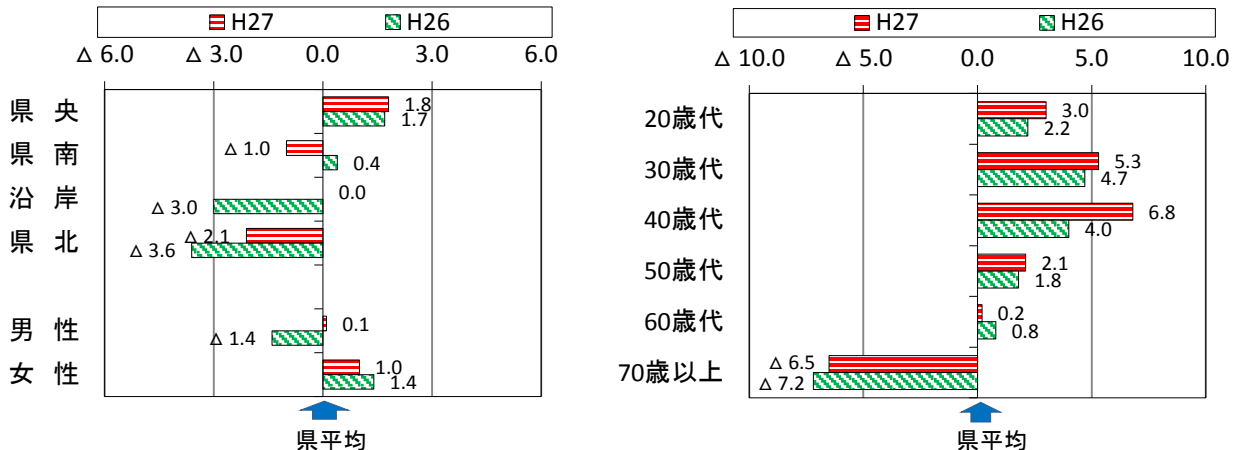
(1) 重要度について

重要が約8割(79.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が79.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.8%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(81.6%)、男女別では女性(80.8%)、年代別では40歳代(86.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.1ポイント)、男女別では女性(1.0ポイント)、年代別では40歳代(6.8ポイント)となっている。



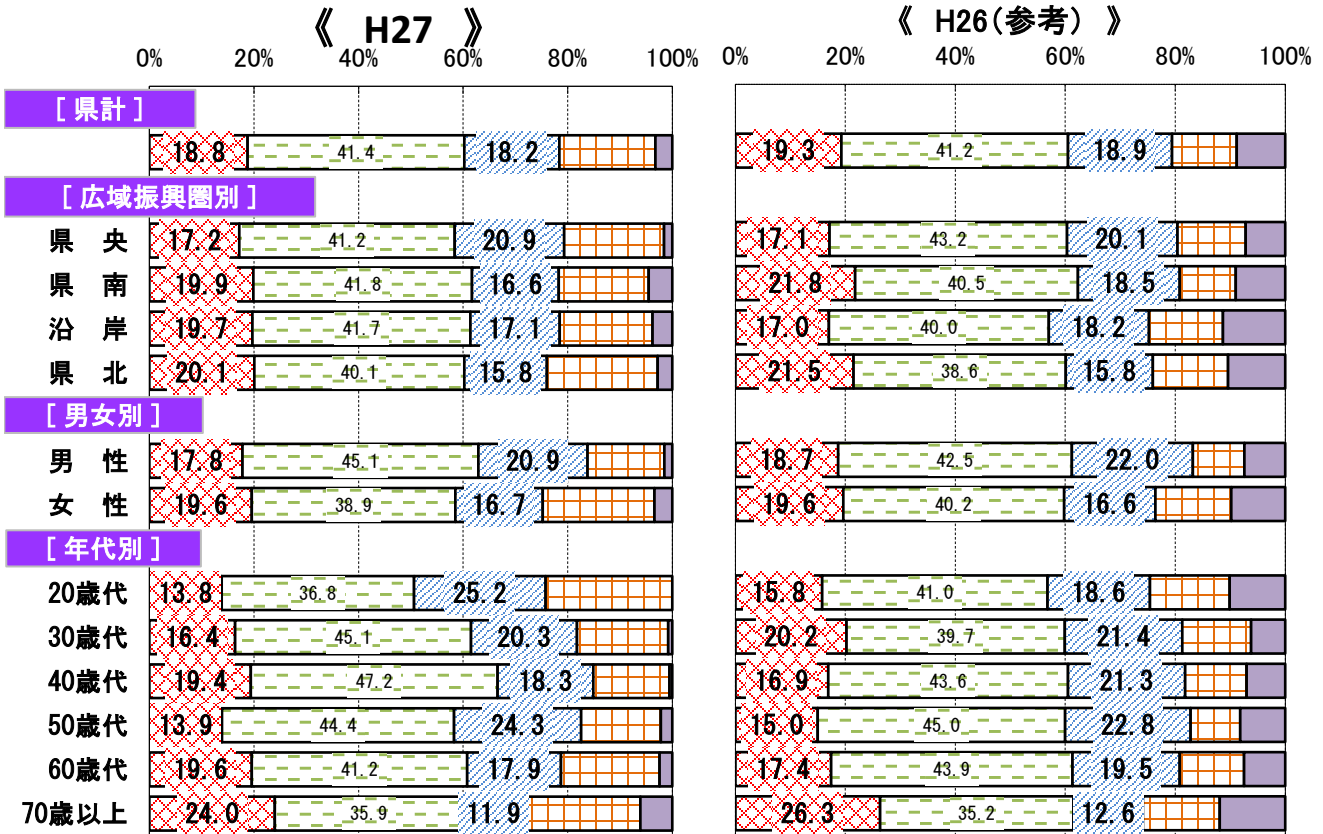
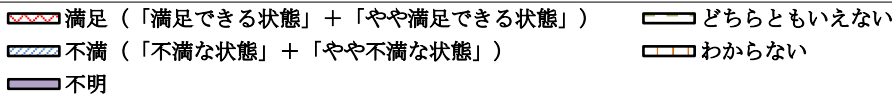
重要の県平均との差



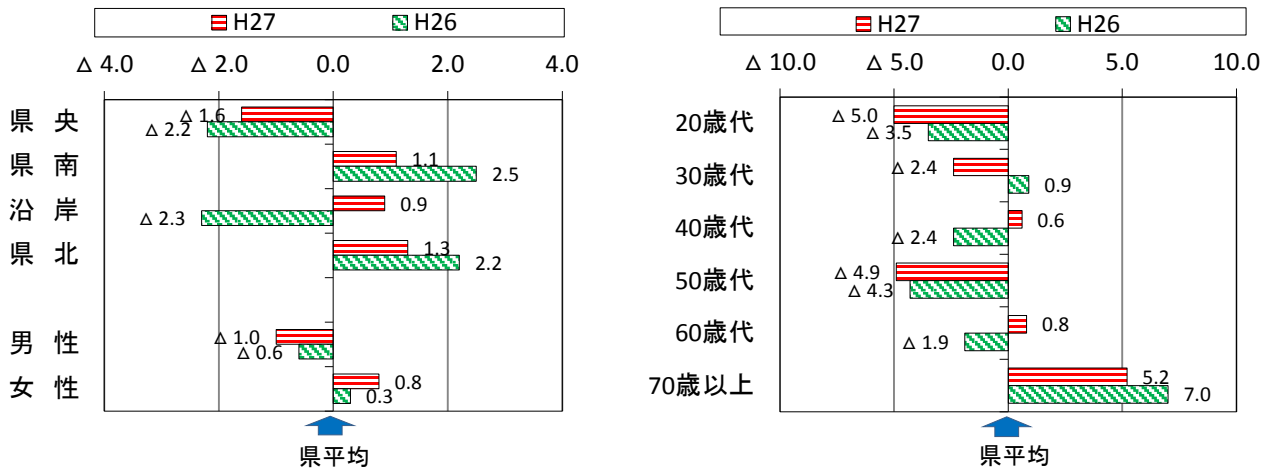
(2) 満足度について

満足が2割弱(18.8%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.2%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(20.1%)、男女別では女性(19.6%)、年代別では70歳以上(24.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(△1.6ポイント)、男女別では男性(△1.0ポイント)、年代別では70歳以上(5.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

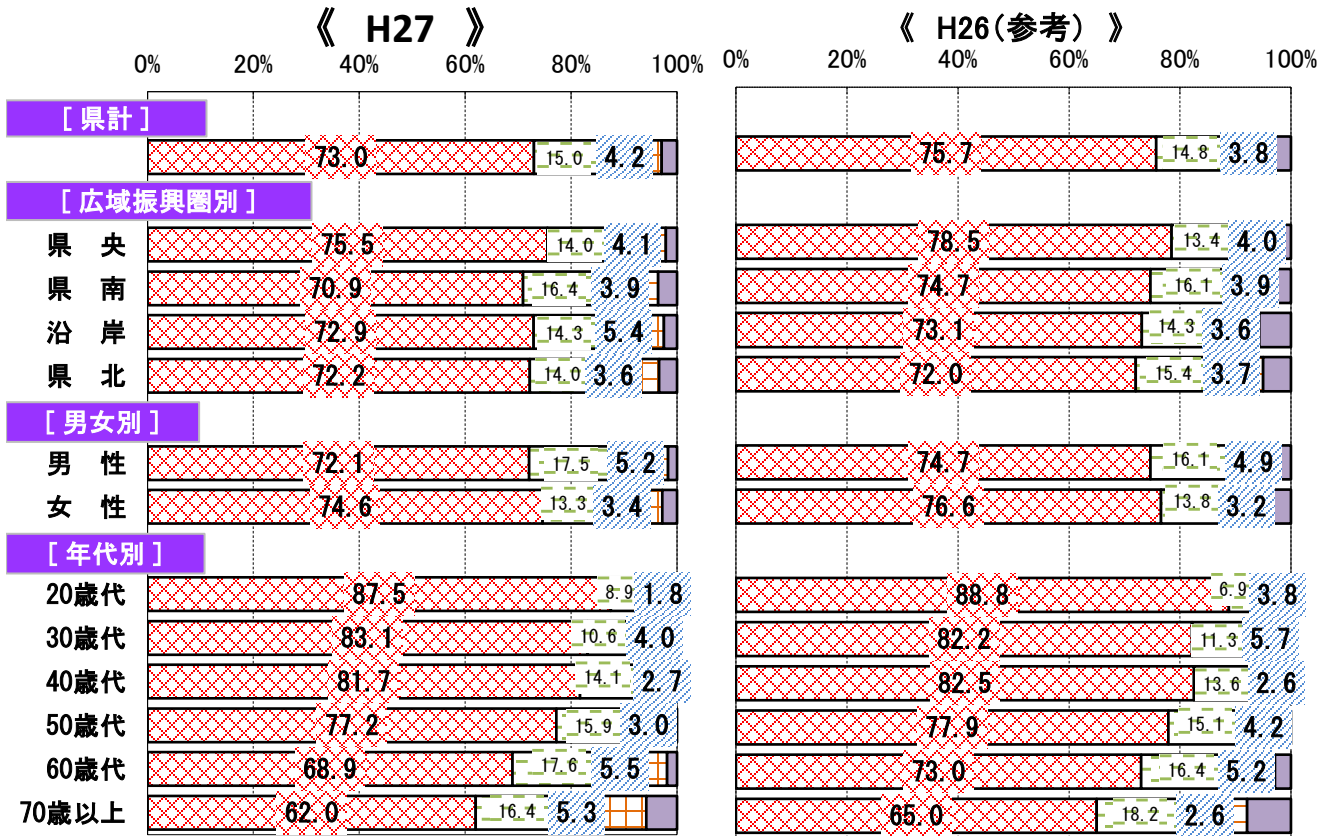
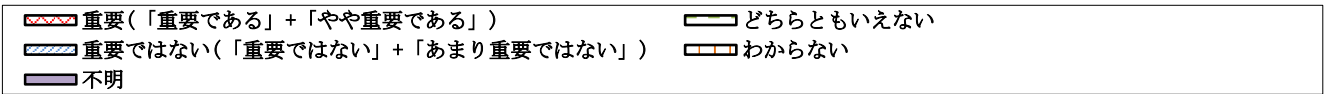


問2-32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。

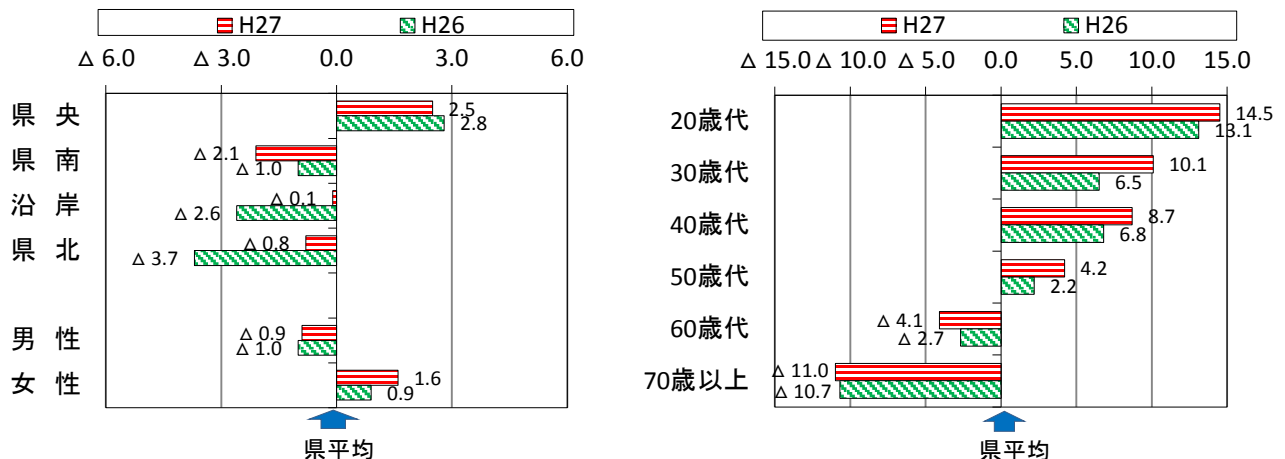
(1) 重要度について

重要が7割強(73.0%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が73.0%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合4.2%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(75.5%)、男女別では女性(74.6%)、年代別では20歳代(87.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.5ポイント)、男女別では女性(1.6ポイント)、年代別では20歳代(14.5ポイント)となっている。



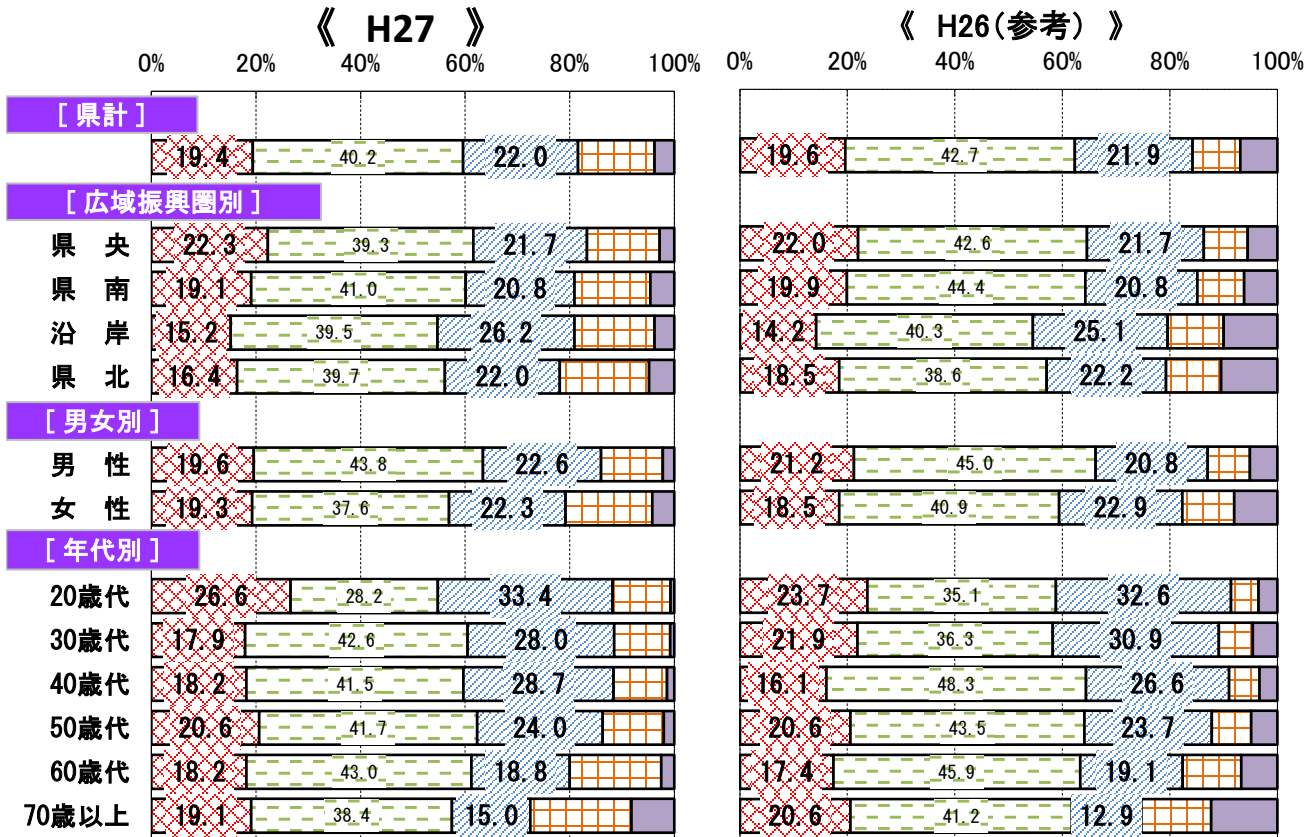
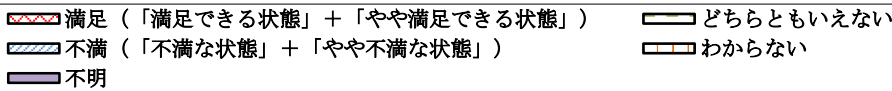
重要の県平均との差



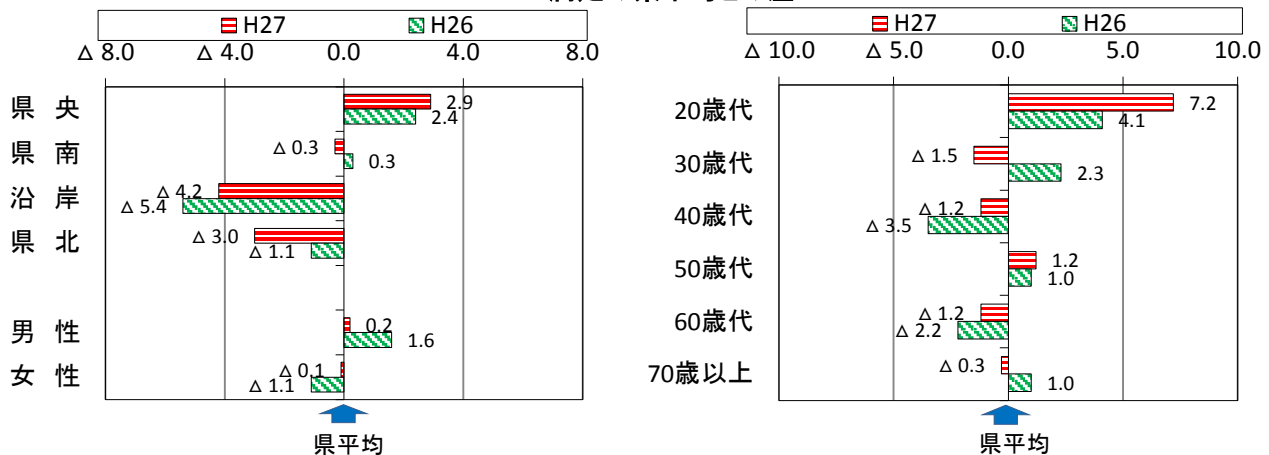
(2) 満足度について

満足が2割弱(19.4%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.0%を若干下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(22.3%)、男女別では男性(19.6%)、年代別では20歳代(26.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△4.2ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では20歳代(7.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

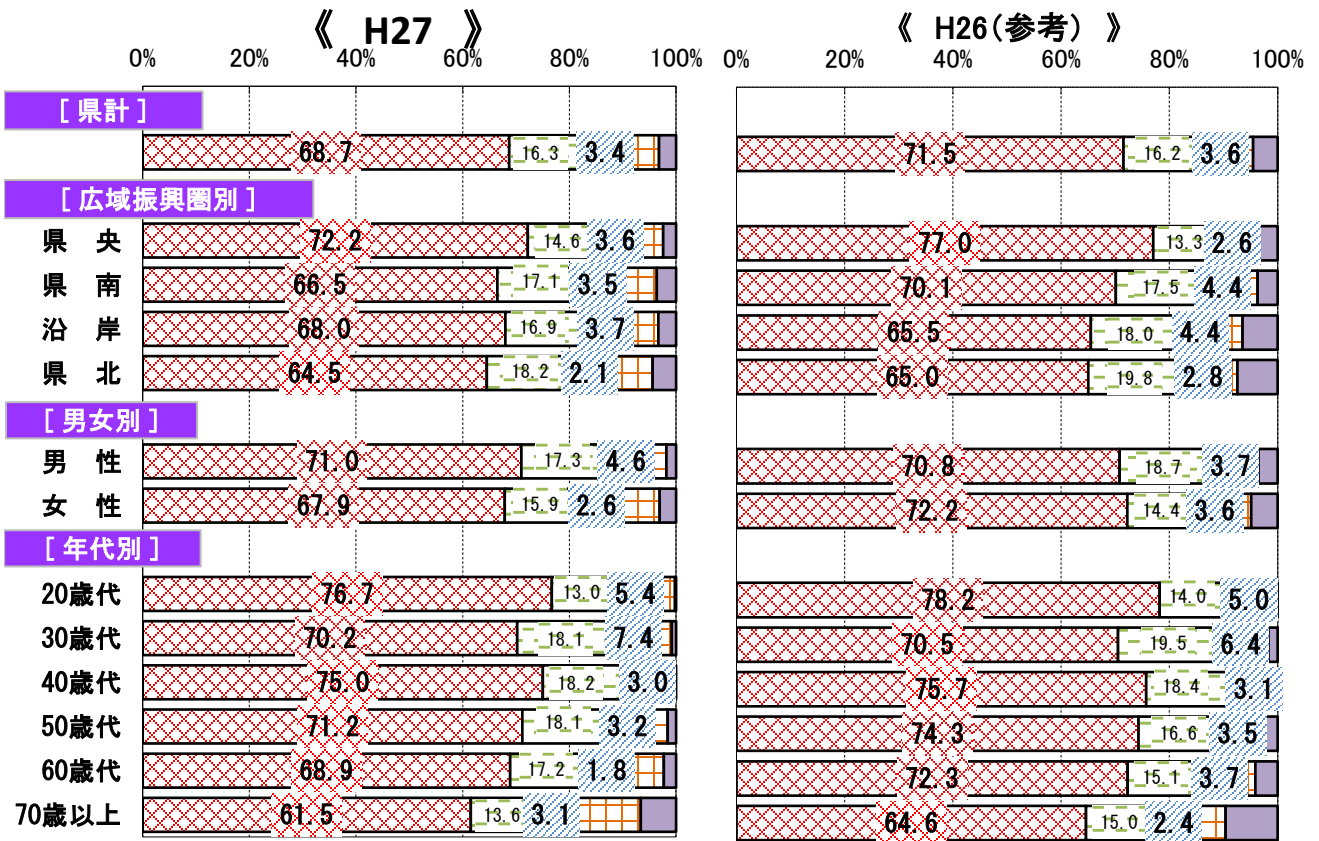
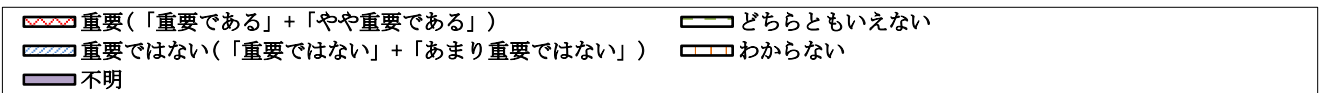


問2-33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。

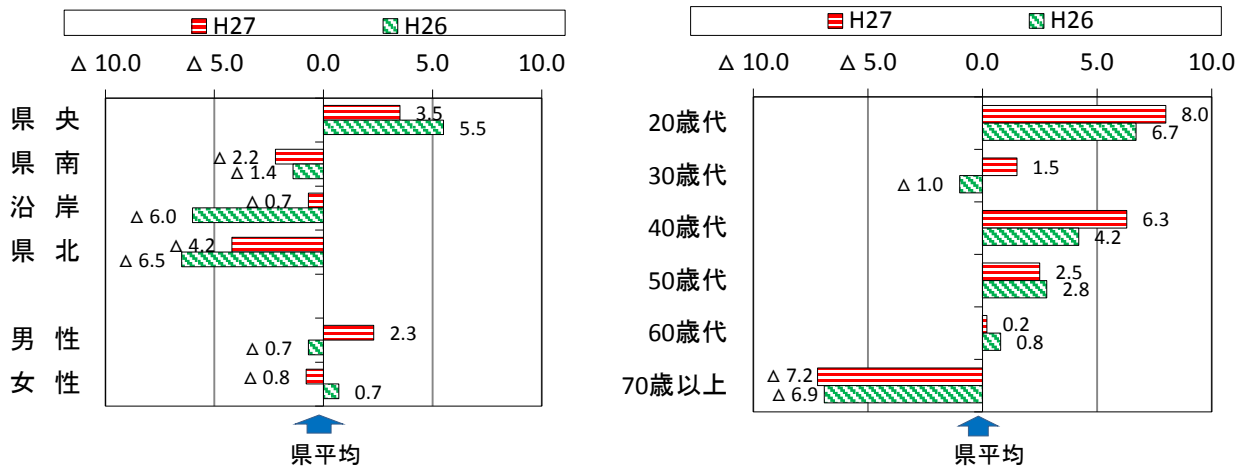
(1) 重要度について

重要が7割弱(68.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が68.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.4%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(72.2%)、男女別では男性(71.0%)、年代別では20歳代(76.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.2ポイント)、男女別では男性(2.3ポイント)、年代別では20歳代(8.0ポイント)となっている。



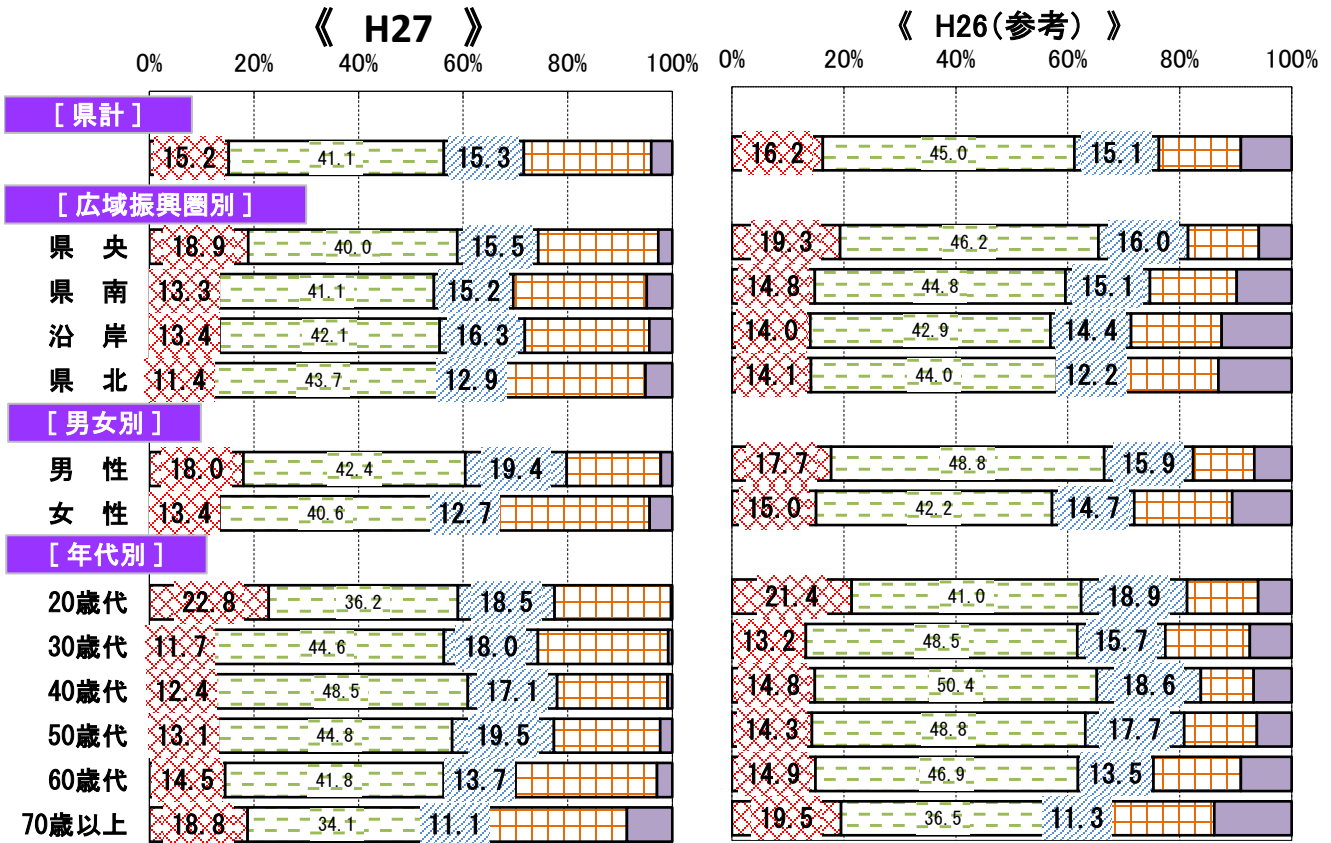
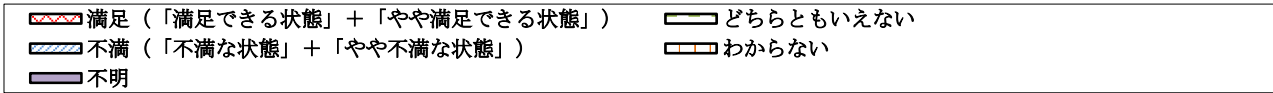
重要の県平均との差



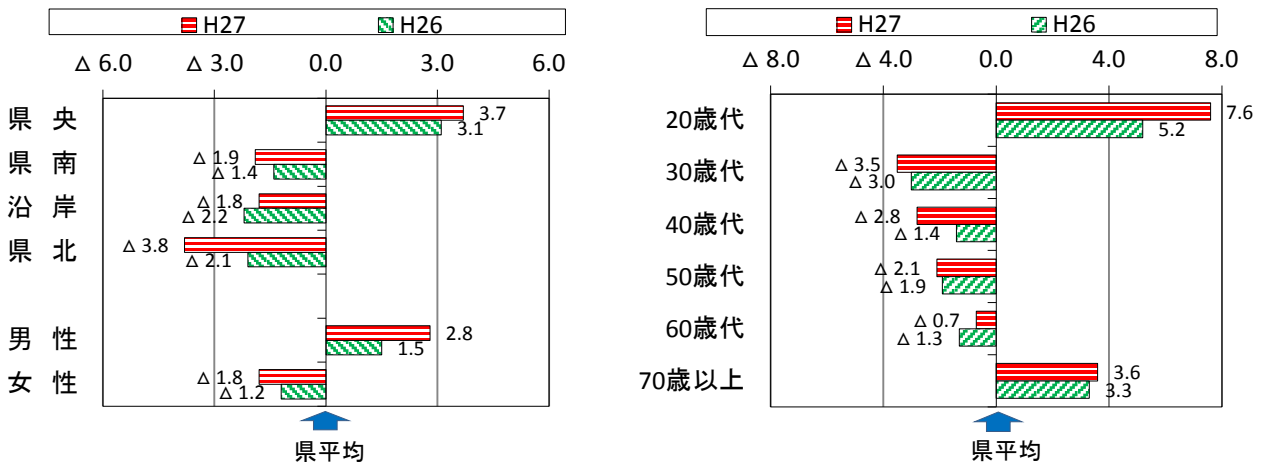
(2) 満足度について

満足が約15% (15.2%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が15.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.3%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(18.9%)、男女別では男性(18.0%)、年代別では20歳代(22.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.8ポイント)、男女別では男性(2.8ポイント)、年代別では20歳代(7.6ポイント)となっている。



満足の県平均との差

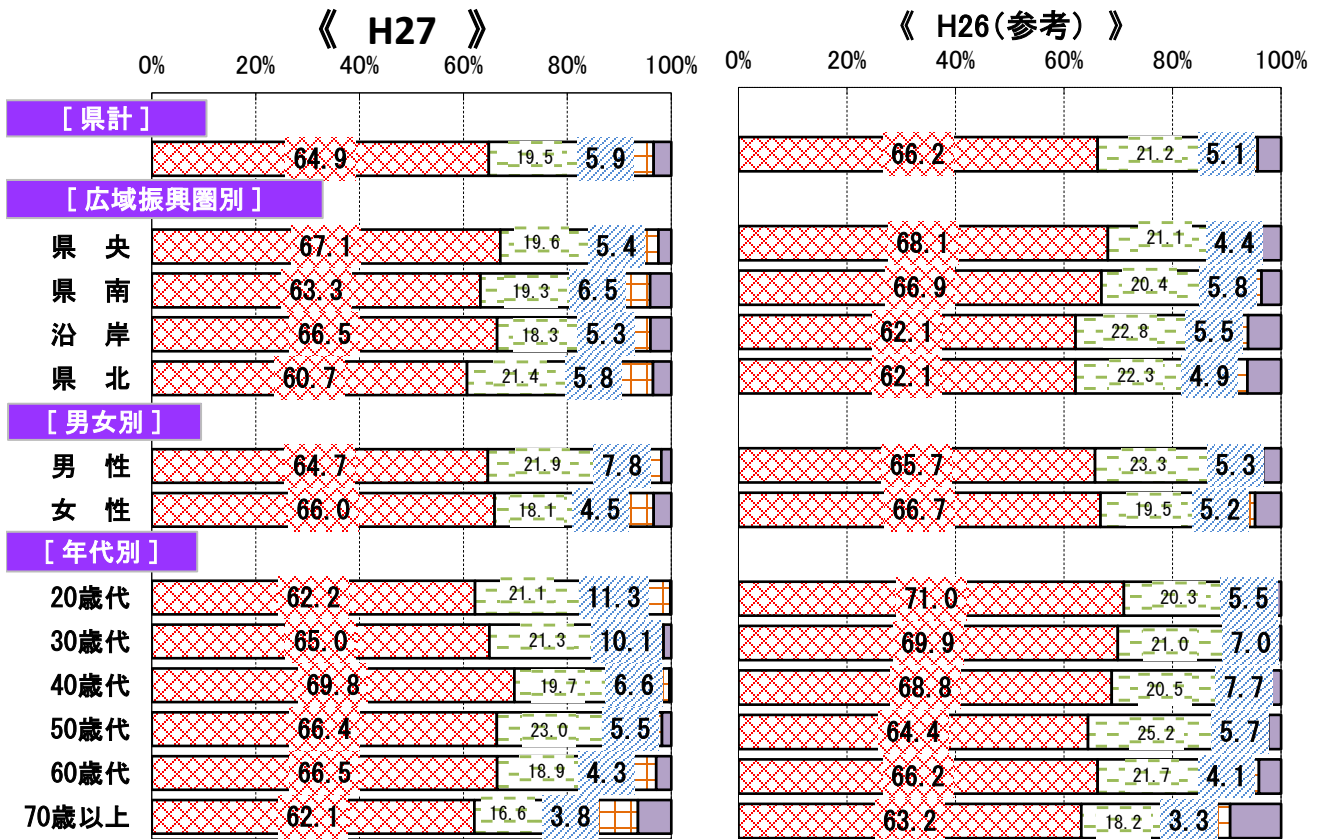
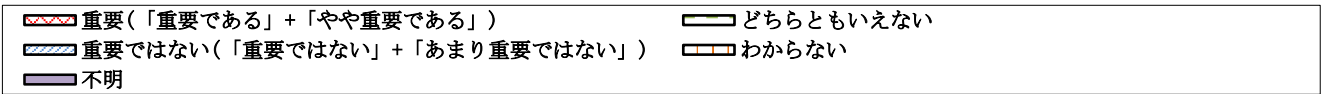


問2-34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること。

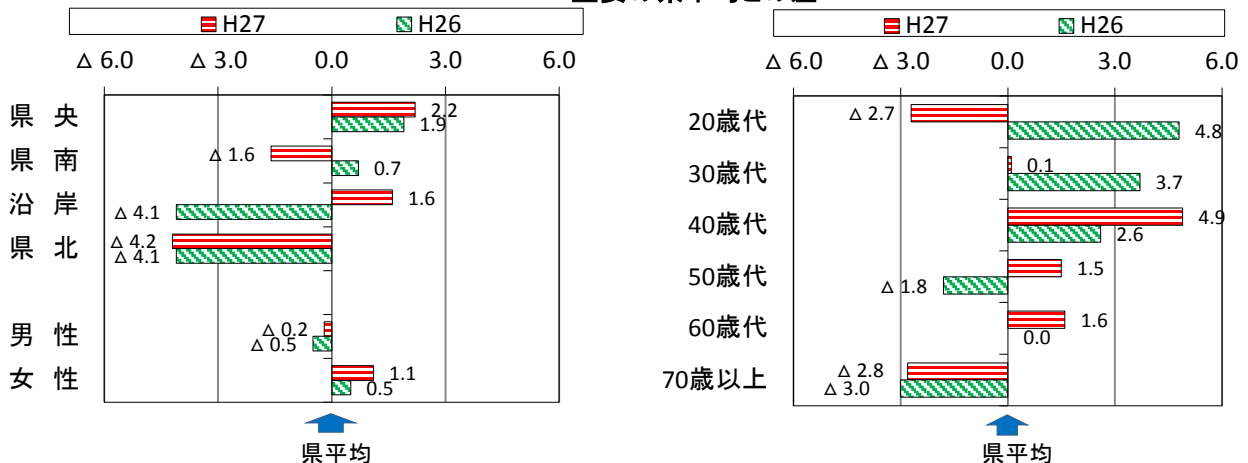
(1) 重要度について

重要が約65% (64.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が64.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合5.9%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(67.1%)、男女別では女性(66.0%)、年代別では40歳代(69.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△4.2ポイント)、男女別では女性(1.1ポイント)、年代別では40歳代(4.9ポイント)となっている。



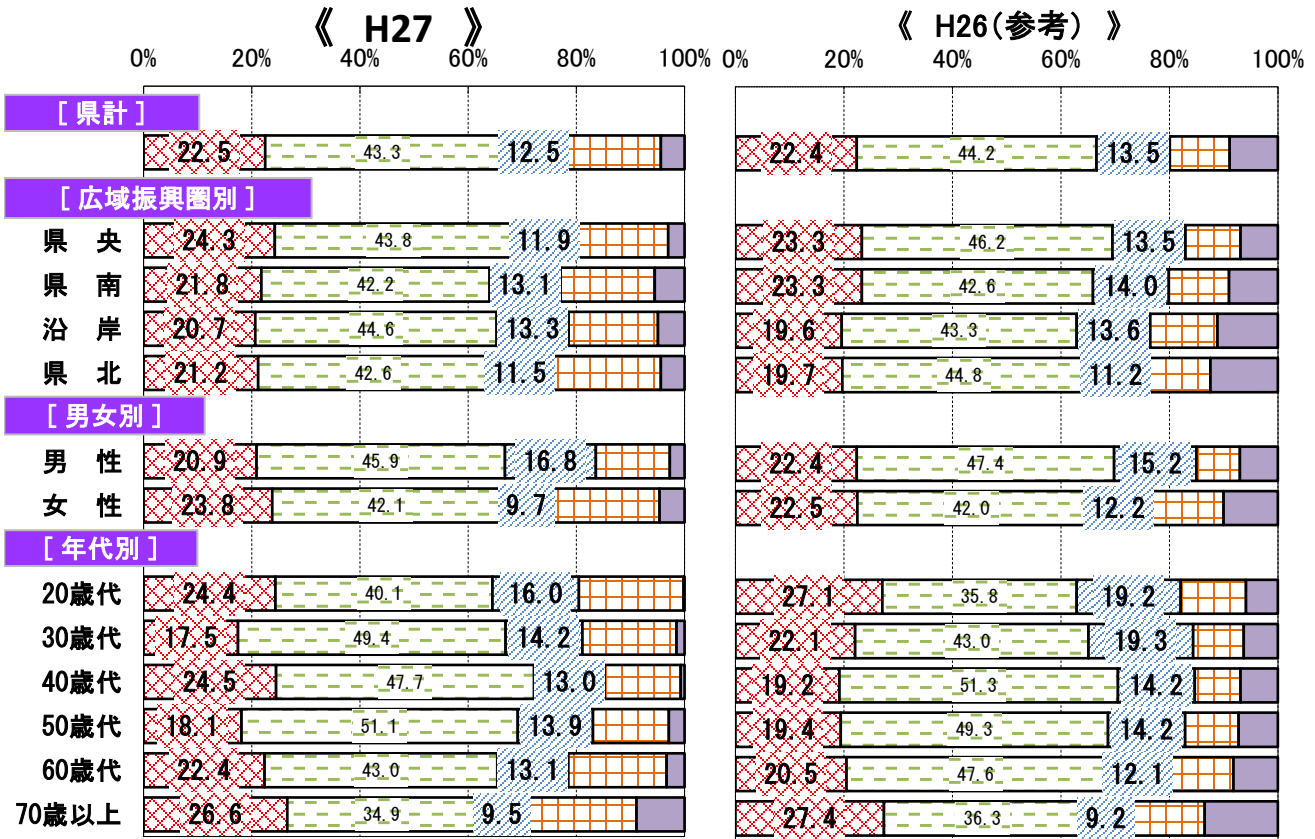
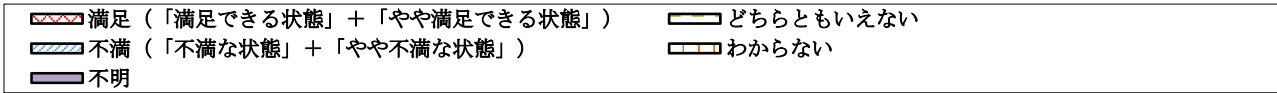
重要の県平均との差



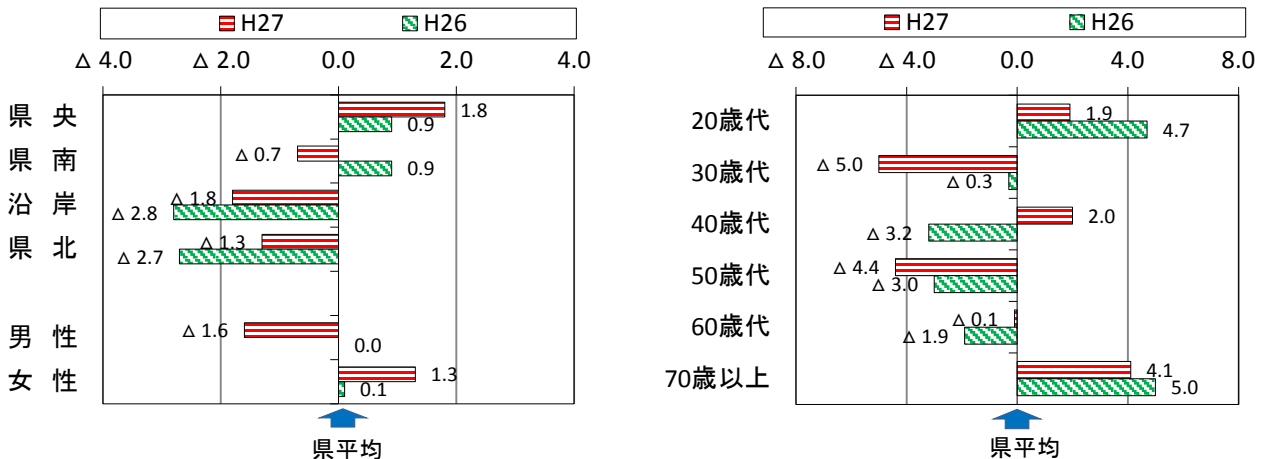
(2) 満足度について

満足が2割強(22.5%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合12.5%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(24.3%)、男女別では女性(23.8%)、年代別では70歳以上(26.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.8ポイント)及び沿岸(△1.8ポイント)、男女別では男性(△1.6ポイント)、年代別では30歳代(△5.0ポイント)となっている。



満足の県平均との差

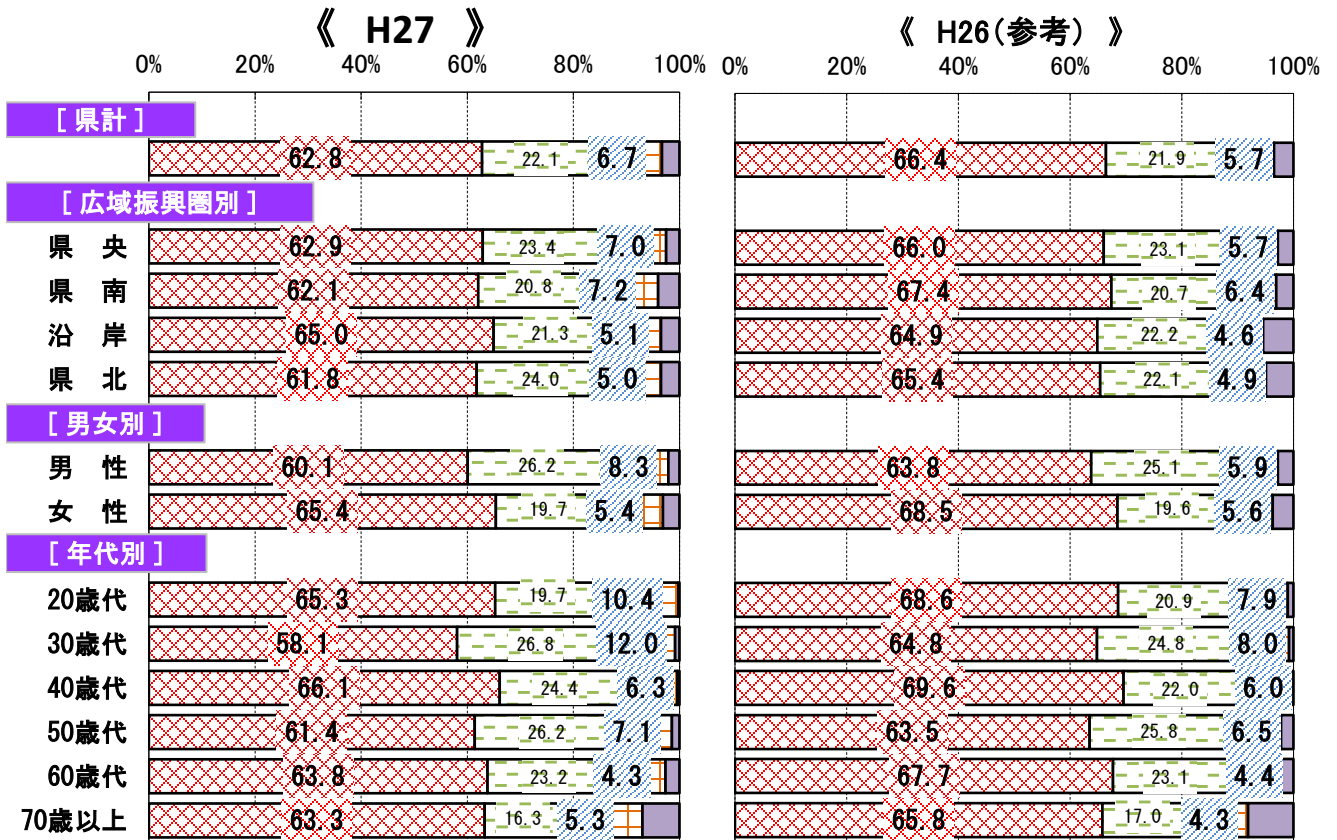
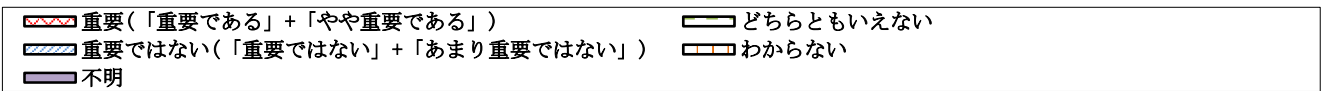


問2-35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。

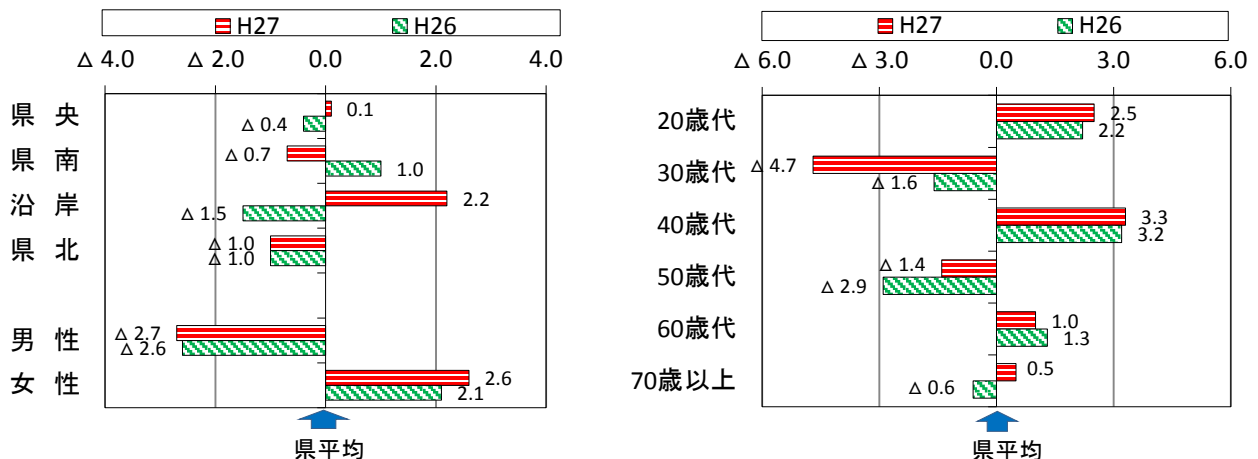
(1) 重要度について

重要が6割強(62.6%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が62.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合6.7%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(65.0%)、男女別では女性(65.4%)、年代別では40歳代(66.1%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(2.2ポイント)、男女別では男性(△2.7ポイント)、年代別では30歳代(△4.7ポイント)となっている。



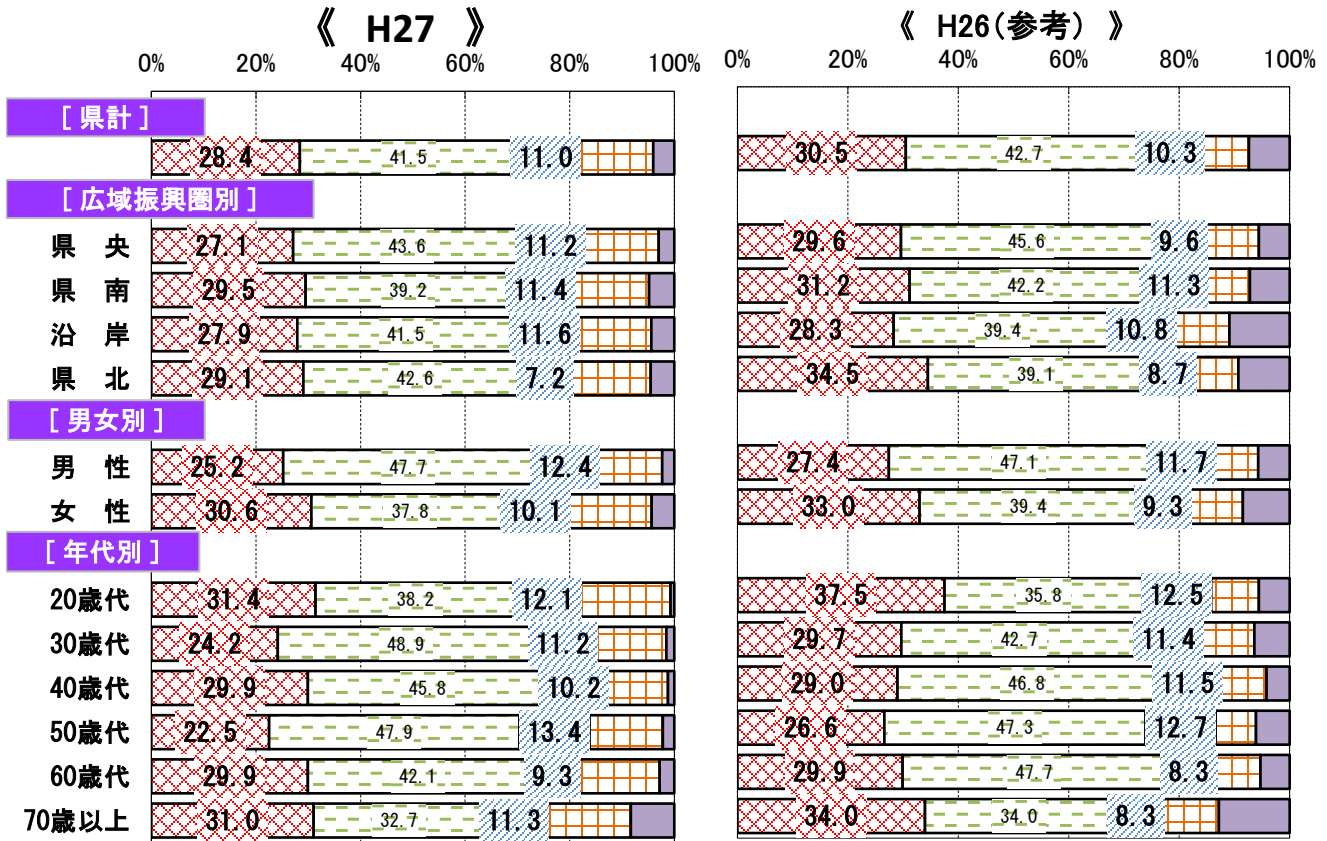
重要の県平均との差



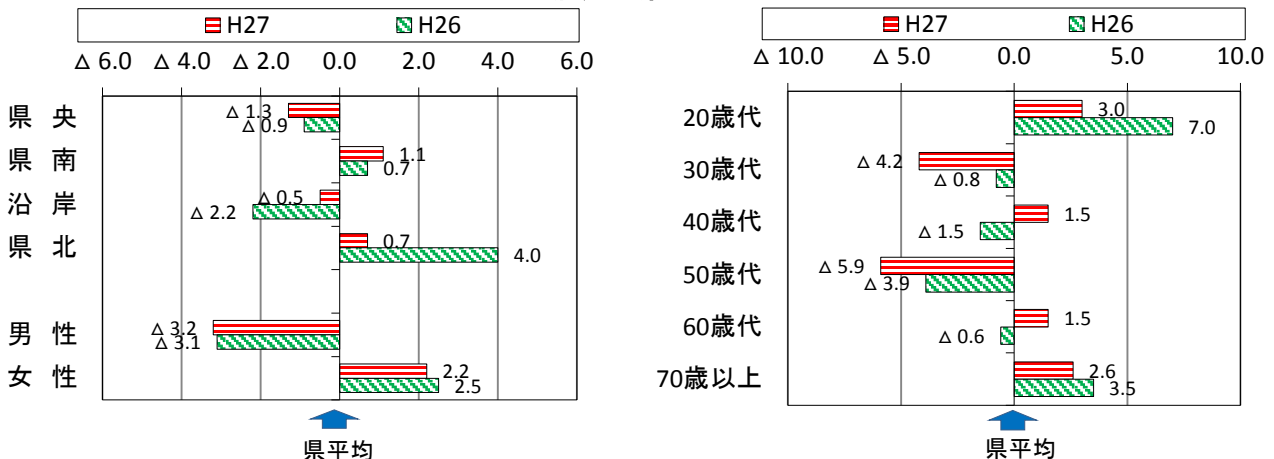
(2) 満足度について

満足が3割弱(28.4%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が28.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合11.0%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(29.5%)、男女別では女性(30.6%)、年代別では20歳代(31.4%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(△1.3ポイント)、男女別では男性(△3.2ポイント)、年代別では50歳代(△5.9ポイント)となっている。



満足の県平均との差

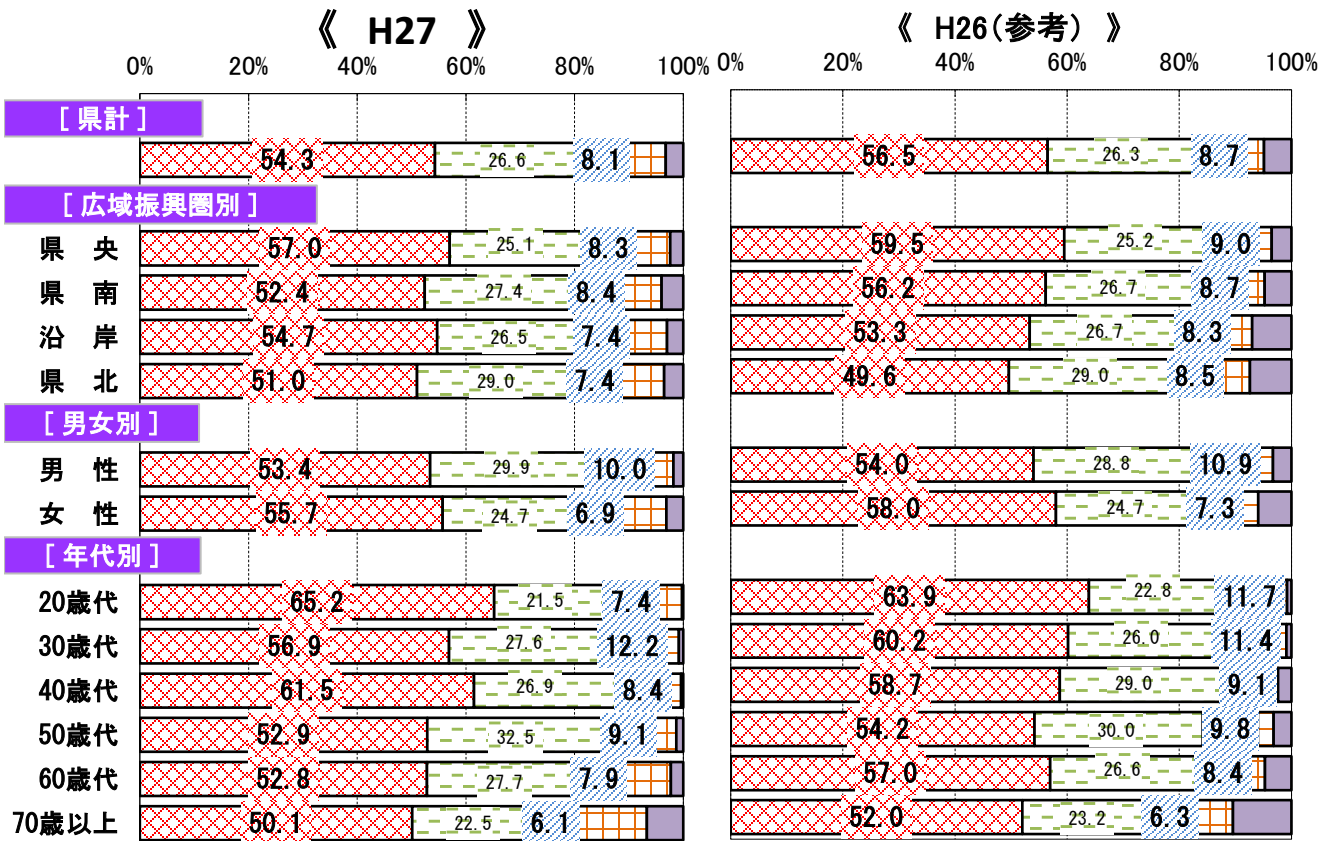
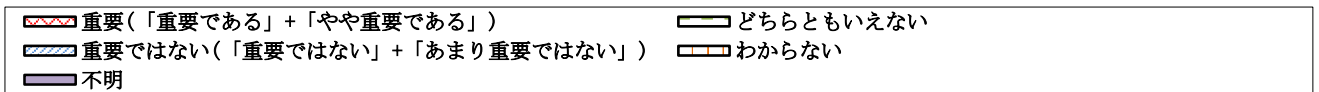


問2-36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。

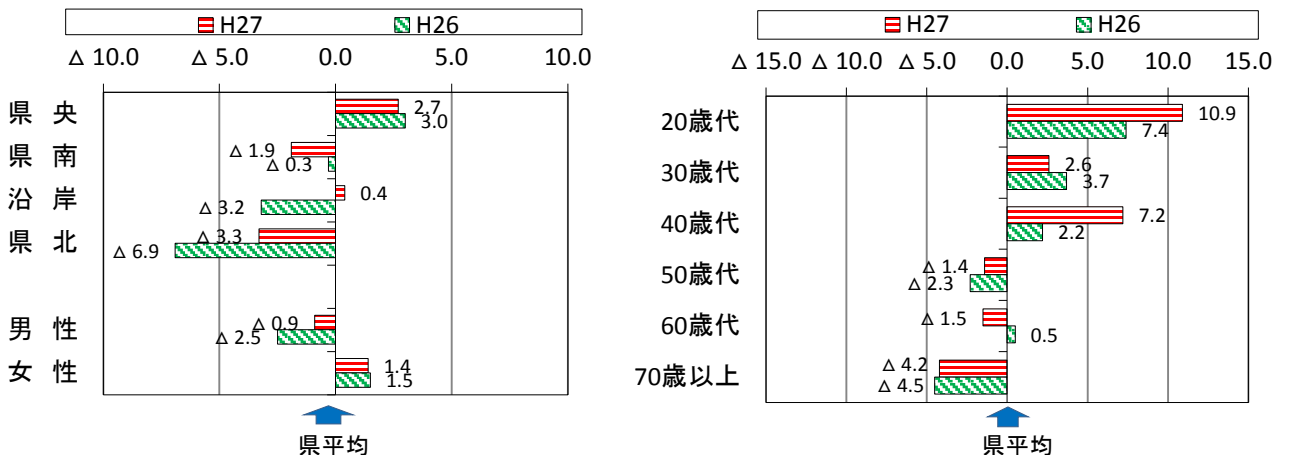
(1) 重要度について

重要が約55% (54.3%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が54.3%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合8.1%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(57.0%)、男女別では女性(55.7%)、年代別では20歳代(65.2%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.3ポイント)、男女別では女性(1.4ポイント)、年代別では20歳代(10.9ポイント)となっている。



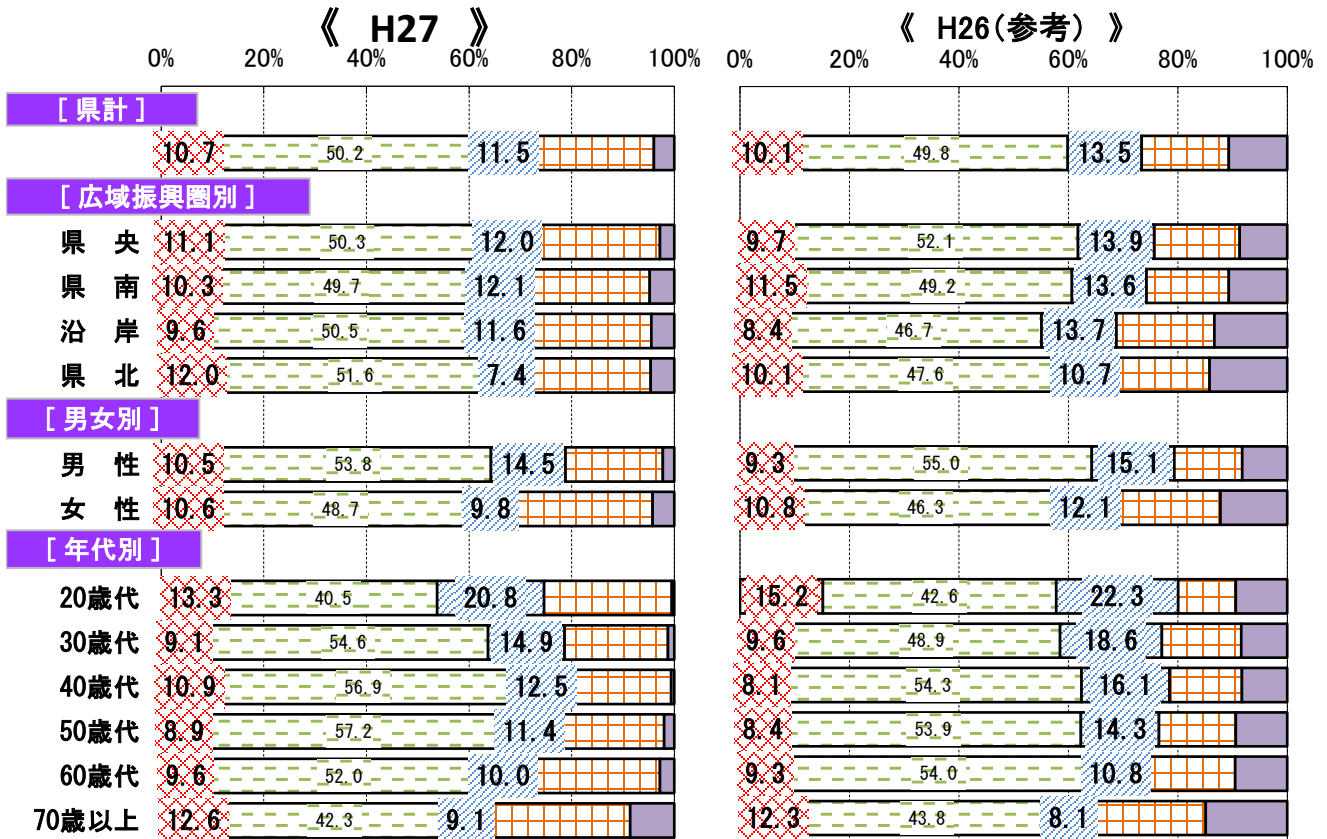
重要の県平均との差



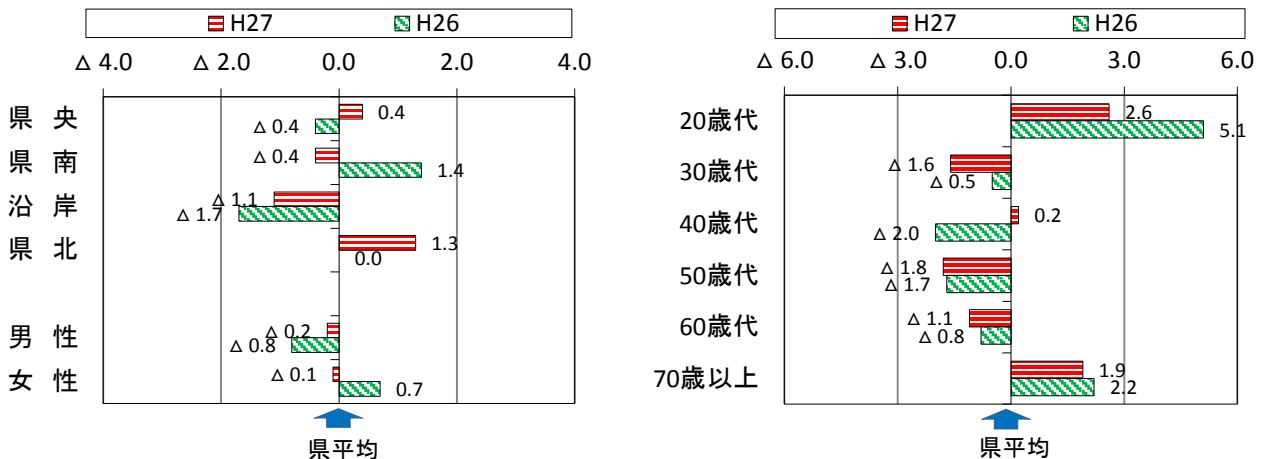
(2) 満足度について

満足が1割強(10.7%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が10.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合11.5%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(12.0%)、男女別では女性(10.6%)、年代別では20歳代(13.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(1.3ポイント)、男女別では男性(△0.2ポイント)、年代別では20歳代(2.6ポイント)となっている。



満足の県平均との差

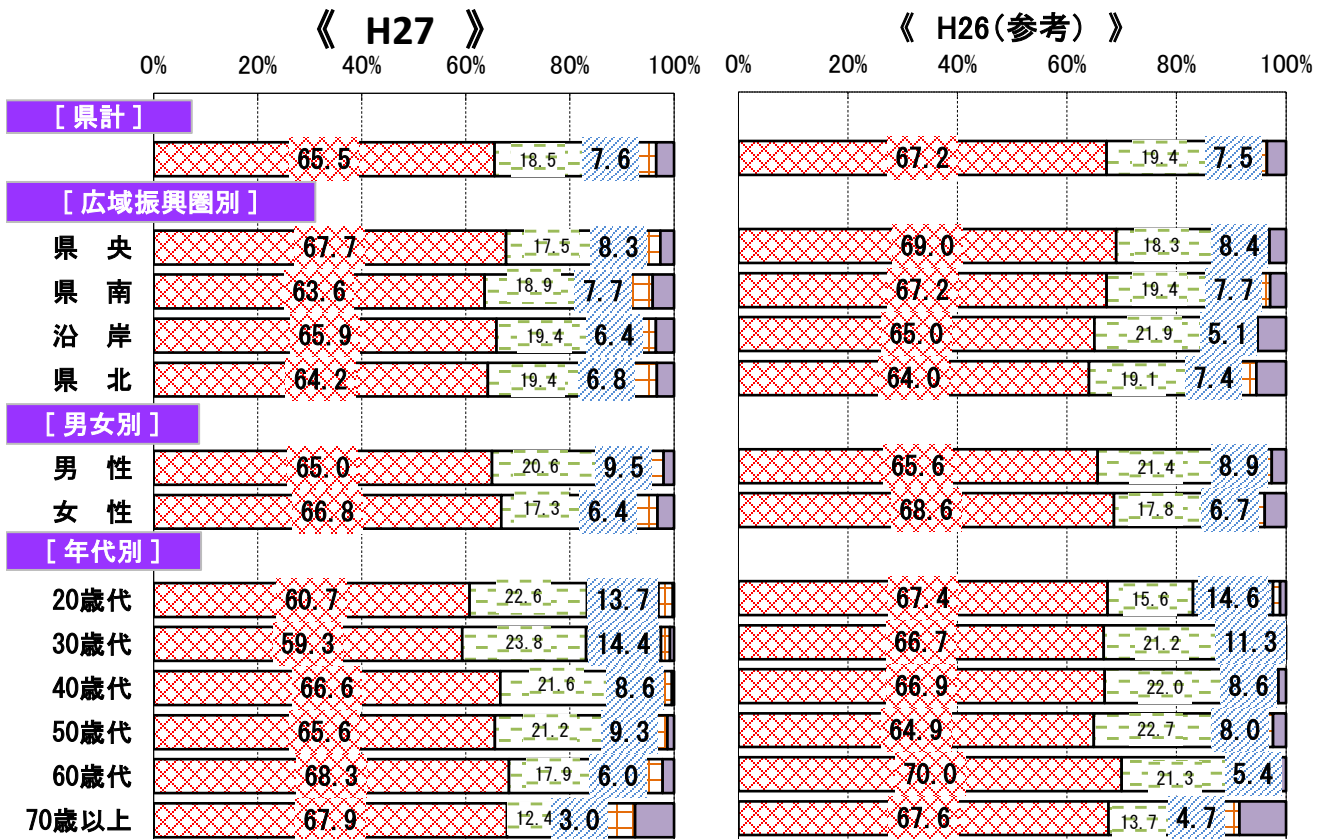
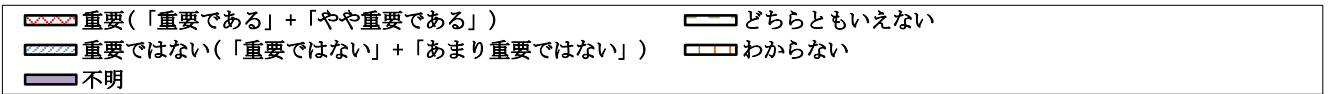


問2-37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。

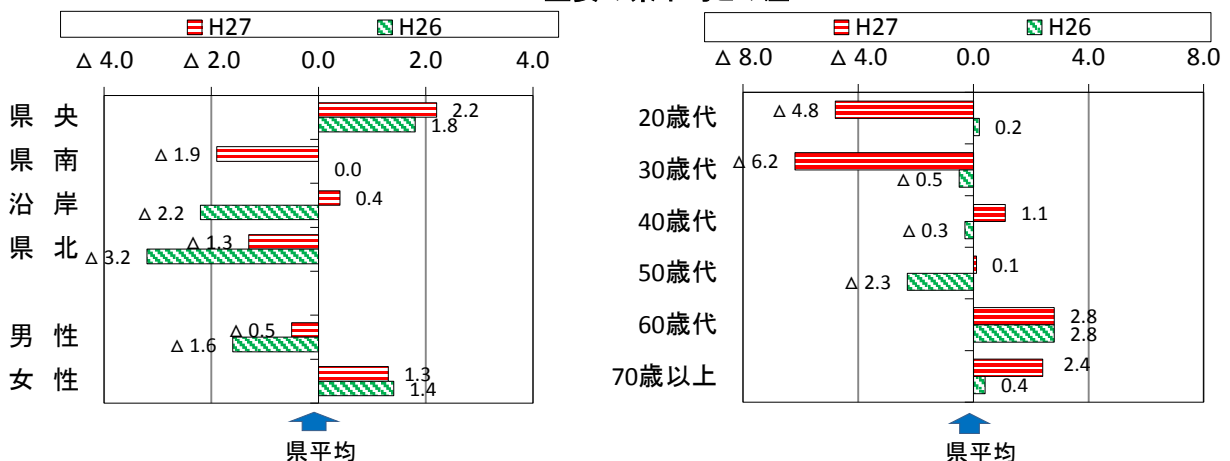
(1) 重要度について

重要が約65% (65.5%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が65.5%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合7.6%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(67.7%)、男女別では女性(66.8%)、年代別では60歳代(68.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.2ポイント)、男女別では女性(1.3ポイント)、年代別では30歳代(△6.2ポイント)となっている。



重要な県平均との差

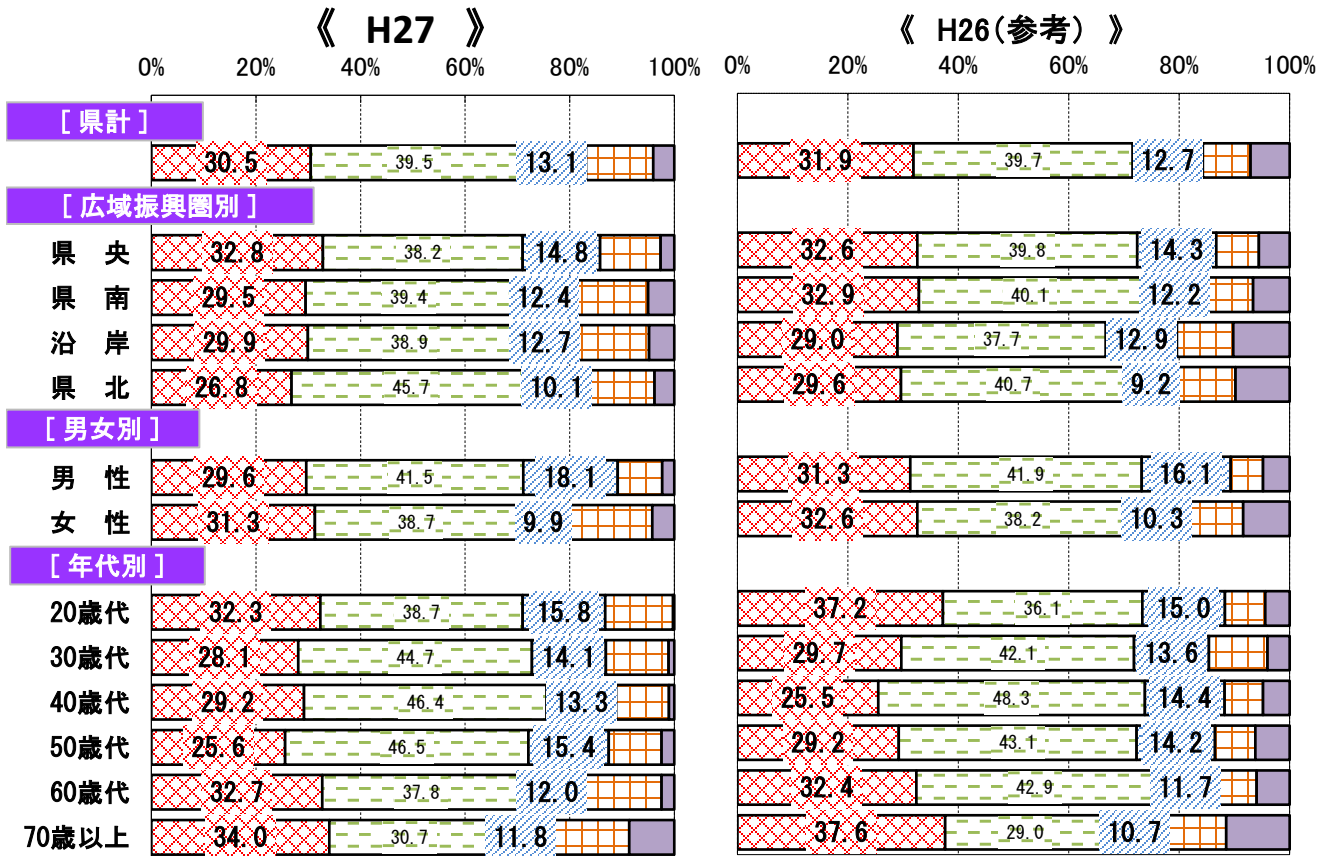


(2) 満足度について

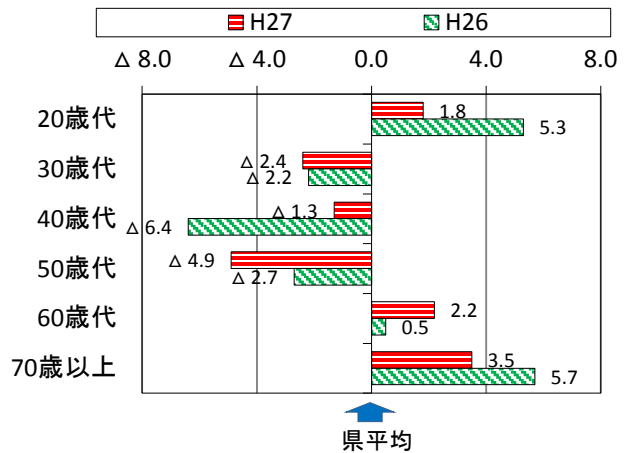
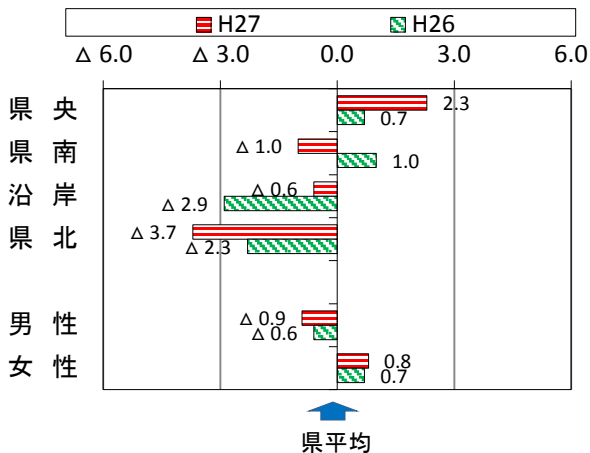
満足が3割強(30.5%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.1%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(32.8%)、男女別では女性(31.3%)、年代別では70歳以上(34.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.7ポイント)、男女別では男性(△0.9ポイント)、年代別では50歳代(△4.9ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない



満足の県平均との差

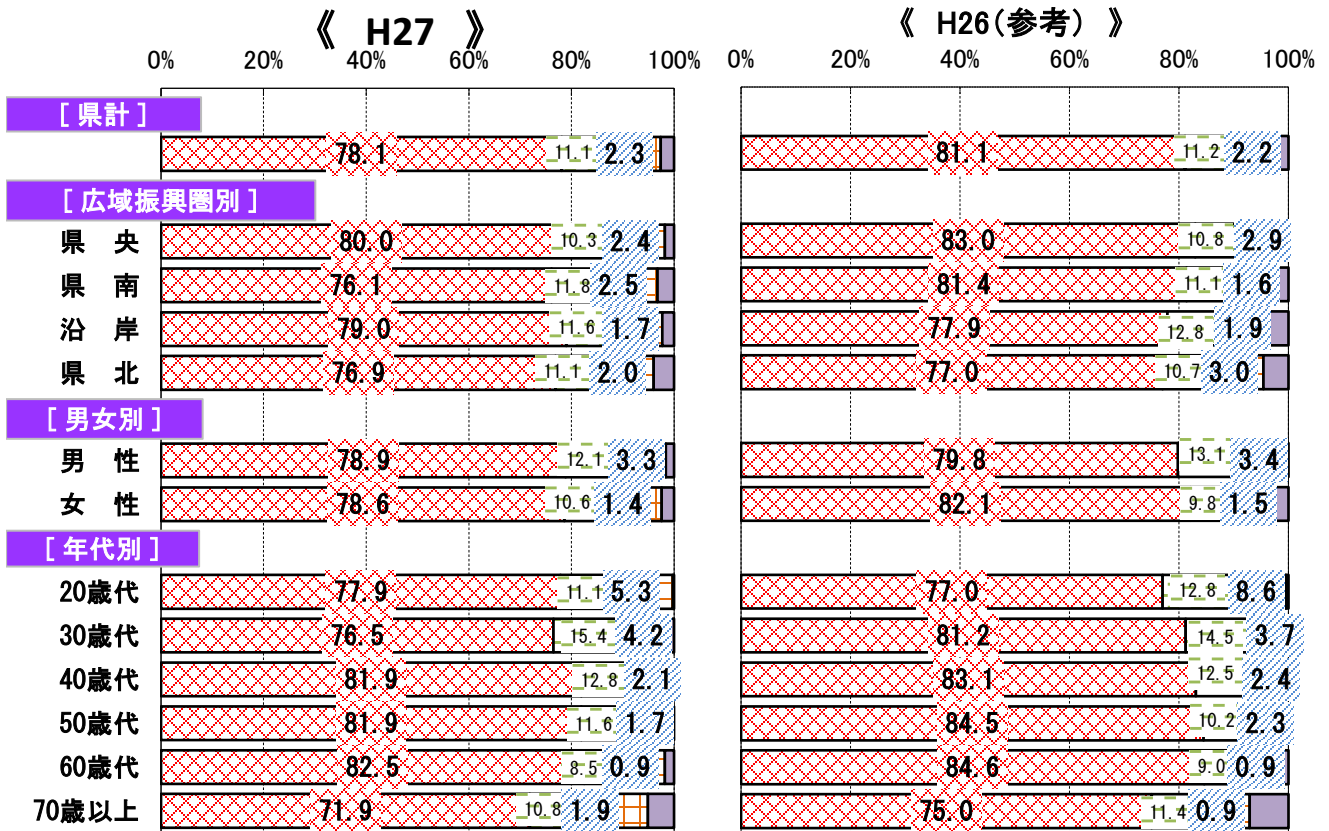
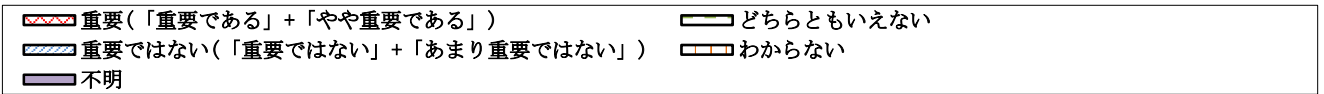


問2-38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組が各地域で活発に行われていること。

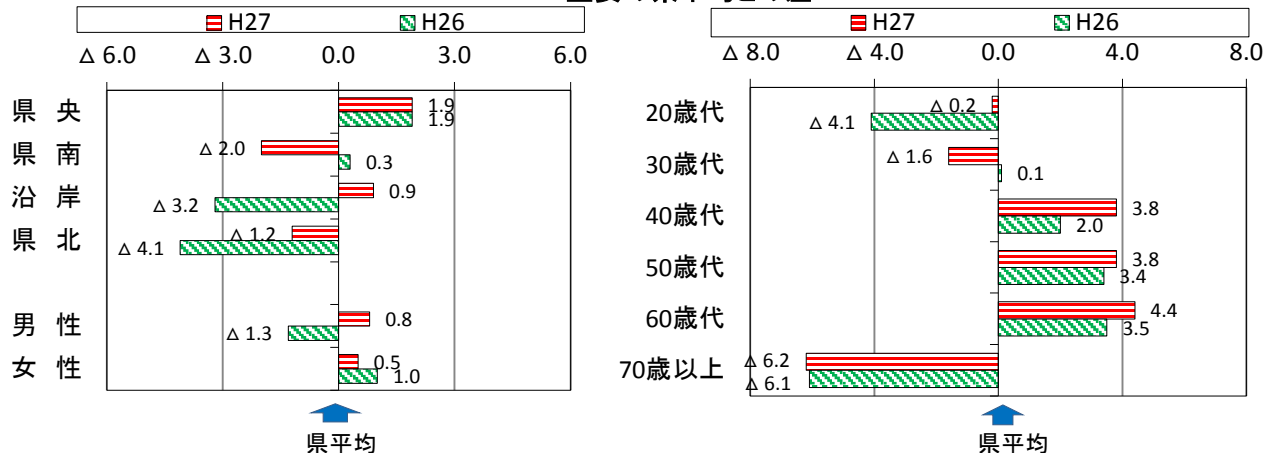
(1) 重要度について

重要が8割弱(78.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が78.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合2.3%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(80.0%)、男女別では男性(78.9%)、年代別では60歳代(82.5%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.0ポイント)、男女別では男性(0.8ポイント)、年代別では70歳以上(△6.2ポイント)となっている。



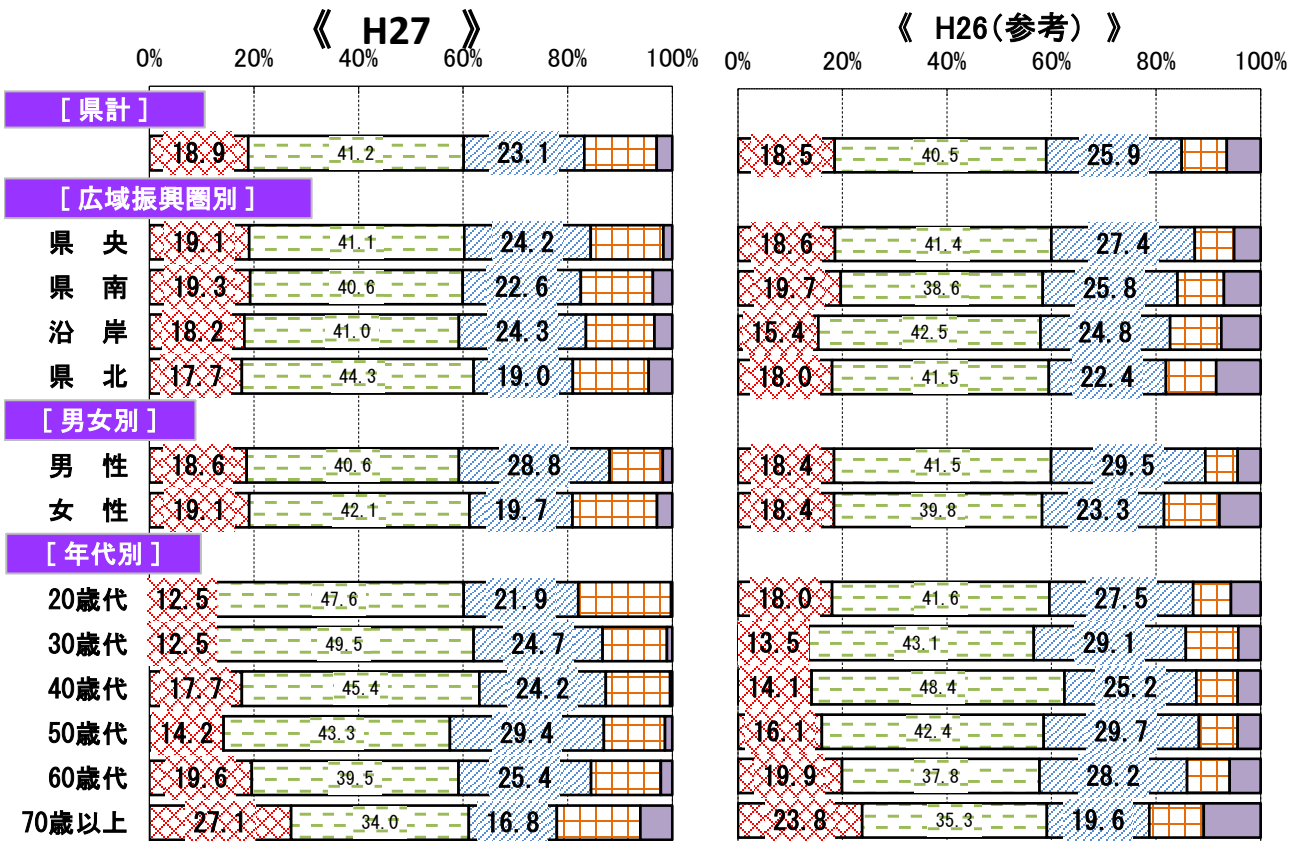
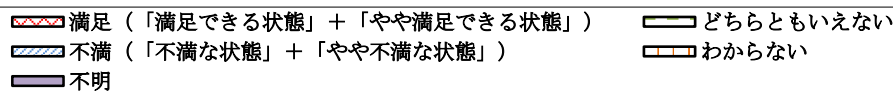
重要の県平均との差



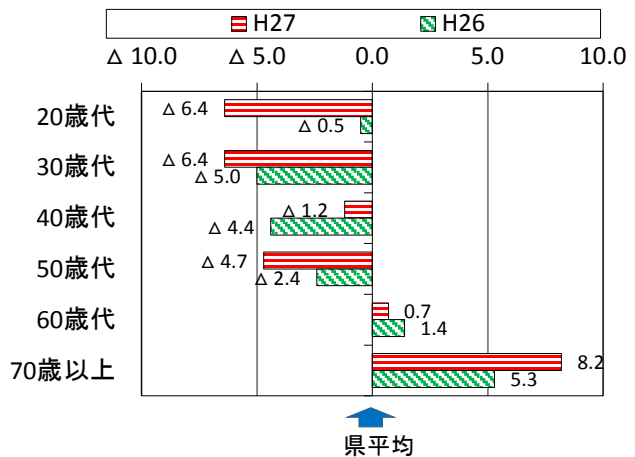
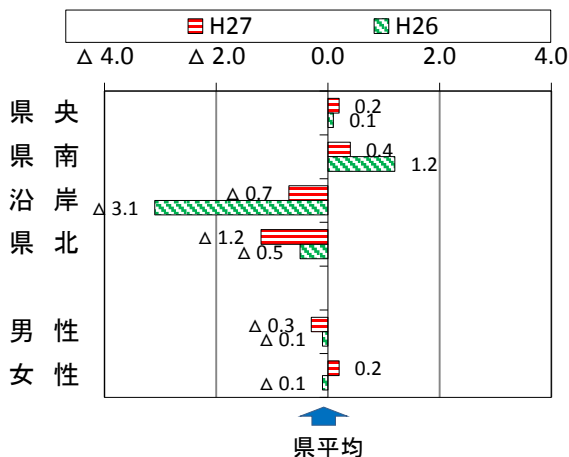
(2) 満足度について

満足が2割弱(18.9%)、不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合23.1%を若干下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(19.3%)、男女別では女性(19.1%)、年代別では70歳以上(27.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△1.2ポイント)、男女別では男性(△0.3ポイント)、年代別では70歳以上(8.2ポイント)となっている。



満足の県平均との差

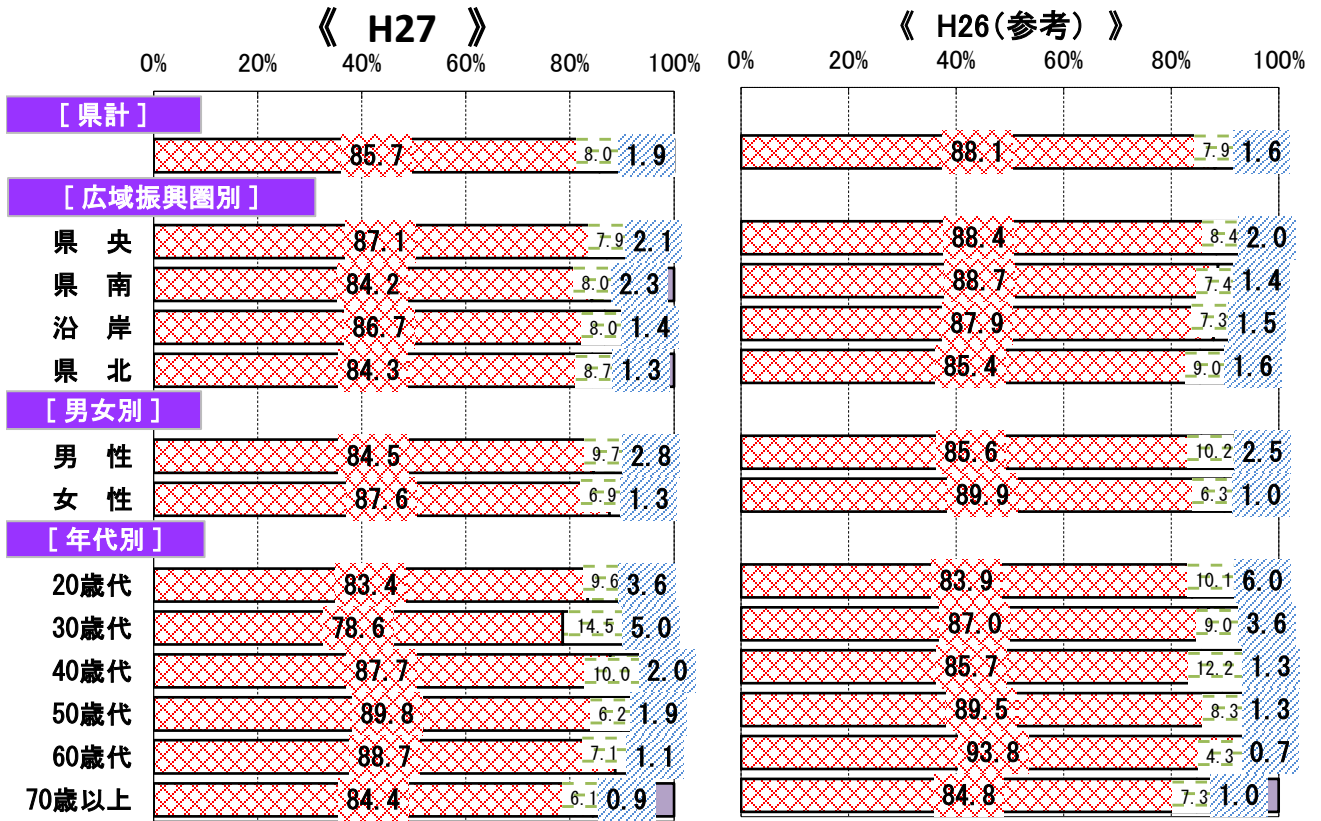
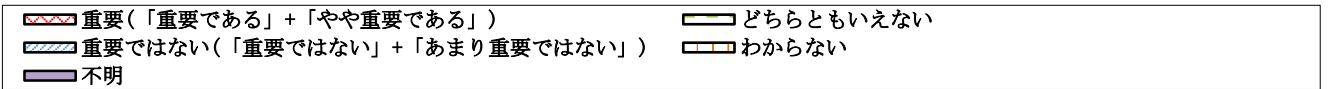


問2-39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。

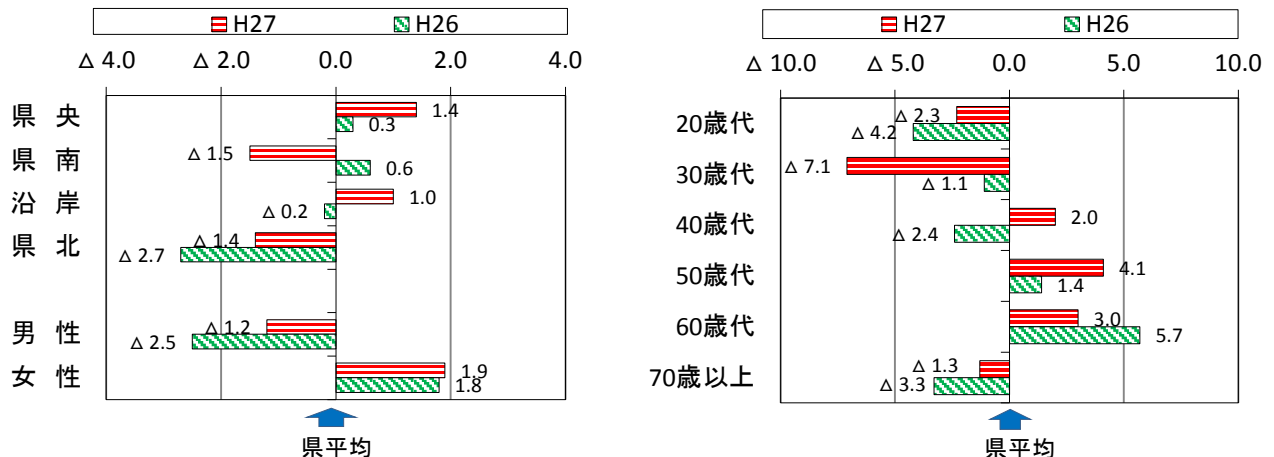
(1) 重要度について

重要が約85%(85.7%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が85.7%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.9%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(87.1%)、男女別では女性(87.6%)、年代別では50歳代(89.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△1.5ポイント)、男女別では女性(1.9ポイント)、年代別では30歳代(△7.1ポイント)となっている。



重要の県平均との差

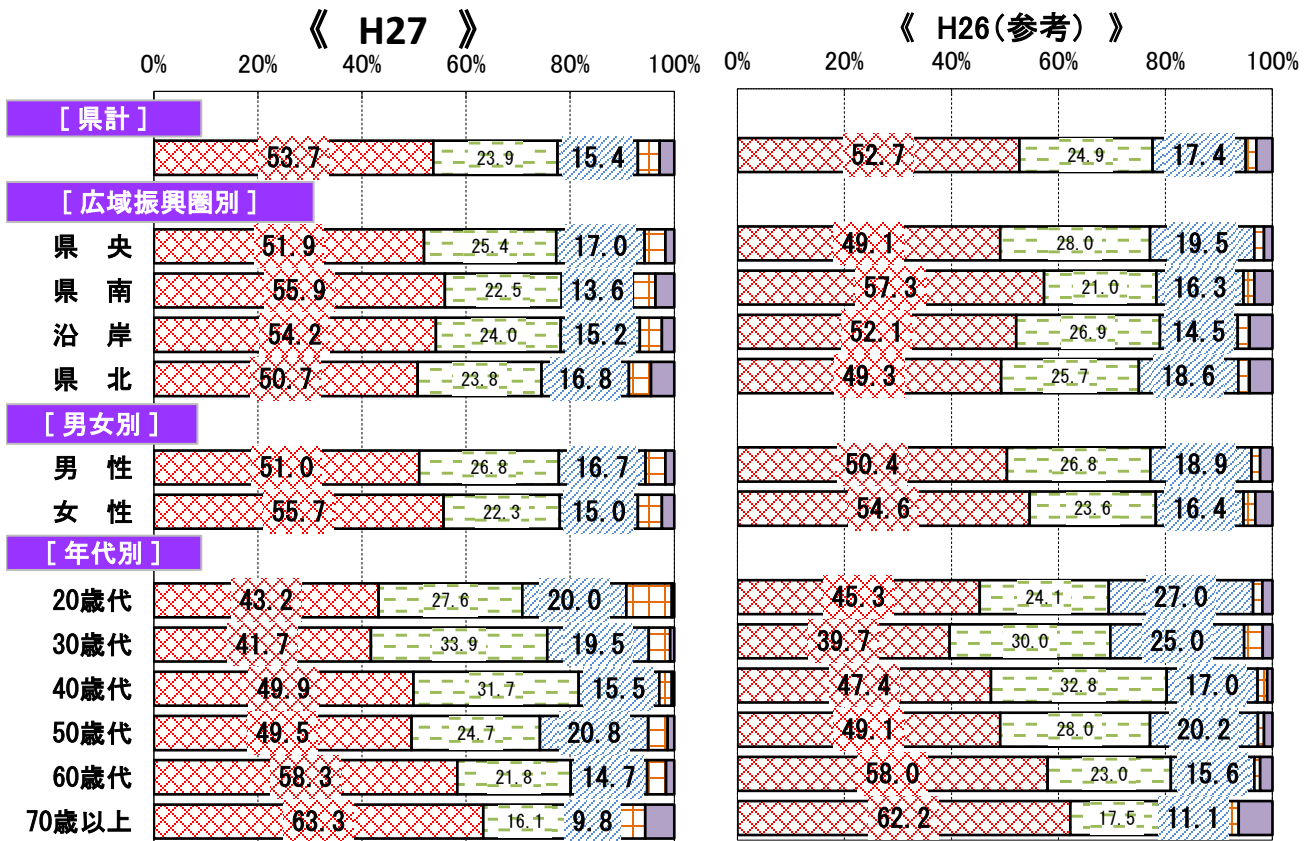


(2) 満足度について

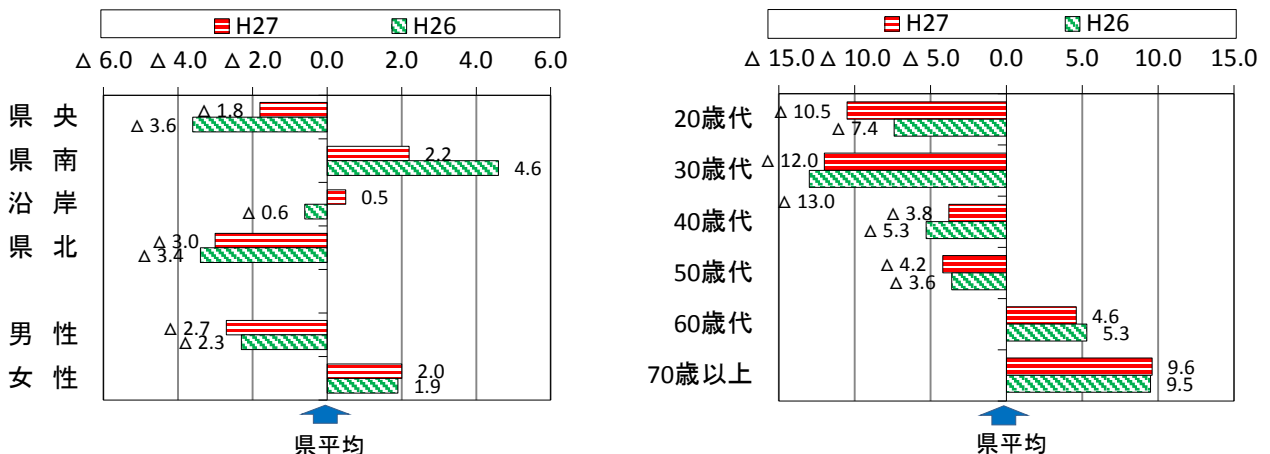
満足が5割強(53.7%)、不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が53.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.4%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(55.9%)、男女別では女性(55.7%)、年代別では70歳以上(63.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△3.0ポイント)、男女別では男性(△2.7ポイント)、年代別では30歳代(△12.0ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない



満足の県平均との差

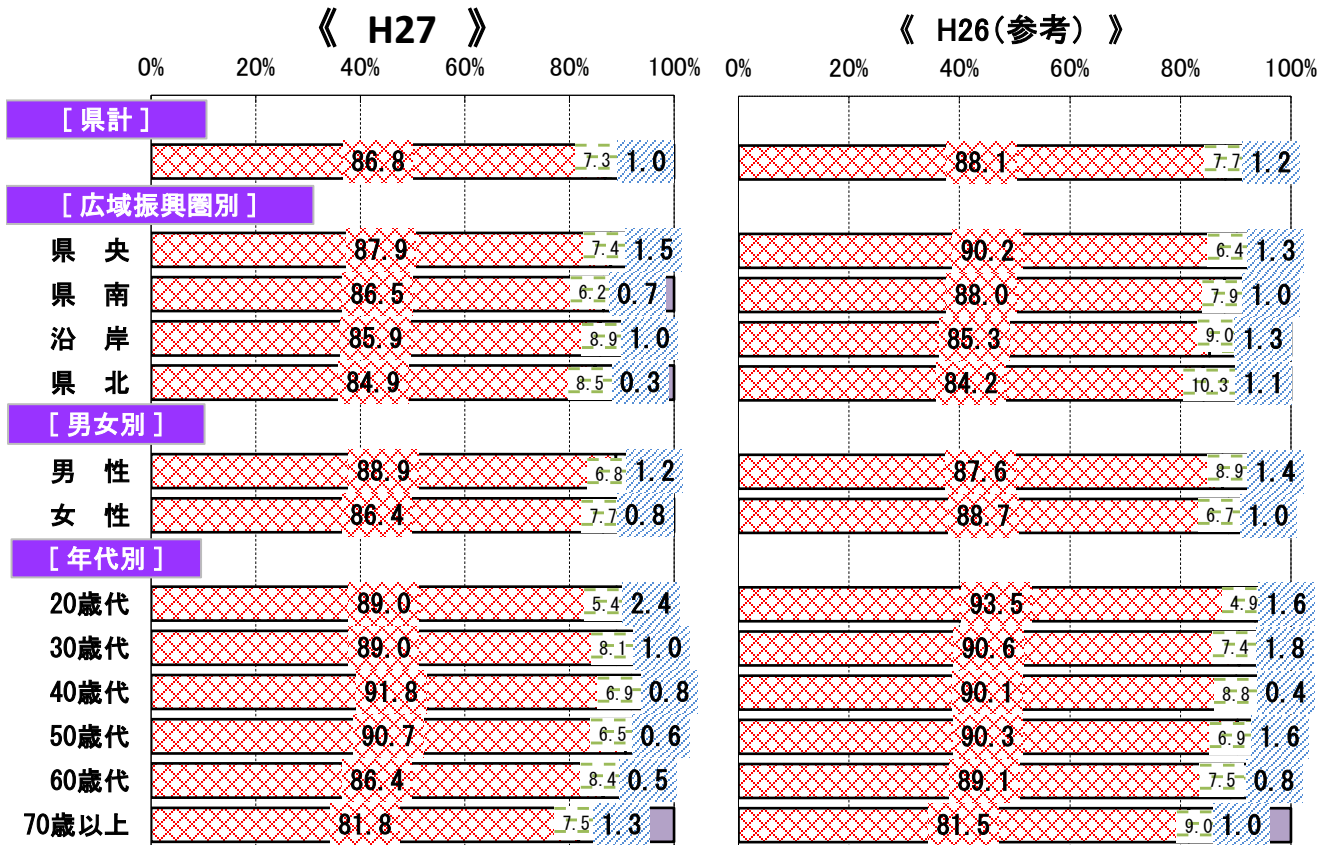
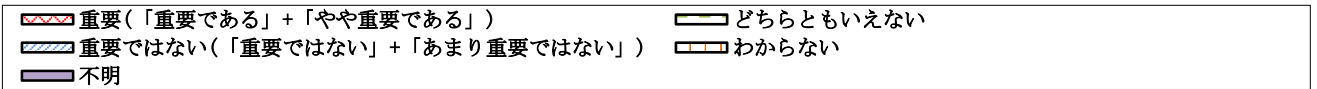


問2-40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。

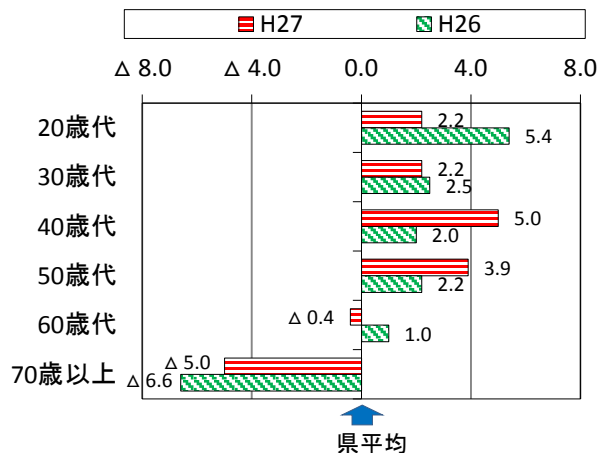
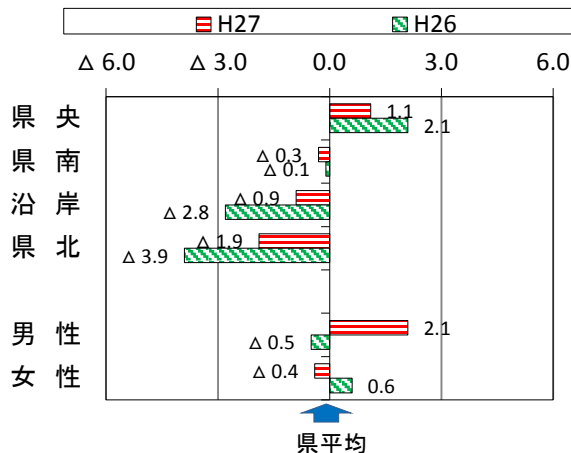
(1) 重要度について

重要が9割弱(86.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が86.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(87.9%)、男女別では男性(88.9%)、年代別では40歳代(91.8%)において重要の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△1.9ポイント)、男女別では男性(2.1ポイント)、年代別では40歳代(5.0ポイント)及び70歳以上(△5.0ポイント)となっている。



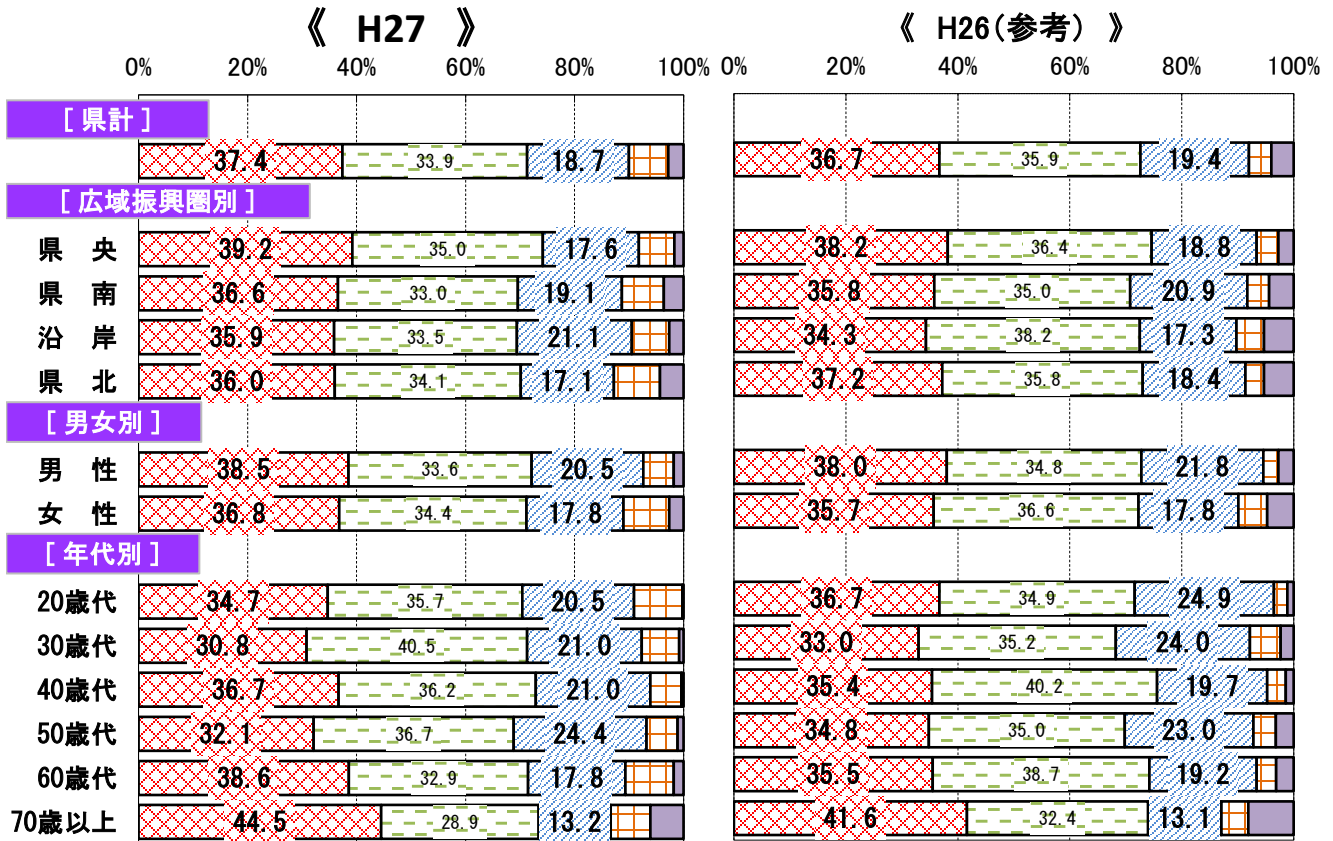
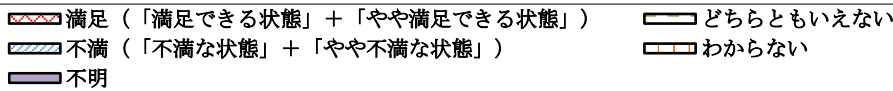
重要の県平均との差



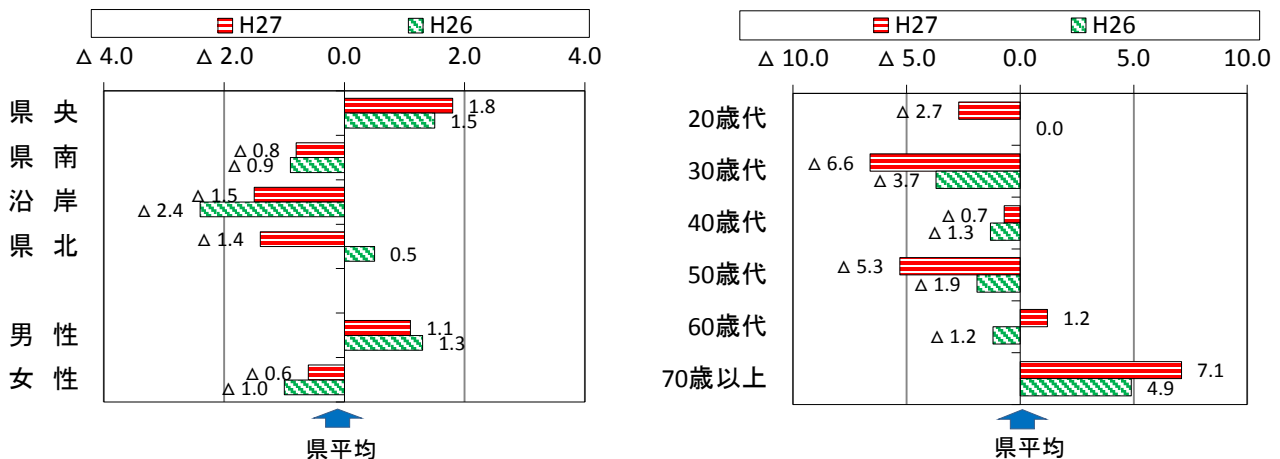
(2) 満足度について

満足が4割弱(37.4%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が37.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(39.2%)、男女別では男性(38.5%)、年代別では70歳以上(44.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(1.8ポイント)、男女別では男性(1.1ポイント)、年代別では70歳以上(7.1ポイント)となっている。



満足の県平均との差

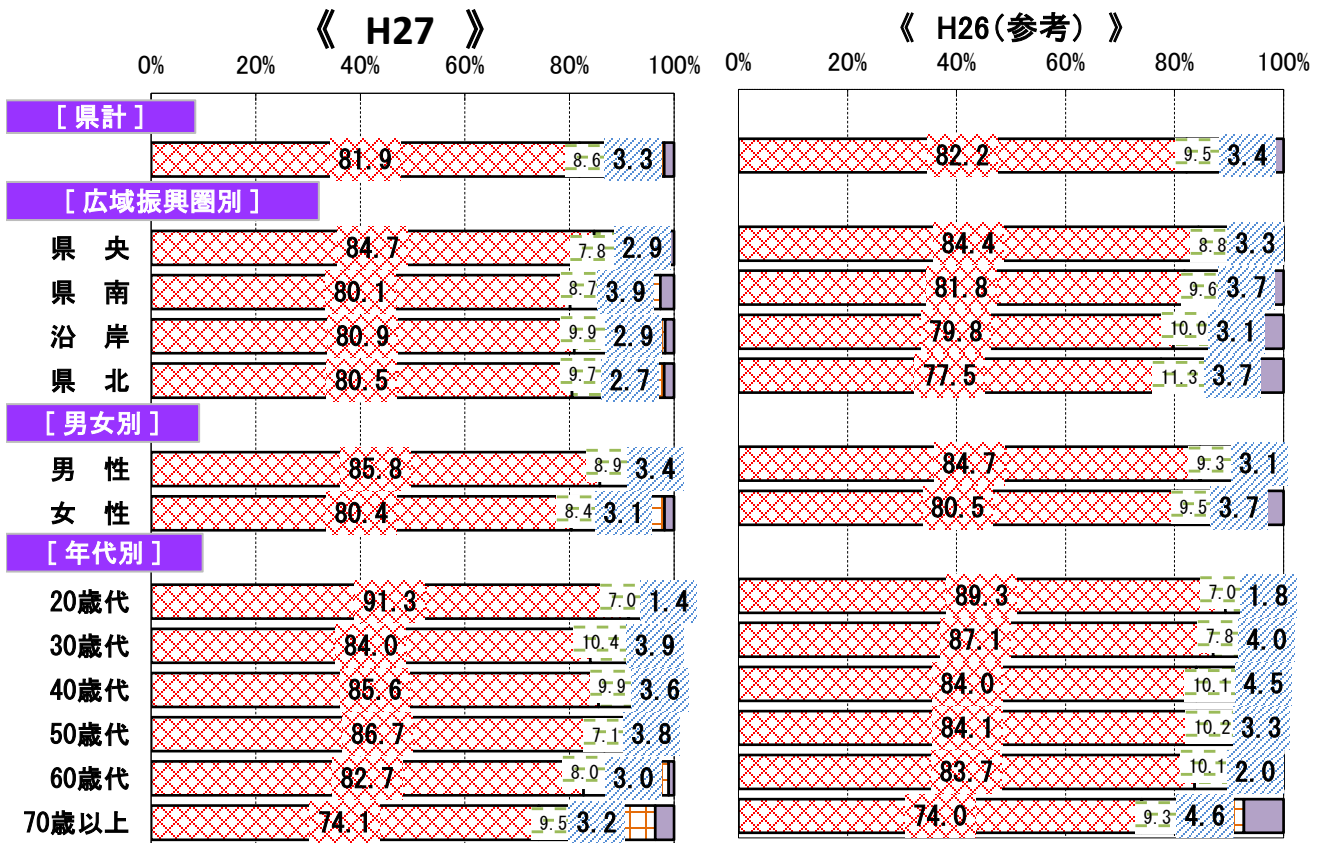
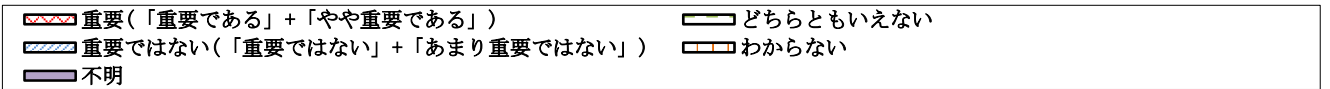


問2-41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。

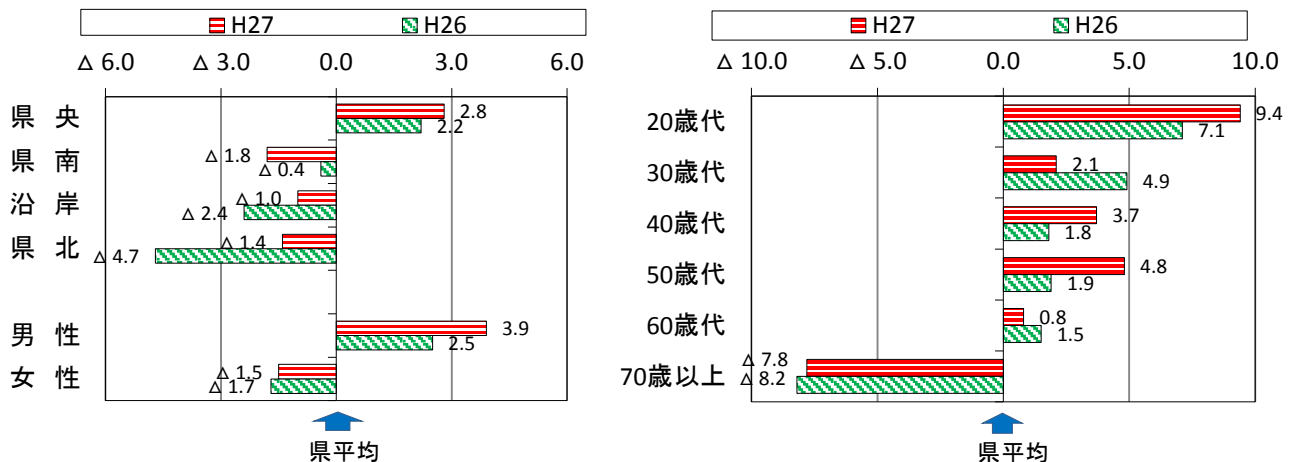
(1) 重要度について

重要が8割強(81.9%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が81.9%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.3%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(84.7%)、男女別では男性(85.8%)、年代別では20歳代(91.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.8ポイント)、男女別では男性(3.9ポイント)、年代別では20歳代(9.4ポイント)となっている。



重要の県平均との差

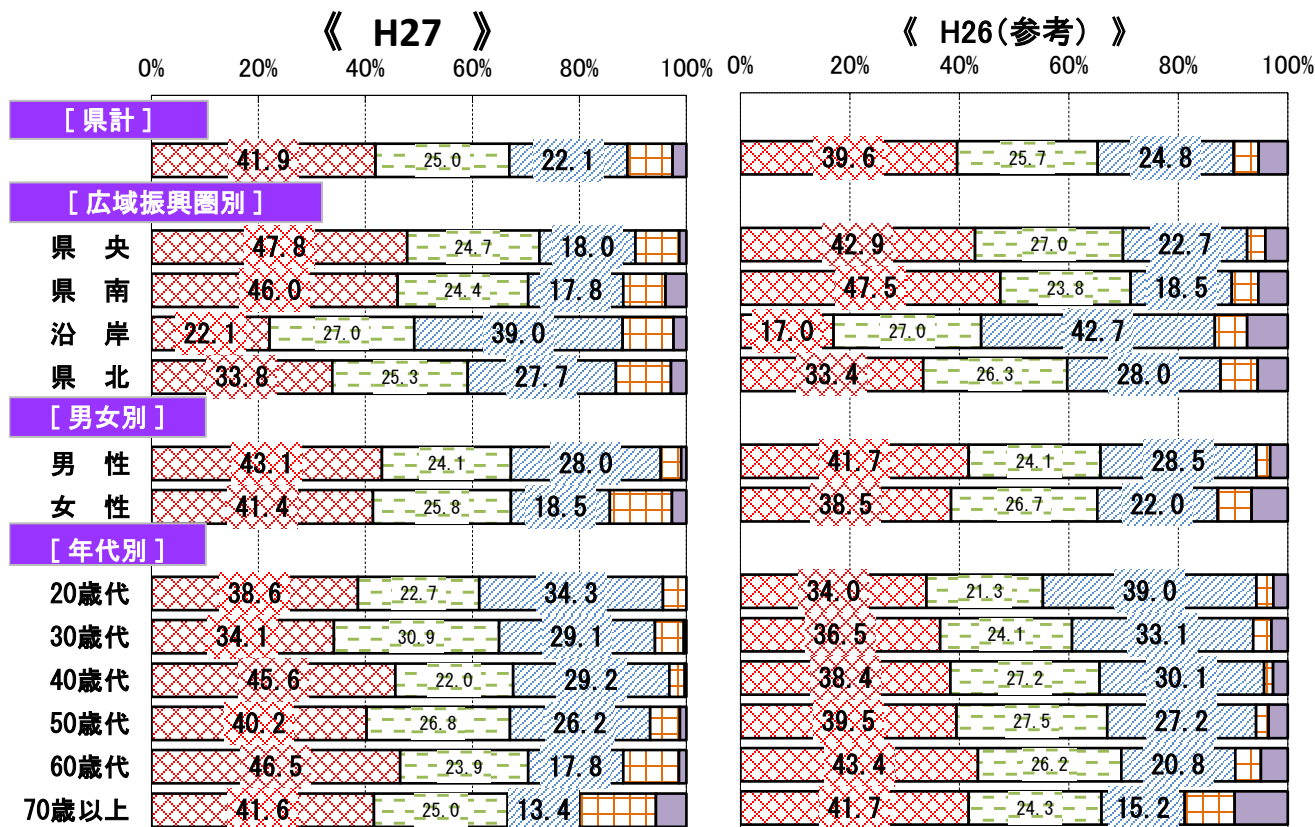


(2) 満足度について

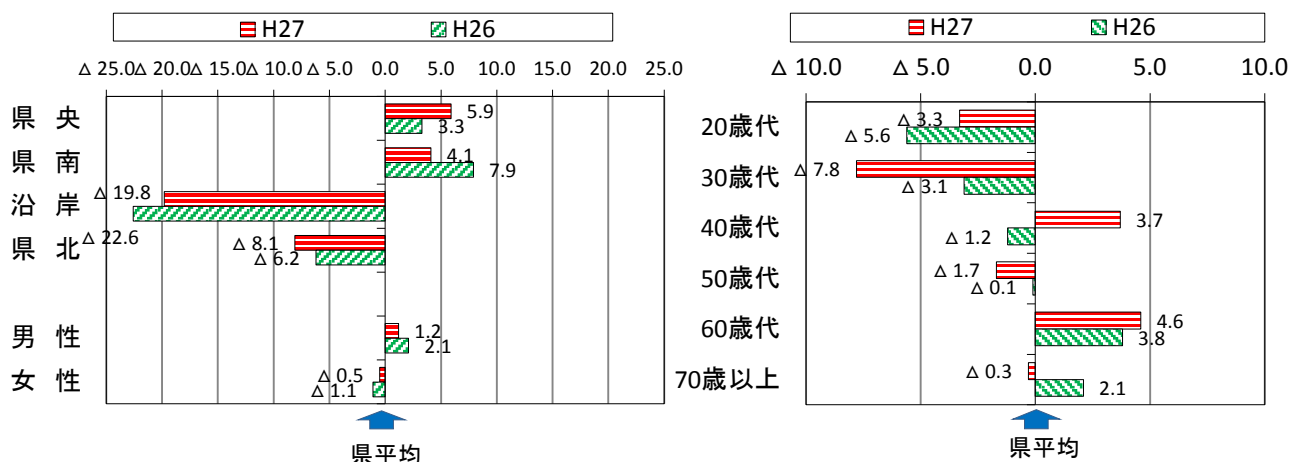
満足が4割強(41.9%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が41.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.1%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(47.8%)、男女別では男性(43.1%)、年代別では60歳代(46.5%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△19.8ポイント)、男女別では男性(1.2ポイント)、年代別では30歳代(△7.8ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない
 不明



満足の県平均との差

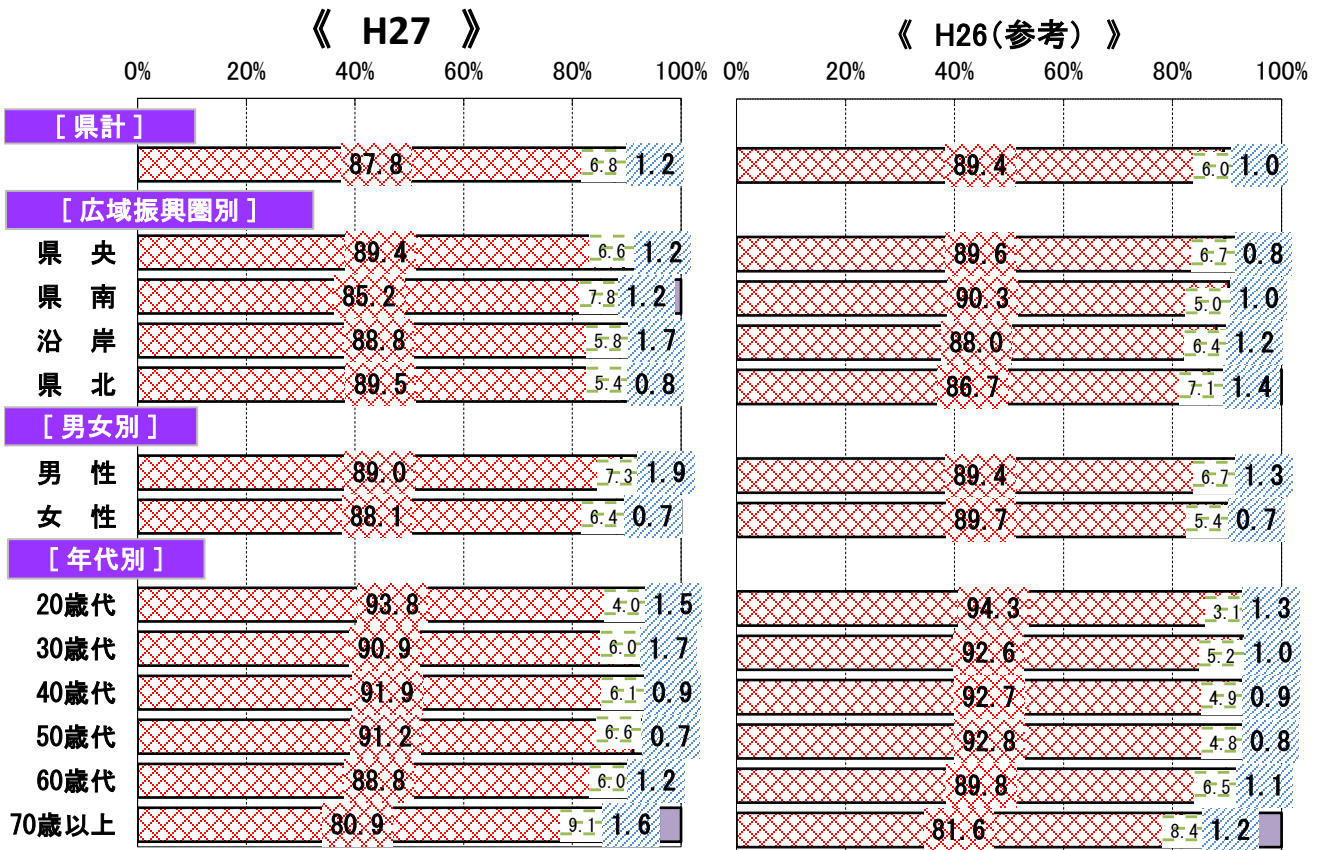
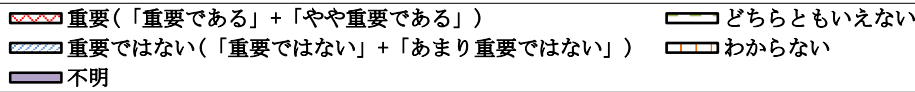


問2-42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。

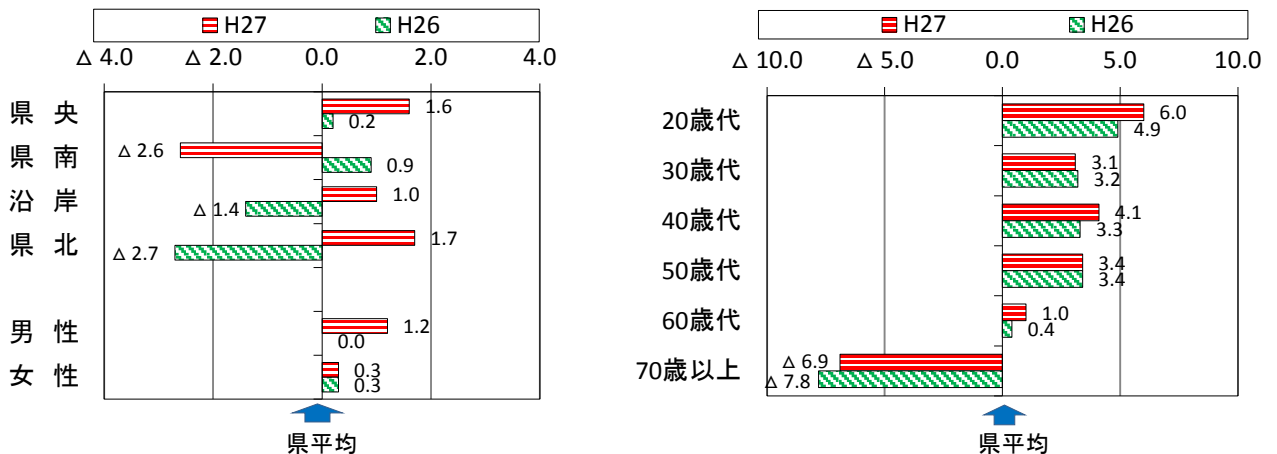
(1) 重要度について

重要が9割弱(87.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が87.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.2%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(89.5%)、男女別では男性(89.0%)、年代別では20歳代(93.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県南(△2.6ポイント)、男女別では男性(1.2ポイント)、年代別では70歳以上(△6.9ポイント)となっている。



重要の県平均との差

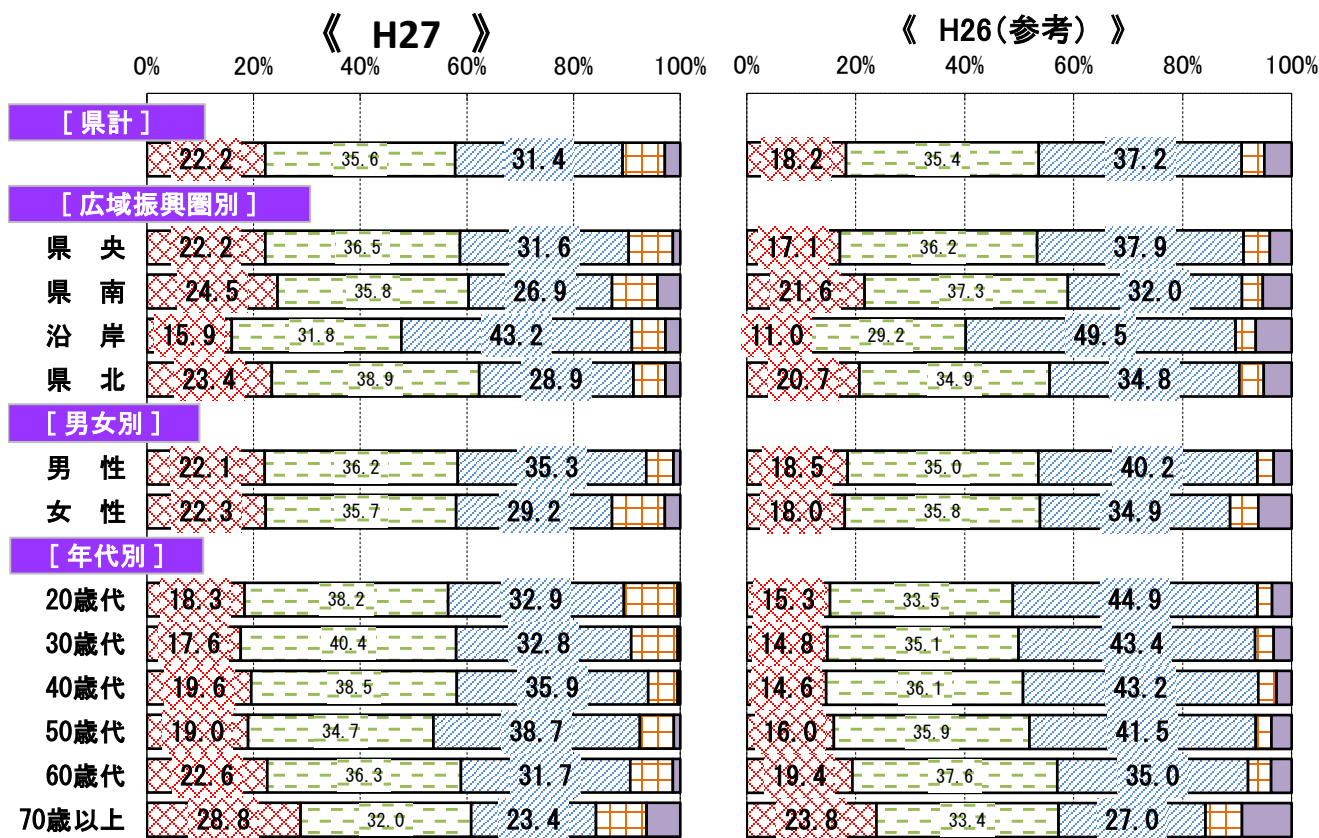


(2) 満足度について

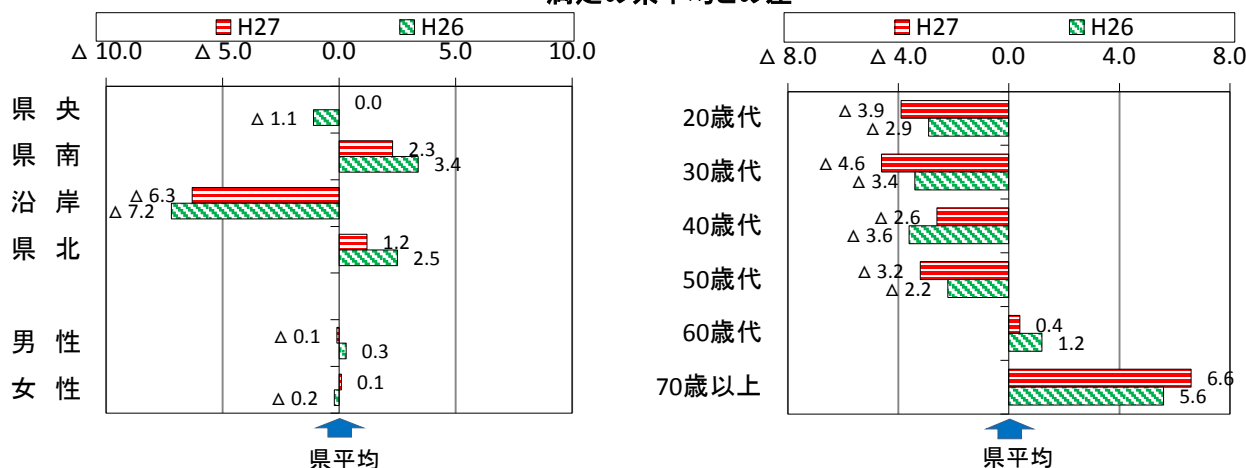
満足が2割強(22.2%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合31.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(24.5%)、男女別では女性(22.3%)、年代別では70歳以上(28.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△6.3ポイント)、年代別では70歳以上(6.6ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない
 不明



満足の県平均との差

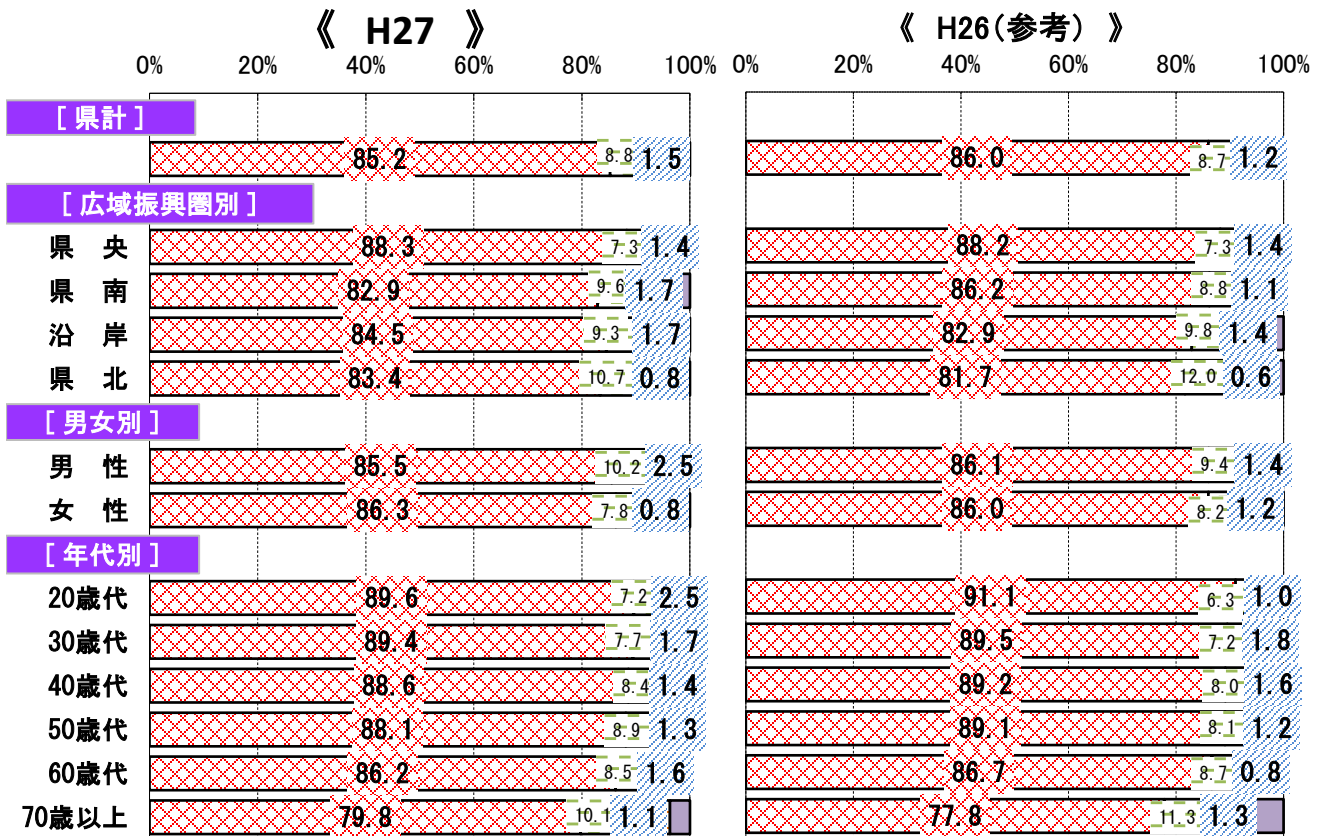
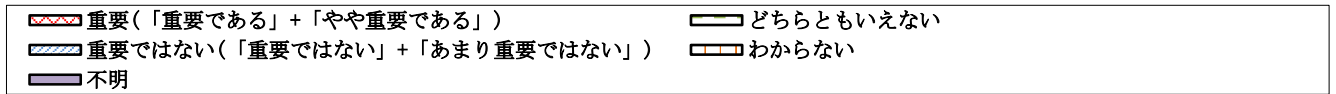


問2-43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。

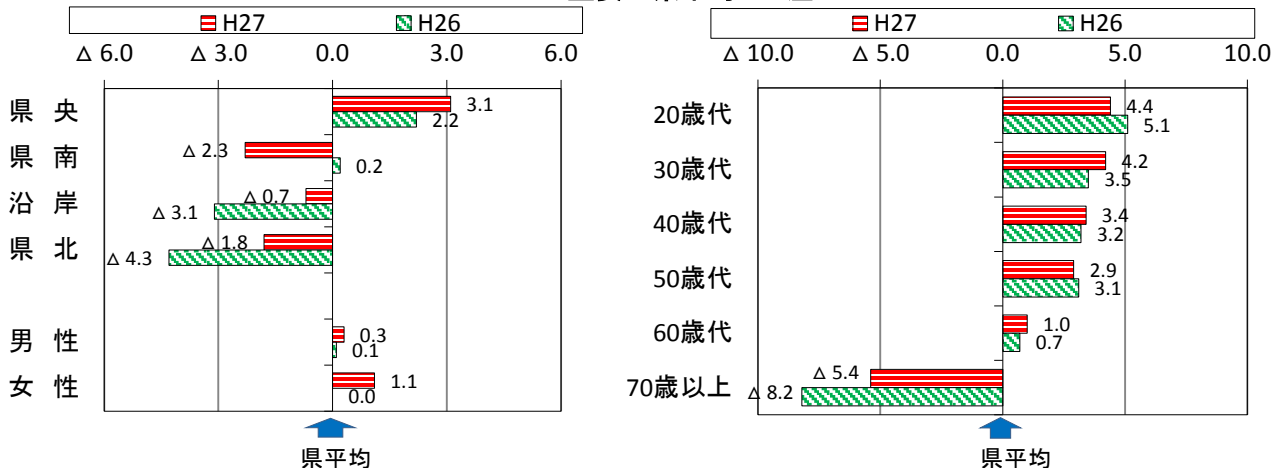
(1) 重要度について

重要が約85% (85.2%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が85.2%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合1.5%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(88.3%)、男女別では女性(86.3%)、年代別では20歳代(89.6%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.1ポイント)、男女別では女性(1.1ポイント)、年代別では70歳以上(Δ5.4ポイント)となっている。



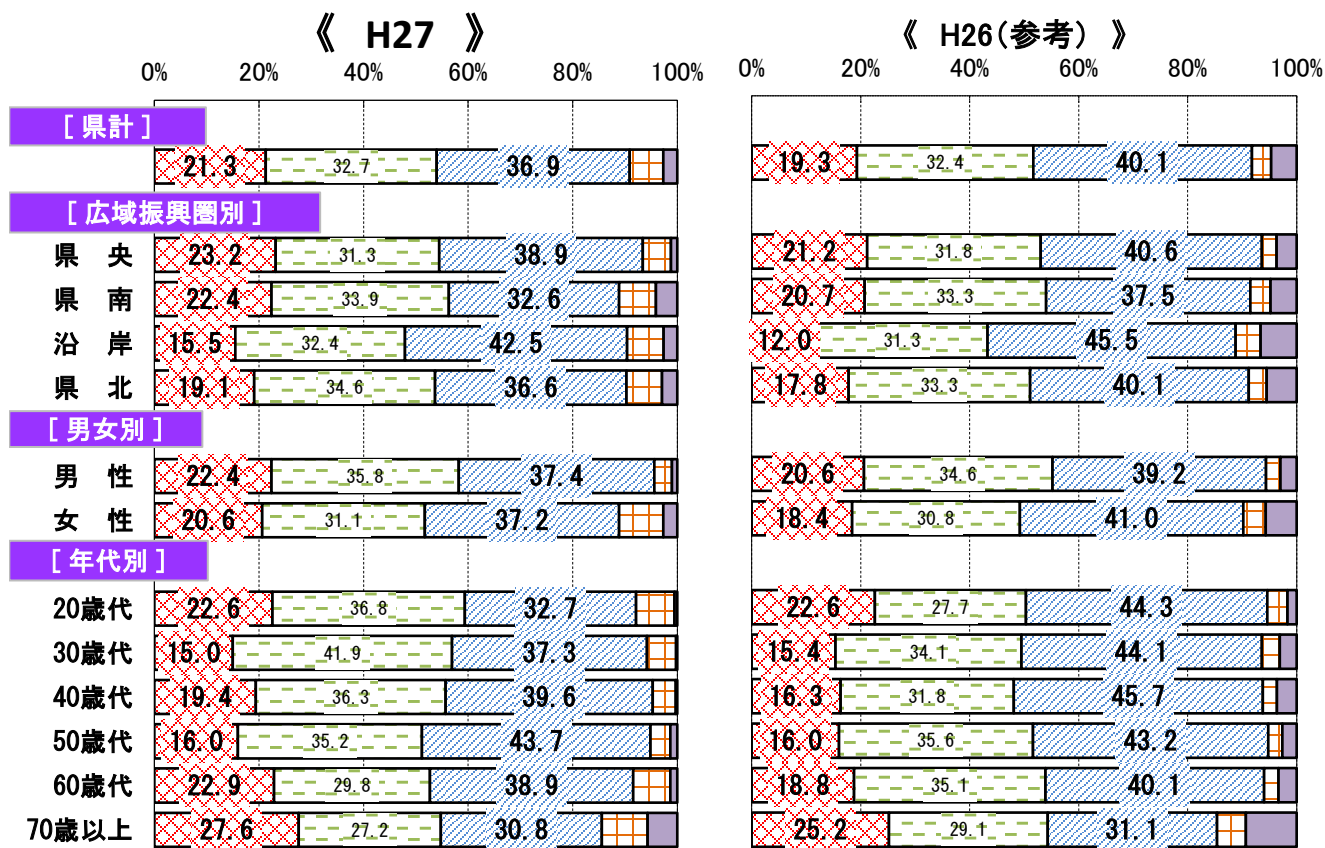
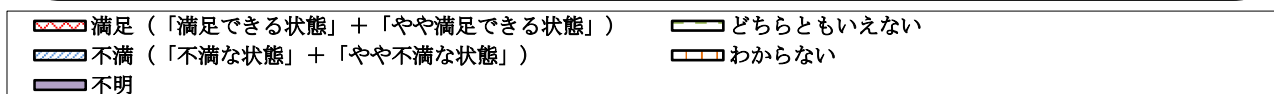
重要の県平均との差



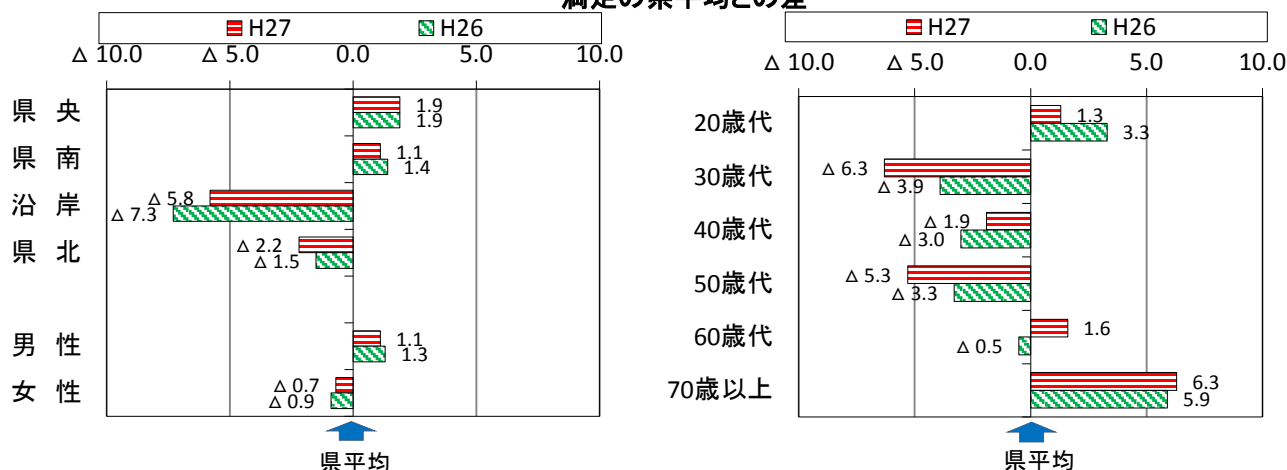
(2) 満足度について

満足が2割強(21.3%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が21.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合36.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(23.2%)、男女別では男性(22.4%)、年代別では70歳以上(27.6%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△5.8ポイント)、男女別では男性(1.1ポイント)、年代別では30歳代(△6.3ポイント)及び70歳以上(6.3ポイント)となっている。



満足の県平均との差

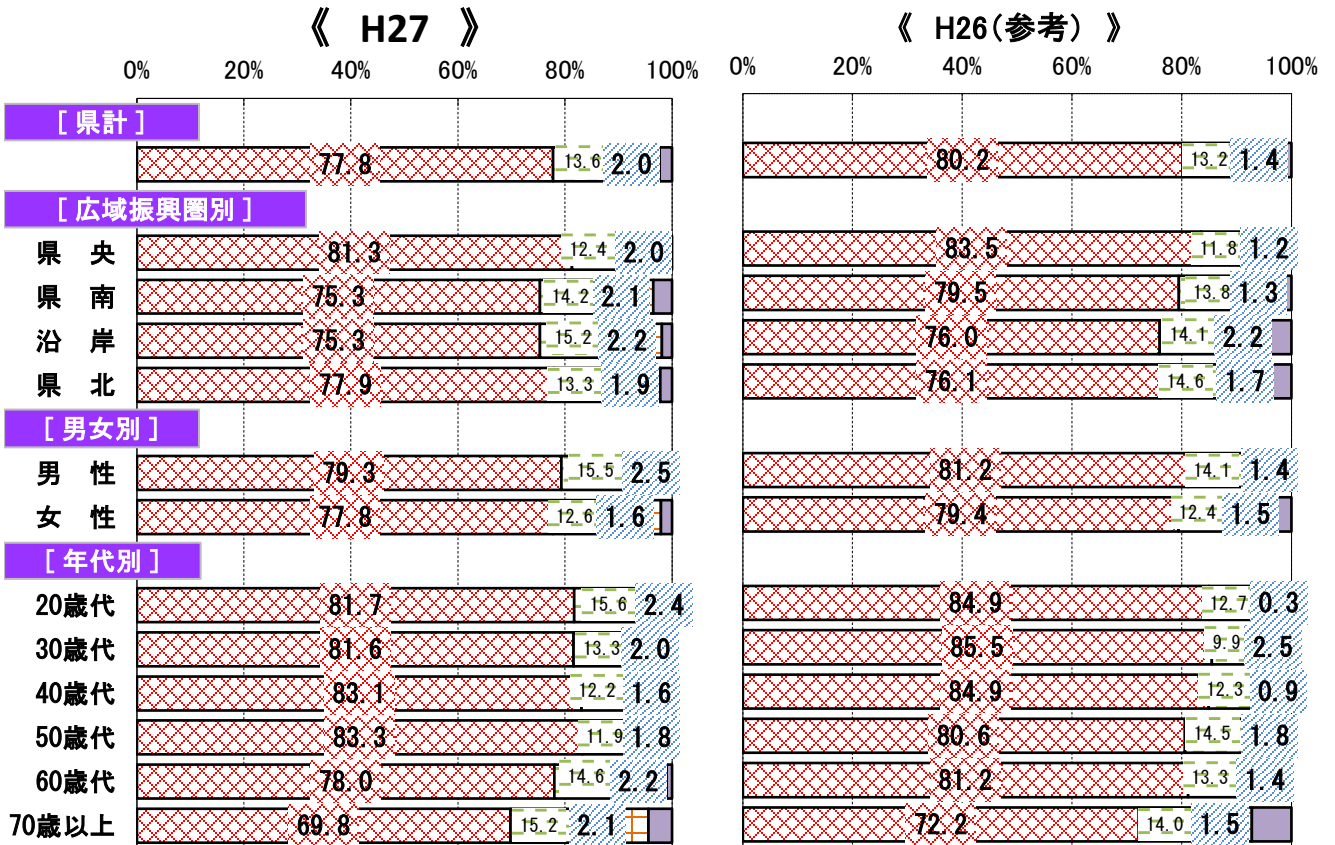
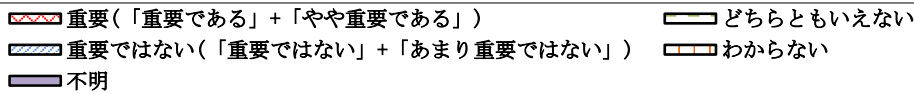


問2-44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。

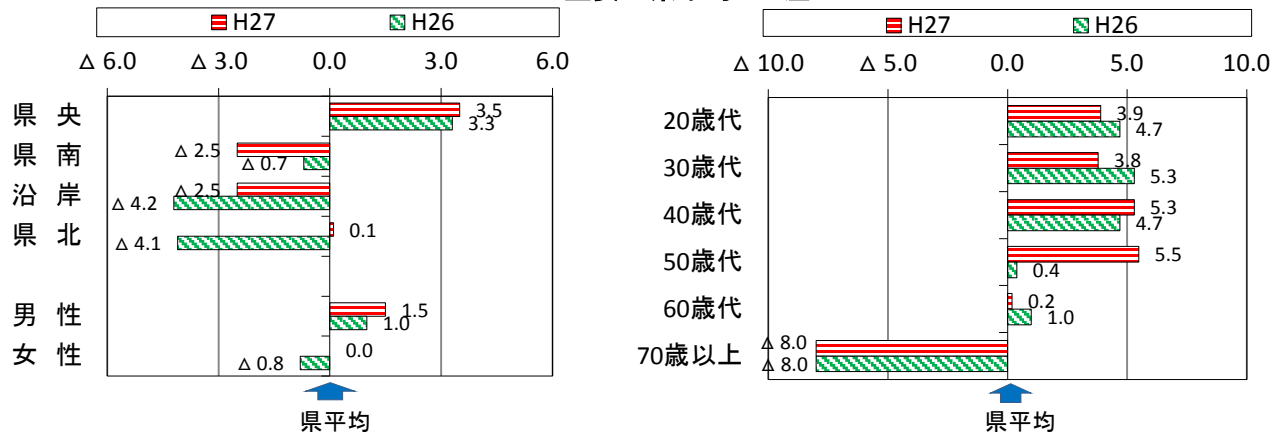
(1) 重要度について

重要が8割弱(77.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が77.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合2.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(81.3%)、男女別では男性(79.3%)、年代別では50歳代(83.3%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.5ポイント)、男女別では男性(1.5ポイント)、年代別では70歳以上(△8.0ポイント)となっている。



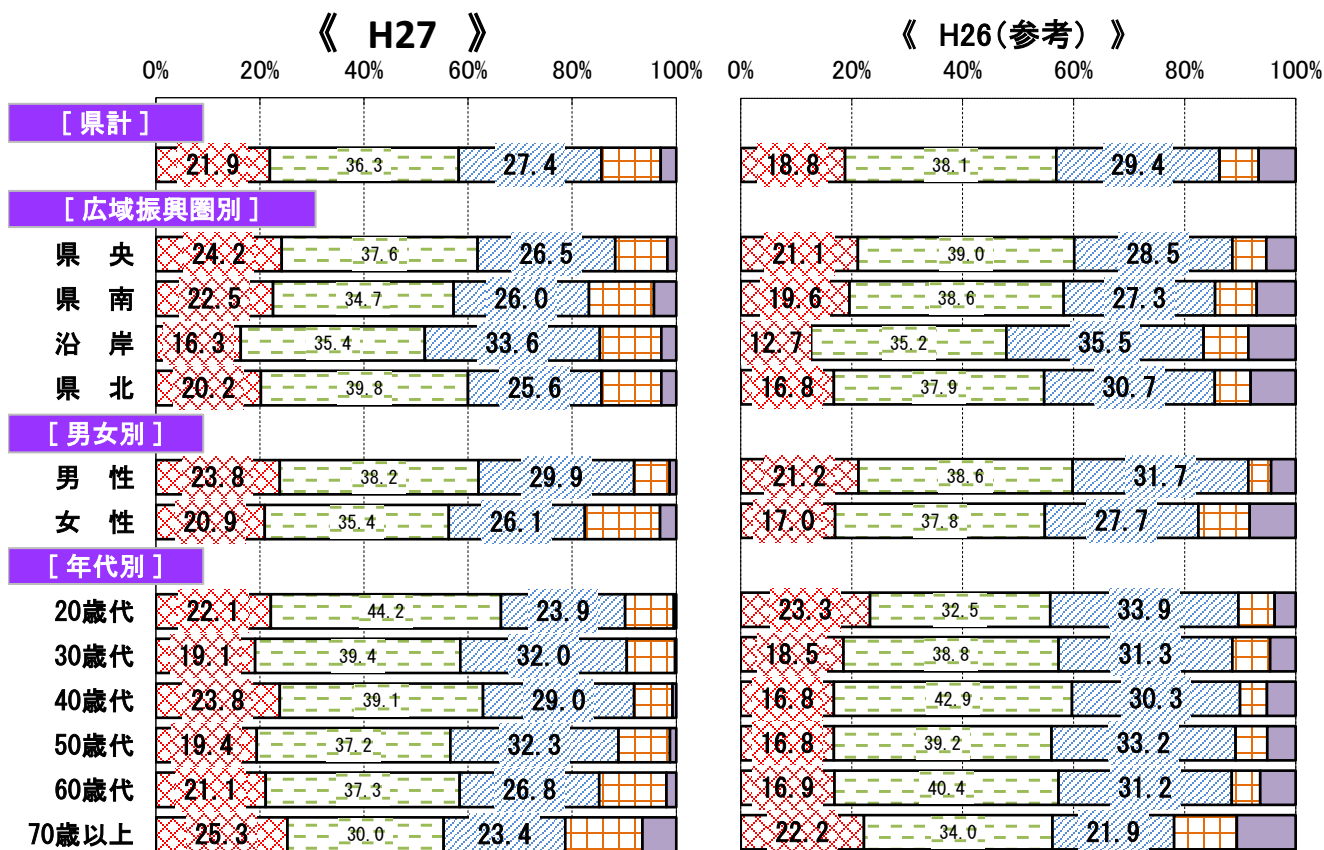
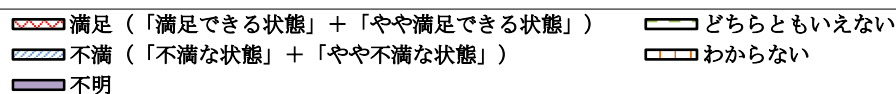
重要の県平均との差



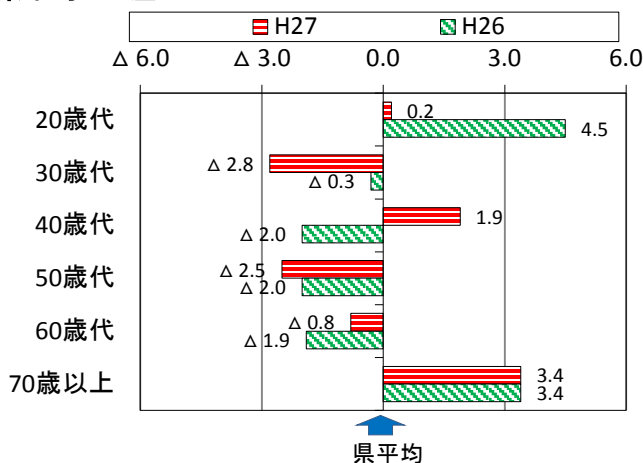
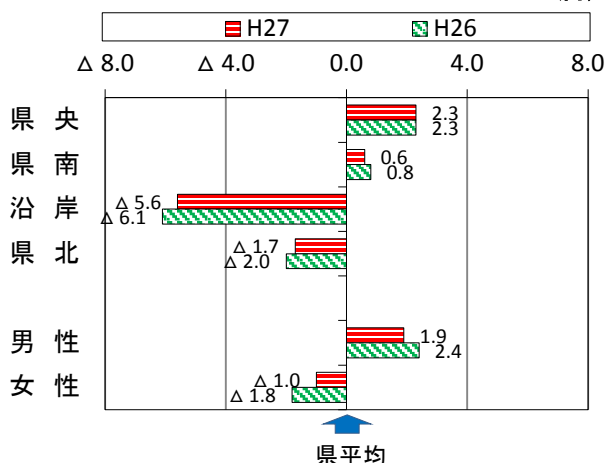
(2) 満足度について

満足が2割強(21.9%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が21.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合27.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(24.2%)、男女別では男性(23.8%)、年代別では70歳以上(25.3%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△5.6ポイント)、男女別では男性(1.9ポイント)、年代別では70歳以上(3.4ポイント)となっている。



満足の県平均との差

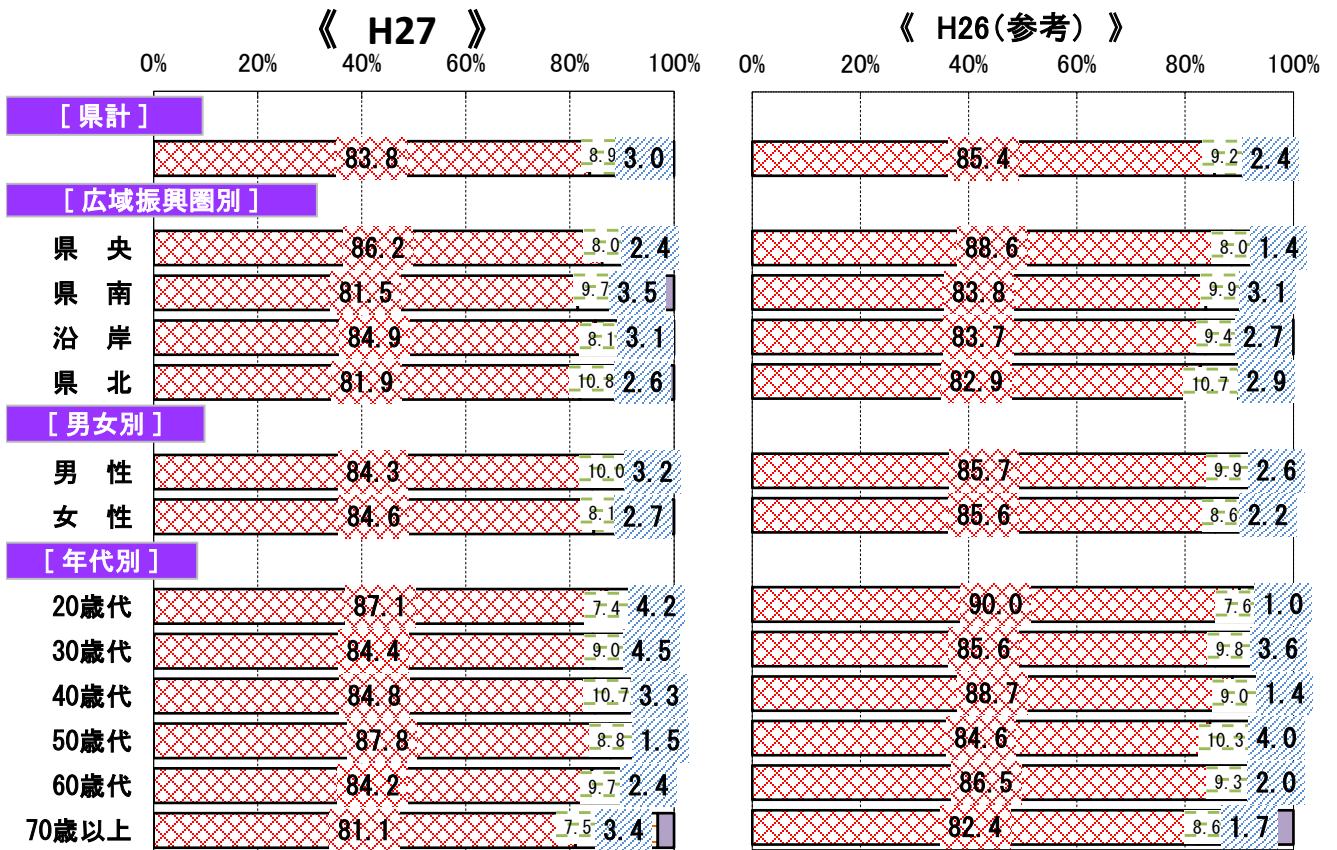
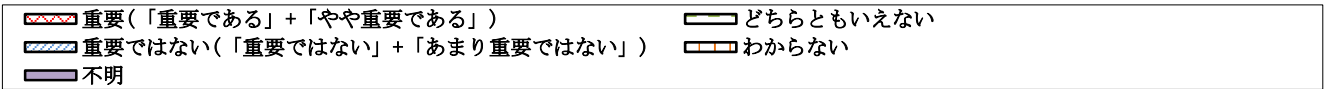


問2-45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。

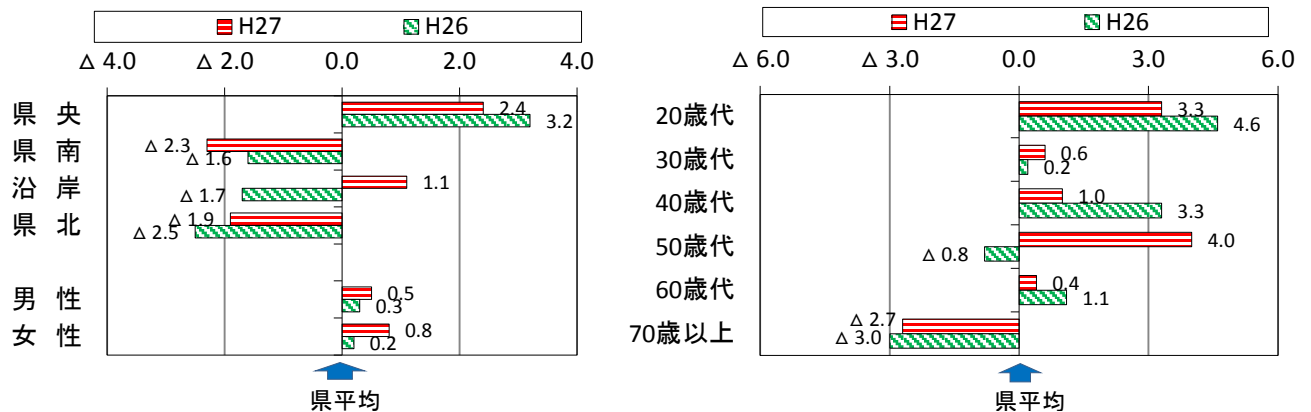
(1) 重要度について

重要が8割強(83.8%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が83.8%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合3.0%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(86.2%)、男女別では女性(84.6%)、年代別では50歳代(87.8%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(2.4ポイント)、男女別では女性(0.8ポイント)、年代別では50歳代(4.0ポイント)となっている。



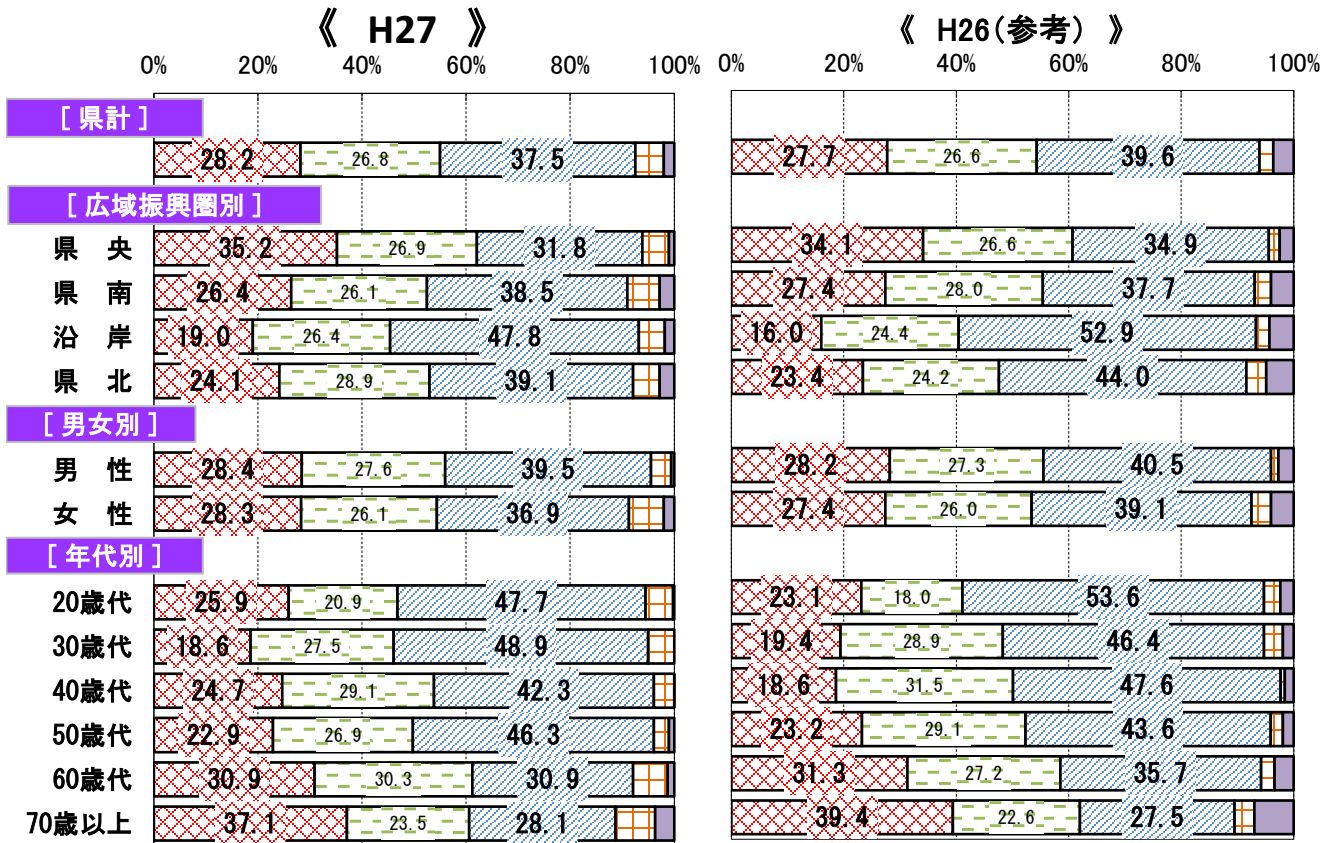
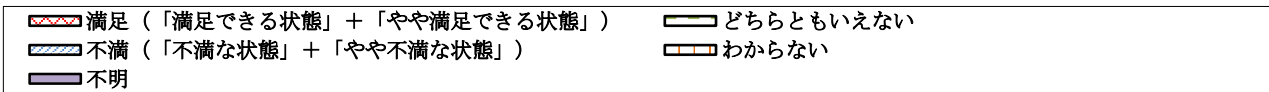
重要の県平均との差



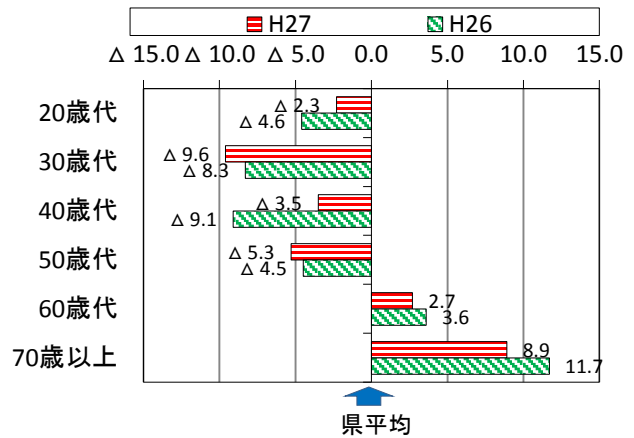
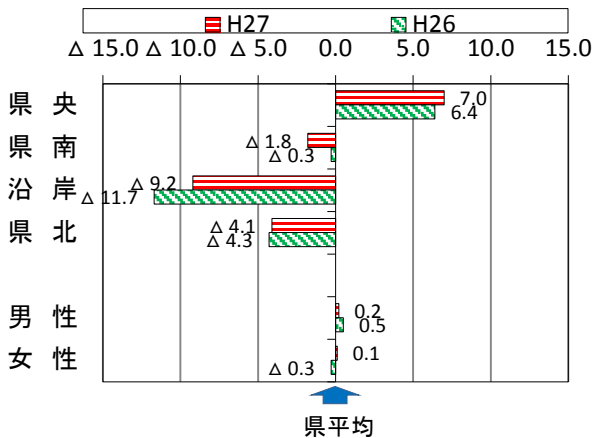
(2) 満足度について

満足が3割弱(28.2%)、不満を下回る

- 県計では、満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)の割合が28.2%となっており、不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)の割合37.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(35.2%)、男女別では男性(28.4%)、年代別では70歳以上(37.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△9.2ポイント)、男女別では男性(0.2ポイント)、年代別では30歳代(△9.6ポイント)となっている。



満足の県平均との差

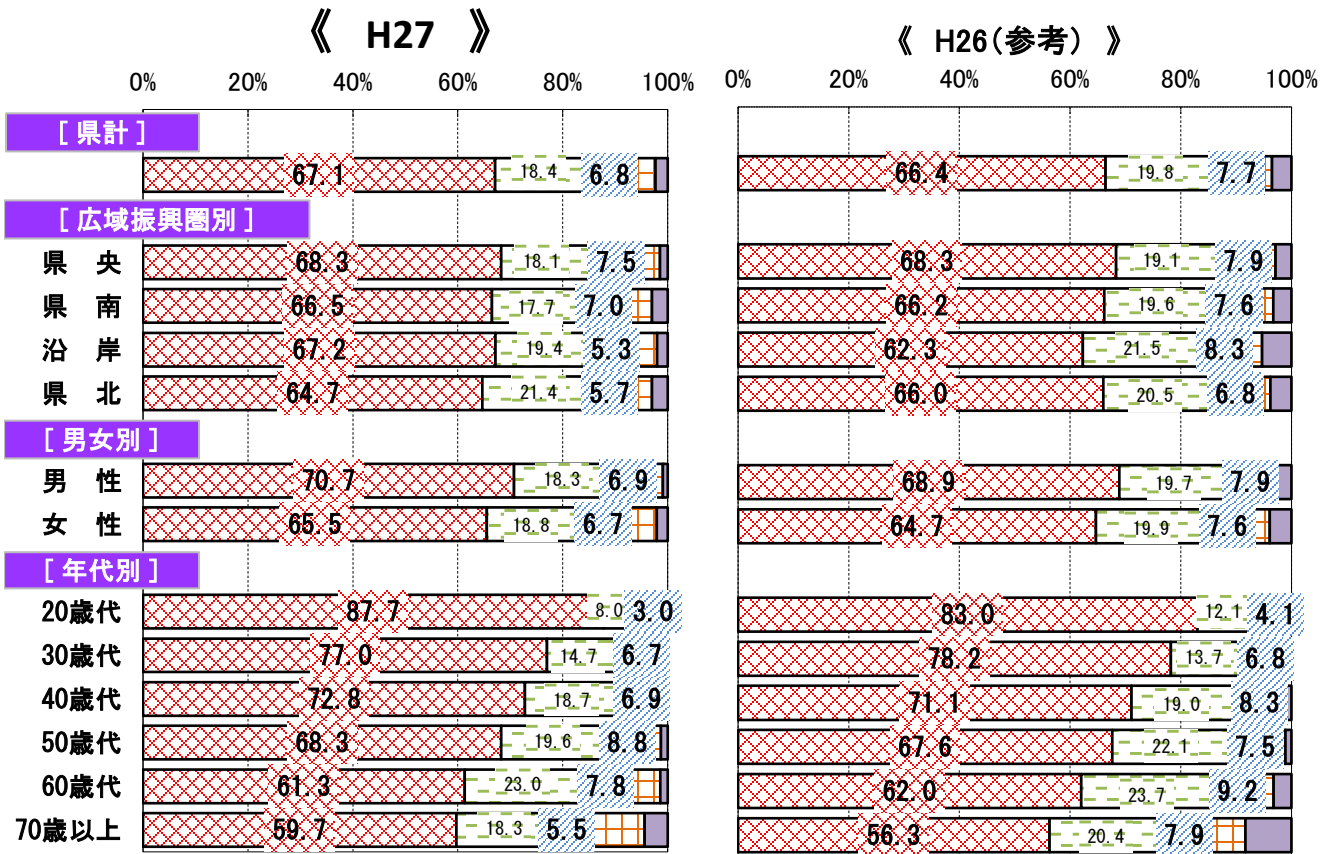
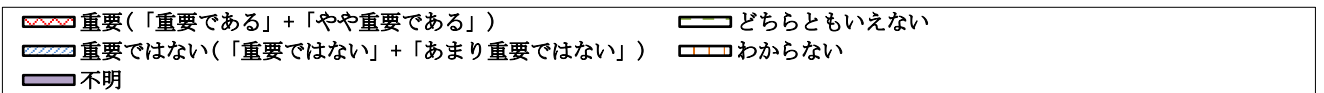


問2-46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に活かされていること。

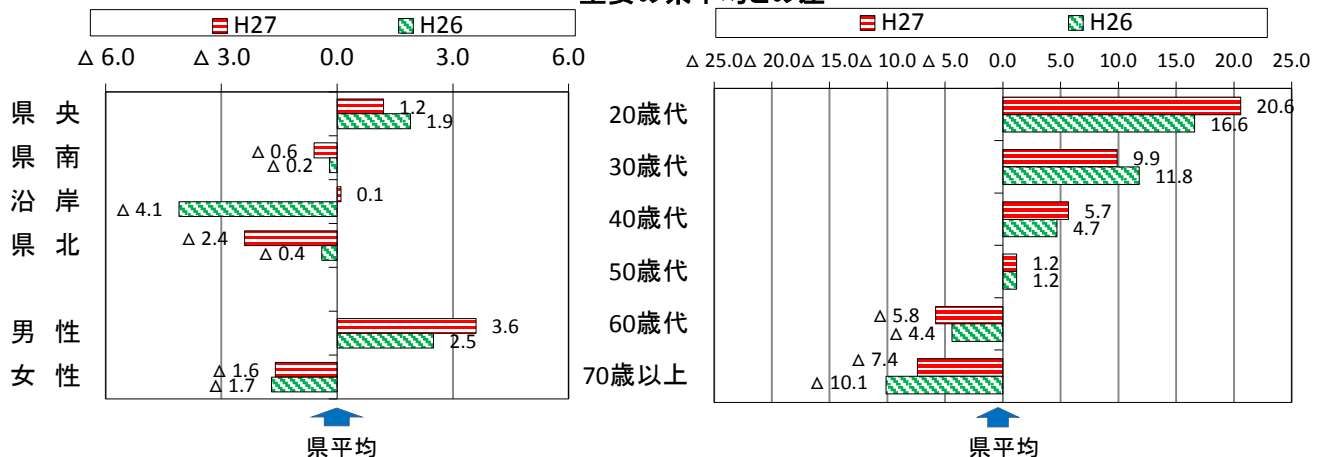
(1) 重要度について

重要が7割弱(67.1%)

- 県計では、重要(「重要である」+「やや重要である」)の割合が67.1%となっており、重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)の割合6.8%を大きく上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(68.3%)、男女別では男性(70.7%)、年代別では20歳代(87.7%)において重要な割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△2.4ポイント)、男女別では男性(3.6ポイント)、年代別では20歳代(20.6ポイント)となっている。



重要な県平均との差

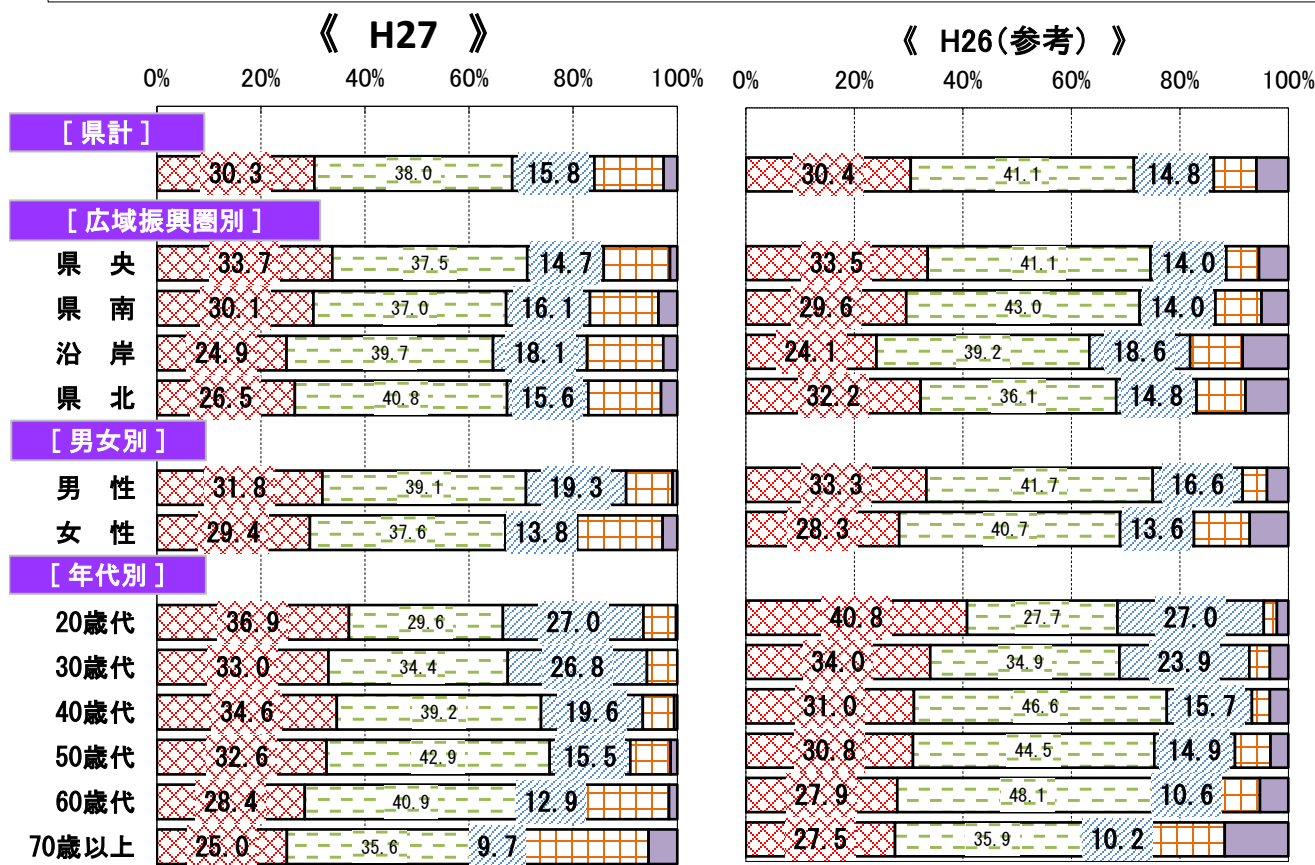


(2) 満足度について

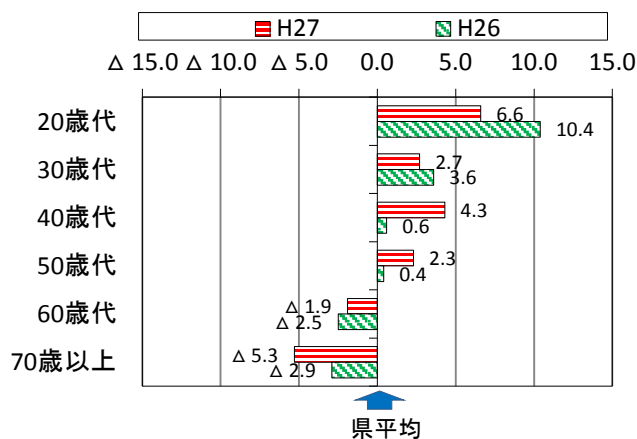
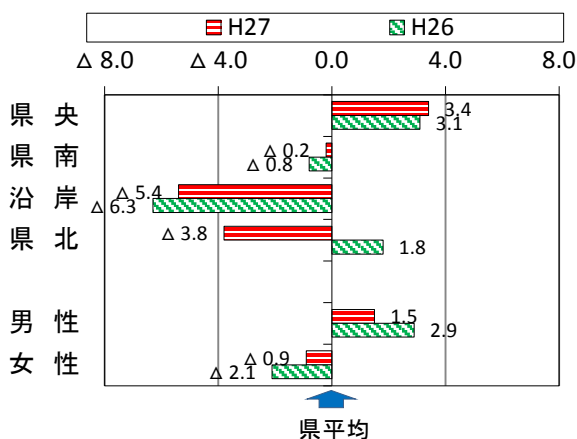
満足が約3割(30.3%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(33.7%)、男女別では男性(31.8%)、年代別では20歳代(36.9%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では沿岸(△5.4ポイント)、男女別では男性(1.5ポイント)、年代別では20歳代(6.6ポイント)となっている。

満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 不明
 どちらともいえない
 わからない



満足の県平均との差

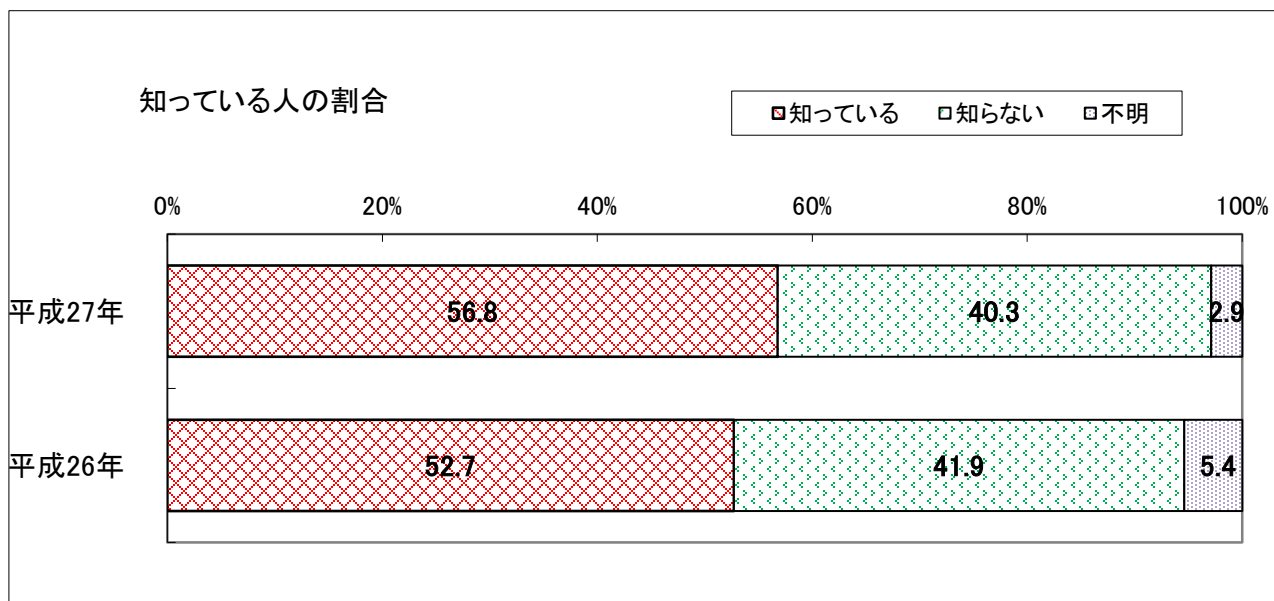


問3-1 大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について

あなたは、大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っていますか

役割分担について知っている人は6割弱

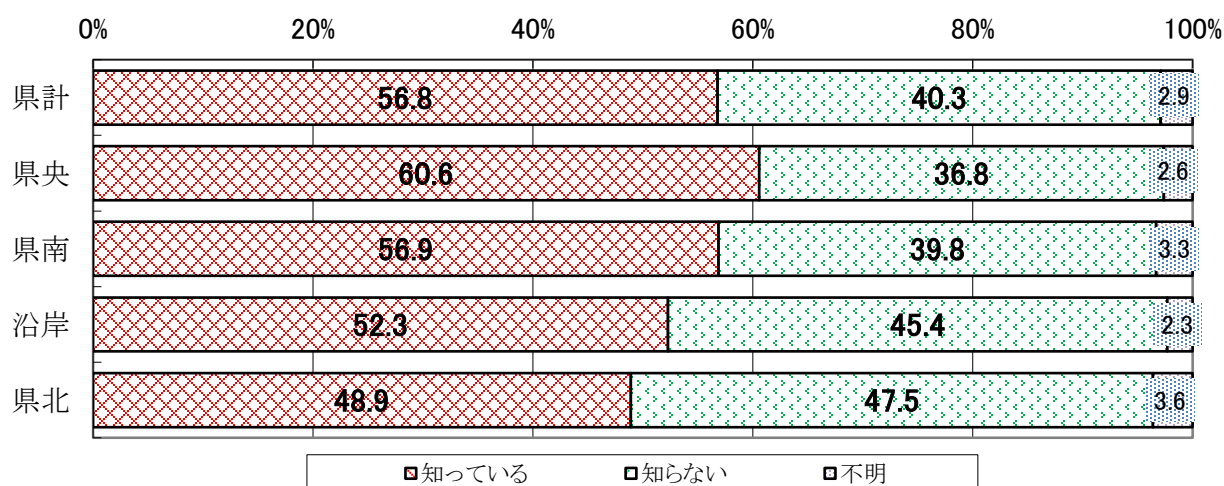
- 大きな病院と診療所（開業医）の役割分担について知っている人の割合は56.8%となっている。



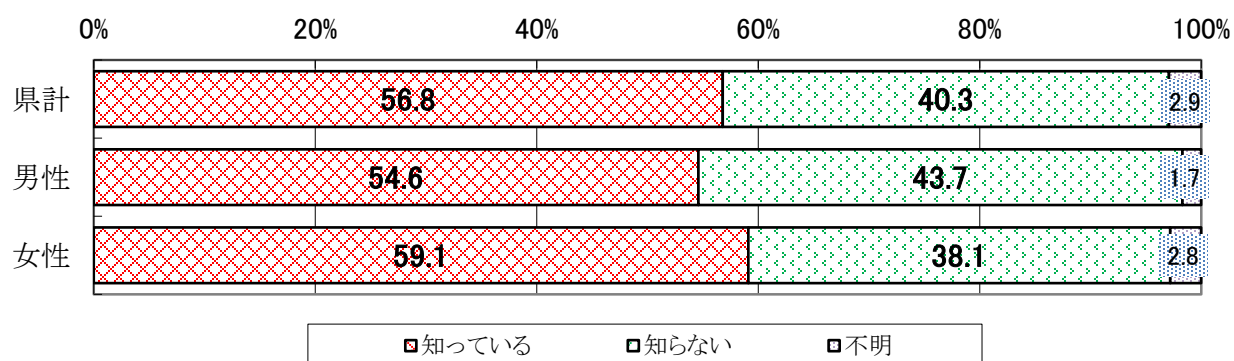
※平成26年県民生活基本調査結果

〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

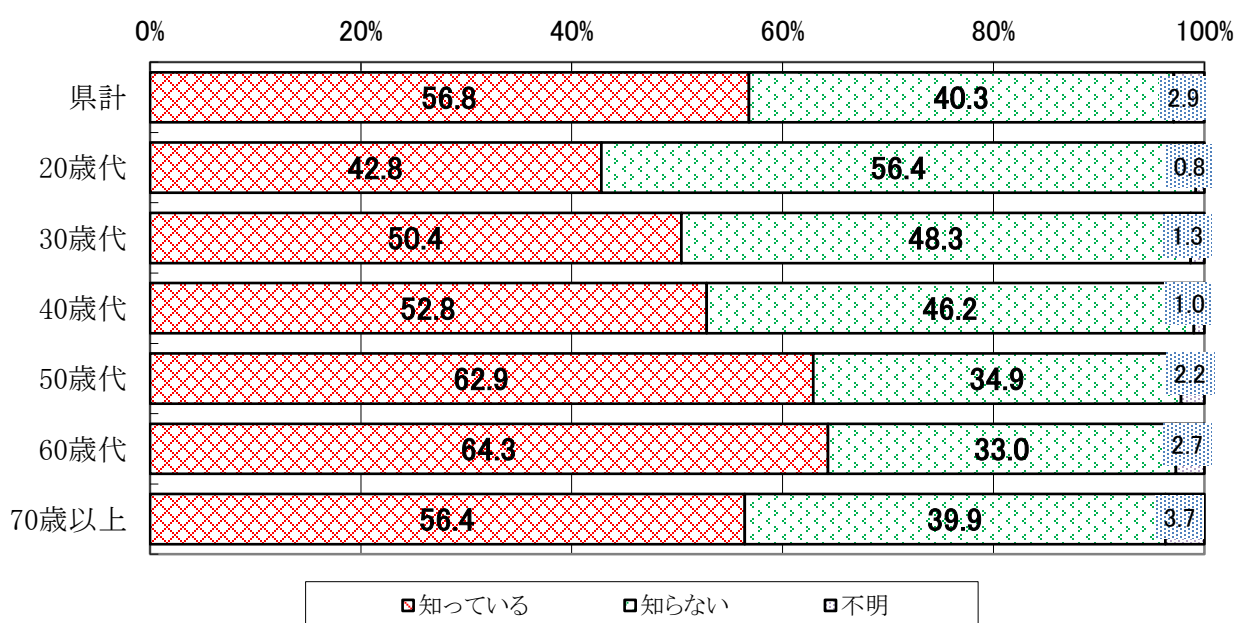
(1) 広域振興圏別



(2) 男女別



(3) 年代別

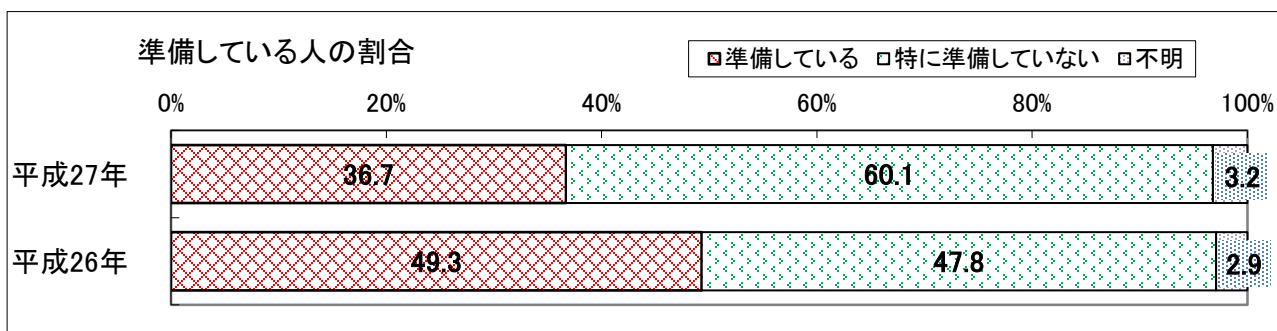


問3-2 災害への対応について

普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか

災害に備え、何らかの準備をしている人は4割弱

- 普段から災害に備え、何らかの準備をしている人の割合は36.7%となっている。

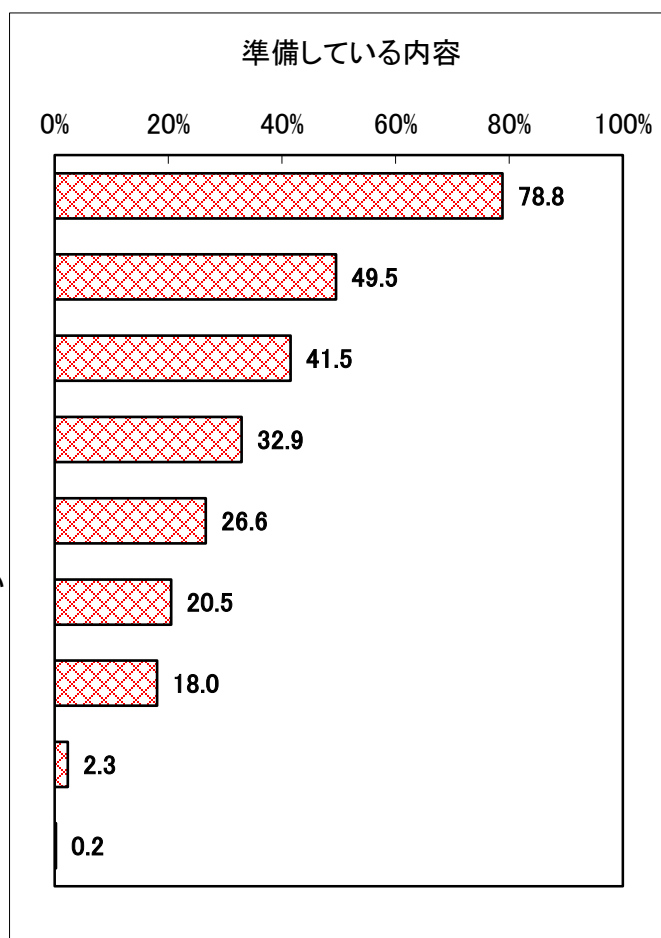


※平成26年県民生活基本調査結果

1 準備している場合

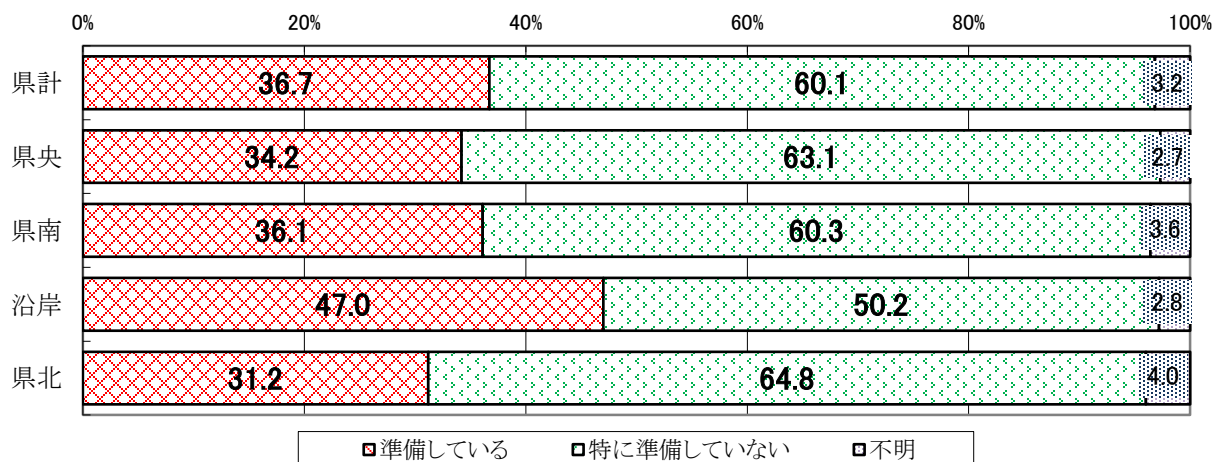
- 準備している内容は、「家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している」が最も多く78.8%、「家具などの転倒防止措置を行っている」が49.5%、「家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している」が41.5%となっている。

- 1 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
- 2 家具などの転倒防止措置を行っている
- 3 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
- 4 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的な対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている
- 5 地域で実施される防災訓練に年1回以上参加している
- 6 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
- 7 地域の自主防災組織に加入している
- 8 その他
- 9 不明

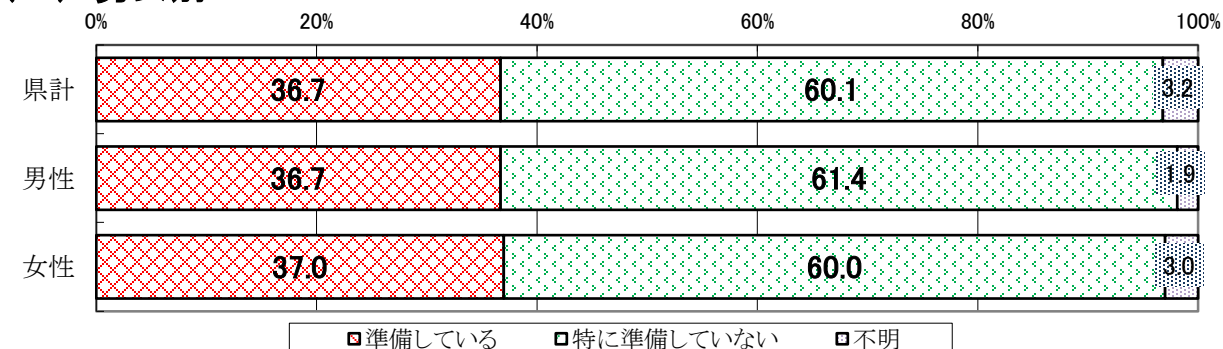


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

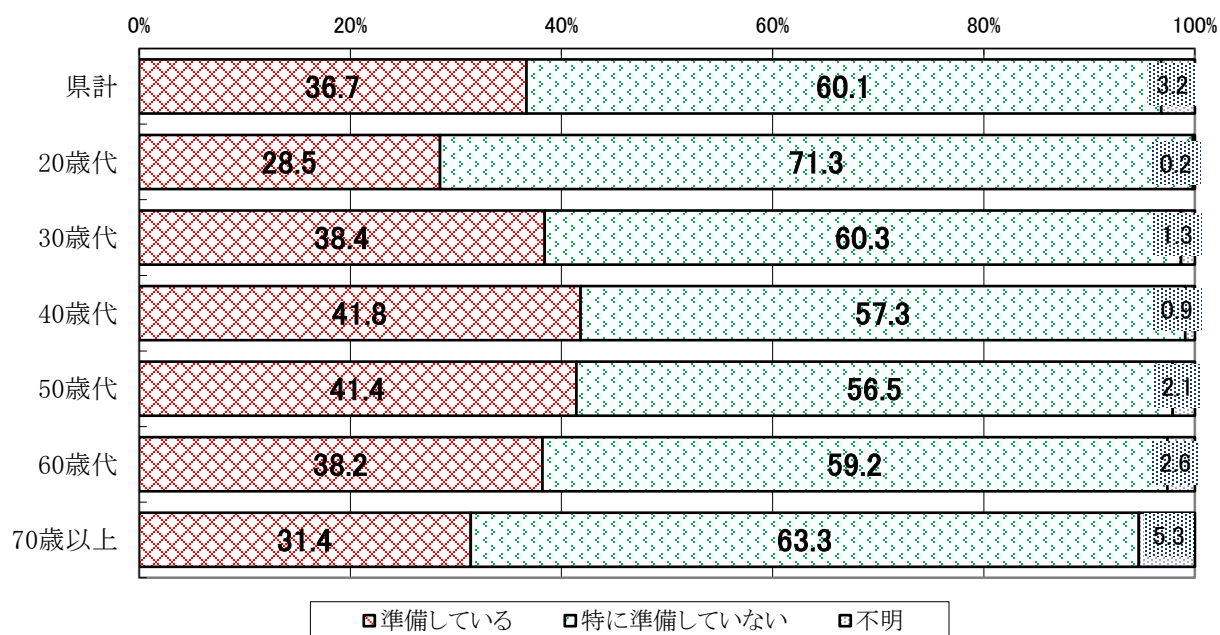
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別



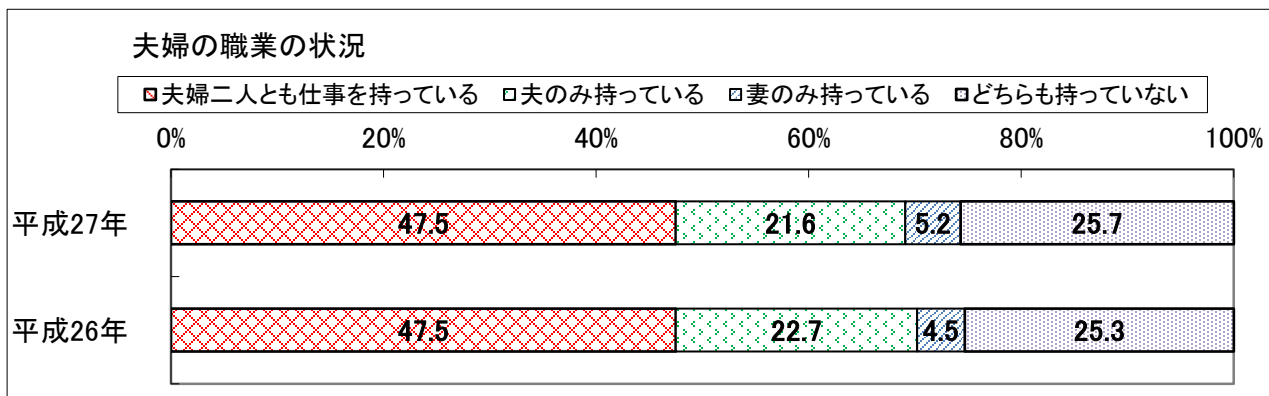
問3-3 家事関連時間について

【この質問は、夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか

夫婦二人とも仕事を持っている世帯は5割弱

○ 夫婦世帯で二人とも仕事を持っている人の割合は47.5%となっている。

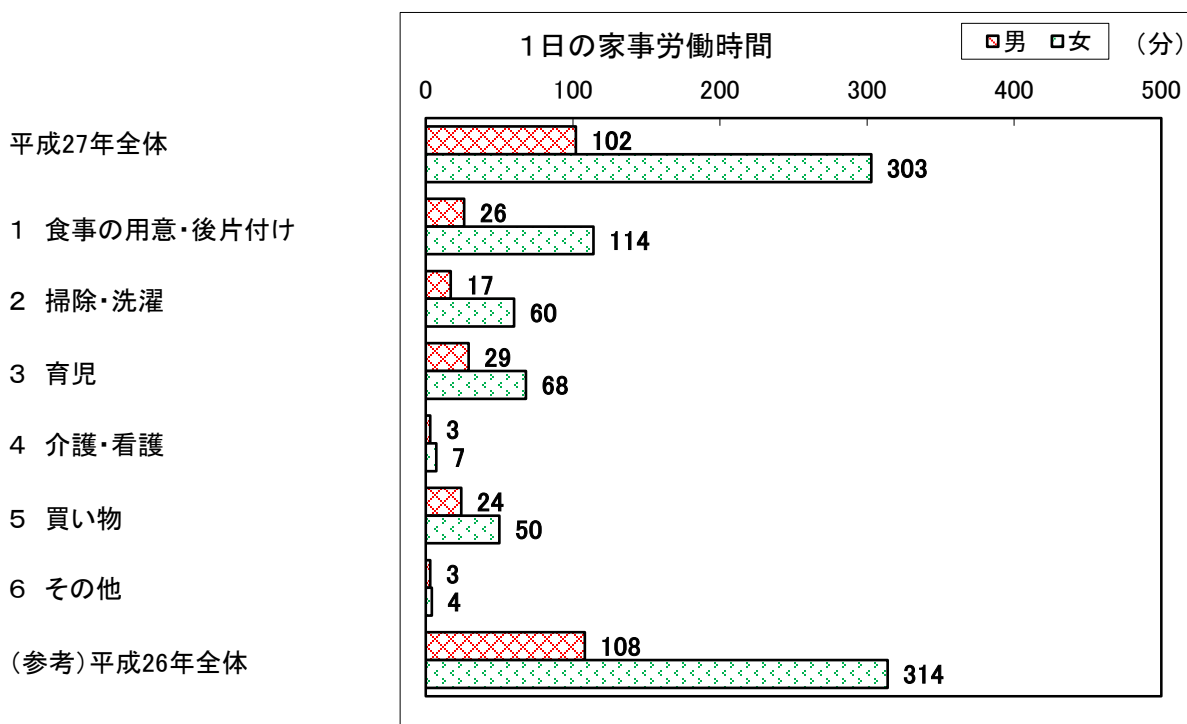


※平成26年県民生活基本調査結果

(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか

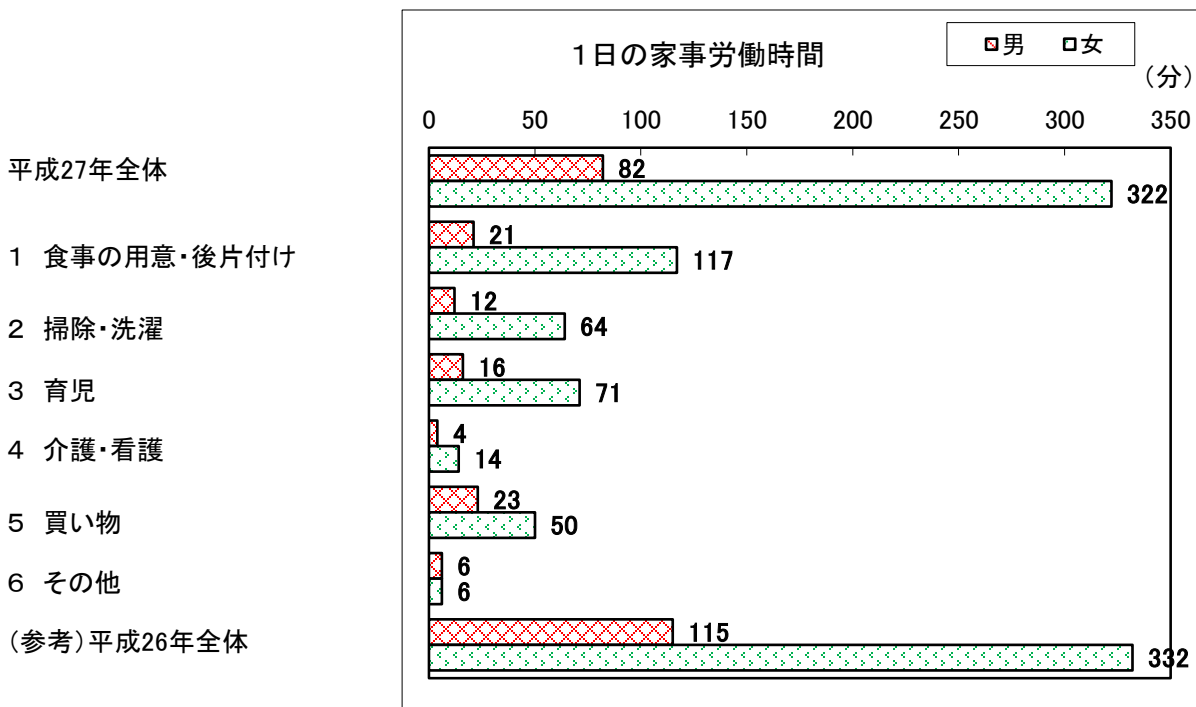
ア 夫婦二人とも仕事を持っている世帯

- 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は102分、「妻」の家事労働時間は303分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の33.7%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「育児」、「掃除・洗濯」の順となっている。



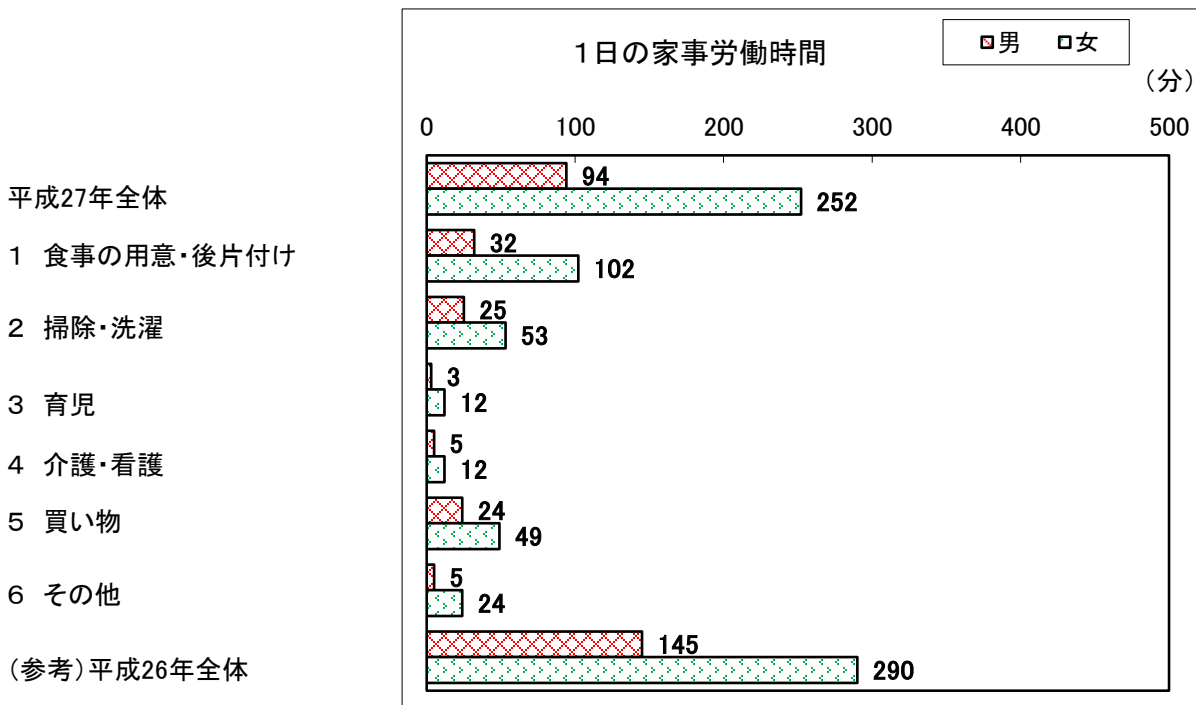
イ 夫のみ仕事を持っている世帯

- 夫のみ仕事を持っている世帯の「夫」の家事労働時間は82分、「妻」の家事労働時間は322分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の25.5%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「育児」、「掃除・洗濯」の順となっている。



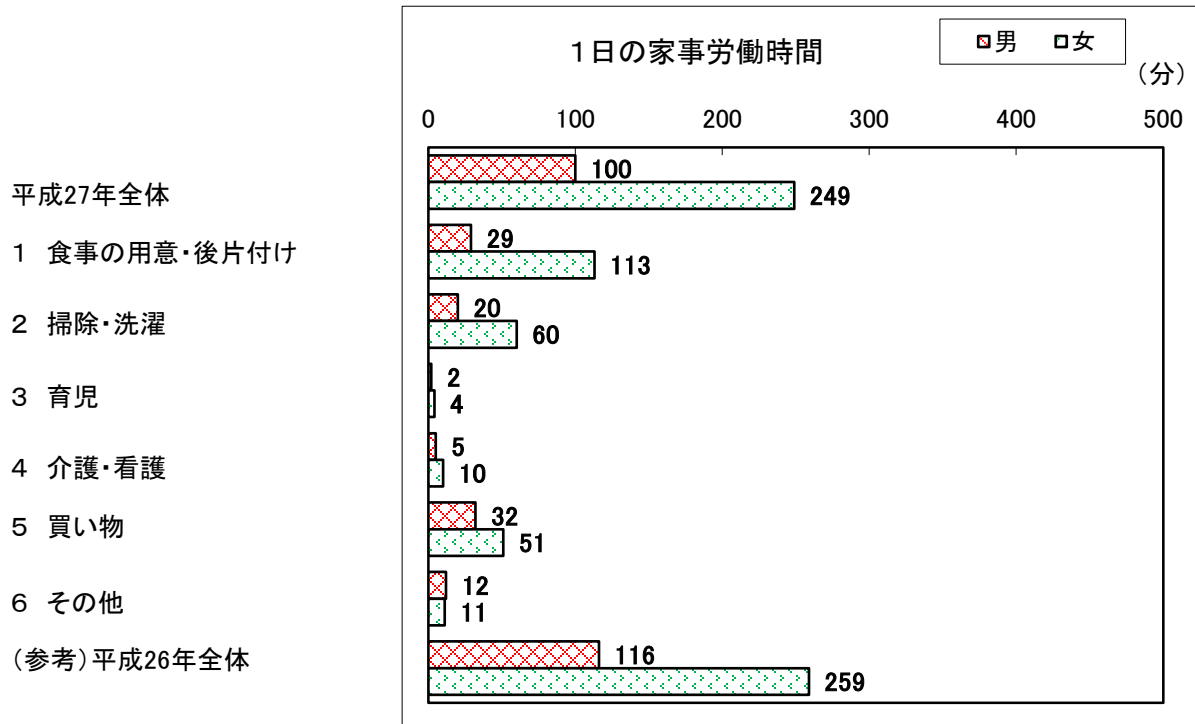
ウ 妻のみ仕事を持っている世帯

- 妻のみ仕事を持っている世帯の「夫」の家事労働時間は94分、「妻」の家事労働時間は252分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の37.3%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「掃除・洗濯」、「買い物」の順となっている。



エ 二人とも仕事を持っていない世帯

- 二人とも仕事を持っていない世帯の「夫」の家事労働時間は100分、「妻」の家事労働時間は249分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の40.2%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「掃除・洗濯」、「買い物」の順となっている。

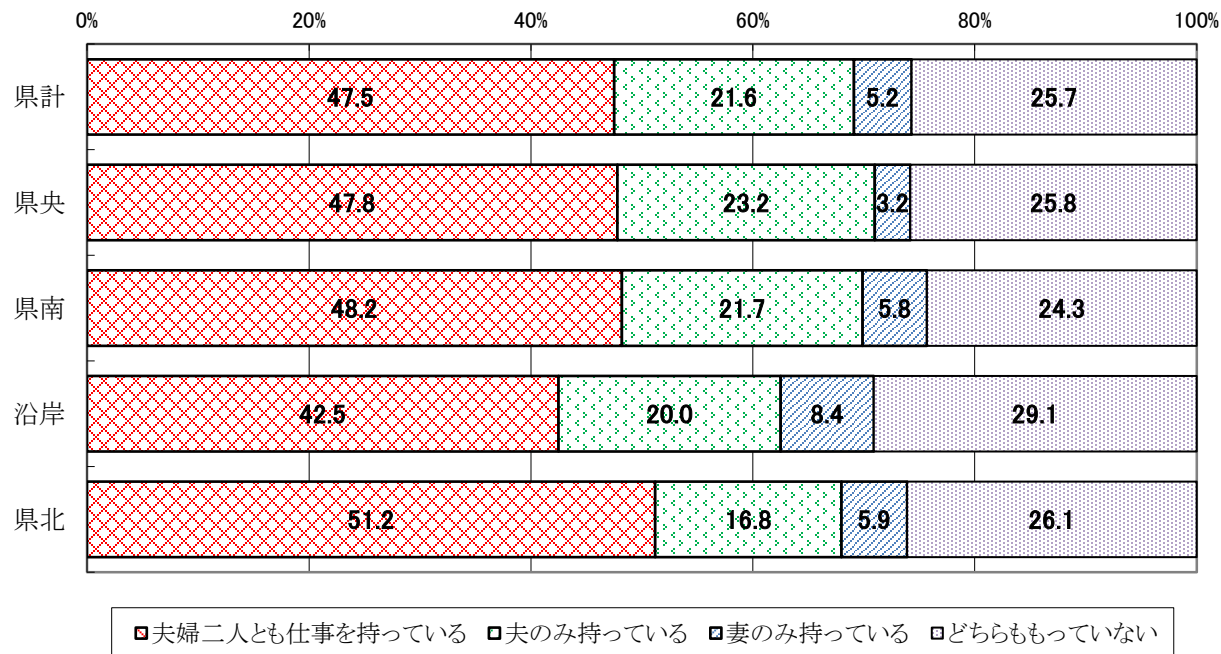


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、年代別集計結果

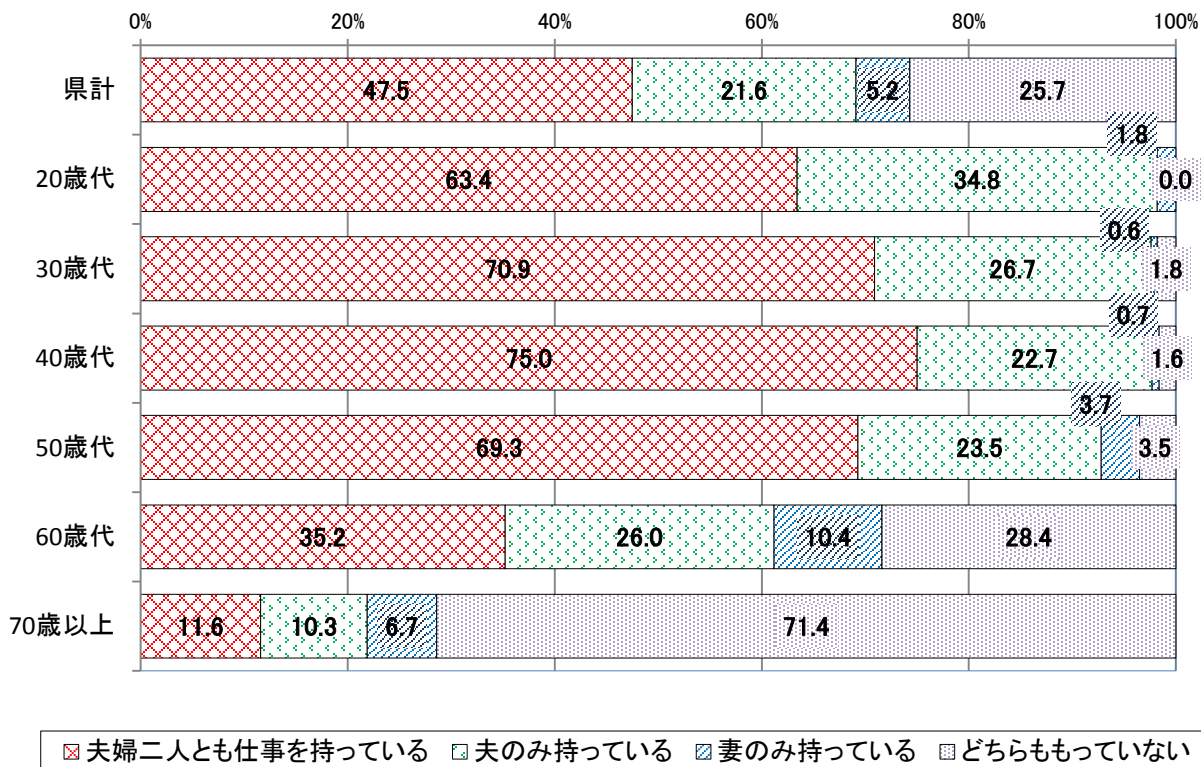
（夫婦世帯のみ回答）

（1）お二人とも職業をお持ちですか。

ア 広域振興圏別



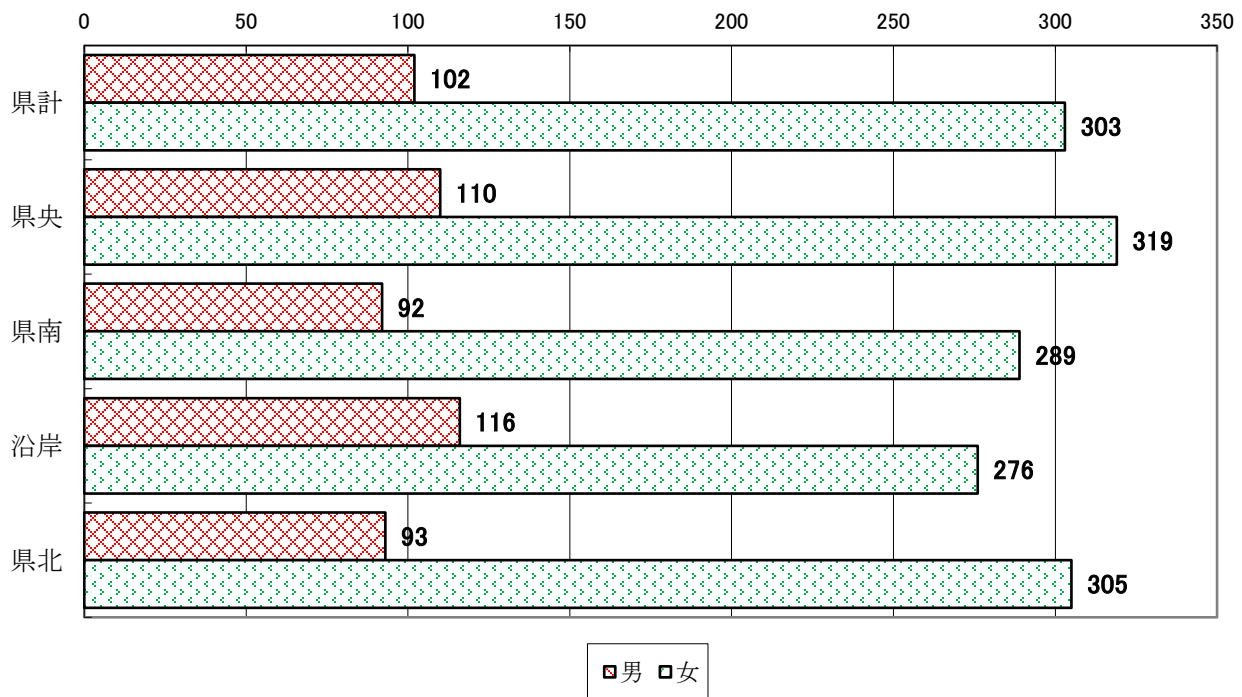
イ 年代別



(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

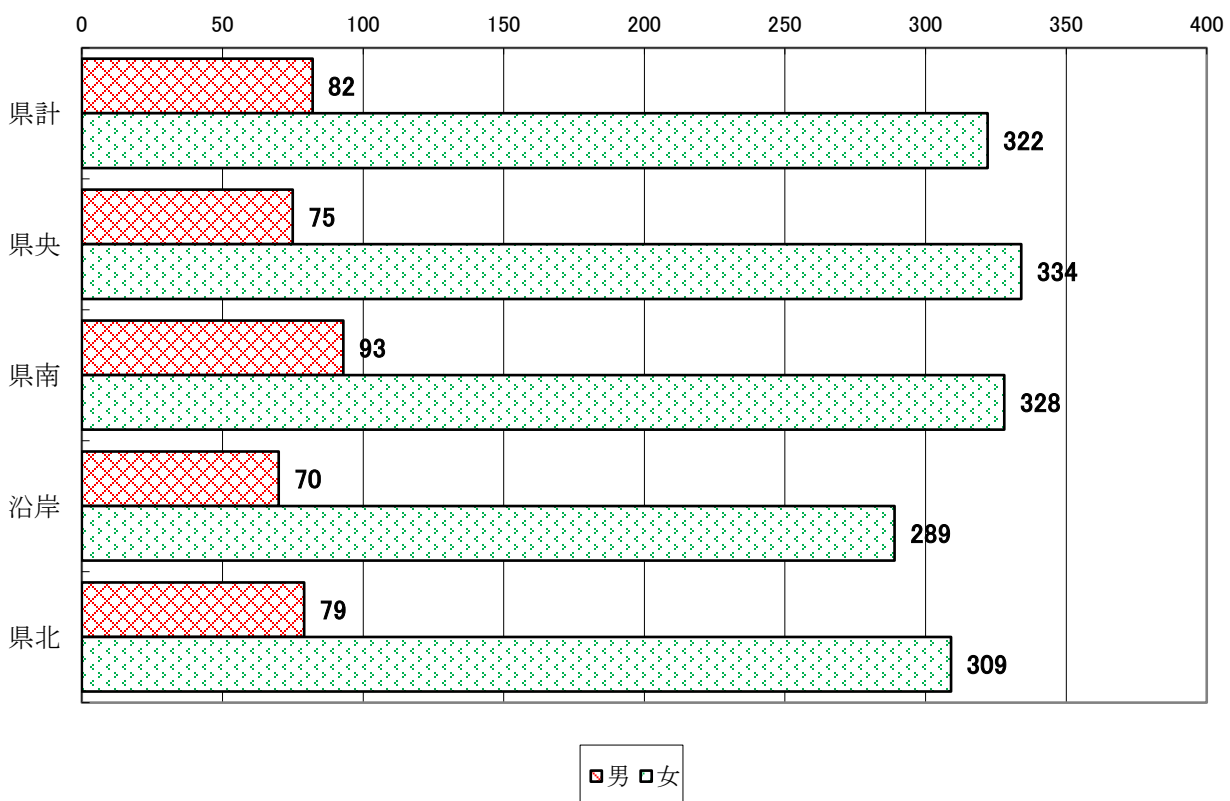
ア 夫婦二人とも仕事を持っている世帯

(単位：分)



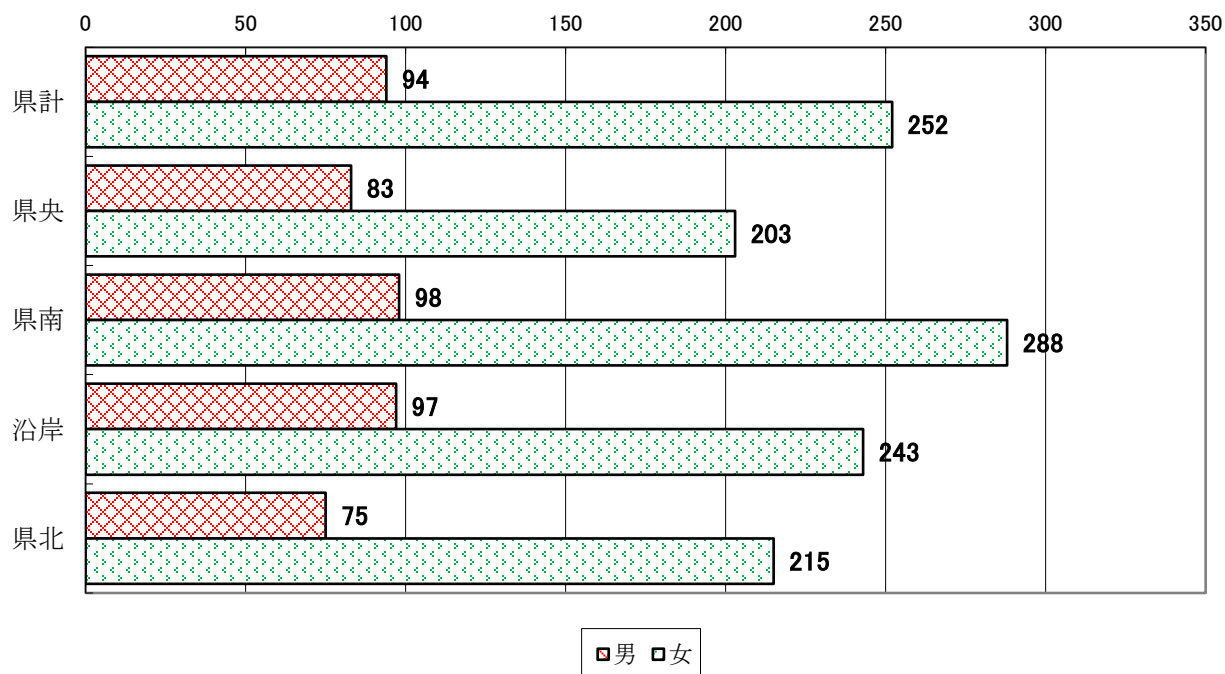
イ 夫のみ仕事を持っている世帯

(単位：分)



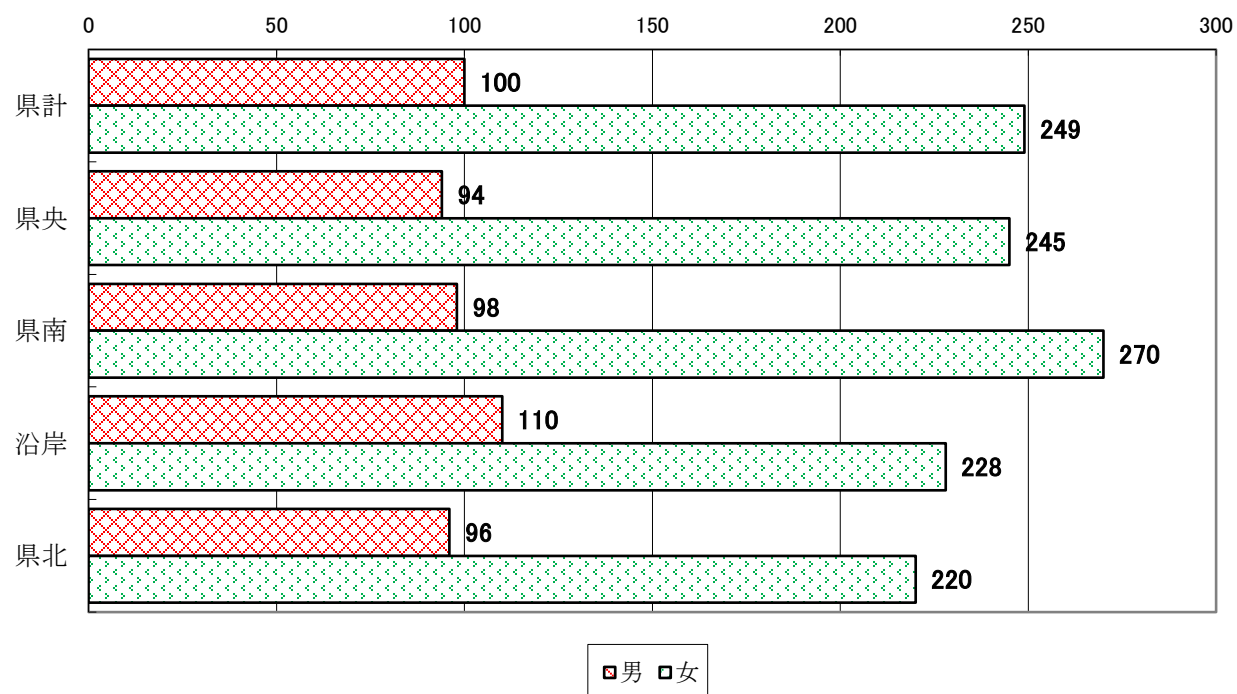
ウ 妻のみ仕事を持っている世帯

(単位：分)



エ 二人とも仕事を持っていない世帯

(単位：分)

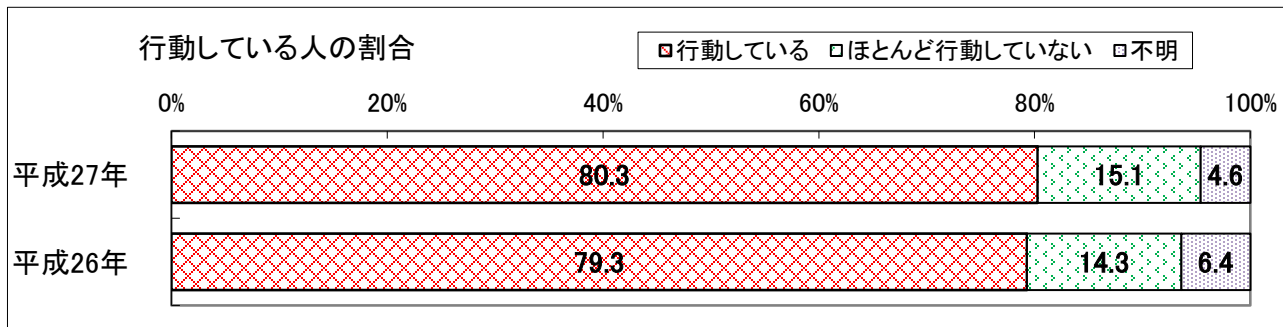


問3-4 地球温暖化防止への対応について

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか

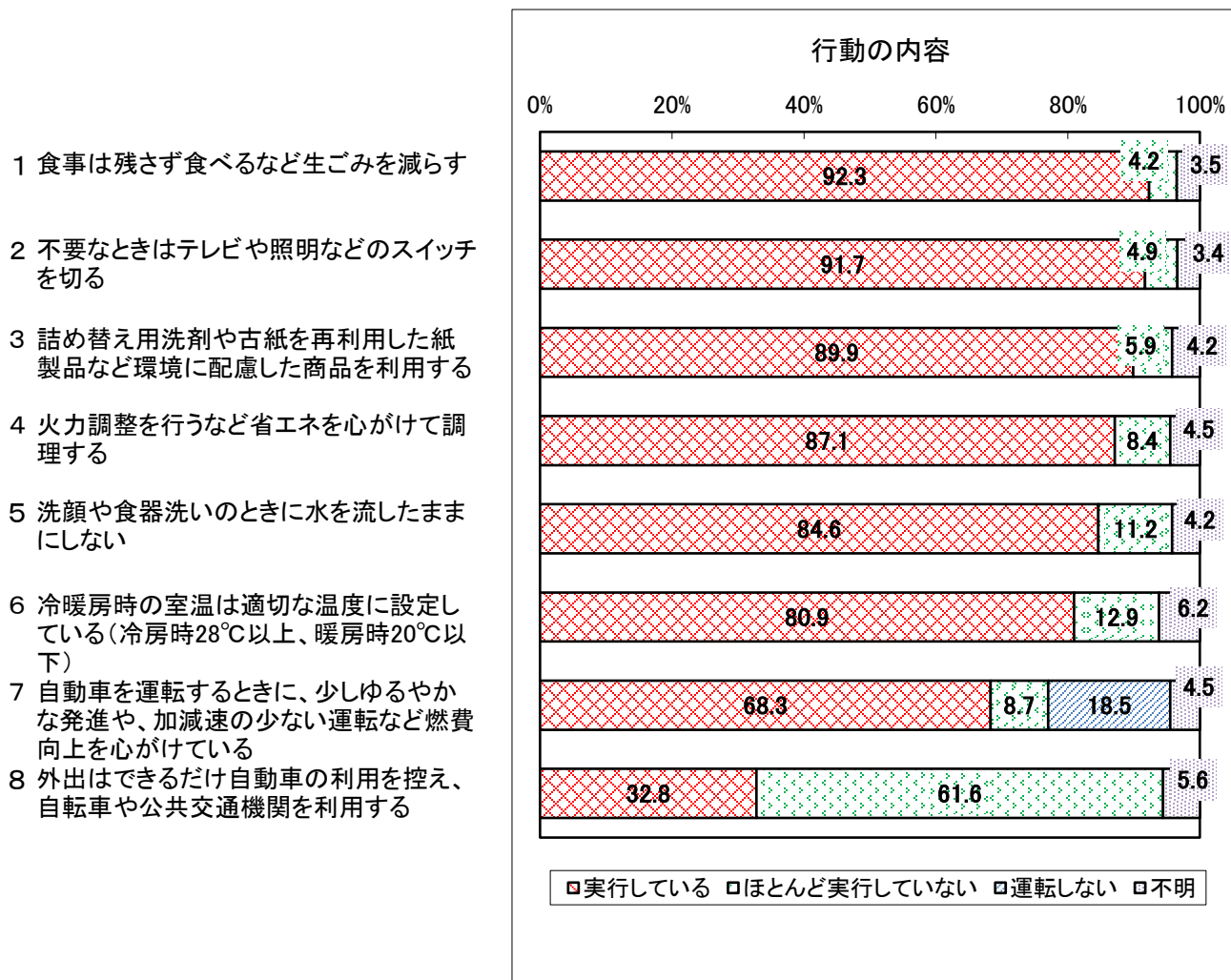
地球温暖化防止のための行動に努めている人は約8割

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で80.3%となっている。



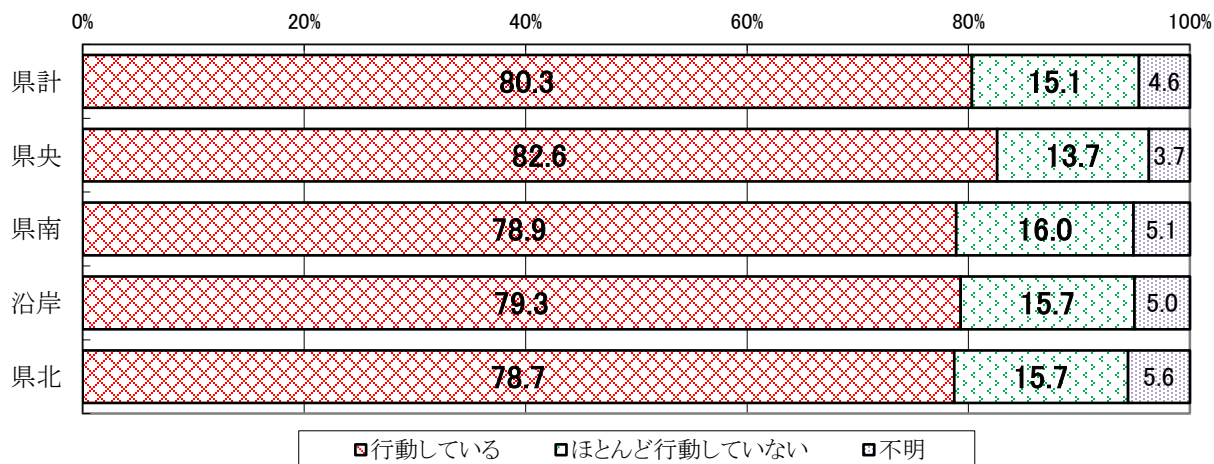
※平成26年県民生活基本調査結果

○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなど生ごみを減らす」が92.3%と最も多く、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」が91.7%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」が89.9%となっている。

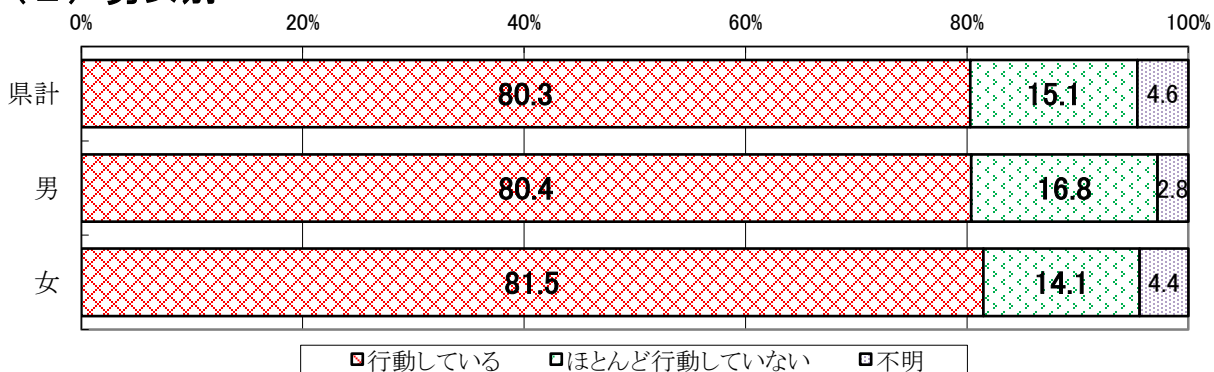


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

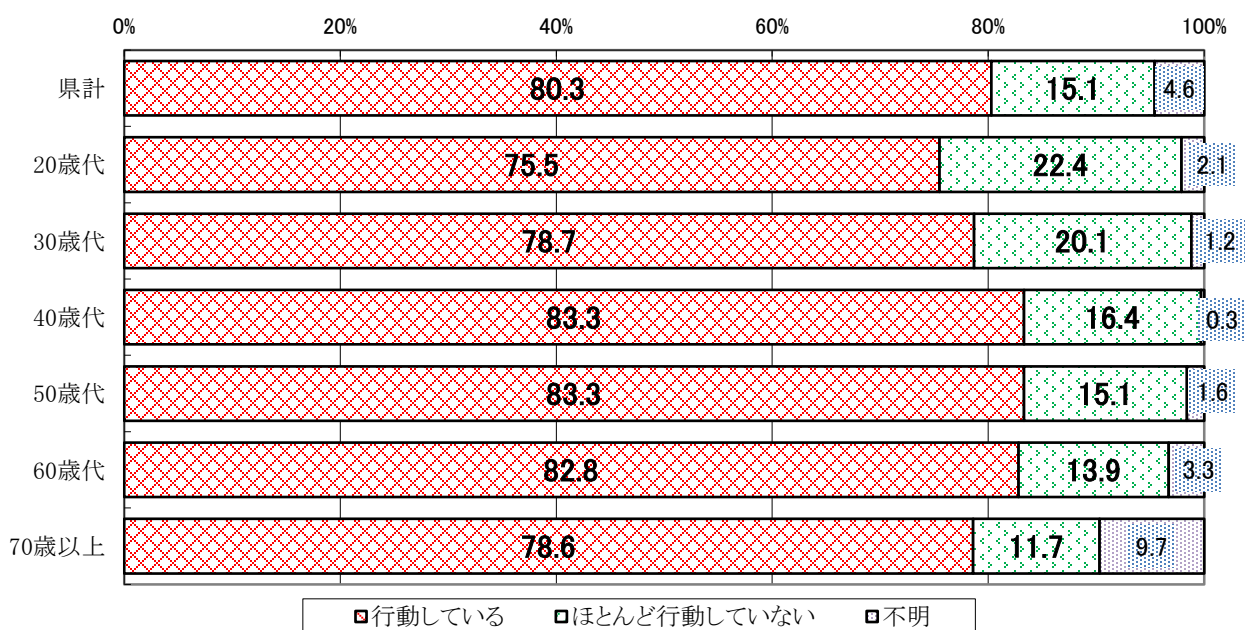
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別

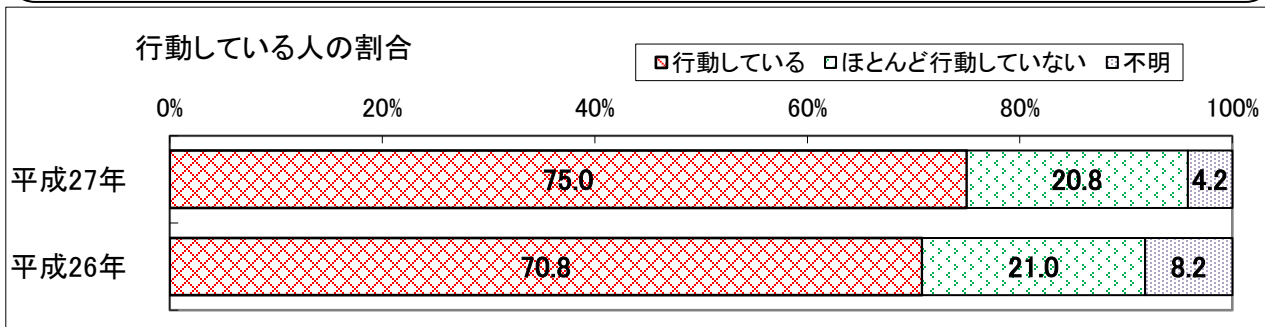


問3-5 ごみの減量化への対応について

あなたは、ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか

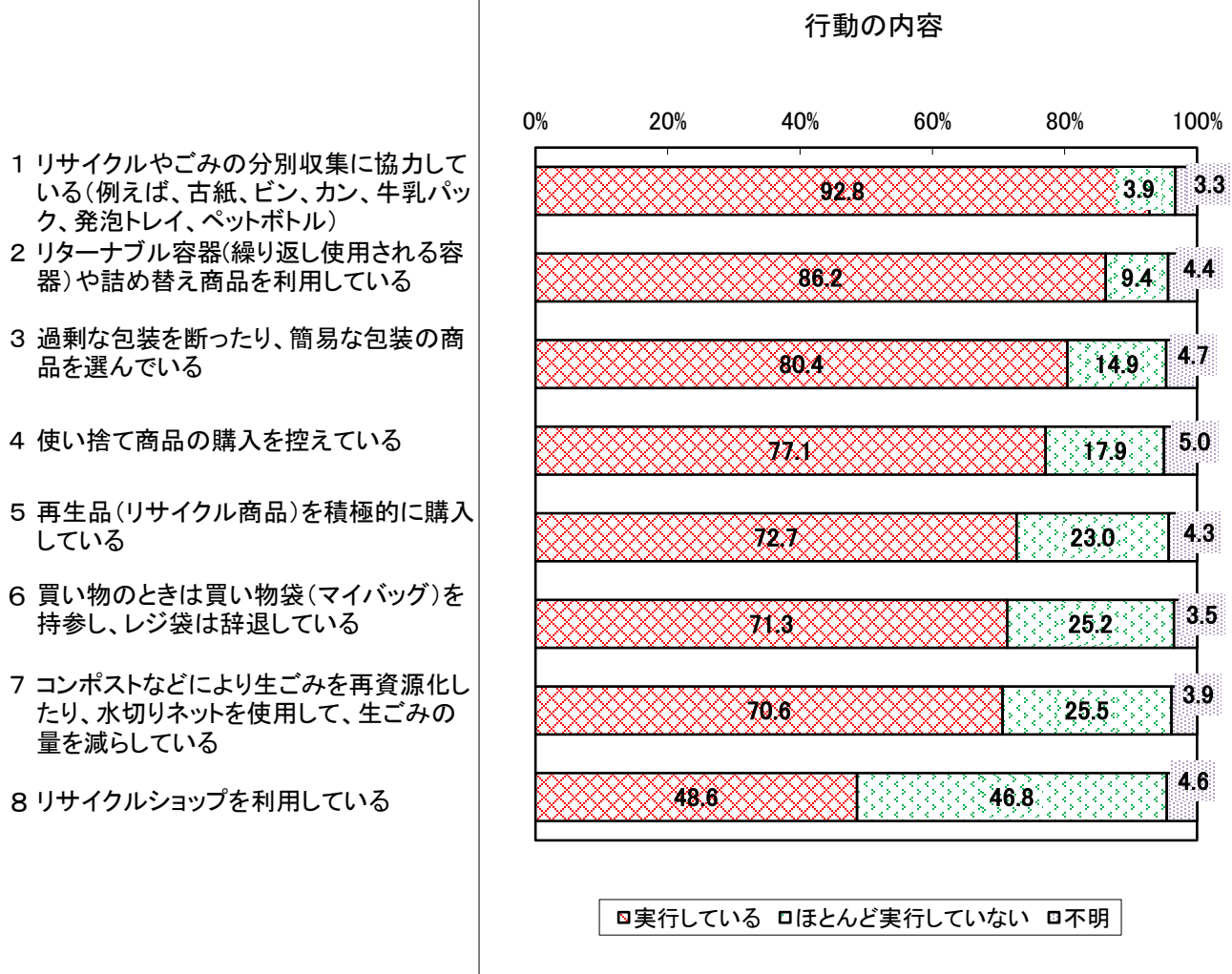
ごみの減量化に努めている人は75%

○ ごみの減量化に努めている人の割合は、各調査項目の平均で75.0%となっている。



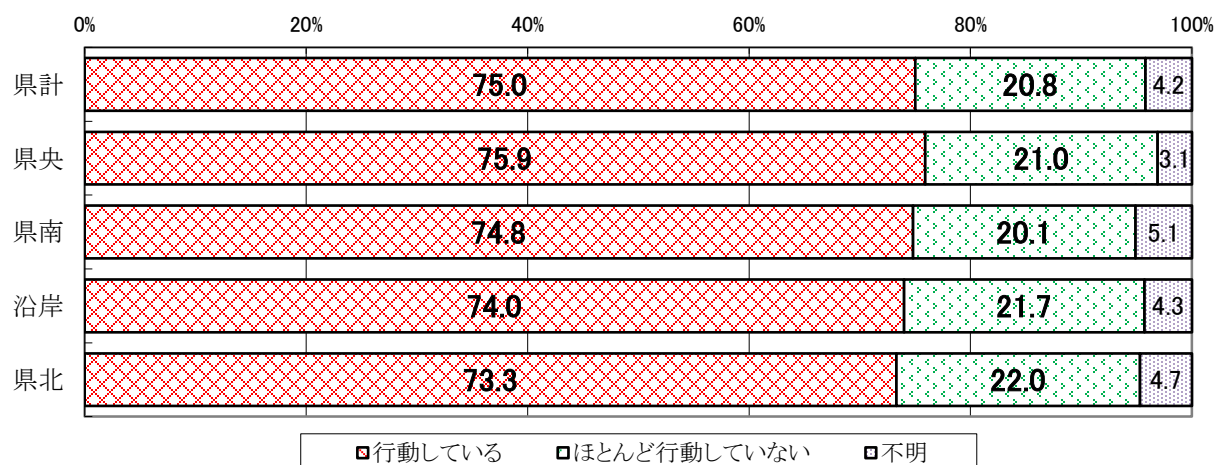
※平成26年県民生活基本調査結果

○ 行動の内容は、「リサイクルやごみの分別収集に協力している（例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル）」が92.8%と最も多く、次いで「リターナブル容器や詰め替え商品を利用している」が86.2%、「過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる」が80.4%となっている。

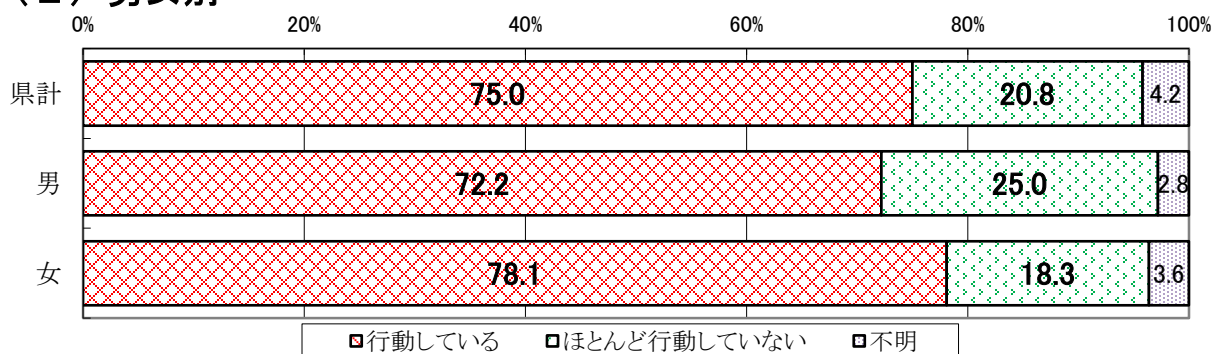


〈参考〉居住地（広域振興圏）別、男女別、年代別集計結果

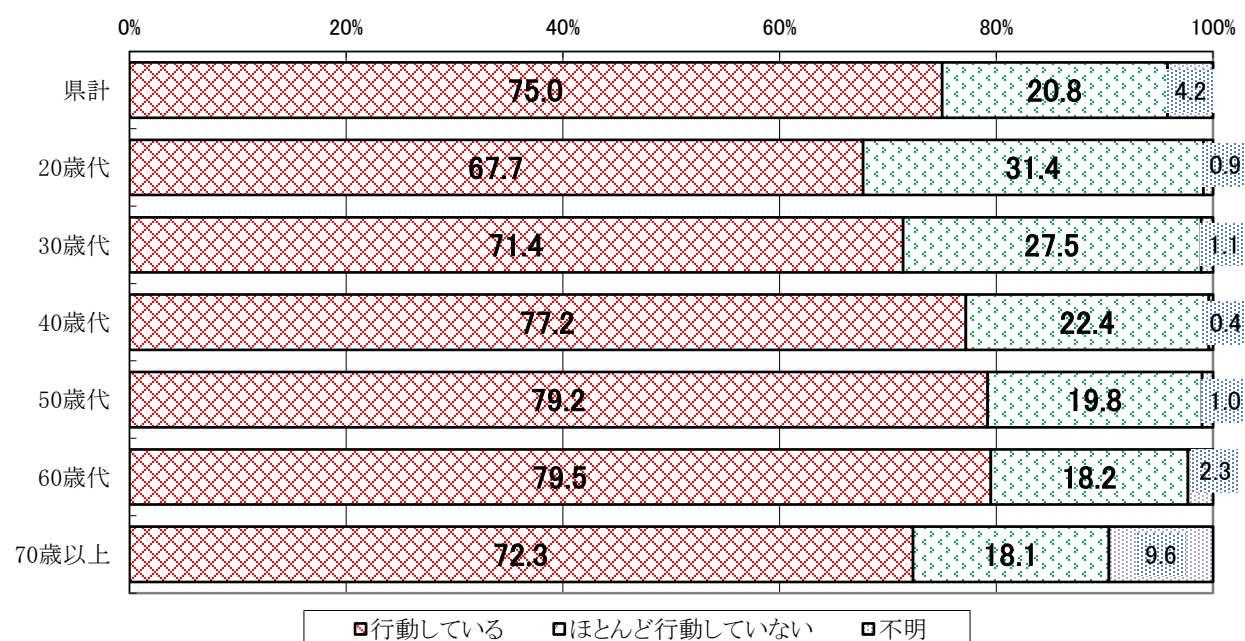
（１）広域振興圏別



（２）男女別



（３）年代別



問4 県では、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を創っていくため、「いわて県民計画」(平成21年度～平成30年度)に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。

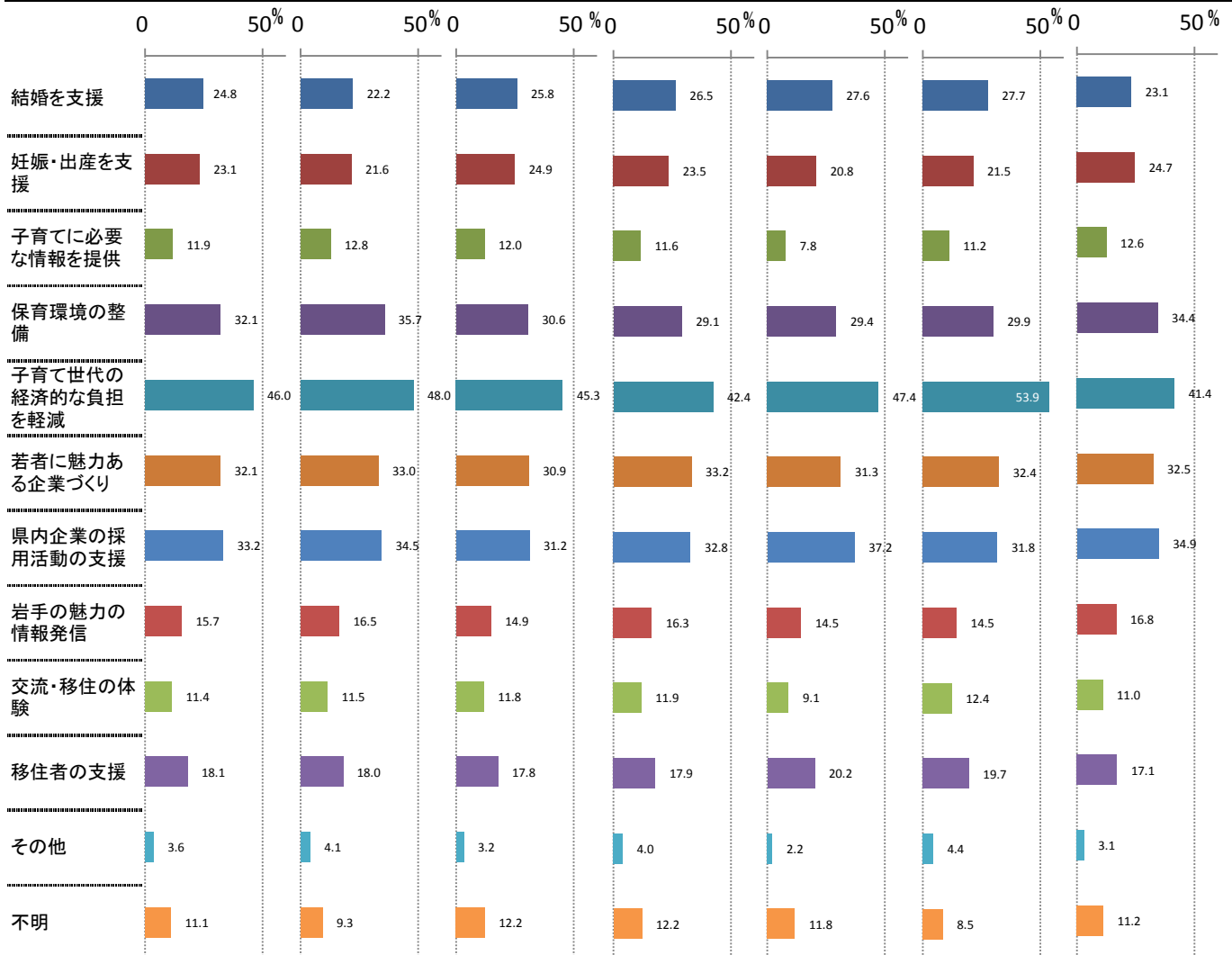
ここでは、いわて県民計画推進の基礎資料として活用するため、「人口減少問題」についてお伺いします。

問4-1 近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきだと思いますか。(3つまで)

「子育て世代の経済的な負担を軽減」の割合が最も高い

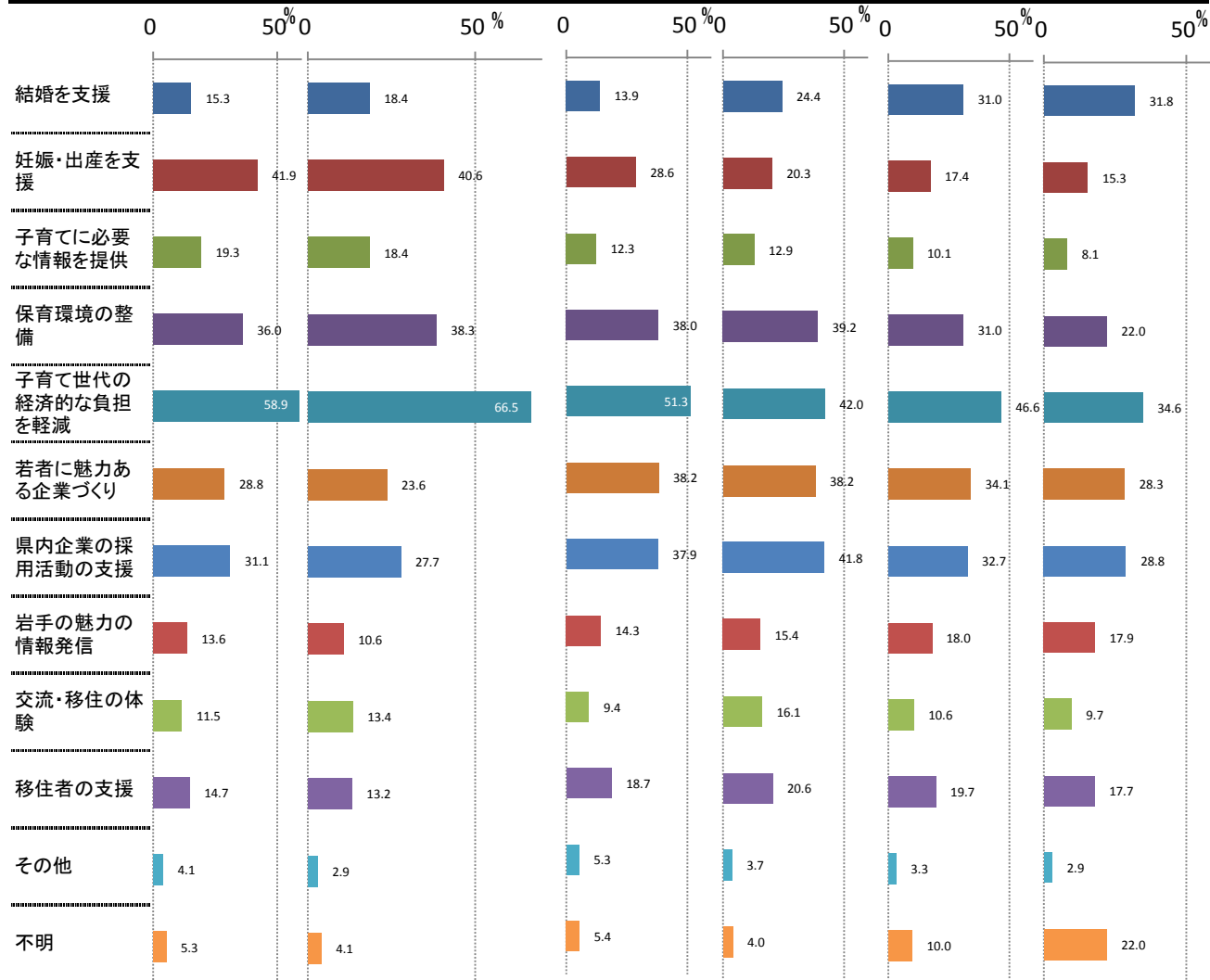
- 県計では「子育て世代の経済的な負担を軽減」の割合が最も高く、46.0%となっている。
- 次いで、「県内企業の採用活動の支援」、「保育環境の整備」、「若者に魅力ある企業づくり」と回答した人の割合が上位となっている。

上位3項目	県計	県央広域振興圏	県南広域振興圏	沿岸広域振興圏	県北広域振興圏	男性	女性
1	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減
2	県内企業の採用活動の支援	保育環境の整備	県内企業の採用活動の支援	若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援	若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援
3	①保育環境の整備 ②若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援	若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援	若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援	保育環境の整備



- 広域振興圏別にみると、全ての圏域において「子育て世代の経済的な負担を軽減」の割合が最も高くなっている。また、広域振興圏別にみても、上位項目は県計と概ね同じとなっている。
- 男女別にみると、男女共に「子育て世代の経済的な負担を軽減」の割合が最も高くなっているなど、傾向に大きな差は出ていない。
- 年代別にみると、最も割合が高い項目は、全ての年代で「子育て世代の経済的な負担を軽減」となっている。
- また、20歳代・30歳代においては「妊娠・出産を支援」、70歳以上においては「結婚を支援」が上位となっている。

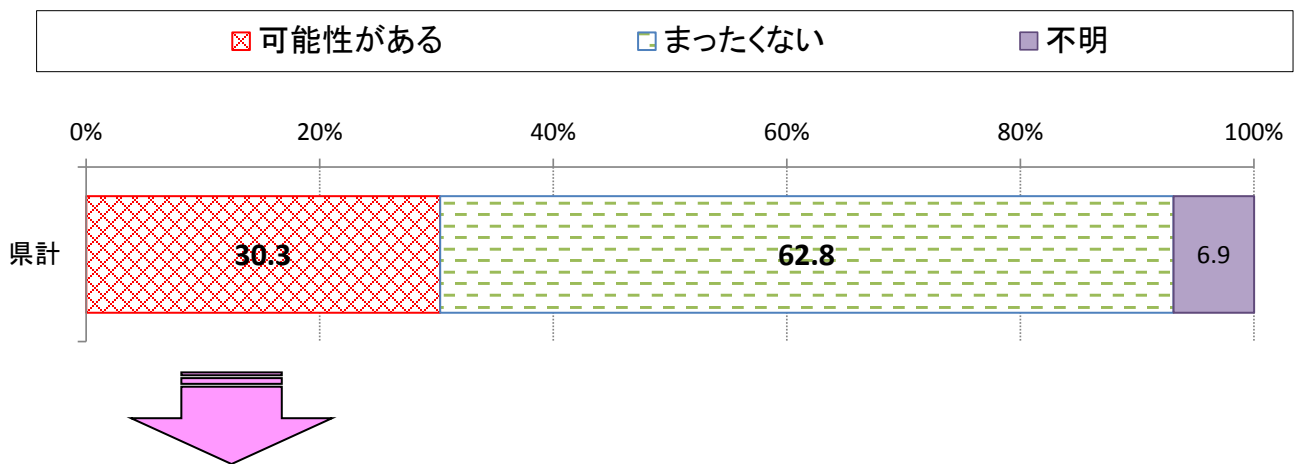
上位3項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減	子育て世代の経済的な負担を軽減
2	妊娠・出産を支援	妊娠・出産を支援	若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援	若者に魅力ある企業づくり	結婚を支援
3	保育環境の整備	保育環境の整備	保育環境の整備	保育環境の整備	県内企業の採用活動の支援	県内企業の採用活動を支援



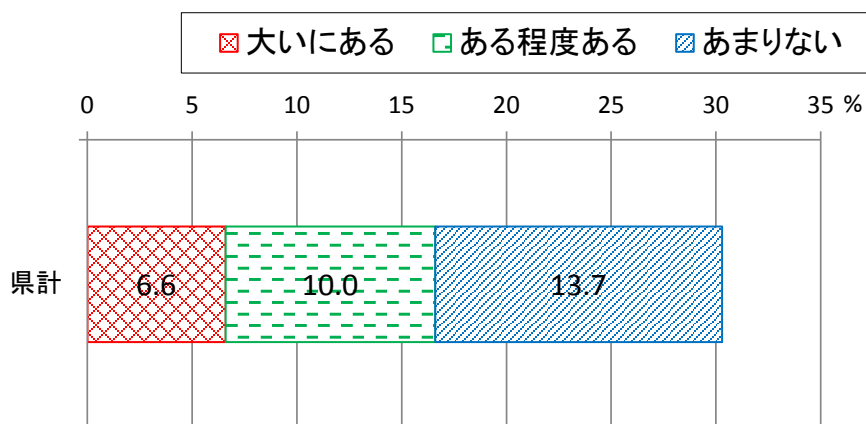
問4-2 ここからは、あなたの、今後の居住地について、おたずねします。

(1) あなたは、5年後に居住地が異なる可能性はありますか。

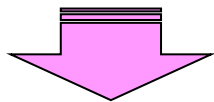
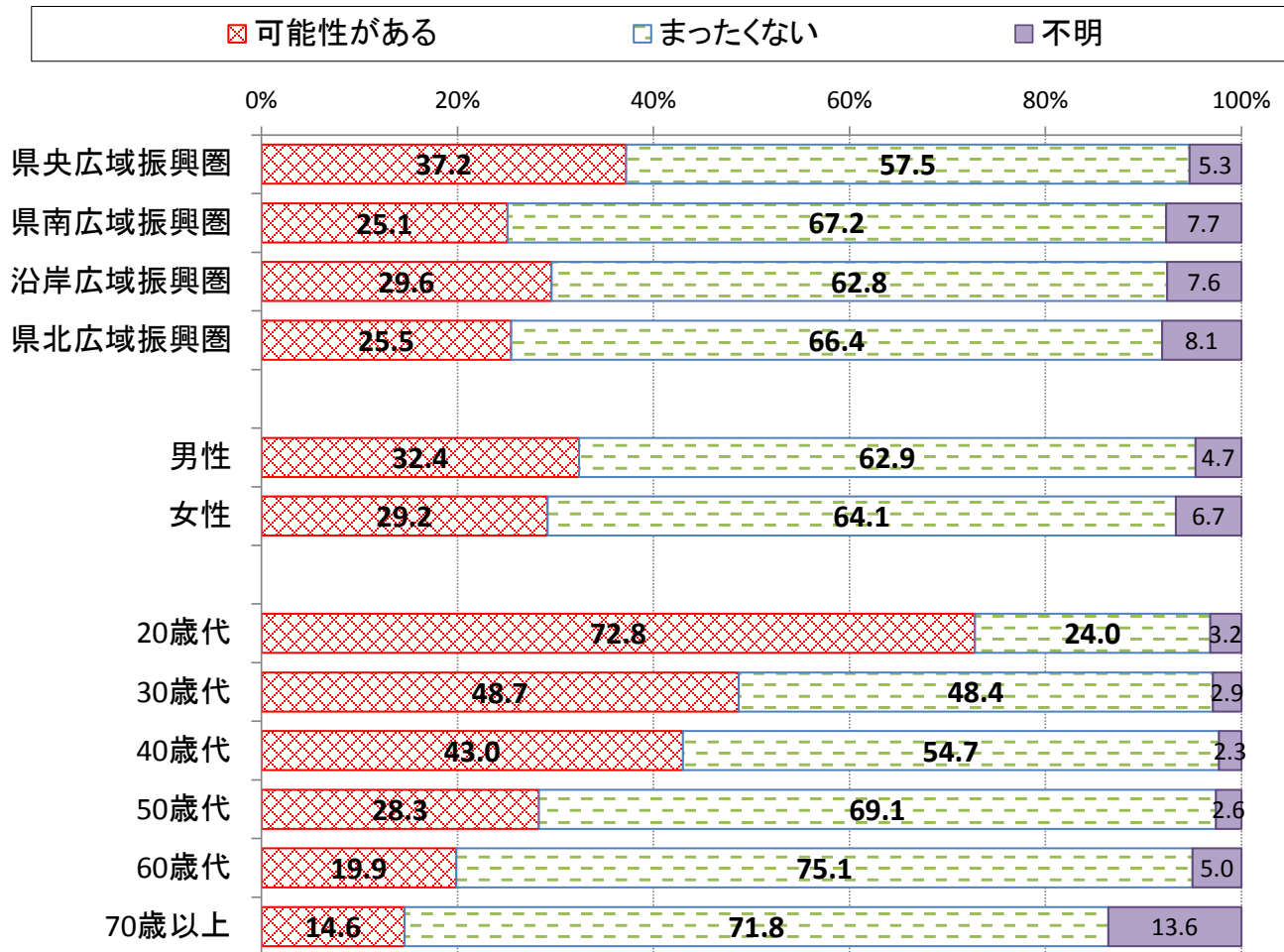
- 5年後に居住地が異なる可能性があると考える人は30.3%となっており、まったくないと考える人の62.8%を32.5ポイント下回っている。
- また、広域振興圏別にみると、5年後に居住地が異なる可能性があると考える人の割合は、県央広域振興圏で最も高く、県南広域振興圏で最も低くなっている。
- 男女別にみると、5年後に居住地が異なる可能性があると考える人の割合は男性が高くなっている。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれ、5年後に居住地が異なる可能性があると考える人の割合が低下している。



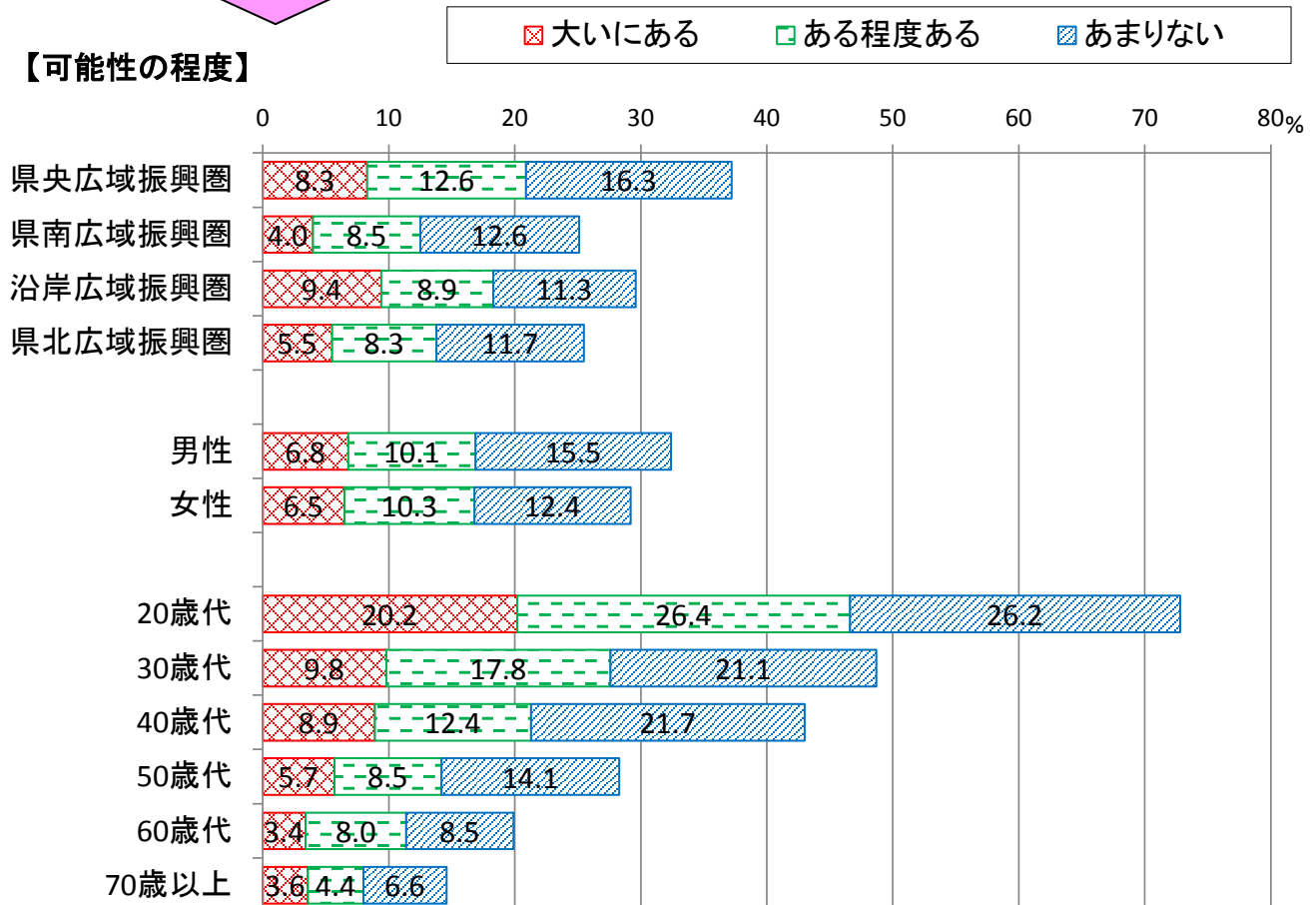
【可能性の程度】



(参考) 広域振興圏別・男女別・年代別集計

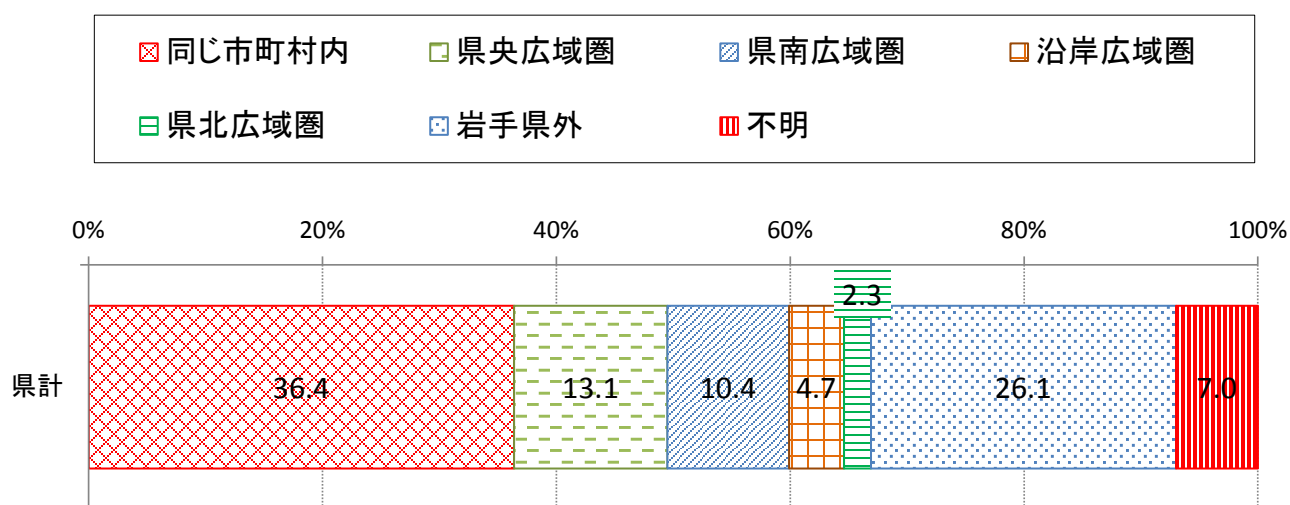


【可能性の程度】

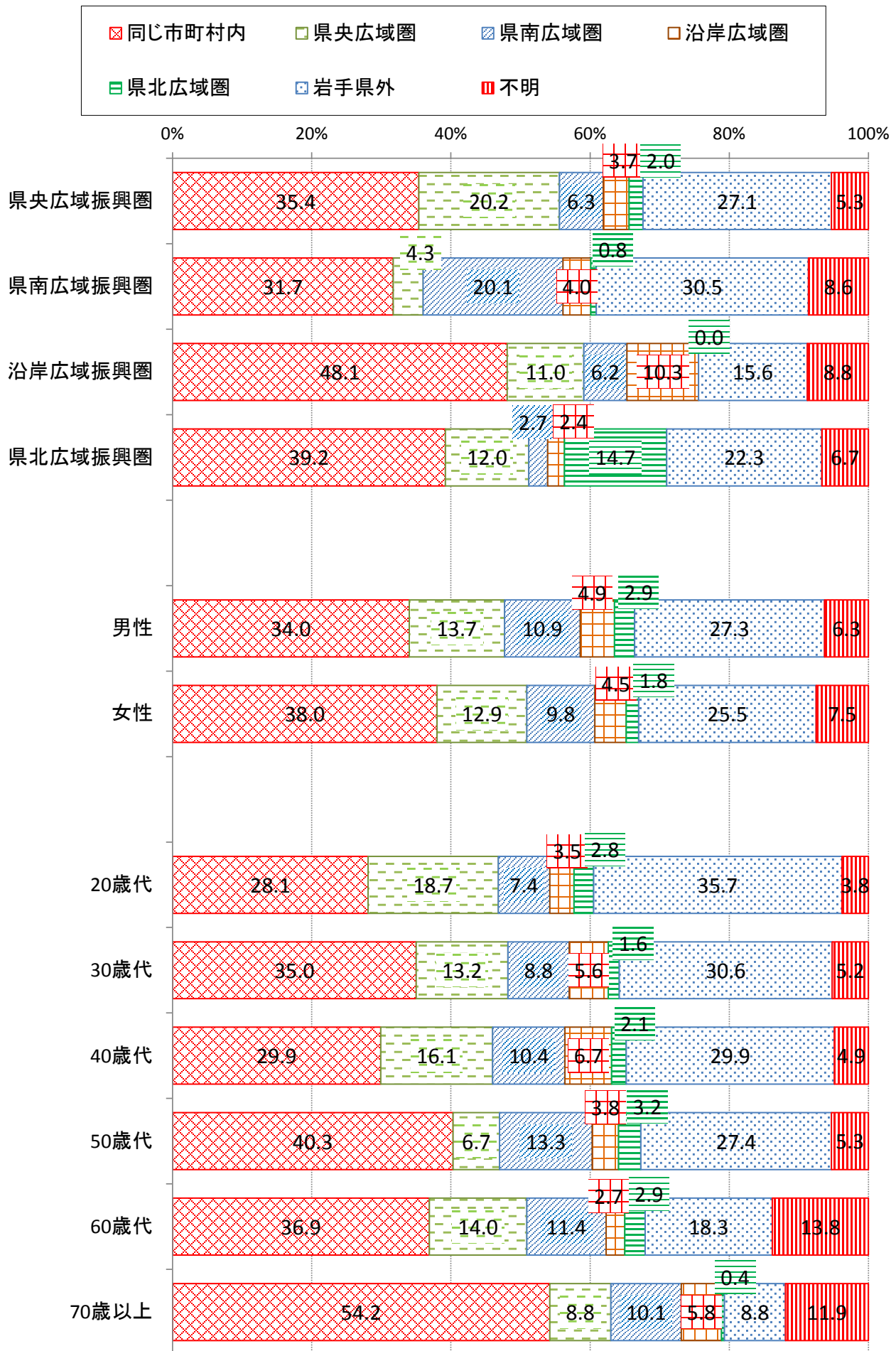


(2) (5年後に居住地が異なる可能性があるとお答えの方のみ回答)
 あなたが、転居予定先として考えられるのは、次のうちどれですか。

- 転居予定先としては、「同じ市町村内」が36.4%である一方、「岩手県外」が26.1%となっている。
- 広域振興圏別にみると、「同じ市町村内」の割合が最も高いのは、沿岸広域振興圏の48.1%となっており、「岩手県外」の割合が最も高いのは、県南広域振興圏の30.5%となっている。
- 男女別にみると、「同じ市町村内」の割合が最も高いのは、女性の38.0%となっている。
- 年代別にみると、20歳代と40歳代においては「岩手県外」、20歳代以外のすべての年代においては「同じ市町村内」の割合が最も高くなっている（40歳代は同率）。



(参考) 広域振興圏別・男女別・年代別集計



(3) (5年後に居住地が異なる可能性があるとお答えの方のみ回答)
5年後に居住地が異なる可能性の主な理由は何ですか。

「転勤」の割合が最も高い

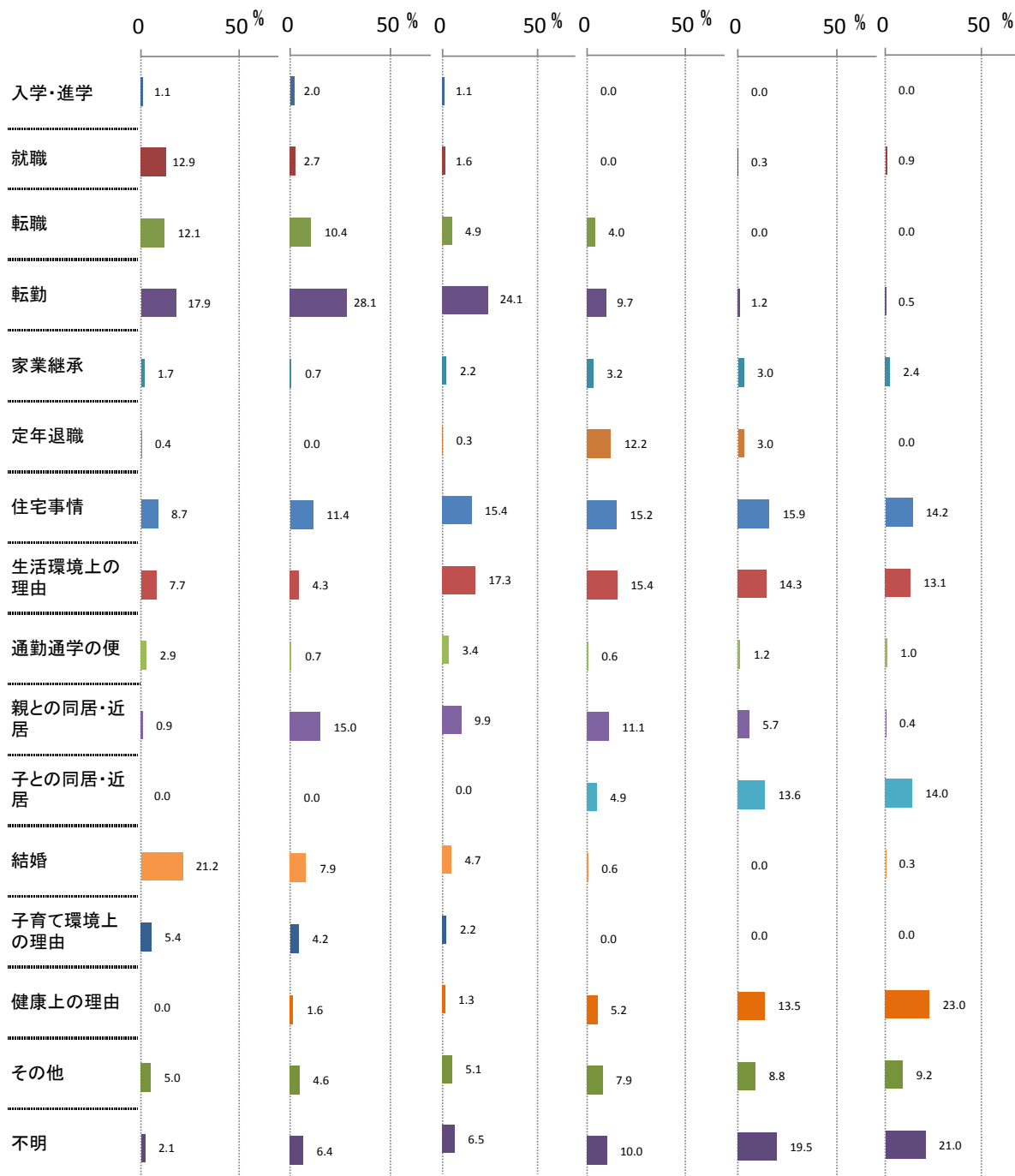
- 県計では「転勤」の割合が15.0%と最も高くなっており、続いて「住宅事情」、「生活環境上の理由」と回答した人の割合が上位となっている。
- 広域振興圏別にみると、全ての圏域において「住宅事情」及び「生活環境上の理由」の割合が上位となっている。また、県北広域振興圏では「健康上の理由」が上位となっている一方、県北以外の広域振興圏では「転勤」が上位となっている。
- 男女別にみると、男性も女性も順位の変動はあるものの、上位項目は同じく、「転勤」、「住宅事情」及び「生活環境上の理由」となっている。

上位3項目	県計	県央広域振興圏	県南広域振興圏	沿岸広域振興圏	県北広域振興圏	男性	女性
1	転勤	転勤	転勤	住宅事情	住宅事情	転勤	住宅事情
2	住宅事情	住宅事情	生活環境上の理由	生活環境上の理由	健康上の理由	住宅事情	生活環境上の理由
3	生活環境上の理由	生活環境上の理由	住宅事情	転勤	生活環境上の理由	生活環境上の理由	転勤



- 年代別にみると、20歳代以外のすべての年代で、「住宅事情」が上位となっている。
- また、20歳代では「結婚」及び「就職」、50歳代では「定年退職」、70歳以上では「健康上の理由」が上位となっており、ライフステージに応じた住替えを想定した回答が上位となっている。

上位3項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	結婚	転勤	転勤	生活環境上の理由	住宅事情	健康上の理由
2	転勤	親との同居・近居	生活環境上の理由	住宅事情	生活環境上の理由	住宅事情
3	就職	住宅事情	住宅事情	定年退職	子との同居・近居	子との同居・近居



統計表

※ 設問項目は実際の設問文を省略して掲載している。

統計表

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	生活全般平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	3.8	23.1	23.5	24.4	14.3	1.3	9.6	2.8
県央広域振興圏	100.0	4.0	25.4	22.9	24.7	12.9	0.9	9.2	2.81
県南広域振興圏	100.0	3.9	20.9	23.3	23.9	15.1	1.9	11.0	2.71
沿岸広域振興圏	100.0	3.4	24.4	25.8	23.1	14.0	0.6	8.7	2.77
県北広域振興圏	100.0	3.3	21.2	22.8	26.8	17.0	1.7	7.2	2.64
男性	100.0	3.8	21.5	24.4	26.8	13.3	1.0	9.2	2.72
女性	100.0	3.7	24.5	23.1	22.9	14.9	1.5	9.4	2.76
20～29歳	100.0	6.8	20.3	22.4	24.9	12.9	0.7	12.0	2.79
30～39歳	100.0	3.1	18.5	25.6	25.8	14.0	1.5	11.5	2.68
40～49歳	100.0	2.7	22.2	19.7	27.6	16.7	1.3	9.8	2.61
50～59歳	100.0	3.4	21.1	22.4	29.0	16.6	0.7	6.8	2.60
60～69歳	100.0	3.0	24.9	25.7	24.8	12.8	0.9	7.9	2.77
70歳以上	100.0	4.6	26.4	24.6	18.5	13.1	2.3	10.5	2.90

統計表

問2 「いわて県計画」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」に関連する1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。

(1) 産業・雇用 ～「産業創造県いわての実現」～

1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	42.0	27.1	15.1	4.5	2.2	7.3	1.8	4.1
県央広域振興圏	100.0	40.6	28.2	16.9	3.9	2.9	6.7	0.8	4.1
県南広域振興圏	100.0	42.6	26.4	14.0	5.1	1.6	7.8	2.5	4.2
沿岸広域振興圏	100.0	43.4	27.3	14.6	4.0	2.1	7.2	1.4	4.2
県北広域振興圏	100.0	43.5	24.6	13.5	5.3	1.8	7.8	3.5	4.2
男性	100.0	44.7	31.0	12.7	3.9	2.4	4.3	1.0	4.2
女性	100.0	40.7	24.8	16.9	4.9	1.8	9.2	1.7	4.1
20～29歳	100.0	37.8	34.2	12.5	5.2	3.7	6.6	0.0	4.1
30～39歳	100.0	41.3	27.7	19.8	4.7	2.2	4.0	0.3	4.1
40～49歳	100.0	45.0	30.9	15.1	4.9	1.1	3.0	0.0	4.2
50～59歳	100.0	46.1	31.5	12.8	4.6	1.0	3.7	0.3	4.2
60～69歳	100.0	45.8	26.5	14.0	4.0	2.2	6.1	1.4	4.2
70歳以上	100.0	36.3	20.6	16.9	4.4	2.8	15.0	4.0	4.0

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数									
全体	100.0	0.9	10.6	36.5	24.2	15.9	9.8	2.1	2.5	1.6
県央広域振興圏	100.0	1.0	9.6	37.8	26.6	13.1	10.4	1.5	2.5	1.5
県南広域振興圏	100.0	1.2	12.1	36.3	21.7	15.9	10.1	2.7	2.6	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	0.4	11.5	35.1	25.6	18.0	7.6	1.8	2.5	1.7
県北広域振興圏	100.0	0.8	7.4	33.1	23.0	23.3	9.2	3.2	2.3	1.9
男性	100.0	1.2	12.5	32.4	28.7	18.4	5.7	1.1	2.5	1.7
女性	100.0	0.8	9.1	39.7	21.5	14.2	12.6	2.1	2.5	1.6
20～29歳	100.0	0.8	12.6	41.8	21.8	11.4	11.6	0.0	2.7	1.4
30～39歳	100.0	0.3	9.0	41.6	24.5	16.9	7.2	0.5	2.5	1.6
40～49歳	100.0	0.5	9.4	38.7	29.4	14.8	6.8	0.4	2.5	1.7
50～59歳	100.0	0.5	8.0	34.5	27.9	22.3	5.7	1.1	2.3	1.9
60～69歳	100.0	1.1	11.1	35.5	27.0	15.1	9.2	1.0	2.5	1.7
70歳以上	100.0	1.9	12.8	34.0	17.0	13.7	15.8	4.8	2.6	1.4

問2(1)2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	46.2	25.9	14.4	2.3	1.3	7.9	2.0	4.3
県央広域振興圏	100.0	46.3	27.5	13.8	1.9	1.3	8.0	1.2	4.3
県南広域振興圏	100.0	45.2	25.8	14.9	2.4	1.4	7.9	2.4	4.2
沿岸広域振興圏	100.0	45.7	24.4	15.0	3.3	1.3	8.0	2.3	4.2
県北広域振興圏	100.0	49.0	22.7	14.1	2.2	1.1	7.9	3.0	4.3
男性	100.0	48.8	27.0	13.5	2.3	1.8	5.6	1.0	4.3
女性	100.0	44.9	25.6	15.0	2.4	0.9	9.3	1.9	4.3
20～29歳	100.0	51.4	27.7	13.3	1.7	1.6	4.3	0.0	4.3
30～39歳	100.0	44.0	31.7	16.3	3.4	0.8	3.6	0.2	4.2
40～49歳	100.0	48.4	31.2	12.5	3.2	0.5	4.1	0.1	4.3
50～59歳	100.0	51.2	28.3	12.1	2.0	1.3	4.5	0.6	4.3
60～69歳	100.0	48.1	25.4	14.6	1.3	1.2	8.0	1.4	4.3
70歳以上	100.0	39.8	19.4	16.6	2.8	1.9	15.4	4.1	4.1

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数									
全体	100.0	0.8	7.1	35.0	25.1	16.6	12.7	2.7	2.4	1.8
県央広域振興圏	100.0	0.7	6.7	36.4	27.8	14.1	12.7	1.6	2.4	1.8
県南広域振興圏	100.0	0.9	7.3	34.6	23.7	16.7	13.3	3.5	2.4	1.8
沿岸広域振興圏	100.0	0.9	8.3	33.7	24.7	18.7	10.9	2.8	2.4	1.8
県北広域振興圏	100.0	0.5	6.1	33.4	21.1	23.0	12.7	3.2	2.3	2.0
男性	100.0	0.7	6.9	34.4	29.0	19.7	8.1	1.2	2.3	1.9
女性	100.0	0.7	7.2	35.8	22.9	14.9	15.7	2.8	2.5	1.8
20～29歳	100.0	1.3	6.1	38.2	28.3	16.9	9.0	0.2	2.4	1.9
30～39歳	100.0	0.2	6.1	39.3	30.2	15.1	8.6	0.5	2.4	1.8
40～49歳	100.0	0.5	5.6	36.7	31.4	14.5	11.2	0.1	2.4	1.9
50～59歳	100.0	0.3	5.4	34.2	28.1	21.8	8.7	1.5	2.3	2.1
60～69歳	100.0	0.4	6.8	34.7	23.9	19.6	13.3	1.3	2.4	1.9
70歳以上	100.0	1.5	10.3	32.6	18.2	12.9	18.5	6.0	2.6	1.6

問2(1)3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	38.4	29.3	16.3	4.4	1.6	7.9	2.1	4.1
県央広域振興圏	100.0	39.4	30.7	15.4	3.0	1.7	8.3	1.5	4.1
県南広域振興圏	100.0	36.3	27.9	17.9	5.3	1.8	8.4	2.4	4.0
沿岸広域振興圏	100.0	39.0	30.6	16.2	4.6	1.4	5.8	2.4	4.1
県北広域振興圏	100.0	41.2	27.5	13.9	5.5	1.0	7.6	3.3	4.2
男性	100.0	39.0	32.6	16.4	4.5	1.8	4.7	1.0	4.1
女性	100.0	38.3	27.5	16.4	4.3	1.4	10.0	2.1	4.1
20～29歳	100.0	36.4	32.2	16.6	6.0	2.7	5.6	0.5	4.0
30～39歳	100.0	37.9	29.6	19.9	7.0	1.4	3.7	0.5	4.0
40～49歳	100.0	42.8	28.7	18.4	4.6	1.0	4.4	0.1	4.1
50～59歳	100.0	40.4	33.7	16.5	3.4	1.1	4.1	0.8	4.1
60～69歳	100.0	41.1	30.9	14.1	3.5	1.1	8.2	1.1	4.2
70歳以上	100.0	33.0	25.3	15.8	4.2	2.3	14.7	4.7	4.0

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数									
全体	100.0	1.2	15.5	39.1	18.7	10.3	12.1	3.1	2.7	1.4
県央広域振興圏	100.0	0.9	17.7	39.9	19.5	7.9	12.0	2.1	2.8	1.3
県南広域振興圏	100.0	1.1	13.8	39.3	17.3	11.9	12.8	3.8	2.7	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	1.9	16.5	38.3	19.9	10.3	9.8	3.3	2.8	1.3
県北広域振興圏	100.0	1.7	12.1	37.3	18.8	13.6	13.0	3.5	2.6	1.5
男性	100.0	0.8	12.7	40.7	24.1	13.2	7.1	1.4	2.6	1.5
女性	100.0	1.4	17.6	38.8	15.1	8.4	15.4	3.3	2.9	1.3
20～29歳	100.0	3.0	21.5	42.4	13.0	7.5	12.1	0.5	3.0	1.0
30～39歳	100.0	1.0	14.0	45.4	19.6	8.8	10.3	0.9	2.8	1.3
40～49歳	100.0	0.7	16.2	47.0	18.5	8.2	8.9	0.5	2.8	1.3
50～59歳	100.0	0.6	13.5	41.1	20.6	15.0	7.6	1.6	2.6	1.5
60～69歳	100.0	0.7	17.2	36.5	21.6	10.8	11.3	1.9	2.7	1.5
70歳以上	100.0	1.9	14.2	32.8	16.6	9.4	18.7	6.4	2.8	1.3

問2(1)4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	35.8	30.6	17.5	4.8	2.2	6.9	2.2	4.0
県央広域振興圏	100.0	37.8	30.3	17.2	4.2	2.2	7.0	1.3	4.1
県南広域振興圏	100.0	33.1	31.6	17.5	5.8	2.1	7.2	2.7	4.0
沿岸広域振興圏	100.0	37.5	29.8	17.7	4.0	2.5	6.2	2.3	4.1
県北広域振興圏	100.0	35.2	29.2	18.6	4.5	2.2	6.9	3.4	4.0
男性	100.0	35.5	31.7	19.1	5.5	3.0	4.0	1.2	4.0
女性	100.0	36.4	30.5	16.5	4.2	1.6	8.7	2.1	4.1
20～29歳	100.0	42.4	30.0	15.9	4.8	2.3	4.6	0.0	4.1
30～39歳	100.0	35.2	35.4	18.4	3.8	3.6	2.8	0.8	4.0
40～49歳	100.0	40.0	32.8	17.5	5.4	1.4	2.9	0.0	4.1
50～59歳	100.0	35.2	34.9	19.3	4.3	1.8	3.5	1.0	4.0
60～69歳	100.0	38.4	28.9	17.2	5.2	1.6	7.2	1.5	4.1
70歳以上	100.0	30.5	26.8	16.9	4.7	3.0	13.8	4.3	3.9

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数									
全体	100.0	1.4	15.4	37.6	21.0	12.4	9.4	2.8	2.7	1.3
県央広域振興圏	100.0									

統計表

問2(1)7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	21.8	27.1	23.8	9.4	4.6	11.3	2.0	3.6
県央広域振興圏	100.0	23.8	30.4	21.7	9.5	4.3	9.3	1.0	3.7
県南広域振興圏	100.0	20.2	24.1	24.8	10.0	5.3	12.9	2.7	3.5
沿岸広域振興圏	100.0	21.8	27.4	26.7	6.8	3.8	11.4	2.1	3.7
県北広域振興圏	100.0	20.5	24.9	23.0	11.6	4.2	12.4	3.4	3.5
男性	100.0	24.8	30.3	22.5	9.4	5.2	6.7	1.1	3.7
女性	100.0	19.9	25.4	25.0	9.6	4.0	14.3	1.8	3.6
20～29歳	100.0	24.3	25.4	26.1	10.7	6.9	6.6	0.0	3.5
30～39歳	100.0	20.5	28.4	27.0	12.2	6.5	5.1	0.3	3.5
40～49歳	100.0	21.0	27.3	27.3	12.4	4.0	8.0	0.0	3.5
50～59歳	100.0	18.4	28.8	29.4	10.6	3.9	8.5	0.4	3.5
60～69歳	100.0	21.4	29.8	22.2	8.9	3.4	13.0	1.3	3.7
70歳以上	100.0	25.6	24.2	17.6	5.9	4.7	17.5	4.5	3.8

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	0.7	6.7	44.3	12.6	7.7	25.0	3.0	2.7	0.9
県央広域振興圏	100.0	0.9	8.1	45.4	14.3	7.5	21.7	2.1	2.7	0.9
県南広域振興圏	100.0	0.6	6.6	43.3	11.3	7.2	27.2	3.8	2.7	0.8
沿岸広域振興圏	100.0	0.6	4.6	45.9	11.7	7.9	26.6	2.7	2.7	1.0
県北広域振興圏	100.0	0.8	4.8	42.4	12.0	9.8	26.1	4.1	2.6	0.9
男性	100.0	0.6	6.9	46.5	16.8	10.1	17.8	1.3	2.6	1.0
女性	100.0	0.9	6.4	43.4	9.8	6.0	30.2	3.3	2.8	0.8
20～29歳	100.0	1.5	7.2	45.2	12.9	7.0	25.4	0.8	2.8	0.7
30～39歳	100.0	0.5	4.0	54.3	11.0	9.0	20.9	0.3	2.7	0.8
40～49歳	100.0	0.9	5.9	50.0	10.2	8.1	24.3	0.6	2.8	0.7
50～59歳	100.0	0.4	5.2	49.3	14.2	7.7	22.1	1.1	2.7	0.8
60～69歳	100.0	0.7	7.1	41.3	15.2	8.2	25.4	2.1	2.7	1.0
70歳以上	100.0	0.8	8.8	37.0	11.4	6.7	28.8	6.5	2.8	1.0

問2(1)8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	68.7	16.9	6.3	1.1	1.3	4.0	1.7	4.6
県央広域振興圏	100.0	70.3	17.1	6.2	1.0	1.5	2.8	1.1	4.6
県南広域振興圏	100.0	68.5	15.8	6.0	1.2	1.3	4.9	2.3	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	64.5	19.9	7.7	0.9	1.0	4.7	1.3	4.6
県北広域振興圏	100.0	70.1	15.8	5.3	1.5	1.0	3.6	2.7	4.6
男性	100.0	67.9	19.1	7.2	1.2	1.1	2.7	0.8	4.6
女性	100.0	69.9	15.7	5.5	1.1	1.3	4.9	1.6	4.6
20～29歳	100.0	72.2	14.8	7.3	2.8	2.5	0.4	0.0	4.5
30～39歳	100.0	69.4	20.8	6.3	0.8	0.5	2.2	0.0	4.6
40～49歳	100.0	75.1	17.4	4.4	0.6	0.7	1.8	0.0	4.7
50～59歳	100.0	74.6	17.1	4.9	0.6	0.5	1.7	0.6	4.7
60～69歳	100.0	67.8	18.6	6.1	0.9	1.2	4.0	1.4	4.6
70歳以上	100.0	61.6	14.6	7.9	1.6	2.0	8.9	3.4	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	1.8	6.5	24.2	26.3	30.1	8.3	2.8	2.1	2.5
県央広域振興圏	100.0	1.5	5.2	25.5	28.1	30.6	7.2	1.9	2.1	2.5
県南広域振興圏	100.0	2.3	7.3	23.1	25.4	29.1	9.0	3.8	2.2	2.4
沿岸広域振興圏	100.0	1.6	7.8	25.6	26.6	26.9	8.9	2.6	2.2	2.3
県北広域振興圏	100.0	1.4	5.7	20.5	22.4	37.9	9.0	3.1	2.0	2.7
男性	100.0	1.8	5.8	24.3	29.1	31.8	5.6	1.6	2.1	2.5
女性	100.0	1.8	6.9	23.9	24.8	29.5	10.4	2.7	2.2	2.5
20～29歳	100.0	1.0	7.1	27.0	26.8	30.9	7.2	0.0	2.1	2.4
30～39歳	100.0	0.6	3.6	28.3	25.0	34.7	7.5	0.3	2.0	2.6
40～49歳	100.0	1.0	5.0	25.2	28.2	34.1	5.6	0.9	2.0	2.6
50～59歳	100.0	1.4	3.4	18.4	30.5	39.5	5.8	1.0	1.9	2.8
60～69歳	100.0	1.1	8.1	23.8	28.5	29.0	8.1	1.4	2.2	2.4
70歳以上	100.0	4.1	9.0	25.3	21.4	21.0	12.8	6.4	2.4	2.1

問2(2)農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～
9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	44.7	24.5	12.9	2.8	1.2	12.1	1.8	4.3
県央広域振興圏	100.0	46.2	24.2	11.7	3.2	1.7	11.7	1.3	4.3
県南広域振興圏	100.0	43.6	24.0	13.3	2.4	0.8	13.4	2.5	4.3
沿岸広域振興圏	100.0	43.4	26.7	14.7	3.0	1.4	9.5	1.3	4.2
県北広域振興圏	100.0	45.4	24.4	13.2	1.8	0.6	12.5	2.1	4.3
男性	100.0	47.2	28.4	12.3	2.8	1.5	6.9	0.9	4.3
女性	100.0	43.3	22.2	13.5	2.7	1.1	15.5	1.7	4.3
20～29歳	100.0	41.5	24.8	17.3	5.0	2.3	9.1	0.0	4.1
30～39歳	100.0	40.8	30.1	16.7	5.0	1.8	5.6	0.0	4.1
40～49歳	100.0	44.0	30.2	13.9	2.7	0.6	8.5	0.1	4.2
50～59歳	100.0	48.5	27.0	12.7	1.8	0.8	9.0	0.2	4.3
60～69歳	100.0	50.6	21.7	10.3	2.6	0.5	13.1	1.2	4.4
70歳以上	100.0	40.0	20.3	12.6	2.1	2.2	18.8	4.0	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	0.8	4.9	29.3	22.4	20.3	19.6	2.7	2.3	2.0
県央広域振興圏	100.0	0.7	6.2	27.7	24.8	19.2	19.6	1.8	2.3	2.0
県南広域振興圏	100.0	0.7	4.3	29.4	20.2	21.4	20.6	3.4	2.2	2.0
沿岸広域振興圏	100.0	1.5	4.1	32.5	22.0	20.4	16.6	2.9	2.3	1.9
県北広域振興圏	100.0	0.3	3.0	30.8	22.6	20.5	19.9	2.9	2.2	2.1
男性	100.0	0.8	5.0	28.9	27.3	24.5	12.0	1.5	2.2	2.1
女性	100.0	0.8	4.7	29.6	19.3	17.8	25.1	2.7	2.3	1.9
20～29歳	100.0	1.4	4.4	33.3	23.0	16.6	21.3	0.0	2.4	1.7
30～39歳	100.0	0.0	3.2	39.6	22.1	14.9	19.4	0.8	2.4	1.7
40～49歳	100.0	0.8	3.6	34.3	23.3	19.0	18.8	0.2	2.3	1.9
50～59歳	100.0	0.5	2.9	29.4	25.7	25.2	15.4	0.9	2.1	2.2
60～69歳	100.0	0.5	5.0	25.0	24.1	24.0	20.1	1.3	2.2	2.2
70歳以上	100.0	1.5	7.7	25.5	18.3	18.3	22.6	6.1	2.4	1.8

問2(2)10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	34.5	31.2	16.4	2.4	1.2	11.9	2.4	4.1
県央広域振興圏	100.0	36.8	31.4	15.4	2.4	1.2	11.2	1.6	4.1
県南広域振興圏	100.0	33.3	30.9	16.1	2.5	1.2	12.8	3.2	4.1
沿岸広域振興圏	100.0	32.2	34.0	17.8	2.1	1.3	10.3	2.3	4.1
県北広域振興圏	100.0	33.3	27.1	19.7	2.4	0.8	14.1	2.6	4.1
男性	100.0	34.7	37.1	16.0	2.1	1.9	6.9	1.3	4.1
女性	100.0	34.6	27.6	17.0	2.6	0.6	15.3	2.3	4.1
20～29歳	100.0	24.8	38.7	20.3	2.6	2.3	11.3	0.0	3.9
30～39歳	100.0	31.2	31.4	23.1	3.4	1.4	8.8	0.7	4.0
40～49歳	100.0	36.0	35.2	19.5	2.0	0.6	6.5	0.2	4.1
50～59歳	100.0	38.4	35.4	14.6	2.1	0.7	8.1	0.7	4.2
60～69歳	100.0	38.4	31.7	13.6	2.3	0.6	12.0	1.4	4.2
70歳以上	100.0	31.7	24.0	15.3	2.5	2.1	19.1	5.3	4.1

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-		
全体	100.0	0.9	8.4	40.1	17.1	10.1	20.5	2.9	2.6	1.5
県央広域振興圏	100.0	1.2	10.2	40.0	18.1	7.8	20.7	2.0	2.7	1.4
県南広域振興圏	100.0	0.9	8.0	39.0	15.5	11.9	20.9	3.8	2.6	1.5
沿岸広域振興圏	100.0	0.4	6.2	42.7	19.1	10.7	18.0			

統計表

問2(2)13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	45.9	25.4	13.0	2.0	1.1	10.5	2.1	4.3
県央広域振興圏	100.0	47.9	26.2	12.0	1.5	1.2	10.0	1.2	4.3
県南広域振興圏	100.0	44.7	24.6	13.0	2.3	1.2	11.0	3.2	4.3
沿岸広域振興圏	100.0	44.1	27.3	14.3	2.1	1.0	9.6	1.6	4.3
県北広域振興圏	100.0	47.5	21.7	14.4	1.8	0.9	11.6	2.1	4.3
男性	100.0	43.3	30.1	14.7	2.5	2.0	6.3	1.1	4.2
女性	100.0	48.4	22.4	11.8	1.6	0.6	13.3	1.9	4.4
20～29歳	100.0	43.8	27.7	12.9	2.5	2.3	10.8	0.0	4.2
30～39歳	100.0	43.6	28.9	15.5	4.2	1.4	5.7	0.7	4.2
40～49歳	100.0	48.6	31.4	12.3	1.5	1.0	5.2	0.0	4.3
50～59歳	100.0	49.5	27.0	12.9	1.4	1.1	7.7	0.4	4.3
60～69歳	100.0	49.7	25.8	11.2	1.5	0.8	9.8	1.2	4.4
70歳以上	100.0	41.0	18.8	14.2	2.0	1.2	18.2	4.6	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	1.2	8.2	38.9	16.4	10.6	22.2	2.5	2.6	1.7
県央広域振興圏	100.0	1.3	9.2	38.8	17.1	8.9	23.2	1.5	2.7	1.6
県南広域振興圏	100.0	1.4	8.2	38.1	15.1	11.2	22.5	3.5	2.6	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	1.0	7.1	40.6	17.6	12.2	18.8	2.7	2.6	1.7
県北広域振興圏	100.0	0.8	6.6	37.6	17.2	12.1	23.2	2.5	2.6	1.8
男性	100.0	1.0	9.0	42.1	18.9	12.3	15.4	1.3	2.6	1.6
女性	100.0	1.3	7.6	37.1	15.1	9.4	27.0	2.5	2.7	1.7
20～29歳	100.0	0.7	9.3	41.2	14.8	6.3	27.4	0.3	2.8	1.4
30～39歳	100.0	0.2	7.1	50.1	13.5	7.3	21.8	0.0	2.7	1.4
40～49歳	100.0	0.6	6.8	44.9	19.4	8.4	19.9	0.0	2.6	1.7
50～59歳	100.0	1.0	6.1	42.0	17.8	13.7	18.8	0.6	2.5	1.8
60～69歳	100.0	1.8	8.2	36.5	19.0	13.1	20.2	1.2	2.6	1.8
70歳以上	100.0	1.7	10.9	30.0	13.8	10.2	26.9	6.5	2.7	1.5

問2(3) 医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～

14 必要な医療を適切に受けられること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	83.4	10.4	2.3	0.4	0.3	0.9	2.3	4.8
県央広域振興圏	100.0	85.3	9.4	2.3	0.2	0.5	0.4	1.9	4.8
県南広域振興圏	100.0	81.7	11.7	2.1	0.5	0.2	1.0	2.8	4.8
沿岸広域振興圏	100.0	82.0	11.0	2.8	0.4	0.2	1.5	2.1	4.8
県北広域振興圏	100.0	83.8	8.1	2.7	1.0	0.5	1.4	2.5	4.8
男性	100.0	82.4	11.9	2.6	0.6	0.3	0.6	1.6	4.8
女性	100.0	84.9	9.5	2.1	0.3	0.2	1.0	2.0	4.8
20～29歳	100.0	89.0	7.6	2.1	0.0	0.7	0.6	0.0	4.8
30～39歳	100.0	86.6	11.5	0.7	0.9	0.0	0.0	0.3	4.9
40～49歳	100.0	86.9	10.2	1.9	0.2	0.0	0.2	0.6	4.9
50～59歳	100.0	85.8	10.2	1.8	0.2	0.1	0.4	1.5	4.8
60～69歳	100.0	83.5	11.2	2.4	0.5	0.3	0.5	1.6	4.8
70歳以上	100.0	78.1	10.6	3.7	0.4	0.6	2.5	4.1	4.8

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	7.1	31.6	19.4	20.7	15.8	2.2	3.2	2.9	1.9
県央広域振興圏	100.0	8.7	37.5	21.7	18.5	9.1	2.0	2.5	3.2	1.6
県南広域振興圏	100.0	6.4	29.2	18.6	21.2	17.9	2.7	4.0	2.8	2.0
沿岸広域振興圏	100.0	5.4	25.3	17.1	23.9	23.7	1.5	3.1	2.6	2.2
県北広域振興圏	100.0	6.2	27.0	17.6	22.4	20.9	2.3	3.6	2.7	2.1
男性	100.0	5.7	32.4	20.2	22.6	15.0	1.6	2.5	2.9	1.9
女性	100.0	7.9	31.0	19.1	19.8	16.7	2.6	2.9	2.9	1.9
20～29歳	100.0	8.0	32.2	24.2	18.2	13.0	4.2	0.2	3.0	1.8
30～39歳	100.0	2.9	27.7	23.6	26.6	17.8	1.1	0.3	2.7	2.1
40～49歳	100.0	5.5	28.3	20.4	22.6	20.1	2.2	0.9	2.8	2.1
50～59歳	100.0	4.3	23.3	23.7	23.7	21.7	1.3	2.0	2.6	2.2
60～69歳	100.0	5.9	35.0	16.4	23.1	15.5	2.1	2.0	2.9	1.9
70歳以上	100.0	12.6	37.7	15.8	14.5	9.8	2.7	6.9	3.3	1.5

問2(3)15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	56.9	28.4	7.9	2.3	0.7	1.3	2.5	4.4
県央広域振興圏	100.0	59.3	27.8	6.7	2.4	0.8	0.9	2.1	4.5
県南広域振興圏	100.0	55.8	27.9	8.5	2.4	0.8	1.7	2.9	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	53.9	31.3	8.5	1.8	0.6	1.4	2.5	4.4
県北広域振興圏	100.0	56.8	28.0	8.9	2.0	0.7	1.1	2.5	4.4
男性	100.0	50.3	34.5	9.3	2.3	1.1	0.8	1.7	4.3
女性	100.0	61.8	24.6	7.2	2.3	0.5	1.5	2.1	4.5
20～29歳	100.0	64.1	24.7	9.1	0.5	0.5	1.1	0.0	4.5
30～39歳	100.0	56.8	29.7	7.7	3.6	1.2	0.7	0.3	4.4
40～49歳	100.0	53.0	33.3	8.4	3.1	1.1	0.5	0.6	4.3
50～59歳	100.0	53.4	31.3	8.7	3.5	0.7	0.7	1.7	4.4
60～69歳	100.0	57.3	29.5	8.2	1.5	0.5	1.4	1.6	4.5
70歳以上	100.0	60.3	23.7	7.0	1.6	0.6	2.2	4.6	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	5.5	28.9	34.3	15.2	7.7	4.7	3.7	3.1	1.3
県央広域振興圏	100.0	6.2	31.7	34.5	14.4	5.7	4.9	2.6	3.2	1.3
県南広域振興圏	100.0	5.1	27.2	34.8	15.2	8.6	4.2	4.9	3.1	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	3.7	27.3	33.5	17.7	9.8	4.6	3.4	3.0	1.4
県北広域振興圏	100.0	7.2	27.5	32.6	14.3	8.7	6.4	3.3	3.1	1.3
男性	100.0	4.1	27.0	38.2	16.1	7.9	4.4	2.3	3.0	1.3
女性	100.0	6.3	30.5	32.3	14.7	7.7	4.9	3.6	3.1	1.4
20～29歳	100.0	6.0	29.3	35.0	15.1	6.2	8.4	0.0	3.2	1.4
30～39歳	100.0	1.9	23.9	39.2	17.8	9.3	6.7	1.2	2.9	1.5
40～49歳	100.0	3.6	25.0	40.4	17.5	8.4	4.2	0.9	3.0	1.4
50～59歳	100.0	3.8	22.9	41.1	15.8	10.1	4.2	2.1	2.9	1.4
60～69歳	100.0	4.3	33.8	31.8	15.6	7.9	4.2	2.4	3.1	1.3
70歳以上	100.0	10.1	34.0	26.2	12.5	5.6	3.9	7.7	3.3	1.2

問2(3)16 安心して子どもを産み育てられ、子育てがしやすい環境であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	72.5	13.2	6.2	1.1	0.9	3.1	3.0	4.7
県央広域振興圏	100.0	74.0	13.4	5.7	1.2	1.0	2.5	2.2	4.7
県南広域振興圏	100.0	71.7	12.5	6.6	1.1	0.6	3.7	3.8	4.7
沿岸広域振興圏	100.0	70.5	14.4	6.9	0.7	1.2	3.3	3.0	4.6
県北広域振興圏	100.0	73.8	13.5	5.1	1.4	0.5	3.1	2.6	4.7
男性	100.0	71.0	16.2	6.0	0.9	1.0	3.0	1.9	4.6
女性	100.0	74.3	11.4	6.4	1.2	0.8	3.2	2.7	4.7
20～29歳	100.0	83.7	9.7	3.7	0.8	1.0	0.6	0.5	4.8
30～39歳	100.0	82.8	12.1	2.1	0.2	0.5	1.7	0.6	4.8
40～49歳	100.0	77.9	12.3	6.3	0.8	0.7	1.4	0.6	4.7
50～59歳	100.0	72.7	15.0	6.1	1.9	0.8	1.9	1.6	4.6
60～69歳	100.0	70.9	15.3	6.4	1.3	0.7	3.2	2.2	4.6
70歳以上	100.0	64.4	12.8	8.6	1.0	1.3	6.4	5.5	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二一ズ度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	3.1	15.5	28.5	21.6	18.6	8.9	3.8	2.6	2.1
県央広域振興圏	100.0	3.7	17.1	30.6	21.1	16.4	8.7	2.4	2.7	2.0
県南広域振興圏	100.0	2.3	15.1	26.8	22.4	19.8	8.6	5.0	2.5	2.1
沿岸広域振興圏	100.0	3.1	11.9	28.7	22.7	19.9	9.4	4.3	2.5	2.1
県北広域振興圏	100.0	3.6	16.3	27.9	18.3	20.5	10.0	3.4	2.6	2.1
男性	100.0	2.9	14.2	28.9	24.3	19.4	8.0	2.3	2.5	2.1
女性	100.0	3.0	16.5	28.9	19.9	18.5	9.5	3.7	2.6	2.1
20～29歳	100.0	3.4	15.5	24.4	21.8	22.0	12.9	0.0	2.5	2.3
30～39歳	100.0	1.8	14.2	21.8	22.6	31.0	8.3	0.3	2.3	2.5
40～49歳	100.0	2.5	19.3	28.4	23.9	19.7	5.1	1.1	2.6	2.1
50～59歳	100.0	1.4	12.2	31.6	26.3	19.1	7.2	2.2	2.5	2.2
60～69歳	100.0	2.1	17.2	30.6	22.0	17.9	7.6	2.6	2.6	2.0
70歳以上	100.0	5.6	14.7	29.6	16.4	13.2	12.6	7.9	2.8	1.8

問2(3)17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	1								

統計表

問2(4)19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。

Table with 10 columns: 重要度, 合計, 重要である, やや重要である, どちらともいえない, あまり重要でない, 重要ではない, わからない, 不明, 重要度平均. Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

Table with 13 columns: 満足度, 合計, 満足できる状態, やや満足できる状態, どちらともいえない, やや不満足な状態, 不満な状態, わからない, 不明, 満足度平均, 差引(二一ズ度). Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

問2(4)20 交通事故が少ない社会であること。

Table with 10 columns: 重要度, 合計, 重要である, やや重要である, どちらともいえない, あまり重要でない, 重要ではない, わからない, 不明, 重要度平均. Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

Table with 13 columns: 満足度, 合計, 満足できる状態, やや満足できる状態, どちらともいえない, やや不満足な状態, 不満な状態, わからない, 不明, 満足度平均, 差引(二一ズ度). Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

問2(4)21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。

Table with 10 columns: 重要度, 合計, 重要である, やや重要である, どちらともいえない, あまり重要でない, 重要ではない, わからない, 不明, 重要度平均. Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

Table with 13 columns: 満足度, 合計, 満足できる状態, やや満足できる状態, どちらともいえない, やや不満足な状態, 不満な状態, わからない, 不明, 満足度平均, 差引(二一ズ度). Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

問2(4)22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。

Table with 10 columns: 重要度, 合計, 重要である, やや重要である, どちらともいえない, あまり重要でない, 重要ではない, わからない, 不明, 重要度平均. Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

Table with 13 columns: 満足度, 合計, 満足できる状態, やや満足できる状態, どちらともいえない, やや不満足な状態, 不満な状態, わからない, 不明, 満足度平均, 差引(二一ズ度). Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

問2(4)23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。

Table with 10 columns: 重要度, 合計, 重要である, やや重要である, どちらともいえない, あまり重要でない, 重要ではない, わからない, 不明, 重要度平均. Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

Table with 13 columns: 満足度, 合計, 満足できる状態, やや満足できる状態, どちらともいえない, やや不満足な状態, 不満な状態, わからない, 不明, 満足度平均, 差引(二一ズ度). Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

問2(4)24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。

Table with 10 columns: 重要度, 合計, 重要である, やや重要である, どちらともいえない, あまり重要でない, 重要ではない, わからない, 不明, 重要度平均. Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

Table with 13 columns: 満足度, 合計, 満足できる状態, やや満足できる状態, どちらともいえない, やや不満足な状態, 不満な状態, わからない, 不明, 満足度平均, 差引(二一ズ度). Rows include 全体, 県央広域振興圏, 県南広域振興圏, 沿岸広域振興圏, 県北広域振興圏, 男性, 女性, 20~29歳, 30~39歳, 40~49歳, 50~59歳, 60~69歳, 70歳以上.

統計表

問2(4)25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	43.9	29.5	16.1	2.0	1.0	5.2	2.3	4.2
県央広域振興圏	100.0	43.6	30.6	16.3	1.9	1.3	4.9	1.4	4.2
県南広域振興圏	100.0	42.5	29.1	16.7	2.0	1.0	5.5	3.2	4.2
沿岸広域振興圏	100.0	45.5	29.0	15.5	2.2	0.6	4.9	2.3	4.3
県北広域振興圏	100.0	47.0	28.1	14.7	2.4	0.3	5.7	1.8	4.3
男性	100.0	38.6	33.6	19.4	2.1	1.3	3.9	1.1	4.1
女性	100.0	47.7	27.2	14.2	1.9	0.8	6.0	2.2	4.3
20～29歳	100.0	37.1	32.9	23.4	0.5	2.7	3.2	0.2	4.1
30～39歳	100.0	38.8	32.6	22.0	2.5	0.9	2.3	0.9	4.1
40～49歳	100.0	43.7	32.0	18.7	2.5	1.1	1.8	0.2	4.2
50～59歳	100.0	40.1	34.4	16.9	2.7	0.8	4.1	1.0	4.2
60～69歳	100.0	45.4	31.9	13.2	1.9	0.3	5.5	1.8	4.3
70歳以上	100.0	49.6	21.1	12.9	1.4	1.3	9.6	4.1	4.4

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(一尺度)
	点数									
全体	100.0	2.3	17.2	47.3	10.9	4.7	14.7	2.9	3.0	1.2
県央広域振興圏	100.0	2.3	16.0	49.3	9.8	4.6	16.1	1.9	3.0	1.2
県南広域振興圏	100.0	1.7	18.1	46.5	11.8	4.7	13.1	4.1	3.0	1.2
沿岸広域振興圏	100.0	2.8	17.2	46.4	11.9	4.8	14.5	2.4	3.0	1.2
県北広域振興圏	100.0	3.7	18.1	45.0	9.8	4.9	16.2	2.3	3.1	1.2
男性	100.0	2.0	16.4	50.8	13.6	4.7	11.2	1.3	3.0	1.2
女性	100.0	2.5	17.8	45.6	9.2	4.6	17.3	3.0	3.1	1.2
20～29歳	100.0	2.9	12.9	46.8	13.1	4.8	19.5	0.0	3.0	1.1
30～39歳	100.0	0.5	14.8	53.5	10.5	3.7	16.0	1.0	3.0	1.1
40～49歳	100.0	1.9	18.2	53.3	10.3	3.1	12.1	1.1	3.1	1.1
50～59歳	100.0	1.6	13.8	53.1	11.0	5.6	13.5	1.4	2.9	1.2
60～69歳	100.0	2.4	17.4	46.3	13.2	4.5	14.4	1.8	3.0	1.3
70歳以上	100.0	3.7	21.2	39.2	9.2	5.3	15.9	5.5	3.1	1.3

問2(4)26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	40.9	30.3	17.9	2.7	1.0	5.0	2.2	4.2
県央広域振興圏	100.0	43.2	31.5	17.0	1.8	1.2	4.0	1.3	4.2
県南広域振興圏	100.0	38.4	30.3	18.6	3.4	1.0	5.3	3.0	4.1
沿岸広域振興圏	100.0	40.6	29.1	18.4	2.9	1.0	5.8	2.2	4.2
県北広域振興圏	100.0	42.4	28.1	17.3	3.5	0.5	6.1	2.1	4.2
男性	100.0	36.6	33.7	20.5	3.3	1.6	3.2	1.1	4.1
女性	100.0	44.4	28.3	16.5	2.2	0.7	6.0	1.9	4.2
20～29歳	100.0	49.3	31.4	12.3	0.9	2.0	4.1	0.0	4.3
30～39歳	100.0	46.7	28.3	19.1	3.1	1.2	1.1	0.5	4.2
40～49歳	100.0	42.3	32.9	19.5	3.2	0.5	1.4	0.2	4.1
50～59歳	100.0	36.9	34.9	18.8	3.3	1.4	3.6	1.1	4.1
60～69歳	100.0	37.9	31.3	20.5	3.3	0.5	5.0	1.5	4.1
70歳以上	100.0	41.3	26.2	16.0	1.5	1.3	9.7	4.0	4.2

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(一尺度)
	点数									
全体	100.0	2.1	11.0	47.4	15.6	8.2	12.9	2.8	2.8	1.4
県央広域振興圏	100.0	2.1	10.6	45.8	17.9	8.9	13.1	1.6	2.8	1.4
県南広域振興圏	100.0	2.1	11.6	48.1	14.7	7.5	12.1	3.9	2.8	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	2.5	11.4	49.3	12.2	7.7	14.1	2.8	2.9	1.3
県北広域振興圏	100.0	1.8	9.8	46.9	15.5	9.1	14.0	2.9	2.8	1.4
男性	100.0	1.9	11.0	51.2	18.5	6.6	9.6	1.2	2.8	1.2
女性	100.0	2.2	11.1	45.6	13.7	9.3	15.3	2.8	2.8	1.4
20～29歳	100.0	3.3	14.4	37.0	18.3	12.3	14.7	0.0	2.7	1.6
30～39歳	100.0	1.1	7.1	52.5	19.6	12.2	7.0	0.5	2.6	1.6
40～49歳	100.0	1.7	11.0	52.7	16.0	7.6	10.2	0.8	2.8	1.3
50～59歳	100.0	0.5	7.9	52.3	18.3	8.6	11.0	1.4	2.7	1.4
60～69歳	100.0	1.3	10.3	48.8	16.4	7.7	13.9	1.6	2.8	1.3
70歳以上	100.0	4.4	15.0	41.6	10.7	5.8	16.9	5.6	3.0	1.2

問2(5) 教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	53.2	25.1	10.9	2.1	0.9	5.7	2.1	4.4
県央広域振興圏	100.0	52.5	27.4	10.0	2.0	1.4	5.4	1.3	4.4
県南広域振興圏	100.0	52.0	24.9	11.8	2.2	0.7	5.4	3.0	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	55.8	23.2	10.8	1.8	0.7	5.9	1.8	4.4
県北広域振興圏	100.0	56.9	19.8	10.7	2.5	0.5	7.6	2.0	4.4
男性	100.0	49.6	29.7	11.8	2.3	1.5	4.2	0.9	4.3
女性	100.0	56.2	22.3	10.3	1.9	0.5	6.7	2.1	4.5
20～29歳	100.0	54.6	28.9	10.0	1.3	1.0	4.2	0.0	4.4
30～39歳	100.0	48.1	30.2	13.7	3.6	1.4	2.1	0.9	4.3
40～49歳	100.0	60.3	26.2	8.8	2.3	0.8	1.4	0.2	4.5
50～59歳	100.0	45.7	31.2	14.5	2.7	0.5	4.2	1.2	4.3
60～69歳	100.0	54.0	25.2	10.1	2.0	0.7	6.8	1.2	4.4
70歳以上	100.0	56.7	17.3	9.5	1.2	1.1	10.3	3.9	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(一尺度)
	点数									
全体	100.0	3.0	20.4	39.3	12.3	6.1	16.2	2.7	3.0	1.4
県央広域振興圏	100.0	2.6	21.1	38.8	13.0	6.8	16.1	1.6	3.0	1.4
県南広域振興圏	100.0	2.7	20.4	39.7	12.6	5.5	15.3	3.8	3.0	1.3
沿岸広域振興圏	100.0	4.1	18.0	42.0	10.0	6.4	17.0	2.5	3.0	1.4
県北広域振興圏	100.0	3.7	21.3	36.8	11.8	4.9	19.0	2.5	3.1	1.4
男性	100.0	2.1	20.2	42.9	14.4	7.0	12.3	1.1	3.0	1.4
女性	100.0	3.5	20.6	37.4	11.0	5.4	19.2	2.9	3.1	1.4
20～29歳	100.0	3.5	15.4	43.0	12.2	8.5	17.4	0.0	2.9	1.5
30～39歳	100.0	1.2	16.6	44.7	15.7	6.6	14.2	1.0	2.9	1.4
40～49歳	100.0	4.3	23.0	40.2	13.8	7.7	10.6	0.4	3.0	1.4
50～59歳	100.0	1.1	16.9	43.2	15.5	7.3	14.0	2.0	2.9	1.4
60～69歳	100.0	2.0	22.4	38.8	11.3	5.0	18.5	2.0	3.1	1.4
70歳以上	100.0	4.7	22.7	34.6	9.0	4.3	20.0	4.7	3.2	1.3

問2(5)28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数								
全体	100.0	52.1	25.1	11.3	1.3	0.8	6.9	2.5	4.4
県央広域振興圏	100.0	53.8	25.4	10.7	1.1	1.1	6.2	1.7	4.4
県南広域振興圏	100.0	49.5	25.5	11.9	1.6	0.6	7.6	3.3	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	51.8	25.7	12.1	1.0	0.6	6.2	2.6	4.4
県北広域振興圏	100.0	55.9	21.3	10.2	1.4	0.7	8.1	2.4	4.5
男性	100.0	49.5	29.1	12.6	1.3	1.1	5.3	1.1	4.3
女性	100.0	54.4	22.8	10.5	1.4	0.5	7.9	2.5	4.5
20～29歳	100.0	52.9	30.2	11.5	1.0	1.2	3.2	0.0	4.4
30～39歳	100.0	55.4	25.5	13.6	1.9	0.9	2.2	0.5	4.4
40～49歳	100.0	60.8	24.6	10.4	1.1	0.2	2.7	0.2	4.5
50～59歳	100.0	45.5	31.1	14.3	1.9	0.9	4.8	1.5	4.3
60～69歳	100.0	49.8	27.6	10.4	1.7	0.6	8.1	1.8	4.4
70歳以上	100.0	52.8	18.0	9.9	0.6	0.9	12.9	4.9	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(一尺度)
	点数									
全体	100.0	3.1	17.1	39.8	12.7	6.1	18.3	2.9	3.0	1.4
県央広域振興圏	100.0	2.7	17.3	40.5	12.7	7.3	18.1	1.4	2.9	

統計表

問2(5)31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。

Table with 10 columns: 重要度 (重要度), 合計 (合計), 重要である (重要である), やや重要である (やや重要である), どちらともいえない (どちらともいえない), あまり重要でない (あまり重要でない), 重要ではない (重要ではない), わからない (わからない), 不明 (不明), 重要度平均 (重要度平均). Rows include 全体 (全体) and various regional categories (e.g., 県央広域振興圏).

Table with 13 columns: 満足度 (満足度), 合計 (合計), 満足できる状態 (満足できる状態), やや満足できる状態 (やや満足できる状態), どちらともいえない (どちらともいえない), やや不満な状態 (やや不満な状態), 不満な状態 (不満な状態), わからない (わからない), 不明 (不明), 満足度平均 (満足度平均), 差引(二尺度) (差引(二尺度)). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

問2(5)32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。

Table with 10 columns: 重要度 (重要度), 合計 (合計), 重要である (重要である), やや重要である (やや重要である), どちらともいえない (どちらともいえない), あまり重要でない (あまり重要でない), 重要ではない (重要ではない), わからない (わからない), 不明 (不明), 重要度平均 (重要度平均). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

Table with 13 columns: 満足度 (満足度), 合計 (合計), 満足できる状態 (満足できる状態), やや満足できる状態 (やや満足できる状態), どちらともいえない (どちらともいえない), やや不満な状態 (やや不満な状態), 不満な状態 (不満な状態), わからない (わからない), 不明 (不明), 満足度平均 (満足度平均), 差引(二尺度) (差引(二尺度)). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

問2(5)33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。

Table with 10 columns: 重要度 (重要度), 合計 (合計), 重要である (重要である), やや重要である (やや重要である), どちらともいえない (どちらともいえない), あまり重要でない (あまり重要でない), 重要ではない (重要ではない), わからない (わからない), 不明 (不明), 重要度平均 (重要度平均). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

Table with 13 columns: 満足度 (満足度), 合計 (合計), 満足できる状態 (満足できる状態), やや満足できる状態 (やや満足できる状態), どちらともいえない (どちらともいえない), やや不満な状態 (やや不満な状態), 不満な状態 (不満な状態), わからない (わからない), 不明 (不明), 満足度平均 (満足度平均), 差引(二尺度) (差引(二尺度)). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

問2(5)34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を育てるような取組がされていること。

Table with 10 columns: 重要度 (重要度), 合計 (合計), 重要である (重要である), やや重要である (やや重要である), どちらともいえない (どちらともいえない), あまり重要でない (あまり重要でない), 重要ではない (重要ではない), わからない (わからない), 不明 (不明), 重要度平均 (重要度平均). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

Table with 13 columns: 満足度 (満足度), 合計 (合計), 満足できる状態 (満足できる状態), やや満足できる状態 (やや満足できる状態), どちらともいえない (どちらともいえない), やや不満な状態 (やや不満な状態), 不満な状態 (不満な状態), わからない (わからない), 不明 (不明), 満足度平均 (満足度平均), 差引(二尺度) (差引(二尺度)). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

問2(5)35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。

Table with 10 columns: 重要度 (重要度), 合計 (合計), 重要である (重要である), やや重要である (やや重要である), どちらともいえない (どちらともいえない), あまり重要でない (あまり重要でない), 重要ではない (重要ではない), わからない (わからない), 不明 (不明), 重要度平均 (重要度平均). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

Table with 13 columns: 満足度 (満足度), 合計 (合計), 満足できる状態 (満足できる状態), やや満足できる状態 (やや満足できる状態), どちらともいえない (どちらともいえない), やや不満な状態 (やや不満な状態), 不満な状態 (不満な状態), わからない (わからない), 不明 (不明), 満足度平均 (満足度平均), 差引(二尺度) (差引(二尺度)). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

問2(5)36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。

Table with 10 columns: 重要度 (重要度), 合計 (合計), 重要である (重要である), やや重要である (やや重要である), どちらともいえない (どちらともいえない), あまり重要でない (あまり重要でない), 重要ではない (重要ではない), わからない (わからない), 不明 (不明), 重要度平均 (重要度平均). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

Table with 13 columns: 満足度 (満足度), 合計 (合計), 満足できる状態 (満足できる状態), やや満足できる状態 (やや満足できる状態), どちらともいえない (どちらともいえない), やや不満な状態 (やや不満な状態), 不満な状態 (不満な状態), わからない (わからない), 不明 (不明), 満足度平均 (満足度平均), 差引(二尺度) (差引(二尺度)). Rows include 全体 (全体) and various regional categories.

統計表

問2(5)37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	35.3	30.2	18.5	5.2	2.4	5.0	3.4	4.0
県央広域振興圏	100.0	37.3	30.4	17.5	5.5	2.8	3.9	2.6	4.0
県南広域振興圏	100.0	32.6	31.0	18.9	5.2	2.5	5.7	4.1	4.0
沿岸広域振興圏	100.0	37.7	28.2	19.4	4.6	1.8	4.8	3.5	4.0
県北広域振興圏	100.0	35.0	29.2	19.4	5.2	1.6	6.3	3.3	4.0
男性	100.0	33.0	32.0	20.6	5.8	3.7	2.9	2.0	3.9
女性	100.0	37.3	29.5	17.3	4.9	1.5	6.3	3.2	4.1
20～29歳	100.0	32.5	28.2	22.6	8.9	4.8	2.8	0.2	3.8
30～39歳	100.0	30.4	28.9	23.8	8.6	5.8	1.7	0.8	3.7
40～49歳	100.0	33.6	33.0	21.6	6.3	2.3	2.8	0.4	3.9
50～59歳	100.0	32.3	33.3	21.2	7.0	2.3	2.6	1.3	3.9
60～69歳	100.0	35.7	32.6	17.9	4.6	1.4	5.6	2.2	4.0
70歳以上	100.0	41.7	26.2	12.4	1.7	1.3	9.2	7.5	4.3

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	6.0	24.5	39.5	9.1	4.0	12.9	4.0	3.2	0.8
県央広域振興圏	100.0	5.9	26.9	38.2	10.0	4.8	11.6	2.6	3.2	0.8
県南広域振興圏	100.0	6.4	23.1	39.4	9.0	3.4	13.7	5.0	3.2	0.7
沿岸広域振興圏	100.0	5.2	24.7	38.9	8.4	4.3	13.7	4.8	3.2	0.8
県北広域振興圏	100.0	6.4	20.4	45.7	7.5	2.6	13.6	3.8	3.2	0.8
男性	100.0	4.7	24.9	41.5	12.7	5.4	8.5	2.3	3.1	0.8
女性	100.0	6.8	24.5	38.7	6.9	3.0	15.9	4.2	3.3	0.7
20～29歳	100.0	6.0	26.3	38.7	10.2	5.6	13.0	0.2	3.2	0.6
30～39歳	100.0	6.8	21.3	44.7	8.7	5.4	12.0	1.1	3.2	0.6
40～49歳	100.0	4.9	24.3	46.4	9.6	3.7	10.1	1.0	3.2	0.7
50～59歳	100.0	4.7	20.9	46.5	11.2	4.2	10.1	2.4	3.1	0.8
60～69歳	100.0	6.0	26.7	37.8	8.6	3.4	15.1	2.4	3.3	0.8
70歳以上	100.0	7.3	26.7	30.7	8.2	3.6	14.9	8.6	3.3	0.9

問2(6) 環境 ～「環境王国いわて」の実現～

38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組が各地域で活発に行われていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	55.2	22.9	11.1	1.4	0.9	5.9	2.6	4.4
県央広域振興圏	100.0	55.7	24.3	10.3	1.0	1.4	5.5	1.8	4.4
県南広域振興圏	100.0	54.4	21.7	11.8	1.7	0.8	6.4	3.2	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	56.0	23.0	11.6	1.4	0.3	5.4	2.3	4.4
県北広域振興圏	100.0	54.3	22.6	11.1	1.8	0.2	6.0	4.0	4.4
男性	100.0	51.1	27.8	12.1	1.7	1.6	4.1	1.6	4.3
女性	100.0	58.7	19.9	10.6	1.1	0.3	7.0	2.4	4.5
20～29歳	100.0	42.6	35.3	11.1	2.2	3.1	5.5	0.2	4.2
30～39歳	100.0	51.0	25.5	15.4	2.7	1.5	2.9	1.0	4.3
40～49歳	100.0	57.3	24.6	12.8	1.3	0.8	2.8	0.4	4.4
50～59歳	100.0	57.4	24.5	11.6	1.2	0.5	3.7	1.1	4.4
60～69歳	100.0	59.4	23.1	8.5	0.6	0.3	6.3	1.8	4.5
70歳以上	100.0	55.3	16.6	10.8	1.3	0.6	10.3	5.1	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	3.0	15.9	41.2	15.8	7.3	13.8	3.0	2.9	1.5
県央広域振興圏	100.0	3.0	16.1	41.1	17.3	6.9	13.9	1.7	2.9	1.5
県南広域振興圏	100.0	3.1	16.2	40.6	15.3	7.3	13.8	3.7	2.9	1.5
沿岸広域振興圏	100.0	2.9	15.3	41.0	15.6	8.7	13.1	3.4	2.9	1.6
県北広域振興圏	100.0	2.2	15.5	44.3	12.3	6.7	14.5	4.5	2.9	1.5
男性	100.0	2.2	16.4	40.6	20.0	8.8	10.2	1.8	2.8	1.5
女性	100.0	3.5	15.6	42.1	13.3	6.4	16.2	2.9	3.0	1.5
20～29歳	100.0	2.4	10.1	47.6	16.6	5.3	17.8	0.2	2.9	1.4
30～39歳	100.0	0.6	11.9	49.5	17.6	7.1	12.3	1.0	2.8	1.5
40～49歳	100.0	3.7	14.0	45.4	16.5	7.7	12.3	0.4	2.9	1.5
50～59歳	100.0	2.2	12.0	43.3	20.8	8.6	11.7	1.4	2.8	1.7
60～69歳	100.0	1.8	17.8	39.5	17.3	8.1	13.3	2.2	2.9	1.7
70歳以上	100.0	5.2	21.9	34.0	10.5	6.3	16.0	6.1	3.1	1.4

問2(6)39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	58.6	27.1	8.0	1.1	0.8	1.9	2.5	4.5
県央広域振興圏	100.0	58.3	28.8	7.9	0.8	1.3	1.5	1.4	4.5
県南広域振興圏	100.0	57.5	26.7	8.0	1.7	0.6	2.3	3.2	4.5
沿岸広域振興圏	100.0	60.9	25.8	8.0	1.0	0.4	1.7	2.2	4.5
県北広域振興圏	100.0	60.7	23.6	8.7	0.6	0.7	1.9	3.8	4.5
男性	100.0	51.4	33.1	9.7	1.2	1.6	1.4	1.6	4.4
女性	100.0	64.2	23.4	6.9	1.1	0.2	2.2	2.0	4.6
20～29歳	100.0	45.2	38.2	9.6	1.3	2.3	3.2	0.2	4.3
30～39歳	100.0	53.0	25.6	14.5	3.7	1.3	1.4	0.5	4.3
40～49歳	100.0	58.0	29.7	10.0	0.9	1.1	0.0	0.3	4.4
50～59歳	100.0	59.8	30.0	6.2	1.7	0.2	1.0	1.1	4.5
60～69歳	100.0	61.6	27.1	7.1	0.6	0.5	1.6	1.5	4.5
70歳以上	100.0	62.6	21.8	6.1	0.3	0.6	3.7	4.9	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	10.5	43.2	23.9	10.9	4.5	4.2	2.8	3.5	1.0
県央広域振興圏	100.0	9.9	42.0	25.4	12.5	4.5	4.0	1.7	3.4	1.0
県南広域振興圏	100.0	11.3	44.6	22.5	9.6	4.0	4.4	3.6	3.5	0.9
沿岸広域振興圏	100.0	11.2	43.0	24.0	9.4	5.8	4.2	2.4	3.5	1.1
県北広域振興圏	100.0	8.7	42.0	23.8	12.4	4.4	4.2	4.5	3.4	1.1
男性	100.0	7.6	43.4	26.8	12.0	4.7	3.8	1.7	3.4	1.0
女性	100.0	12.4	43.3	22.3	10.5	4.5	4.6	2.4	3.5	1.0
20～29歳	100.0	7.1	36.1	27.6	15.0	5.0	8.7	0.5	3.3	1.0
30～39歳	100.0	5.2	36.5	33.9	12.6	6.9	4.1	0.8	3.2	1.1
40～49歳	100.0	8.3	41.6	31.7	11.6	3.9	2.4	0.5	3.4	1.0
50～59歳	100.0	7.0	42.5	24.7	14.5	6.3	3.7	1.3	3.3	1.2
60～69歳	100.0	11.6	46.7	21.8	10.2	4.5	3.6	1.6	3.5	1.0
70歳以上	100.0	16.2	47.1	16.1	7.2	2.6	5.2	5.6	3.8	0.8

問2(6)40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動物を大切にしながら生活していること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	b
全体	100.0	63.7	23.1	7.3	0.5	0.5	2.4	2.5	4.6
県央広域振興圏	100.0	65.6	22.3	7.4	0.7	0.8	1.6	1.6	4.6
県南広域振興圏	100.0	62.4	24.1	6.2	0.3	0.4	3.2	3.4	4.6
沿岸広域振興圏	100.0	61.9	24.0	8.9	0.9	0.1	2.3	1.9	4.5
県北広域振興圏	100.0	64.1	20.8	8.5	0.3	0.0	2.8	3.5	4.6
男性	100.0	61.6	27.3	6.8	0.6	0.6	1.6	1.5	4.5
女性	100.0	65.8	20.6	7.7	0.5	0.3	3.0	2.1	4.6
20～29歳	100.0	65.3	23.7	5.4	0.3	2.1	3.0	0.2	4.6
30～39歳	100.0	64.8	24.2	8.1	0.7	0.3	1.4	0.5	4.6
40～49歳	100.0	67.8	24.0	6.9	0.2	0.6	0.2	0.3	4.6
50～59歳	100.0	66.0	24.7	6.5	0.6	0.0	1.1	1.1	4.6
60～69歳	100.0	61.9	24.5	8.4	0.4	0.1	3.3	1.4	4.5
70歳以上	100.0	61.1	20.7	7.5	0.9	0.4	4.2	5.2	4.6

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	6.4	31.0	33.9	12.4	6.3	7.2	2.8	3.2	1.4
県央広域振興圏	100.0	7.3	31.9	35.0	12.1	5.5	6.5	1.7	3.3	1.3
県南広域振興圏	100.0	5.7	30.9	33.0	12.3	6.8	7.7	3.6	3.2	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	6.0	29.9	33.5	13.3	7.8	6.9	2.6	3.1	1.4
県北広域振興圏	100.0	6.6	29.4	34.1	12.1	5.0	8.5	4.3	3.2	1.4
男性	100.0	5.0	33.5	33.6	13.7	6.8	5.6	1.8	3.2	1.4
女性	100.0	7.4	29.4	34.4	11.7	6.1	8.4	2.6	3.2	1.4
20～29歳	100.0	4.6	30.1	35.7	14.9	5.6	8.9	0.2	3.1	1.4
30～39歳	100.0	5.3	25.5	40.5	12.2	8.8	6.9	0.8	3.1	1.5
40～49歳	100.0	5.7	31.0	36.2	14.3	6.7	5.7	0.4	3.2	1.4
50～59歳	100.0	4.9	27.2	36.7	16.2	8.2	5.7	1.1	3.0	1.6
60～69歳	100.0	5.6	33.0	32.9	11.5	6.3	8.9	1.8	3.2	1.3
70歳以上	100.0	9.5	35.0	28.9	9.0	4.2	7.3	6.1	3.4	1.1

問2(7) 社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～

41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0		

統計表

問2(7)43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	58.8	26.4	8.8	1.0	0.5	2.6	1.9	4.5
県央広域振興圏	100.0	64.3	24.0	7.3	0.8	0.6	2.0	1.0	4.6
県南広域振興圏	100.0	53.6	29.3	9.6	1.2	0.5	3.0	2.8	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	59.0	25.5	9.3	1.2	0.5	3.1	1.4	4.5
県北広域振興圏	100.0	58.3	25.1	10.7	0.6	0.2	2.9	2.2	4.5
男性	100.0	53.3	32.2	10.2	1.5	1.0	1.3	0.5	4.4
女性	100.0	63.5	22.8	7.8	0.7	0.1	3.4	1.7	4.6
20～29歳	100.0	60.0	29.6	7.2	0.9	1.6	0.7	0.0	4.5
30～39歳	100.0	60.1	29.3	7.7	1.0	0.7	1.2	0.0	4.5
40～49歳	100.0	62.1	26.5	8.4	0.8	0.6	1.3	0.3	4.5
50～59歳	100.0	60.1	28.0	8.9	1.0	0.3	1.0	0.7	4.5
60～69歳	100.0	57.6	28.6	8.5	1.2	0.4	2.9	0.8	4.5
70歳以上	100.0	57.8	22.0	10.1	1.0	0.1	5.3	3.7	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	3.0	18.3	32.7	22.9	14.0	6.4	2.7	2.7	1.8
県央広域振興圏	100.0	3.2	20.0	31.3	26.0	12.9	5.4	1.2	2.7	1.8
県南広域振興圏	100.0	3.2	19.2	33.9	20.9	11.7	7.0	4.1	2.8	1.6
沿岸広域振興圏	100.0	2.3	13.2	32.4	21.8	20.7	7.0	2.6	2.5	2.0
県北広域振興圏	100.0	2.7	16.4	34.6	20.0	16.6	6.8	2.9	2.7	1.8
男性	100.0	2.9	19.5	35.8	24.5	12.9	3.4	1.0	2.7	1.6
女性	100.0	3.0	17.6	31.1	22.2	15.0	8.4	2.7	2.7	1.9
20～29歳	100.0	3.4	19.2	36.8	23.6	9.1	7.4	0.5	2.8	1.6
30～39歳	100.0	1.9	13.1	41.9	22.8	14.5	5.6	0.2	2.6	1.8
40～49歳	100.0	1.9	17.5	36.3	24.0	15.6	4.4	0.3	2.6	1.9
50～59歳	100.0	1.1	14.9	35.2	26.3	17.4	3.8	1.3	2.5	2.0
60～69歳	100.0	2.7	20.2	29.8	24.7	14.2	7.1	1.3	2.7	1.8
70歳以上	100.0	5.6	22.0	27.2	18.8	12.0	8.7	5.7	2.9	1.6

問2(7)44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	48.0	29.8	13.6	1.5	0.5	4.3	2.3	4.3
県央広域振興圏	100.0	51.3	30.0	12.4	1.3	0.7	3.1	1.2	4.4
県南広域振興圏	100.0	44.5	30.8	14.2	1.7	0.4	4.9	3.5	4.3
沿岸広域振興圏	100.0	48.0	27.3	15.2	1.7	0.5	5.4	1.9	4.3
県北広域振興圏	100.0	49.1	28.8	13.3	1.6	0.3	4.7	2.2	4.3
男性	100.0	45.5	33.8	15.5	1.8	0.7	1.8	0.9	4.3
女性	100.0	50.3	27.5	12.6	1.3	0.3	5.9	2.1	4.4
20～29歳	100.0	45.6	36.1	15.6	0.8	1.6	0.3	0.0	4.3
30～39歳	100.0	50.9	30.7	13.3	2.0	0.0	2.3	0.8	4.3
40～49歳	100.0	49.9	33.2	12.2	1.6	0.0	2.6	0.5	4.4
50～59歳	100.0	49.2	34.1	11.9	1.2	0.6	2.3	0.7	4.3
60～69歳	100.0	48.3	29.7	14.6	1.5	0.7	4.2	1.0	4.3
70歳以上	100.0	46.3	23.5	15.2	1.7	0.4	8.5	4.4	4.3

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	2.9	19.0	36.3	17.3	10.1	11.4	3.0	2.9	1.5
県央広域振興圏	100.0	3.8	20.4	37.6	18.1	8.4	10.0	1.7	2.9	1.4
県南広域振興圏	100.0	2.6	19.9	34.7	16.5	9.5	12.5	4.3	2.9	1.4
沿岸広域振興圏	100.0	2.6	13.7	35.4	18.3	15.3	11.8	2.9	2.6	1.7
県北広域振興圏	100.0	1.7	18.5	39.8	15.6	10.0	11.5	2.9	2.8	1.5
男性	100.0	2.7	21.1	38.2	19.6	10.3	6.8	1.3	2.9	1.4
女性	100.0	3.0	17.9	35.4	16.0	10.1	14.5	3.1	2.9	1.5
20～29歳	100.0	5.2	16.9	44.2	18.0	5.9	9.3	0.5	3.0	1.3
30～39歳	100.0	1.8	17.3	39.4	17.3	14.7	9.3	0.2	2.7	1.6
40～49歳	100.0	2.7	21.1	39.1	19.5	9.5	7.4	0.7	2.9	1.5
50～59歳	100.0	1.3	18.1	37.2	19.9	12.4	9.9	1.2	2.7	1.6
60～69歳	100.0	1.8	19.3	37.3	16.5	10.3	12.9	1.9	2.8	1.5
70歳以上	100.0	5.0	20.3	30.0	15.2	8.2	14.8	6.5	3.0	1.3

問2(7)45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	57.2	26.6	8.9	2.4	0.6	2.4	1.9	4.4
県央広域振興圏	100.0	60.0	26.2	8.0	1.9	0.5	2.0	1.4	4.5
県南広域振興圏	100.0	52.4	29.1	9.7	2.9	0.6	2.8	2.5	4.4
沿岸広域振興圏	100.0	61.6	23.3	8.1	2.4	0.7	2.5	1.4	4.5
県北広域振興圏	100.0	58.1	23.8	10.8	1.8	0.8	2.7	2.0	4.4
男性	100.0	53.8	30.5	10.0	2.3	0.9	1.7	0.8	4.4
女性	100.0	60.2	24.4	8.1	2.3	0.4	3.0	1.6	4.5
20～29歳	100.0	60.3	26.8	7.4	3.2	1.0	1.1	0.2	4.5
30～39歳	100.0	55.1	29.3	9.0	3.5	1.0	2.1	0.0	4.4
40～49歳	100.0	57.5	27.3	10.7	2.2	1.1	1.1	0.1	4.4
50～59歳	100.0	58.7	29.1	8.8	1.2	0.3	0.8	1.1	4.5
60～69歳	100.0	54.3	29.9	9.7	2.3	0.1	2.4	1.3	4.4
70歳以上	100.0	59.6	21.5	7.5	2.6	0.8	4.9	3.1	4.5

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	5.6	22.6	26.8	19.5	18.0	5.5	2.0	2.8	1.7
県央広域振興圏	100.0	7.1	28.1	26.9	18.4	13.4	5.1	1.0	3.0	1.5
県南広域振興圏	100.0	5.3	21.1	26.1	19.8	18.7	6.2	2.8	2.7	1.7
沿岸広域振興圏	100.0	3.6	15.4	26.4	21.1	26.7	5.0	1.8	2.4	2.0
県北広域振興圏	100.0	4.6	19.5	28.9	20.4	18.7	5.1	2.8	2.7	1.8
男性	100.0	4.4	24.0	27.6	20.3	19.2	3.9	0.6	2.7	1.6
女性	100.0	6.4	21.9	26.1	19.3	17.6	6.7	2.0	2.8	1.7
20～29歳	100.0	6.8	19.1	20.9	26.2	21.5	5.3	0.2	2.6	1.8
30～39歳	100.0	3.5	15.1	27.5	24.5	24.4	5.0	0.0	2.5	1.9
40～49歳	100.0	5.9	18.8	29.1	19.3	23.0	3.8	0.1	2.6	1.8
50～59歳	100.0	3.5	19.4	26.9	25.4	20.9	2.9	1.0	2.6	1.9
60～69歳	100.0	5.3	25.6	30.3	16.0	14.9	6.6	1.3	2.9	1.5
70歳以上	100.0	7.7	29.4	23.5	15.0	13.1	7.6	3.7	3.0	1.5

問2(7)46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。

重要度	合計	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	不明	重要度平均
	点数	5	4	3	2	1	0	-	
全体	100.0	34.5	32.6	18.4	4.5	2.3	5.4	2.3	4.0
県央広域振興圏	100.0	34.2	34.1	18.1	5.2	2.3	4.6	1.5	4.0
県南広域振興圏	100.0	33.3	33.2	17.7	4.5	2.5	5.8	3.0	4.0
沿岸広域振興圏	100.0	37.3	29.9	19.4	3.5	1.8	6.1	2.0	4.1
県北広域振興圏	100.0	36.8	27.9	21.4	3.2	2.5	5.2	3.0	4.0
男性	100.0	33.5	37.2	18.3	4.5	2.4	3.2	0.9	4.0
女性	100.0	35.7	29.8	18.8	4.5	2.2	6.9	2.1	4.0
20～29歳	100.0	55.6	32.1	8.0	1.7	1.3	1.1	0.2	4.4
30～39歳	100.0	44.8	32.2	14.7	6.4	0.3	1.6	0.0	4.2
40～49歳	100.0	39.9	32.9	18.7	4.9	2.0	1.4	0.2	4.1
50～59歳	100.0	31.9	36.4	19.6	6.5	2.3	2.0	1.3	3.9
60～69歳	100.0	26.8	34.5	23.0	5.3	2.5	6.5	1.4	3.9
70歳以上	100.0	30.5	29.2	18.3	2.0	3.5	12.1	4.4	4.0

満足度	合計	満足できる状態	やや満足できる状態	どちらともいえない	やや不満な状態	不満な状態	わからない	不明	満足度平均	差引(二尺度)
	点数	5	4	3	2	1	0	-	a	b-a
全体	100.0	5.7	24.6	38.0	10.0	5.8	13.3	2.6	3.2	0.8
県央広域振興圏	100.0	5.9	27.8	37.5	9.6	5.1	12.7	1.4	3.2	0.8
県南広域振興圏	100.0	5.7	24.4	37.0	10.2	5.9	13.2	3.6	3.2	0.8
沿岸広域振興圏	100.0	5.8	19.1	39.7	10.9	7.2	14.6	2.7	3.1	1.0
県北広域振興圏	100.0	5.0	21.5	40.8	9.4	6.2	14.0	3.1	3.1	0.9
男性										

統計表

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担についてお伺いします。
あなたは、大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

区分	合計	知っている	知らない	不明
全体	100.0	56.8	40.3	2.9
県央広域振興圏	100.0	60.6	36.8	2.6
県南広域振興圏	100.0	56.9	39.8	3.3
沿岸広域振興圏	100.0	52.3	45.4	2.3
県北広域振興圏	100.0	48.9	47.5	3.6
男性	100.0	54.6	43.7	1.7
女性	100.0	59.1	38.1	2.8
20～29歳	100.0	42.8	56.4	0.8
30～39歳	100.0	50.4	48.3	1.3
40～49歳	100.0	52.8	46.2	1.0
50～59歳	100.0	62.9	34.9	2.2
60～69歳	100.0	64.3	33.0	2.7
70歳以上	100.0	56.4	39.9	3.7

問3-2 災害への対応についてお伺いします。
(1) あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。

区分	合計	準備している	特に準備していない	不明
全体	100.0	36.7	60.1	3.2
県央広域振興圏	100.0	34.2	63.1	2.7
県南広域振興圏	100.0	36.1	60.3	3.6
沿岸広域振興圏	100.0	47.0	50.2	2.8
県北広域振興圏	100.0	31.2	64.8	4.0
男性	100.0	36.7	61.4	1.9
女性	100.0	37.0	60.0	3.0
20～29歳	100.0	28.5	71.3	0.2
30～39歳	100.0	38.4	60.3	1.3
40～49歳	100.0	41.8	57.3	0.9
50～59歳	100.0	41.4	56.5	2.1
60～69歳	100.0	38.2	59.2	2.6
70歳以上	100.0	31.4	63.3	5.3

問3-2 (2) (1)で「1. 準備している」と回答した方にお聞きします。
準備している内容すべてに○印を付けてください。

区分	全体	①家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している	②地域で実施される防災訓練に年1回以上参加している	③家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している	④家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的な対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている	⑤地域の自主防災組織に加入している	⑥家具などの転倒防止措置を行っている	⑦自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている	⑧その他	不明
全体		41.5	26.6	78.8	32.9	18.0	49.5	20.5	2.3	0.2
県央広域振興圏		40.7	22.8	80.8	33.0	13.0	48.1	22.4	2.9	0.0
県南広域振興圏		37.5	25.8	77.7	27.0	21.7	55.2	21.5	1.3	0.0
沿岸広域振興圏		49.1	33.4	77.7	42.9	21.3	41.8	16.3	2.6	1.0
県北広域振興圏		45.1	29.8	78.1	34.9	14.0	47.9	18.0	3.8	0.0
男性		41.6	30.6	76.0	29.9	23.7	51.9	23.8	1.4	0.0
女性		40.6	23.5	81.0	34.5	13.7	47.5	17.8	2.7	0.3
20～29歳		26.3	17.7	73.8	23.5	4.4	43.3	26.7	0.0	0.0
30～39歳		23.4	8.7	82.1	28.1	5.4	46.9	19.8	2.7	0.4
40～49歳		32.2	19.3	78.3	30.1	10.3	48.7	17.2	0.6	0.0
50～59歳		41.0	22.8	80.4	27.3	16.1	45.5	19.2	2.4	0.0
60～69歳		46.1	33.5	79.7	37.6	25.1	50.4	20.2	2.0	0.2
70歳以上		55.6	39.4	76.5	39.2	27.7	54.7	22.8	3.6	0.5

問3-3 家事関連時間についてお伺いします(夫婦世帯のみ回答)。

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

区分	合計	夫婦二人とも仕事を持っている	夫のみ持っている	妻のみ持っている	どちらも持っていない
全体	100.0	47.5	21.6	5.2	25.7
県央広域振興圏	100.0	47.8	23.2	3.2	25.8
県南広域振興圏	100.0	48.2	21.7	5.8	24.3
沿岸広域振興圏	100.0	42.5	20.0	8.4	29.1
県北広域振興圏	100.0	51.2	16.8	5.9	26.1
20～29歳	100.0	63.4	34.8	1.8	0.0
30～39歳	100.0	70.9	26.7	0.6	1.8
40～49歳	100.0	75.0	22.7	0.7	1.6
50～59歳	100.0	69.3	23.5	3.7	3.5
60～69歳	100.0	35.2	26.0	10.4	28.4
70歳以上	100.0	11.6	10.3	6.7	71.4

統計表

問3-3 (2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、一日あたりの家事労働従事時間を記入してください。(1週間の平均時間を目安にお答えください。)

ア 夫婦二人とも仕事を持っている世帯
(全体)

	夫	妻
全体	102	303
県央広域振興圏	110	319
県南広域振興圏	92	289
沿岸広域振興圏	116	276
県北広域振興圏	93	305

(夫)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	26	17	29	3	24	3
県央広域振興圏	30	19	26	3	27	5
県南広域振興圏	21	13	33	2	21	2
沿岸広域振興圏	29	20	31	6	28	2
県北広域振興圏	23	16	26	5	18	5

(妻)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	114	60	68	7	50	4
県央広域振興圏	121	65	67	8	53	5
県南広域振興圏	107	53	73	6	48	2
沿岸広域振興圏	109	59	52	5	49	2
県北広域振興圏	117	65	67	3	47	6

イ 夫のみ仕事を持っている世帯

	夫	妻
全体	82	322
県央広域振興圏	75	334
県南広域振興圏	93	328
沿岸広域振興圏	70	289
県北広域振興圏	79	309

(夫)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	21	12	16	4	23	6
県央広域振興圏	18	13	14	5	20	5
県南広域振興圏	22	12	21	2	27	9
沿岸広域振興圏	21	10	9	2	22	6
県北広域振興圏	33	8	17	4	14	3

(妻)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	117	64	71	14	50	6
県央広域振興圏	122	64	83	11	50	4
県南広域振興圏	115	62	70	20	51	10
沿岸広域振興圏	112	71	43	7	53	3
県北広域振興圏	112	67	66	13	42	9

ウ 妻のみ仕事を持っている世帯

	夫	妻
全体	94	252
県央広域振興圏	83	203
県南広域振興圏	98	288
沿岸広域振興圏	97	243
県北広域振興圏	75	215

(夫)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	32	25	3	5	24	5
県央広域振興圏	20	31	0	16	11	5
県南広域振興圏	31	20	6	2	37	2
沿岸広域振興圏	41	26	0	1	18	11
県北広域振興圏	37	24	0	1	10	3

(妻)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	102	53	12	12	49	24
県央広域振興圏	91	39	0	11	43	19
県南広域振興圏	103	51	26	19	62	27
沿岸広域振興圏	111	63	3	1	34	31
県北広域振興圏	97	65	0	10	43	0

統計表

エ 二人とも仕事を持っていない世帯

	夫	妻
全体	100	249
県央広域振興圏	94	245
県南広域振興圏	98	270
沿岸広域振興圏	110	228
県北広域振興圏	96	220

(夫)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	29	20	2	5	32	12
県央広域振興圏	28	21	1	4	28	12
県南広域振興圏	28	17	3	5	34	11
沿岸広域振興圏	32	26	0	7	33	12
県北広域振興圏	24	15	5	6	32	14

(妻)

	①食事の用意・後片付け	②掃除・洗濯	③育児	④介護・看護	⑤買い物	⑥その他
全体	113	60	4	10	51	11
県央広域振興圏	113	56	3	9	50	14
県南広域振興圏	122	68	7	11	53	9
沿岸広域振興圏	105	57	0	6	50	10
県北広域振興圏	89	51	4	18	51	7

問3-4 地球温暖化防止への対応についてお伺いします。
あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

区分	合計	だいたい行動している	ときどき行動している	ほとんど行動していない	運転しない	不明	行動者率 a+b
全体	100.0	53.5	26.8	15.1		4.6	80.3
県央広域振興圏	100.0	55.1	27.5	13.7		3.7	82.6
県南広域振興圏	100.0	52.3	26.6	16.0		5.1	78.9
沿岸広域振興圏	100.0	52.6	26.7	15.7		5.0	79.3
県北広域振興圏	100.0	53.5	25.2	15.7		5.6	78.7
男性	100.0	52.5	27.9	16.8		2.8	80.4
女性	100.0	54.8	26.7	14.1		4.4	81.5
20～29歳	100.0	45.0	30.5	22.4		2.1	75.5
30～39歳	100.0	50.1	28.6	20.1		1.2	78.7
40～49歳	100.0	54.6	28.7	16.4		0.3	83.3
50～59歳	100.0	55.8	27.5	15.1		1.6	83.3
60～69歳	100.0	54.6	28.2	13.9		3.3	82.8
70歳以上	100.0	55.4	23.2	11.7		9.7	78.6

(行動の内容)

区分	全体	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない	不明
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している(冷房時28℃以上、暖房時20℃以下)	100.0	55.2	25.7	12.9		6.2
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	100.0	70.2	21.5	4.9		3.4
③食事は残さず食べるなど生ごみを減らす	100.0	68.9	23.4	4.2		3.5
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	100.0	58.4	28.7	8.4		4.5
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	100.0	62.4	27.5	5.9		4.2
⑥洗顔や食器洗いのときに水を流したままにしない	100.0	49.1	35.5	11.2		4.2
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	100.0	13.2	19.6	61.6		5.6
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている	100.0	40.8	27.5	8.7	18.5	4.5

問3-5 ごみの減量化への対応についてお伺いします。
あなたは、ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか。

区分	合計	だいたい行動している	ときどき行動している	ほとんど行動していない	不明	行動者率 a+b
全体	100.0	39.5	35.5	20.8	4.2	75.0
県央広域振興圏	100.0	40.4	35.5	21.0	3.1	75.9
県南広域振興圏	100.0	39.1	35.7	20.1	5.1	74.8
沿岸広域振興圏	100.0	38.9	35.1	21.7	4.3	74.0
県北広域振興圏	100.0	38.7	34.6	22.0	4.7	73.3
男性	100.0	34.4	37.8	25.0	2.8	72.2
女性	100.0	43.6	34.5	18.3	3.6	78.1
20～29歳	100.0	28.0	39.7	31.4	0.9	67.7
30～39歳	100.0	34.9	36.5	27.5	1.1	71.4
40～49歳	100.0	38.6	38.6	22.4	0.4	77.2
50～59歳	100.0	41.4	37.8	19.8	1.0	79.2
60～69歳	100.0	43.0	36.5	18.2	2.3	79.5
70歳以上	100.0	41.6	30.7	18.1	9.6	72.3

(行動の内容)

区分	全体	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	不明
①買い物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している	100.0	40.2	31.1	25.2	3.5
②過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる	100.0	43.0	37.4	14.9	4.7
③コンポストなどにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている	100.0	41.7	28.9	25.5	3.9
④再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している	100.0	22.0	50.7	23.0	4.3
⑤使い捨て商品の購入を控えている	100.0	24.0	53.1	17.9	5.0
⑥リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している	100.0	54.0	32.2	9.4	4.4
⑦リサイクルショップを利用している	100.0	12.7	35.9	46.8	4.6
⑧リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)	100.0	78.5	14.3	3.9	3.3

統計表

問4-1 近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきだと思いますか(3つまで)。

	合計	結婚を支援	妊娠・出産を支援	子育てに必要な情報を提供	保育環境の整備	子育て世代的な経済的負担を軽減	若者に魅力ある企業づくり	県内企業の採用活動の支援	岩手の魅力の発信	交流・移住の体験	移住者の支援	その他	不明
全体		24.8	23.1	11.9	32.1	46.0	32.1	33.2	15.7	11.4	18.1	3.6	11.1
県央広域振興圏		22.2	21.6	12.8	35.7	48.0	33.0	34.5	16.5	11.5	18.0	4.1	9.3
県南広域振興圏		25.8	24.9	12.0	30.6	45.3	30.9	31.2	14.9	11.8	17.8	3.2	12.2
沿岸広域振興圏		26.5	23.5	11.6	29.1	42.4	33.2	32.8	16.3	11.9	17.9	4.0	12.2
県北広域振興圏		27.6	20.8	7.8	29.4	47.4	31.3	37.2	14.5	9.1	20.2	2.2	11.8
男性		27.7	21.5	11.2	29.9	53.9	32.4	31.8	14.5	12.4	19.7	4.4	8.5
女性		23.1	24.7	12.6	34.4	41.4	32.5	34.9	16.8	11.0	17.1	3.1	11.2
20～29歳		15.3	41.9	19.3	36.0	58.9	28.8	31.1	13.6	11.5	14.7	4.1	5.3
30～39歳		18.4	40.6	18.4	38.3	66.5	23.6	27.7	10.6	13.4	13.2	2.9	4.1
40～49歳		13.9	28.6	12.3	38.0	51.3	38.2	37.9	14.3	9.4	18.7	5.3	5.4
50～59歳		24.4	20.3	12.9	39.2	42.0	38.2	41.8	15.4	16.1	20.6	3.7	4.0
60～69歳		31.0	17.4	10.1	31.0	46.6	34.1	32.7	18.0	10.6	19.7	3.3	10.0
70歳以上		31.8	15.3	8.1	22.0	34.6	28.3	28.8	17.9	9.7	17.7	2.9	22.0

問4-2 ここからは、あなたの居住地についておたずねします。

(1)あなたは、5年後に居住地は異なる可能性がありますか。

	合計	大いにある a	ある程度ある b	あまりない c	まったくない	不明	可能性がある a+b+c
全体	100.0	6.6	10.0	13.7	62.8	6.9	30.3
県央広域振興圏	100.0	8.3	12.6	16.3	57.5	5.3	37.2
県南広域振興圏	100.0	4.0	8.5	12.6	67.2	7.7	25.1
沿岸広域振興圏	100.0	9.4	8.9	11.3	62.8	7.6	29.6
県北広域振興圏	100.0	5.5	8.3	11.7	66.4	8.1	25.5
男性	100.0	6.8	10.1	15.5	62.9	4.7	32.4
女性	100.0	6.5	10.3	12.4	64.1	6.7	29.2
20～29歳	100.0	20.2	26.4	26.2	24.0	3.2	72.8
30～39歳	100.0	9.8	17.8	21.1	48.4	2.9	48.7
40～49歳	100.0	8.9	12.4	21.7	54.7	2.3	43.0
50～59歳	100.0	5.7	8.5	14.1	69.1	2.6	28.3
60～69歳	100.0	3.4	8.0	8.5	75.1	5.0	19.9
70歳以上	100.0	3.6	4.4	6.6	71.8	13.6	14.6

問4-2(2) 5年後に居住地が異なる可能性がある(「大いにある」、「ある程度ある」、「あまりない」のいずれか)とお答えの方にお聞きします。

あなたが、転居予定先として考えられるのは、次のうちどれですか。

	合計	同じ市町村内	県央広域圏	県南広域圏	沿岸広域圏	県北広域圏	岩手県外	不明
全体	100.0	36.4	13.1	10.4	4.7	2.3	26.1	7.0
県央広域振興圏	100.0	35.4	20.2	6.3	3.7	2.0	27.1	5.3
県南広域振興圏	100.0	31.7	4.3	20.1	4.0	0.8	30.5	8.6
沿岸広域振興圏	100.0	48.1	11.0	6.2	10.3	0.0	15.6	8.8
県北広域振興圏	100.0	39.2	12.0	2.7	2.4	14.7	22.3	6.7
男性	100.0	34.0	13.7	10.9	4.9	2.9	27.3	6.3
女性	100.0	38.0	12.9	9.8	4.5	1.8	25.5	7.5
20～29歳	100.0	28.1	18.7	7.4	3.5	2.8	35.7	3.8
30～39歳	100.0	35.0	13.2	8.8	5.6	1.6	30.6	5.2
40～49歳	100.0	29.9	16.1	10.4	6.7	2.1	29.9	4.9
50～59歳	100.0	40.3	6.7	13.3	3.8	3.2	27.4	5.3
60～69歳	100.0	36.9	14.0	11.4	2.7	2.9	18.3	13.8
70歳以上	100.0	54.2	8.8	10.1	5.8	0.4	8.8	11.9

問4-2(3) 5年後に居住地が異なる可能性の主な理由は何ですか。

	合計	入学・進学	就職	転職	転勤	家業継承	定年退職	住宅事情	生活環境上の理由	通勤通学の便	親との同居・近居	子との同居・近居	結婚
全体	100.0	0.8	3.1	5.5	15.0	2.2	2.7	13.5	12.1	1.7	7.6	4.6	6.2
県央広域振興圏	100.0	0.5	3.3	5.5	16.8	3.2	2.7	14.2	11.1	1.9	8.7	3.2	5.9
県南広域振興圏	100.0	1.1	3.3	6.0	16.4	1.4	3.2	9.2	13.7	1.9	8.5	4.5	6.3
沿岸広域振興圏	100.0	0.9	1.6	4.1	10.2	0.4	2.4	19.1	13.0	1.2	3.1	8.4	6.9
県北広域振興圏	100.0	0.6	4.4	6.7	6.9	3.1	1.9	16.3	9.4	1.3	6.1	5.2	6.4
男性	100.0	1.1	4.6	6.3	17.7	3.2	3.8	13.6	11.1	2.4	7.1	3.0	3.9
女性	100.0	0.5	2.1	5.0	12.8	1.4	1.8	13.5	13.0	1.3	8.1	5.7	8.1
20～29歳	100.0	1.1	12.9	12.1	17.9	1.7	0.4	8.7	7.7	2.9	0.9	0.0	21.2
30～39歳	100.0	2.0	2.7	10.4	28.1	0.7	0.0	11.4	4.3	0.7	15.0	0.0	7.9
40～49歳	100.0	1.1	1.6	4.9	24.1	2.2	0.3	15.4	17.3	3.4	9.9	0.0	4.7
50～59歳	100.0	0.0	0.0	4.0	9.7	3.2	12.2	15.2	15.4	0.6	11.1	4.9	0.6
60～69歳	100.0	0.0	0.3	0.0	1.2	3.0	3.0	15.9	14.3	1.2	5.7	13.6	0.0
70歳以上	100.0	0.0	0.9	0.0	0.5	2.4	0.0	14.2	13.1	1.0	0.4	14.0	0.3
	合計	子育て環境上の理由	健康上の理由	その他	不明								
全体		2.1	6.3	6.6	10.0								
県央広域振興圏		1.6	8.2	6.2	7.0								
県南広域振興圏		2.6	3.3	5.5	13.1								
沿岸広域振興圏		1.2	5.2	10.0	12.3								
県北広域振興圏		4.5	9.6	6.5	11.1								
男性		1.9	5.2	6.7	8.4								
女性		2.2	7.1	6.4	11.0								
20～29歳		5.4	0.0	5.0	2.1								
30～39歳		4.2	1.6	4.6	6.4								
40～49歳		2.2	1.3	5.1	6.5								
50～59歳		0.0	5.2	7.9	10.0								
60～69歳		0.0	13.5	8.8	19.5								
70歳以上		0.0	23.0	9.2	21.0								

調査票

県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様のお意見を聞き入れながら、次の施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

また、同封の返信用封筒に記載の整理番号は、**回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合に、未回答の方に改めて調査への御協力をお願いする場合等に使用するもので、回答者個人の回答内容を把握する趣旨のものではありません。**

なお、この調査の結果につきましては、本年5月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページで御覧になれます。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>

お 願 い

◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください（ただし、御本人様が長期不在などでお答えできない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください）。

◆ この調査は、無記名でお願います。回答はすべて統計的に処理され、調査票は、集計後、焼却します。秘密の保護には万全を期しておりますので、**ありのままをお答えください。**

◆ お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願います。

◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**2月2日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策地域情報調査統計課 調査分析担当 吉田
TEL 019-628-5307（直通）
FAX 019-628-5309
E-mail stat@pref.iwate.jp

1 調査の目的

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画（※）」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるとともに、これと軌を一にしながら、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を描いた「**いわて県民計画**」に掲げる「希望のいわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、「**いわて県民計画**」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」を推進していくために、**県民の皆様のお意見を、次の施策に生かしていくために**行うものです。

「いわて県民計画」 岩手の未来をつくる7つの政策

- (1) 産業・雇用 ～「産業創造県いわて」の実現～
- (2) 農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- (3) 医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～
- (4) 安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- (5) 教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- (6) 環境 ～「環境王国いわて」の実現～
- (7) 社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～

※ 「岩手県東日本大震災津波復興計画」

東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるため、平成23年9月に策定した計画。沿岸地域をはじめとした岩手県全体が、東日本大震災津波を乗り越えて力強く復興するための地域の未来の設計図として、復興に向けての目指す姿や原則、まちづくりのランドデザイン、具体的取組の内容、復興への歩み等を明らかにしたもので。

2 調査結果の活用方法

県では、平成18年度から**政策評価**を本格導入し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様により満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報**として、**政策評価や施策の立案などに活用**することとしています。

3 調査の構成と記入の方法

- (1) 1ページから2ページまでは、調査についての説明です。3ページから22ページまでが、質問になっています。
- (2) 質問は、問1～問5まであります（問2から問5までは、さらにいくつかの小問に分かれています）。
- (3) 回答は、あらかじめ設けている**選択肢の裏に数字を印刷**をつけてください（この調査票の所定の欄に直接印刷ください）。
- (4) 回答は、全ての項目についてお願いたします。

記入例

ここでは、問2（P4～14）の場合を例示しています。

問2 ①が、1ページで御覧になりました「7つの政策」に関連する次の1から48までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお願います。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、**あなたの現在の暮らしによって**、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、**あなたの現在の暮らしから見て**、調査項目の状態どれくらい満足しているかをお答えください。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	いささかも重要でない	あまり重要でない	重要ではない	ある程度満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	いささかも満足できない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0

※ 「あなたの重要度」の記入例
あなたの現在の暮らしによって、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。
この例では、「重要ではない」と思う場合を例示していますので、数字の「1」に○をつけます。

※ 「あなたの満足度」の記入例
あなたの現在の暮らしから見て、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。
この例では、「やや不満足な状態にある」と思う場合を例示していますので、数字の「2」に○をつけます。

このページから調査票になります。

問1 まず最初に伺います。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。
あなたの気持ちに近いものを1つだけ選入。その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
完全に満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	なんとなく満足できる	いささかも満足できない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある
5	4	3	2	1	0

問2 次に、1ページで御覧になりました「7つの政策」に関連する次の1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。
「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。
「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態がどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、「産業・雇用」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、「農林水産業」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(3) 次に、「医療・子育て・福祉」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
14 必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、「安全・安心」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21 賃貸前法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。〔市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会・汗ばあや行軍への参加、清掃や美化活動等を含む〕などの活動をさします。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(5) 次に、「教育・文化」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。〔学力向上とは、小・中学校では、授業をしっかり考える力が身に付き、高校学校では、目標達成を実現できる学力が身に付いていること。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもとは、小学校から高校までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
34 郷土の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持てるような取組がされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(6) 次に、「環境」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
	38 地球温暖化防止のための環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出削減の取組が各地域で活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(7) 次に、「社会資本・公共交通・情報基盤」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
	41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港、空港などの交通や物流の拠点に連なる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の経路解消等の地域のバリアフリー化が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
	45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

ここからは、あなたの行動についてお伺いします。

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担についてお伺いします。
あなたは、大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

(あてはまるもの1つに○印)
1. 知っている 2. 知らない

問3-2 災害への対応についてお伺いします。
(1) あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。

(あてはまるもの1つに○印)
1. 準備している 2. 特に準備していない

※「1. 準備している」方は(2)へ
「2. 特に準備していない」方は、次の問3-3へお進みください

(2) (1)で「1. 準備している」と回答した方にお聞きします。
準備している内容すべてに○印を付けてください。

- (あてはまるものすべてに○印)
1. 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
 2. 地域で実施される防災訓練(注)に年1回以上参加している
 3. 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
 4. 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的な対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている
 5. 地域の自主防災組織に加入している
 6. 家具などの転倒防止措置を行っている
 7. 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
 8. その他()

(注) 防災訓練：避難訓練や救助訓練などを含む訓練

問3-3 家事関連時間についてお伺いします。

この質問は、夫婦世帯の方のみ記入してください。それ以外の方は次の問3-4にお進みください。

(1) お二人とも職業をお持ちですか。
(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 夫婦二人とも仕事をもっている | 2. 夫のみ持っている |
| 3. 妻のみ持っている | 4. どちらも持っていない |

(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。
以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、1日当たりの家事労働従事時間を記入してください。(1週間の平均時間を目安にお答えください。)

(口内に数字を記入してください)

家事の種類	あなた (調査対象者)			あなたの夫(妻)		
	約	時間	分	約	時間	分
①食卓の用意・後片付け						
②掃除・洗濯						
③育児						
④介護・看護						
⑤買い物						
⑥その他()						

問3-4 地球温暖化防止への対応についてお伺いします。

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
(回答例)「①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している」について、「2. ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している (冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下)	1	2	3	
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	1	2	3	
③食事は好きずき食べるなど生ごみを減らす	1	2	3	
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	1	2	3	
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	1	2	3	
⑥洗剤や食器洗いのときに水を流したままにしない	1	2	3	
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	1	2	3	
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている(注)	1	2	3	4

(注) 自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

問3-5 ごみの減量化への対応についてお伺いします。

あなたは、ごみの減量化なくため、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	
(回答例)「①買物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している」について、「2. ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①買物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している	1	2	3	
②過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる	1	2	3	
③コンポスト(注)などにより生ごみを資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている	1	2	3	
④再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している	1	2	3	
⑤使い捨て商品の購入を控えている	1	2	3	
⑥リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している	1	2	3	
⑦リサイクルショップを利用している	1	2	3	
⑧リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)	1	2	3	

(注) コンポスト: 生ごみを発酵させて堆肥にする方法

問4 県では、「私たちが実現していきたい岩手の未来」を創っていくため、「いって県民計画」(平成21年度～平成30年度)に掲げる「希望郷、いって」の実現に向けてさまざまな取組を進めています。
ここでは、いって県民計画推進の基礎資料として活用するため、「人口減少問題」についてお伺いします。

問4-1 近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきだと思いますか。特に重要だと思うものを1～11のなかから3つまで選んで番号に○を付けてください。

- 1 縁結びアドバイザーの設置などにより、結婚を支援すること
- 2 妊産婦ケアセンターの設置や不妊治療助成金の拡充などにより、妊娠・出産を支援すること
- 3 育児アドバイザーの設置や子育て講座の開催などにより、子育てに必要な情報提供すること
- 4 事業所内保育施設の設置支援などにより、保育環境の整備を進めること
- 5 税制上の優遇措置などにより、子育て世代の経済的な負担を軽減すること
- 6 企業等におけるブランド化の支援や、大学発のベンチャー企業の創設支援などにより、若者に魅力ある企業づくりを進め若者の地元定着やUターンを促進すること
- 7 企業見学会の実施や、父母等への県内企業の情報提供などにより、県内企業の採用活動の支援を進め若者の地元定着やUターンを促進すること
- 8 同郷会等を活用したPRや、若手ならではの暮らし方の情報提供などにより、岩手の魅力の情報発信を進めUターンを促進すること
- 9 体験型観光や、学生インターンシップ制度(農業体験、伝統芸能等)などにより、交流・移住の体験を進め移住を促進すること
- 10 移住についての相談窓口体制の強化や、移住者の交流の場の創出などにより、移住者の支援を進め移住を促進すること
- 11 その他()

問4-2 ここからは、あなたの、今後の居住地について、おたずねします。

(1) あなたは、5年後に居住地が異なる可能性はありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○を付けてください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 5年後に居住地が異なる可能性が、大いにある | 引き続き、次の問にお答え願います |
| 2 5年後に居住地が異なる可能性が、ある程度ある | |
| 3 5年後に居住地が異なる可能性が、あまりない | |
| 4 5年後に居住地が異なる可能性が、まったくない | |

⇒ **問5** (21ページ)へお進みください

(2) 5年後に居住地が異なる可能性がある(1、2、3のいずれか)とお答えの方にお聞きします。
あなたが、転居予定先として考えられるのは、次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○を付けてください

- 1 現在と同じ市町村内
- 2 現在の市町村とは違う県広域圏(盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町)
- 3 現在の市町村とは違う県広域圏(花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町)
- 4 現在の市町村とは違う沿岸広域圏(宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村)
- 5 現在の市町村とは違う県北広域圏(久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町)
- 6 岩手県外(外国を含む)

(3) 5年後に居住地が異なる可能性の主な理由(注)は何ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○を付けてください。

(注)主な理由が、あなた以外の方の要因である場合は、その要因をお答え願います。

- 1 入学・進学
- 2 就職
- 3 転職
- 4 転勤
- 5 家業継承
- 6 定年退職
- 7 住宅事情
- 8 生活環境上の理由
- 9 通勤・通学の便
- 10 親との同居・近居
- 11 子との同居・近居
- 12 結婚
- 13 子育て環境上の理由
- 14 健康上の理由
- 15 その他()

アンケートに回答した方(あなた)について伺います。

問5 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別(○は1つ)

- 1 男性
- 2 女性

(2) 年齢(満年齢)(○は1つ)

- 1 20～29歳
- 2 30～39歳
- 3 40～49歳
- 4 50～59歳
- 5 60～69歳
- 6 70歳以上

(3) あなたの主なご職業は何ですか(○は1つ)。

- 1 自営業主
- 2 家族従業員
- 3 会社役員・団体役員
- 4 常雇雇用者 ※期間を定めず又は1年を超える期間を定めて雇われる人
- 5 臨時雇用者(パート、アルバイトなど) ※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
- 6 学生
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 無職
- 9 その他(具体的に:)

※ (3)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか(○は1つ)。

- 1 農業、林業
- 2 漁業
- 3 鉱業、採石業、砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業、郵便業
- 9 卸売・小売業
- 10 金融業、保険業
- 11 不動産業、物品賃貸業
- 12 学術研究、専門・技術サービス業
- 13 宿泊業、飲食サービス業
- 14 その他のサービス業
- 15 公務
- 16 その他(具体的に:)

(4) あなたの世帯構成はどのようになっていますか(○は1つ)。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ
- 3 2世代世帯(親と夫婦、夫婦と子どもなど)
- 4 3世代世帯(親と夫婦と子ども、夫婦と子どもと孫、祖父母と親と夫婦など)
- 5 その他

(5) あなたのお子さん、何人いますか(同居・別居は問いません)。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人以上
- 6 子どもはいない

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さん、次のどこにあてはまりますか(該当する番号すべてに○をつけてください)。

- 1 小学校入学前(乳幼児を含む)
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学
- 6 学校教育終了で同居
- 7 学校教育終了で別居
- 8 その他(具体的に:)

(6) あなたは岩手県に住んで何年になりますか(○は1つ)。

- 1 1年未満
- 2 1～5年未満
- 3 5～10年未満
- 4 10～20年未満
- 5 20年以上

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか(○は1つ)。

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 雫石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数でも2月2日(月)までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

